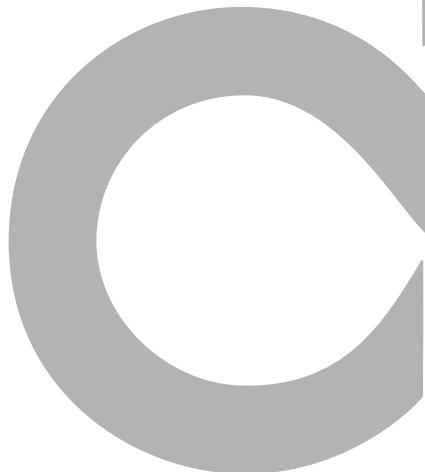


FMPRシリーズ

B5WY-0771-02 Z0



FMPRシリーズ

オンラインマニュアル

水平漢字プリンタ-15 (FMPR5610/5410/5310E)

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただるために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

IntranetWare、NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。

Adobe、Acrobat および Reader は、アドビシステムズ社の商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って、正しい取り扱いをしてください。

● 電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパソコンコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

● 国際エネルギースター プログラムについて



当社は国際エネルギースター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター プログラムの基準に適合していると判断します。

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

● 本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。詳しくは、ホームページ (<http://eco.fujitsu.com/jp/>) の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通リサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。受付窓口の電話番号、お申込み方法などについてはAzbyClubホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● コンピュータウィルスに関する被害の免責について

コンピュータウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

このたびは、水平漢字プリンタ-15 (FMPR5610/5410/5310E) をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にマニュアルをよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2005年5月

● 本文中の略語について

- Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP Professional, Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP
- Microsoft® Windows® 2000 Professional, Microsoft® Windows® 2000 Server → Windows 2000
- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0, Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 → Windows NT 4.0
- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 3.51, Microsoft® Windows NT® Server Version 3.51 → Windows NT 3.51
- Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 → Windows 98
- Microsoft® Windows® 95 → Windows 95
- Microsoft® Windows® 3.1 → Windows 3.1
- Microsoft® Internet Explorer → Internet Explorer
- Netscape® Communicator → Netscape
- Adobe® Acrobat® Reader → Acrobat Reader
 - Windows 98 および Windows Me → Windows 98/Me
 - Windows 2000 および Windows Me → Windows 2000/Me
 - Windows 95、Windows 98 および Windows Me → Windows 95/98/Me
 - Windows 98、Windows Me および Windows 2000 → Windows 98/Me/2000
 - Windows 2000 および Windows NT 4.0 → Windows 2000/NT 4.0
 - Windows XP および Windows Server 2003 → Windows XP/Server 2003
 - Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003 → Windows 2000/XP/Server 2003
 - Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003 → Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003
 - Windows Me、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003 → Windows Me/2000/XP/Server 2003
 - Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 および Windows NT 4.0 → Windows 95/98/Me/2000/NT 4.0
 - Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003 → Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003

● 警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	△で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
 高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
 接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上のご注意

■ プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上にまたは近くに花びん・植木鉢・コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類を外してください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

■ プリンタ使用時のご注意



異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご依頼ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください
感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となります。



プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



警告



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。



移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。

けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。

けがやプリンタの故障の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。



連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。

リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。

プリンタの内部やローラ部に纖維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

リボンがロックして回転できなくなります。

リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまつたり、リボンの巻取りがロックすることがあります。

使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。



プリンタを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理ください。

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

取扱説明書
プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。
オンラインマニュアル (PDF)
添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に示します。

◆ 取扱説明書

目次		内容
第1章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明しています。
第2章	プリンタの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第3章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置の調整のしかたを説明しています。
第4章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第5章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明しています。
第6章	オプション	このプリンタのオプションの取り付け取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。
付録		このプリンタの仕様などの技術情報について説明しています。 * コマンド一覧表およびコード一覧表はオンラインマニュアルを参照してください。

◆ オンラインマニュアル

目次		内容
プリンタ編		
第1章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明しています。
第2章	プリンタの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第3章	用紙のセット	連続帳用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置の調整のしかたを説明しています。
第4章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第5章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙詰まりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明しています。
第6章	オプション	このプリンタのオプションの取り付け取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。
付録	プリンタの概略仕様	プリンタの仕様、コマンド一覧表および文字コード一覧表など、プリンタを使用する上で補助的に必要になることがらについて説明しています。
ソフトウェア編		
第1章	ソフトウェアの概要	プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明しています。
第2章	プリンタドライバの設定	プリンタドライバのインストールと設定方法について説明しています。
第3章	FMPRステータスマニタ	FMPRステータスマニタについて説明します。
第4章	FMPRリモートパネル	FMPRリモートパネルについて説明します。
付録		FMPRステータスマニタ状態表示一覧表を記載しています。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。

PDF ファイルの内容を参照するには、「Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。

お使いのパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

■ Acrobat Reader のインストール

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Acrobat Reader (5.1 またはそれ以降) があらかじめインストールされている必要があります。

添付の CD-ROM から次の手順で Acrobat Reader 5.1 をインストールすることができます。

- 1 添付の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 2 エクスプローラで CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Ar51jpn.exe」をダブルクリックし、インストールする



ガイド

- Acrobat Reader は PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 5.1 は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Acrobat Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。

アドビシステムズ社 URL : <http://www.adobe.co.jp>

■ オンラインマニュアルの使いかた

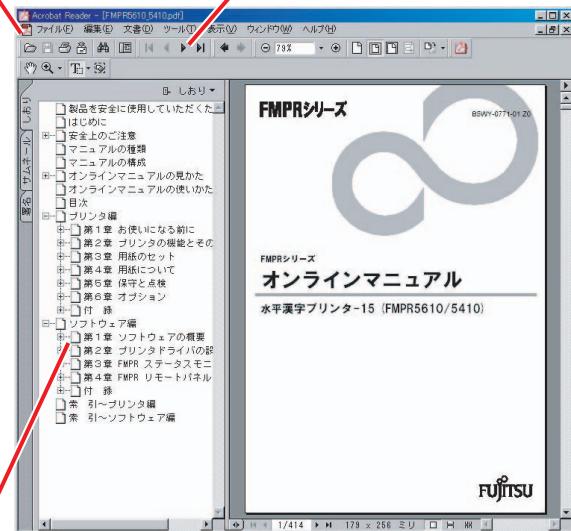
オンラインマニュアルは、Acrobat Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

- 1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 2 エクスプローラで CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をダブルクリックする

Acrobat Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

メニューバー
ブルダウンメニューから印刷や
ヘルプの表示などを行うことが
できます。

ツールバー
▶をクリックすると次のページ
を表示します。
また、拡大や検索などの操作を
行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示
します。

+が表示されている場合、これをクリック
すると次のレベルの見出しが表示されます。

目 次

はじめに	i
安全上のご注意	iii
プリンタ設置および移動時のご注意	iii
プリンタ使用時のご注意	vi
マニュアルの種類	x
マニュアルの構成	x
オンラインマニュアルの見かた	xii
Acrobat Reader のインストール	xii
オンラインマニュアルの使いかた	xiii
プリンタ編	1
第1章 お使いになる前に	3
主な特長	5
製品の内容	7
使用上のお願い	8
設置場所について	8
電源について	8
使用方法について	9
パソコンの BIOS 設定について	
(対象 : FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機)	9
FMR シリーズでの FM-OASYS および OASYS 専用機での使用について	9
パソコンとの接続について	9
Windows 環境とプリンタドライバについて	10
各部の名称とはたらき	11
各部の名称	11
各部のはたらき	12
プリンタを設置する	14
設置手順	14
輸送用固定材の取り外し	15
単票テーブルのセット	16
単票テーブルの取り扱いについて	17
リアスタッカの取り付け	17
パソコンとの接続	18
電源コードの接続	21
電源の投入と切断	22
電源を入れる	22
電源を切る	23
リボンカセットを取り付ける	24
トラクタユニットの位置を決める	28
トラクタユニットの着脱について	29
オプション品のご紹介	33
カットシートフィーダ	33
トラクタユニット	33
プリンタ LAN カード	33

プリンタ LAN アダプタ (FMPR5610/5410 のみ)	33
プリンタケーブル	34
第2章 プリンタの機能と その使いかた	35
操作パネルの機能	37
液晶ディスプレイ	38
ランプ	39
スイッチ	39
操作パネルを操作する	40
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	40
オンライン状態で行う操作	41
用紙をカットする	41
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	41
印字モードを切り替える	42
高複写モードに切り替える	42
漢字の書体を切り替える	42
オフライン状態で行う操作	43
用紙の吸入や排出を行う	43
改行する	44
改ページを行う	44
給紙口を切り替える	45
紙厚調整モードを切り替える	45
印字開始位置を微調整する	45
单票手差しの方法を切り替える	46
プリンタをリセットする	47
機能設定項目について	48
メニュー印刷	48
テスト印刷	48
装置機能設定	48
余白量設定	49
ESC/P 固有設定	49
補正機能	49
その他の設定	49
登録	49
保守モード	49
機能設定を変える	50
基本的な操作	50
選んだ項目に設定する操作	51
数値を設定する操作	52
途中で機能設定を抜ける操作	52
セットアップ項目一覧	53
機能設定の変えかた	53
行間ズレを直す	73
用紙吸入量を調整する	76
連続帳票用紙をカット位置に送る	78
カット位置に送る	78
自動検出機能	80

第3章 用紙のセット	81
用紙をセットする	82
連続帳票用紙をセットする (前トラクタ給紙の場合)	82
連続帳票用紙をセットする (後トラクタ給紙の場合)	89
単票用紙をセットする (単票セットフリーオン時、FMPR5610/5410のみ)	94
単票用紙をセットする (FMPR5610/5410/5310E 共通)	98
単票用紙をセットする (カットシートフィーダを取り付けた場合)	101
用紙厚を調整する	105
印字開始位置について	109
印字開始位置 (行方向) を微調整する	110
実力値について	111
印字位置精度について	111
第4章 用紙について	113
連続帳票用紙	114
一般用紙 (前・後トラクタ)	118
はがき用紙 (前トラクタ)	119
封筒用紙 (前・後トラクタ)	120
タック用紙 (前・後トラクタ)	122
宅配伝票 (前トラクタ)	124
手差しで使用する単票用紙	125
一般用紙	125
用紙のとじ方法	127
はがき	127
封筒	128
宅配伝票	130
カットシートフィーダ (オプション) で使用する単票用紙	131
一般用紙	131
用紙のとじ方法	133
はがき	133
プレプリント用紙を使用するとき	134
とじ穴の開けかた	137
用紙の形状について	138
取り扱い上の注意	139
第5章 保守と点検	141
リボンカセットを交換する	142
用紙つまりのとき	145
連続帳票用紙がつまつたとき	145
単票用紙がつまつたとき	150
リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	152
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき	154
プリンタがうまく動かないとき	157
エラーメッセージが表示されている	157
単票用紙吸入時の不具合	164
単票用紙排出時の不具合	164
連帳用紙吸入時の不具合	165
印字中の問題点	165
印字結果の問題点	166

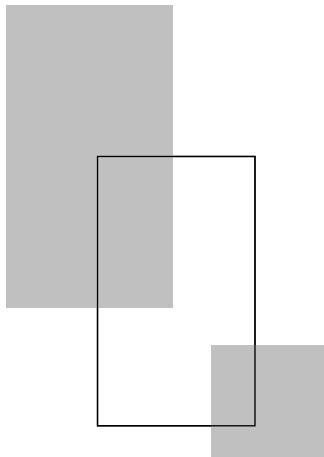
印字位置の問題点	169
印字位置がページによってズレる	170
カットシートフィーダ使用時の不具合	170
テスト印字をする	172
HEX ダンプ印字をする	174
清掃のしかた	175
プリンタを輸送するとき	176
消耗品の廃却について	177
プリンタドライバの入手方法	178
アフターサービス	179
第6章 オプション	181
オプションの概要	182
プリンタ LAN カードのご使用方法	183
プリンタ LAN カード搭載方法	184
プリンタ LAN カード取り外し方法	186
カットシートフィーダを取り付ける	187
プリンタ前部に取り付ける	187
プリンタ後部に取り付ける	191
カットシートフィーダを取り外す	194
付 錄	197
プリンタの概略仕様	198
外観図	202
標準外観図	202
カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図	203
インターフェース仕様	204
パラレルインターフェース	204
USBインターフェース仕様	210
ESC/P モードの制限事項	211
初期状態	212
FM モード (FMPR5610/5410 のみ)	212
ESC/P モード	213
コマンド一覧表	214
FM モードコマンド一覧表	215
ESC/P モードコマンド一覧表	223
キャラクタコード一覧表	228
FM モードキャラクタコード一覧表	228
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	229
非漢字一覧表	231
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	238
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	241
ご注意	244

ソフトウェア編	233
第1章 ソフトウェアの概要	249
添付ソフトウェアの機能	250
添付ソフトウェアの動作環境	252
プリンタの動作環境	252
パソコンの接続方法	253
CD-ROM の内容	254
プリンタドライバセットアップディスク	254
ソフトウェアのインストール	256
プリンタドライバのインストール	257
Windows XP のとき	257
Windows 2000 のとき	269
Windows Server 2003 のとき	282
Windows Me のとき	294
Windows 98 のとき	307
Windows NT 4.0 のとき	320
Windows 95 のとき	327
FMPR プリンタユーティリティのインストール	337
初めてインストールするとき	338
FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき	341
第2章 プリンタドライバの設定	345
プリンタドライバの設定	346
Windows 95/98/Me の設定画面	346
Windows NT 4.0 の設定画面	353
Windows 2000/XP/Server 2003 の設定画面	363
印刷可能領域	373
印刷の向き	377
給紙方法	378
印刷品質	379
用紙の種類またはメディア	380
印字圧	380
排出方向	381
第3章 FMPR ステータスモニタ	383
FMPR ステータスモニタのインストール	384
FMPR ステータスモニタの機能	384
FMPR ステータスモニタの起動	384
ステータス表示ウィンドウ	385
第4章 FMPR リモートパネル	387
FMPR リモートパネルのインストール	388
FMPR リモートパネルの機能	388
FMPR リモートパネルの起動	389
プリンタの機能設定	391

付 錄	399
FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表	400
索 引～プリンタ編	387
索 引～ソフトウェア編	391

プリンタ編





第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

主な特長	5
製品の内容	7
使用上のお願い	8
設置場所について	8
電源について	8
使用方法について	9
パソコンの BIOS 設定について (対象 : FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機)	9
FMR シリーズでの FM-0ASYS および 0ASYS 専用機での使用について	9
パソコンとの接続について	9
Windows 環境とプリンタドライバについて	10
各部の名称とはたらき	11
各部の名称	11
各部のはたらき	12
プリンタを設置する	14
設置手順	14
輸送用固定材の取り外し	15
単票テーブルのセット	16
単票テーブルの取り扱いについて	17
リアスタッカの取り付け	17
パソコンとの接続	18
電源コードの接続	21
電源の投入と切断	22
電源を入れる	22

電源を切る	23
リボンカセットを取り付ける	24
トラクタユニットの位置を決める	28
トラクタユニットの着脱について	29
オプション品のご紹介	33
カットシートフィーダ	33
トラクタユニット	33
プリンタ LAN カード	33
プリンタ LAN アダプタ	33
プリンタケーブル	34



主な特長

◆ 優れた印字品質

- ・ピン径 0.2mm の 24 ピン×2 階建て構造の印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

- ・24 ピン×2 階建て構造の印字ヘッドにより、FMPR5610 漢字 180 字/秒、FMPR5410 漢字 130 字/秒、FMPR5310E 漢字 125 字/秒の高速印字を実現しています。
- ・同一行内に漢字、ANK が混在したとき（ドラフトのみ）は、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- ・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- ・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ・ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。
FMPR5610 ……漢字 360 字/秒：高速
FMPR5410 ……漢字 260 字/秒：高速
FMPR5310E……漢字 250 字/秒：高速

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

- ・Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003 対応の専用プリンタドライバを添付しています。
- ・専用プリンタドライバを使用することで、用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字速度の切り替え、紙厚設定がプリンタドライバで設定可能です。

◆ ユーティリティソフトの添付（FMPR5610/5410 のみ可能）

- ・Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003 対応の専用ユーティリティソフトを添付しています。
- ・専用ユーティリティソフトによりプリンタの状態監視、セットアップの設定が可能です。
「FMPR ステータスモニタ」はパラレルまたは USB インタフェースで動作します。
「FMPR リモートパネル」はパラレル、USB または LAN（オプション）インターフェースで動作します。

◆ 優れた操作性

- ・水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンタの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。
- ・単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。
- ・APTC 機構（自動紙厚調整機構）、HCPP 機構（連単自動切換機構）、

単票セットフリー機能 (FMPR5610/5410 のみ、手差し口に簡単に用紙をセットする機構) を標準装備することで、媒体ハンドリングを容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダ (オプション)

- ・オプションのカットシートフィーダはプリンタの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。
(前側にセットする場合は、前側のトラクタは使用できなくなります。)

◆ デュアルトラクタ標準搭載 (FMPR5610/5410 のみ)

- ・プリンタの前後にトラクタを搭載しており、同時に 2 種類の連続用紙をセットできます。 (FMPR5310E は前のみ搭載)

◆ プリンタ LAN カード (オプション)

- ・オプションのプリンタ LAN カードを搭載することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。LAN カード搭載時はパラレルインターフェースおよび USB インタフェースとの同時接続はできません。

◆ 高い複写能力

- ・用紙厚さに合わせて自動的に印字ヘッドをコントロールする事で標準モードで 8P (FMPR5310E は 6P) の複写枚数を実現しています。 (オートで印字圧が高くなると、印字スピードは低下します。)
- ・縦罫線/横罫線のコントロール適切化により縦罫線/横罫線の濃度差の少ない、鮮明な複写能力を実現しています。
- ・高複写モード 1 を選択する事で、さらに 9P (FMPR5310E は 8P) の複写能力を実現しています。
- ・さらに高複写モード 2 を選択すると、2 度打ちによりより高い複写能力を実現します。

◆ FMR シリーズとの接続 (FMPR5610/5410 のみ可能)

- ・FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換パソコンの他に FMR シリーズのパソコンに接続して、お使いいただくことができます。
- ・FMR シリーズのパソコンに接続する場合は、プリンタのメニュー モードで、「ホストインターフェース」および「エミュレーション モード」の設定を「FM」に設定してください。
設定方法については、「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定を変える」を参照してください。
- ・FMR シリーズでお使いになる場合の動作環境は、MS-DOS、Windows 3.1、Windows NT3.51 です。
- ・FMR シリーズの Windows でお使いになる場合のプリンタ ドライバは、Windows にバンドルされている「FUJITSU FMPR-180」ドライバ (FM モード動作) を使用してください。

◆ 省電力設計

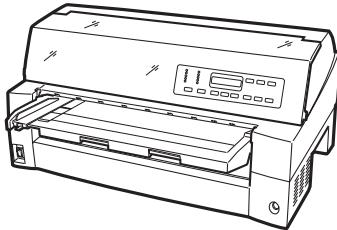
待機時 10W 以下の省電力設計です。



製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。

なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンタ本体



変換プラグ



電源コード



リアスタッカ



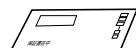
リボンカセット（黒、1個）



FMPR5X10
セットアップ
ディスク



取扱説明書
用紙について



保証書
(梱包箱に貼付)



センドバックラベル

お願い

- ・本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。なお、不明な点については、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）までお問い合わせください。
- ・保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- ・保証書は大切に保管してください。

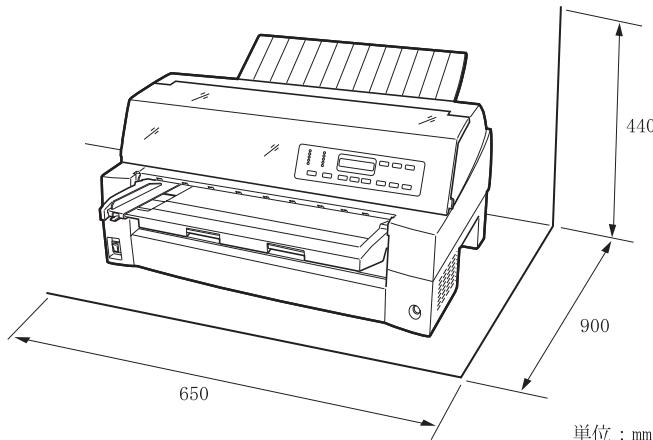


使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、またはハードウェア修理相談センター（179ページ参照）にご相談ください。

■ 設置場所について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5°C～35°C
 - ・周囲湿度：30%～80%（結露しないこと）
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

■ 電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・電源電圧 : AC100V±10%
- ・電源周波数 : 50/60±1Hz

■ 使用方法について

- ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

■ パソコンの BIOS 設定について（対象：FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機）

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional (双方向)」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

■ FMR シリーズでの FM-OASYS および OASYS 専用機での使用について

FMPR5610/5410 を FMR シリーズでの FM-OASYS 使用および OASYS 専用機に接続されてご使用される場合は、プリンタの機能設定で「ホストインターフェース」および「モード設定」を「FM」（54 ページ参照）に設定してください。

■ パソコンとの接続について

FMPR5610/5410 は、FMR/FMV シリーズパソコン共用プリンタです。
FMPR5310E は、FMV シリーズパソコン専用プリンタです。

それぞれのパソコンとの接続は、以下のとおりです。

- ・ FMR シリーズパソコンと本プリンタを接続する場合、「ホストインターフェイス」を「FM」に設定してください。

注) FMR シリーズパソコンは FMPR5610/5410 のみ接続可能です。

- ・ FMV シリーズパソコンと本プリンタを接続する場合、「ホストインターフェイス」を「AT」に設定してください。

注) FMPR5310E は設定の必要はありません。

※設定のしかたについては、「機能設定を変える」（50 ページ）を参照してください。

■ Windows 環境とプリンタ ドライバについて

以下のプリンタ ドライバで印刷することができます。

ホスト	FMR シリーズ		FMV/AT 互換機	
モード設定 Windows 環境	FM モード	ESC/P モード	FM モード	ESC/P モード
Windows 3.1	FMPR 180 注 1	—	FMPR 180 注 1,注 3	FUJITSU ESC/P 注 1
Windows NT 3.51		—		
Windows 95	—	—	FMPR 180 注 1,注 3	FMPR5610 FMPR5410 注 2
Windows 98	—	—		FMPR5610 FMPR5410 FMPR5310E 注 2
Windows Me	—	—		
Windows NT 4.0	—	—	—	FMPR5610 FMPR5410 FMPR5310E 注 2
Windows 2000	—	—	—	
Windows XP	—	—	—	
Windows Server 2003	—	—	—	

注1) OS 添付ドライバ

注2) プリンタ装置添付ドライバ
印刷できるドライバはありません。

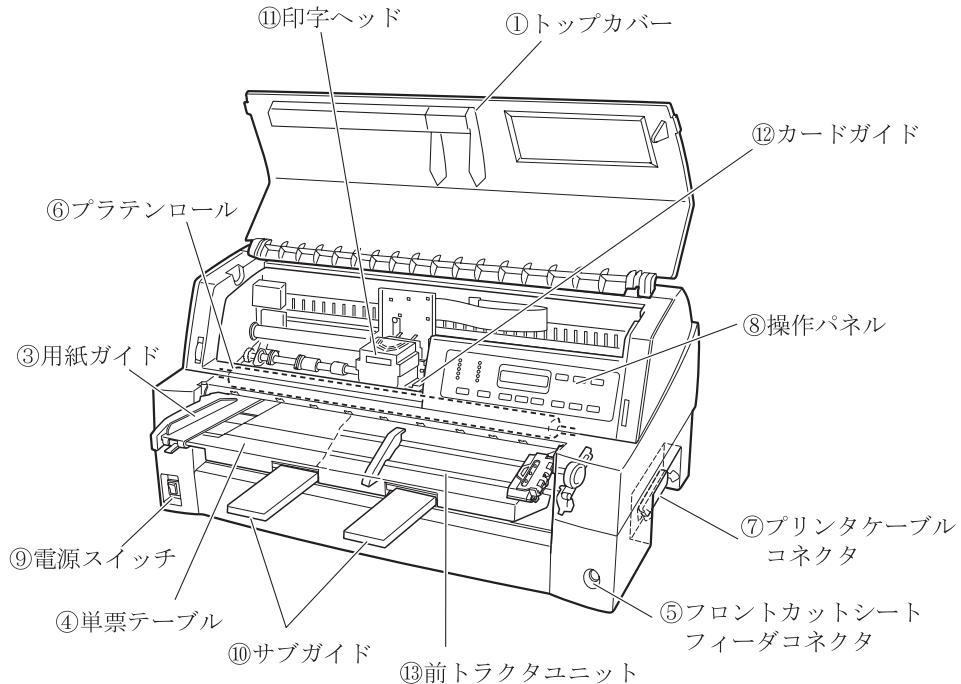
注3) FMV/AT 互換機接続の場合、ESC/P モードが自動設定されるので機能設定のモード設定を FM モードに変更する必要があります。
機能設定の変更方法は「機能設定を変える」(50 ページ)を参照してください。



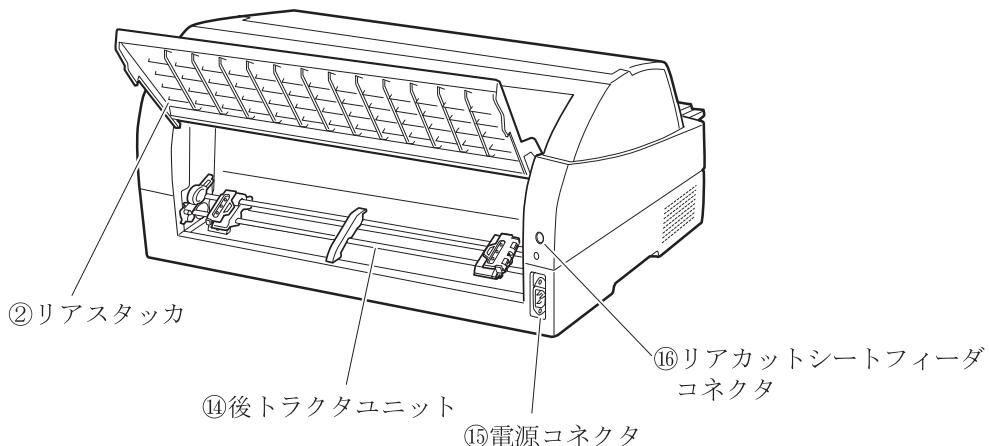
各部の名称とはたらき

■ 各部の名称

◆ 正面



◆ 背面



■ 各部のはたらき

各部の名称	はたらき
①トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをほこりやちりから守ります。トップカバーを開けるとプリンタはオフライン状態になります。印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態にしてください。
②リアスタッカ	単票用紙をスタッカします。
③用紙ガイド	単票セットフリーがオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーがオンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
⑤フロントカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。 オプションのプリンタ LAN カードを接続する場合は、オプションインターフェースカバーを外して挿入します。
⑧操作パネル	プリンタの状態表示、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（詳細は、「操作パネルの機能」37 ページを参照）
⑨電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから落下しないようにするものです。
⑪印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬前トラクタユニット	前トラクタ給紙で連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。
⑭後トラクタユニット	後トラクタ給紙で連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。（FMPR5310E は購入時に搭載されていません。）
⑮電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑯リアカットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。

――お願い――

- ・プリンタの電源が入っているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、オンラインスイッチを押すと、中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下することがあります。



プリンタを設置する

■ 設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（7 ページ）を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテープを固定部材を外す

3 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては「単票テーブルのセット」（16 ページ）を参照してください。

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（15 ページ）を参照してください。

5 リアスタッカを取り付ける

リアスタッカの取り付けについては「リアスタッカの取り付け」（17 ページ）を参照してください。

6 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（21 ページ）を参照してください。

7 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては、「リボンカセットを取り付ける」（24 ページ）を参照してください。

8 パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売り）を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（18ページ）を参照してください。

9 ドライバをインストールする

ドライバのインストールについては、『ソフトウェア編』を参照してください。

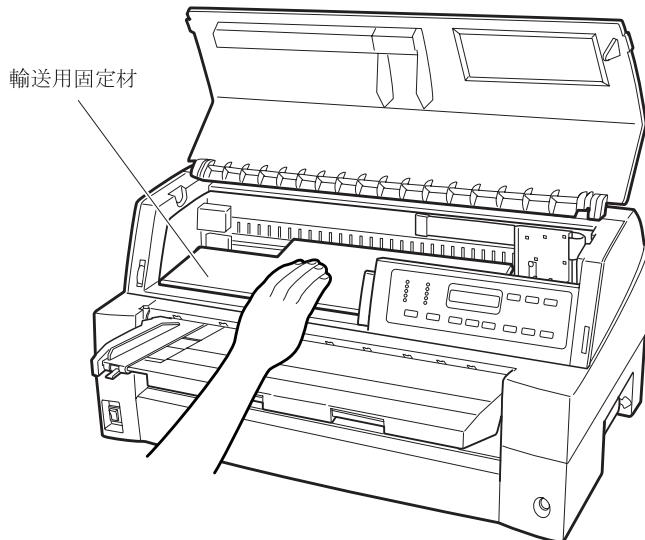
■ 輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

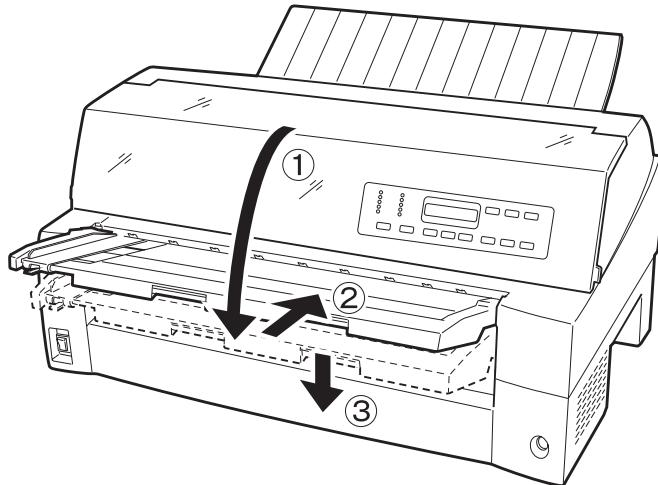
取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

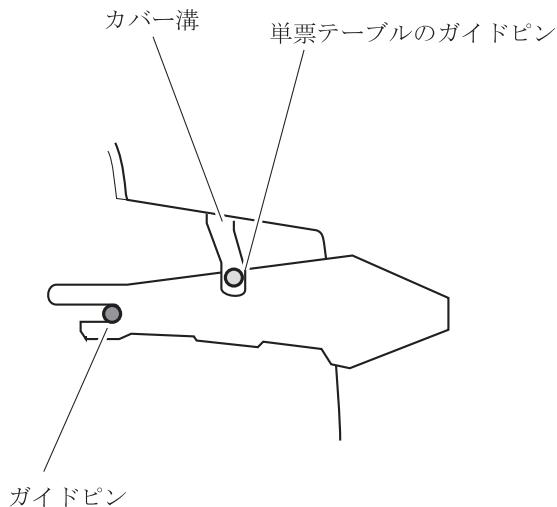


■ 単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②)セットします(③)。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



お願い

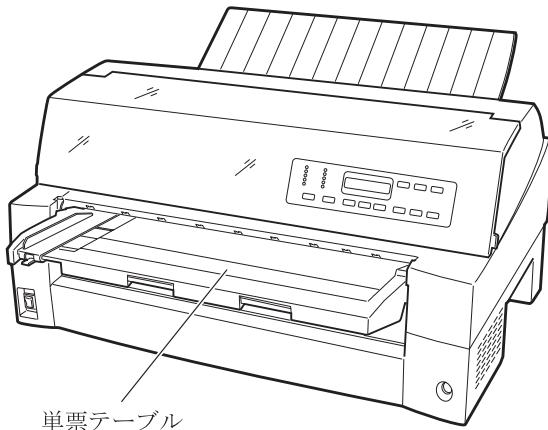
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態で放置しないようにしてください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙詰まりの原因となります。

■ 単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタにセットするときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

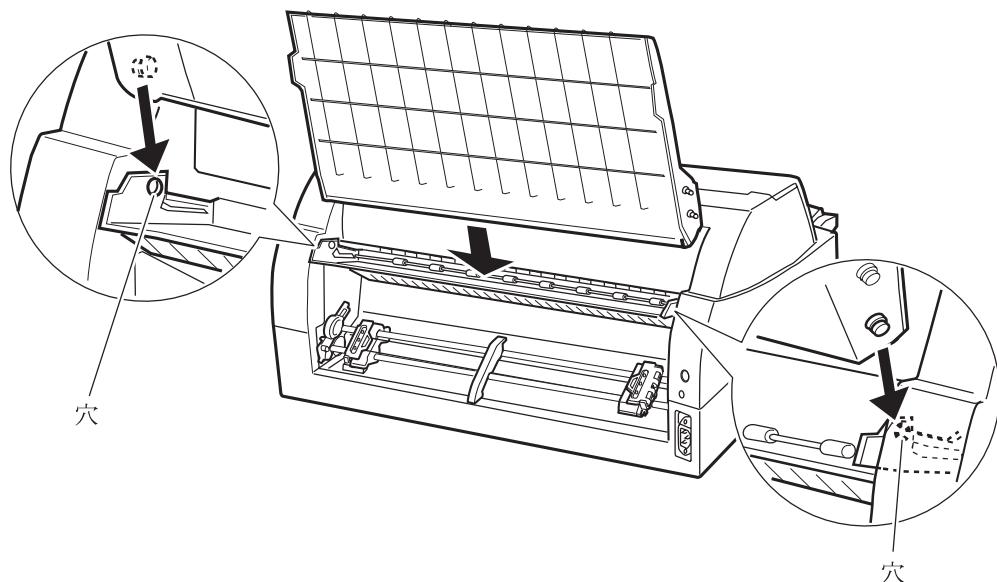
◆ 通常時

通常は下図のような状態です。



■ リアスタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。



■ パソコンとの接続

このプリンタはパラレルインターフェースおよびUSBインターフェースを備えています。プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。



感電 プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。



感電 プリンタケーブルの接続は間違いがないようにしてください。

誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

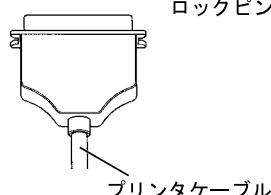
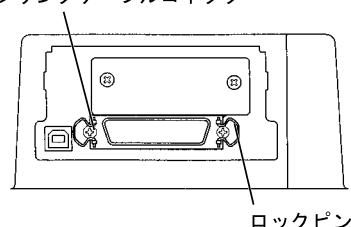
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタケーブルをプリンタに接続する

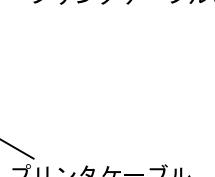
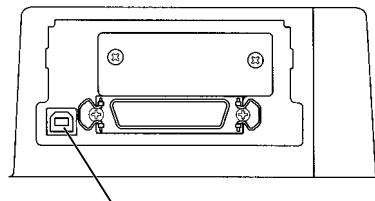
プリンタケーブルの一方を、プリンタ右側面のプリンタケーブル接続コネクタに差し込みます。

〈パラレルおよびUSBインターフェースの場合〉

プリンタケーブルコネクタ



◆パラレルインターフェース



◆USBインターフェース

▲注意

- ・USB インタフェースで接続した場合、パラレルインタフェースとの同時接続はできません。
- ・USB インタフェースは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。
- ・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・Windows95 および Windows NT 4.0 では USB インタフェースをサポートしていません。

 ガイド

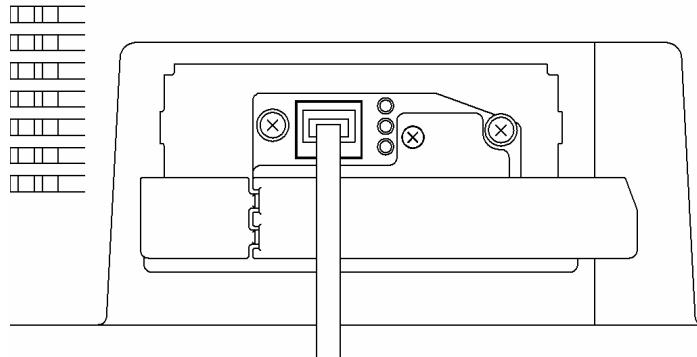
- ・USB1.1 またはUSB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。ただし、USB2.0 のケーブルを使用しても、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。
- ・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
- ・別売りケーブルとしてプリンタ USB ケーブル (XL-CBLU2) が用意されています。（34 ページ参照）

〈LAN インタフェースの場合〉

オプションのプリンタ LAN カード (FMPR-LN1) を取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。プリンタ LAN カードの取り付け方法については、プリンタ LAN カード添付のオンラインマニュアルを参照してください。

 ガイド

- ・LAN カード搭載時はパラレルインタフェースおよび USB インタフェースとの同時接続はできません。



◆ LAN インタフェース

3 プリンタケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

■ 電源コードの接続

⚠ 警告

感電 添付の電源コード以外は使用しないでください。変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源プラグのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行なっている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

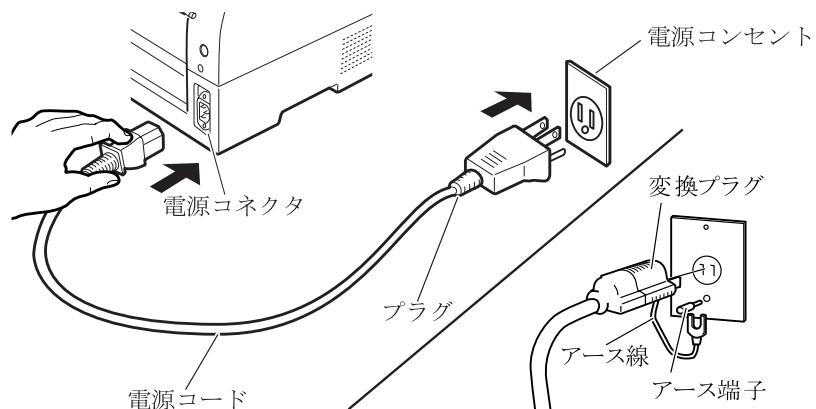
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

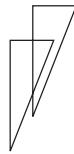
3 電源プラグをコンセントに差し込む

できるだけ3ピンの電源プラグを使用してください。もし3ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグのアース端子を接続してから変換プラグを差し込んでください。



お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



電源の投入と切斷

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

■ 電源を入れる

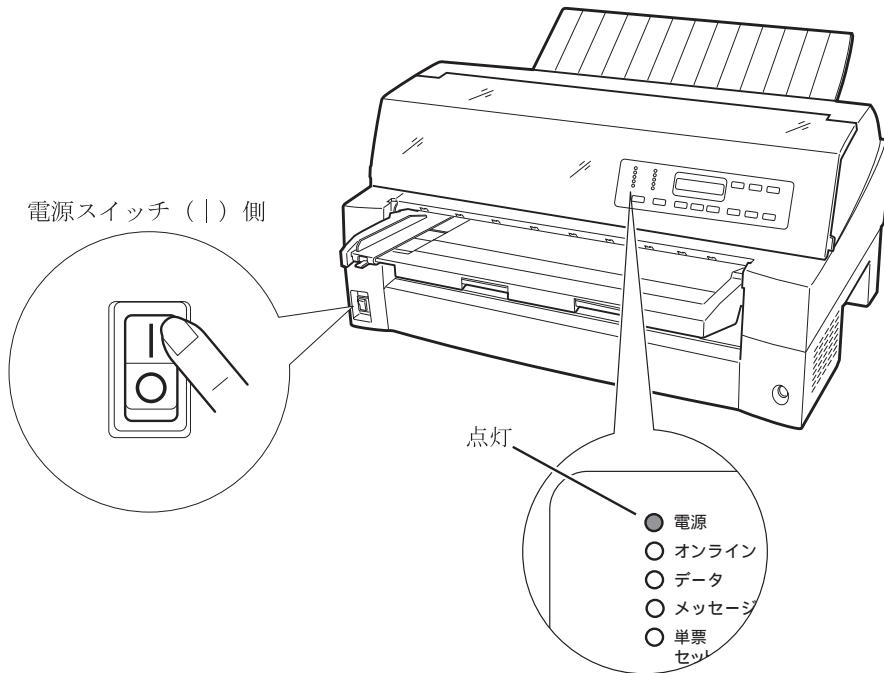
お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

トップカバーを閉じていていることを確認して、プリンタの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。



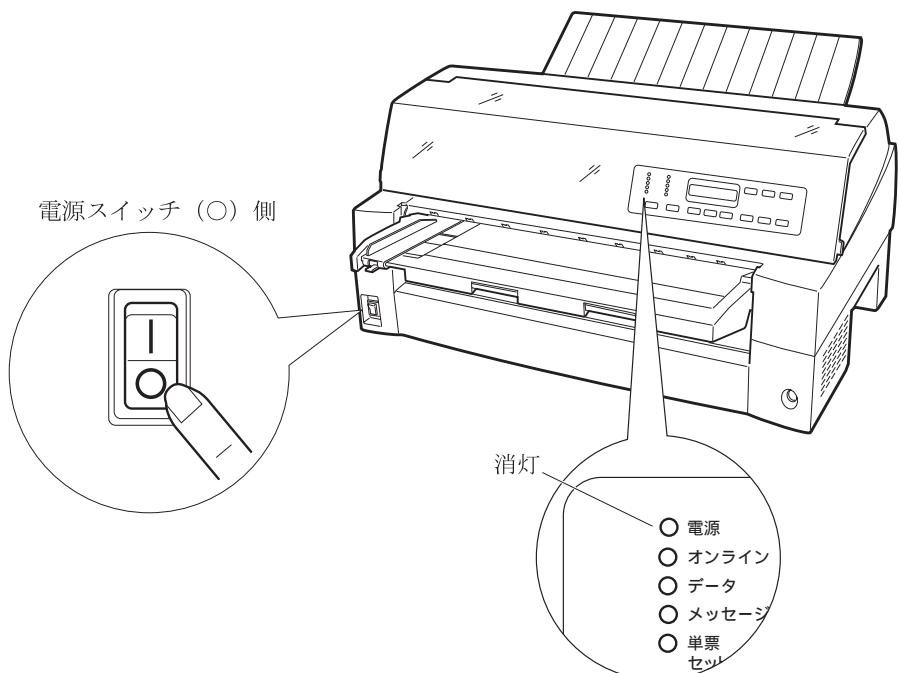
■ 電源を切る

お願い

- ・電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたりする場合があります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- ・電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



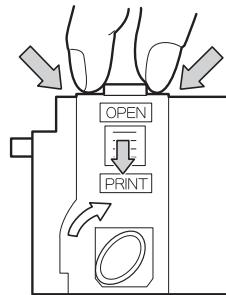


リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

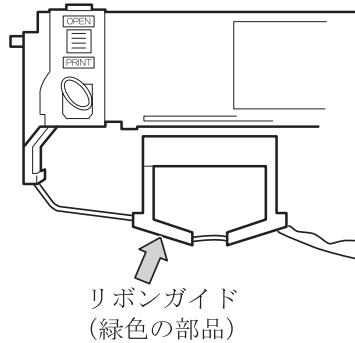
1 リボンカセットのローラ離反ツメロックを外す

リボンカセット上部ツメを矢印方向に押し、ロックを解除します。



2 リボンカセットからリボンガイドを外す

リボンカセットからリボンガイド（緑色の部品）をゆっくりと外します。なお、リボンのよじれを避けるため、ガイドを外す前にカセットのツマミを回したり、ガイドを急激に引き抜いたりしないようご注意ください。



3 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。



ガイド

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。

4 プリンタの電源を切る

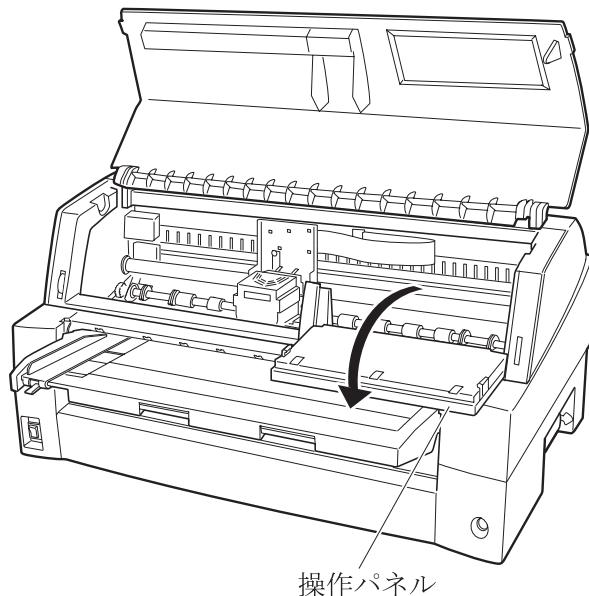
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

5 トップカバーを開ける**6 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に刻印があります）
にあることを確認する**

印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。



高 温 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

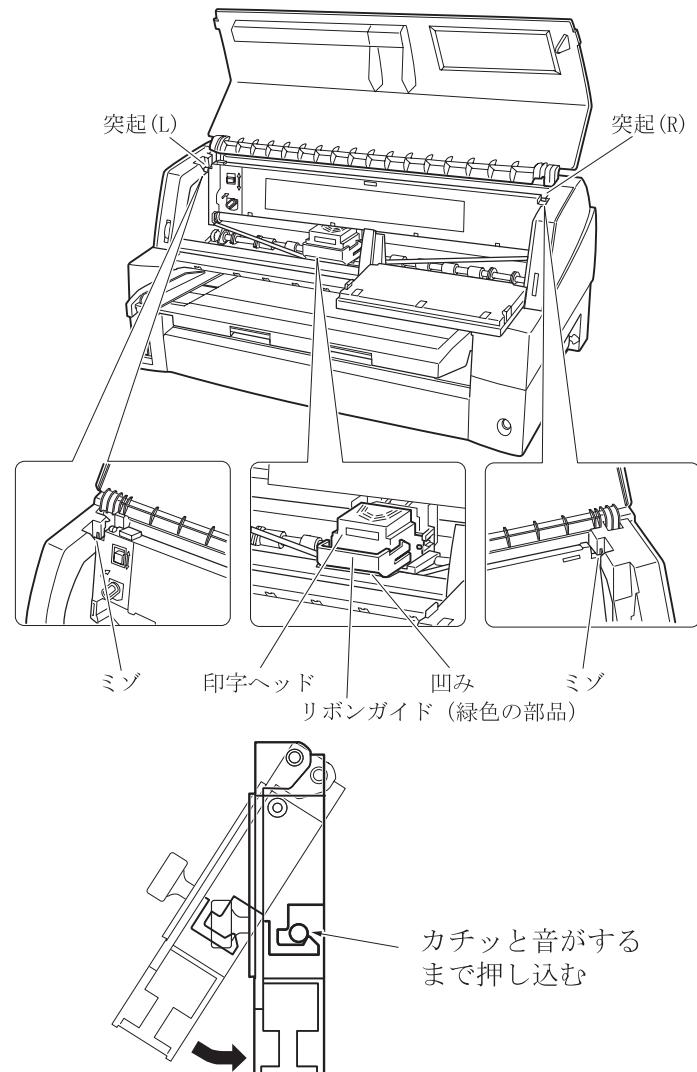
7 操作パネルを手前側に倒す

8 リボンカセットを取り付ける

リボンガイド（緑色の部品）を印字ヘッド手前の凹みに置きます。次にリボンカセット両側の突起（L）、（R）をほぼ垂直状態にしてプリンタ上部のミゾに入れ、リボンカセットが完全に垂直になるように左、右、下部をカチッと音がするまで奥に押し込みます。

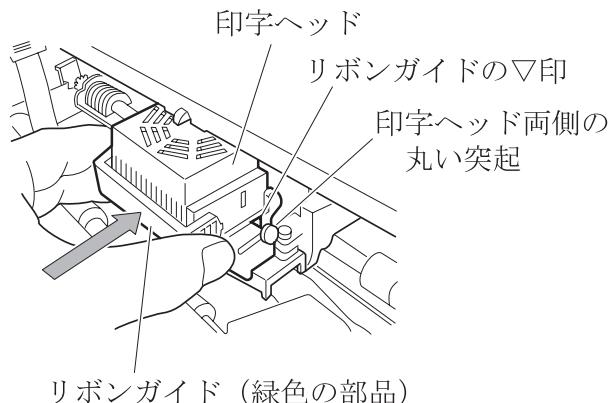
お願い

リボンカセット装着の前にリボンカセットのツマミは回さないでください。
リボンを張った状態でリボンガイドを装着すると、リボンが折れたりよじれたりして、正常に送られなくなることがあります。



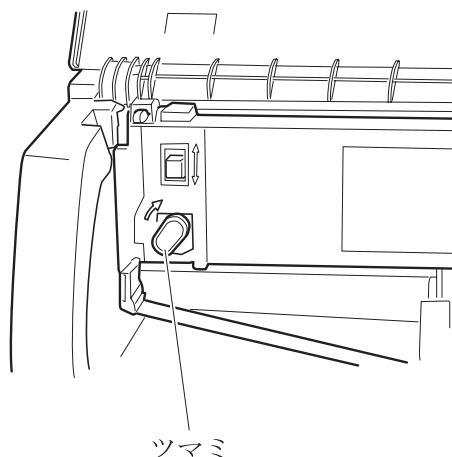
9 リボンガイドを取り付ける

リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイド（緑色の部品）の△印部を印字ヘッド左右両側の丸い突起にしっかりとはめ込むと、リボンがセットされます。この際リボンがよじれないようご注意ください。



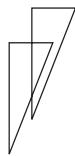
10 リボンのたるみを取る

リボンカセットのツマミを矢印の方向(時計回り)に回して、リボンのたるみを取ります。



11 操作パネルを元に戻す

12 トップカバーを閉める



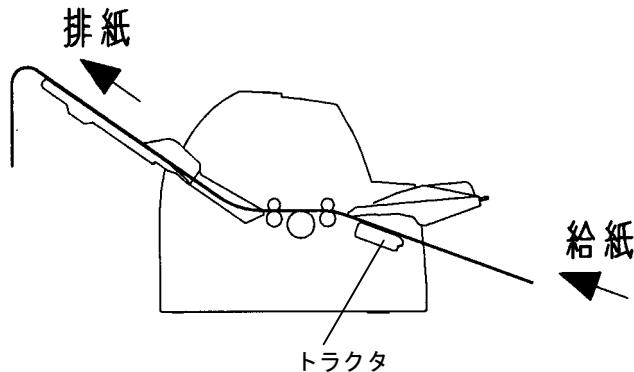
トラクタユニットの位置を決める —————



ガイド

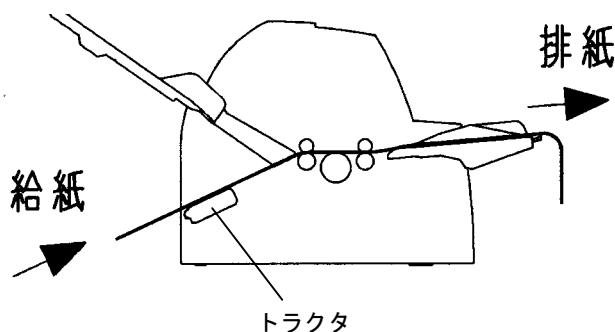
FMPR5310E では前後共通の着脱式トラクタを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前側に搭載されますが、必要に応じて後ろに付け替えてご使用ください。なお、オプションのトラクタユニット (FMPR-TU8) を追加すれば、前後にトラクタを取り付けて使用することができます。

◆ トラクタを前に搭載したときの特長



手前側より連続用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。

◆ トラクタを後に搭載したときの特長



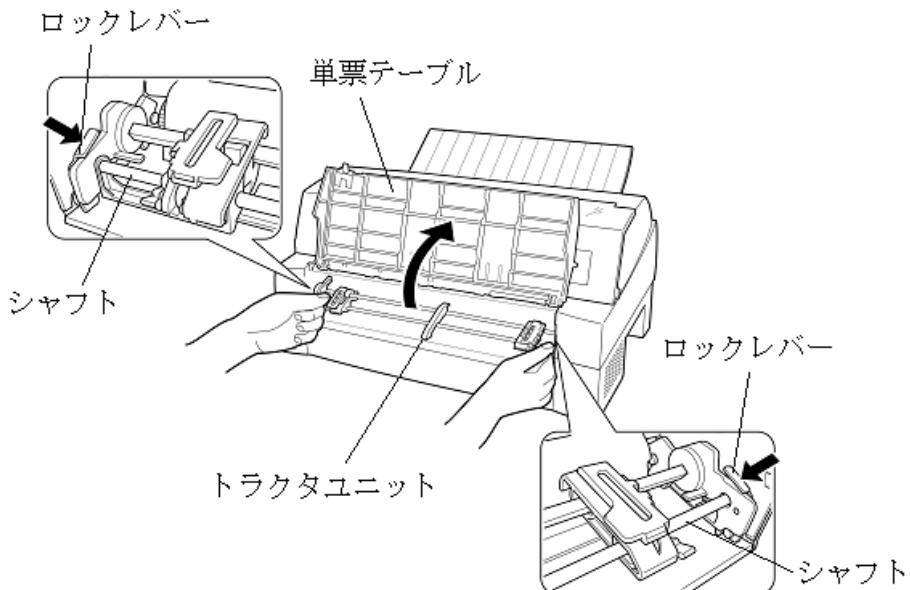
手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。用紙のカット方法は「連続帳票用紙をカット位置に送る」(78 ページ)を参照してください。

■ トランクタユニットの着脱について

◆ 前側のトランクタユニットの場合

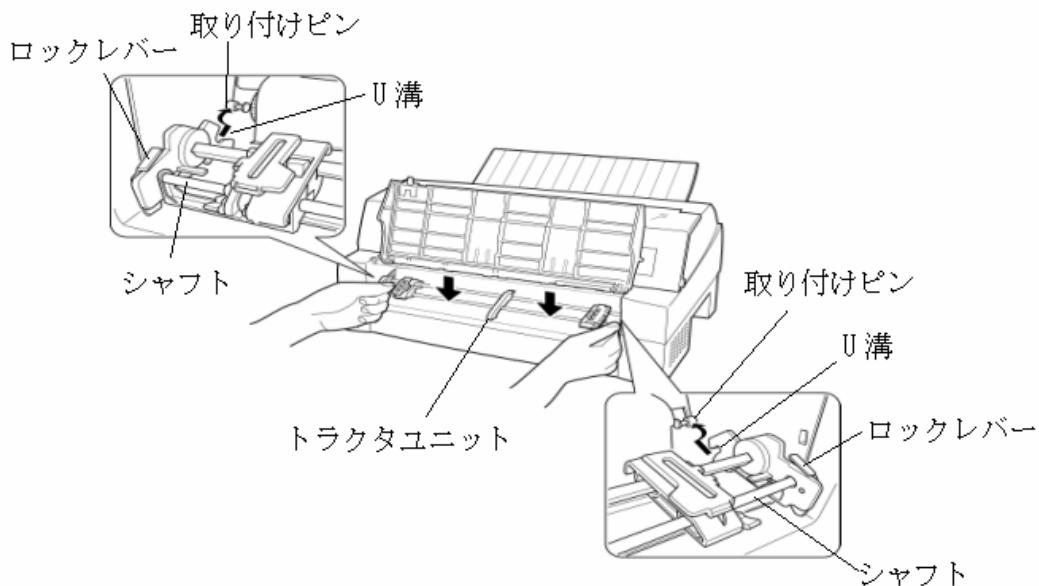
【取り外しかた】

単票テーブルを開きます。トランクタユニットの左右にあるトランクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トランクタユニットを上方に持ち上げて外します。

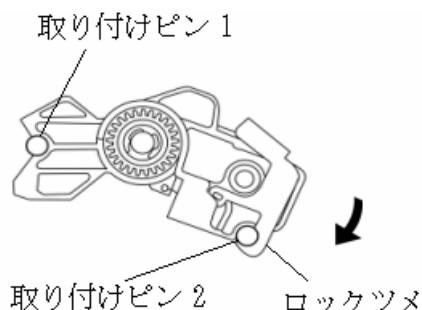


【取り付けかた】

- 1) トランクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
- 2) トランクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



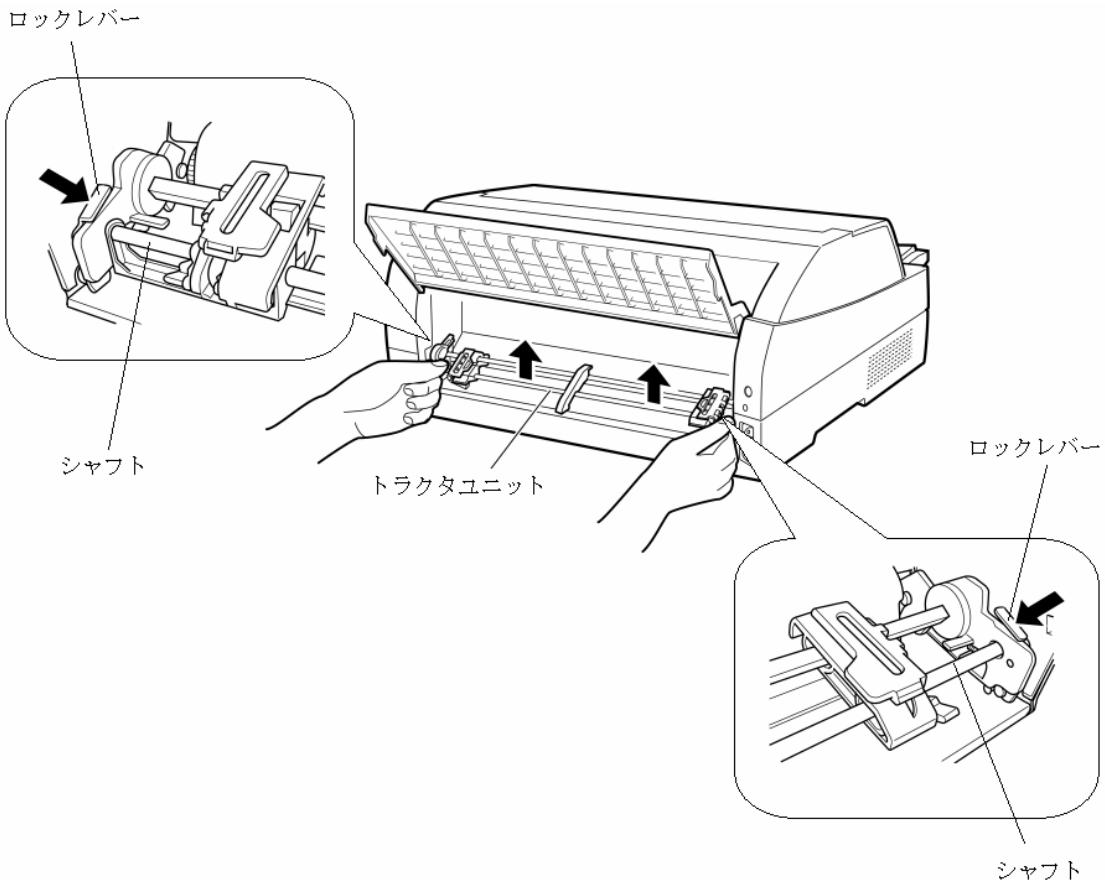
- 3) 下図のように取り付けピン2にトランクタユニットの左右のツメが、しっかりとかかっていることを確認してください。



◆ 後側のトラクタユニットの場合

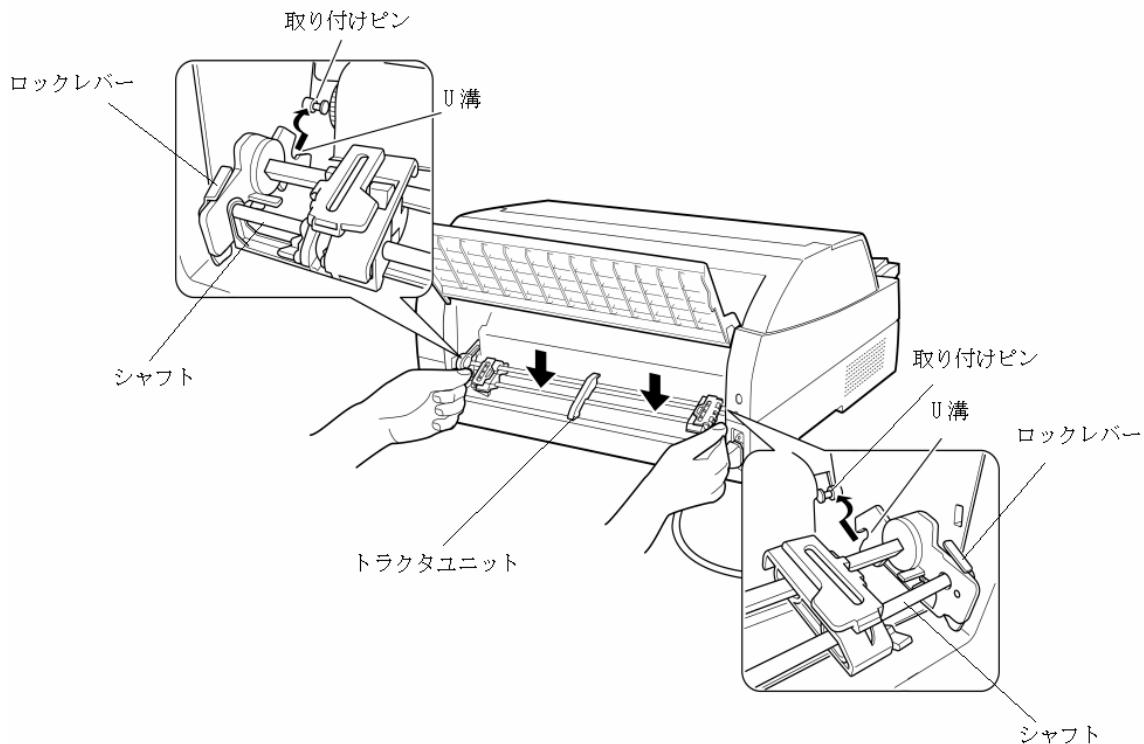
【取り外しかた】

トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げて外します。

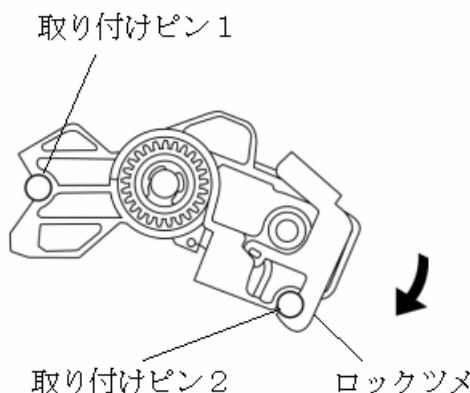


【取り付けかた】

- 1) トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
- 2) トランクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



- 3) 下図のように取り付けピン2にトランクタユニットの左右のロックツメが、しっかりとかかっていることを確認してください。





オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ カットシートフィーダ

品名	型名	内容
カットシート フィーダ	FMPR673CF1	単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。A4普通紙55kgでの用紙セット枚数は120枚です。

■ トラクタユニット

品名	型名	内容
トラクタ ユニット	FMPR-TU8	連続帳票用紙をセットする装置です。FMPR5310Eで、プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。

■ プリンタ LAN カード

品名	型名	内容
プリンタ LAN カード	FMPR-LN1	100BASE-TX/10BASE-T に対応したLANカードです。TCP/IPに対応しています。取り付け方法については、プリンタLANカード添付のオンラインマニュアルを参照してください。LANカード搭載時はパラレルインターフェースおよびUSBインターフェースとの同時接続はできません。

■ プリンタ LAN アダプタ (FMPR5610/5410 のみ)

品名	型名	内容
プリンタLAN アダプタ	FM-LNA1 10	100BASE-TX/10BASE-T に対応したLANアダプタです。NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare5 に対応しています。FMPR5310Eには対応していません。

注) FMPR5310E では使用できません。

■ プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

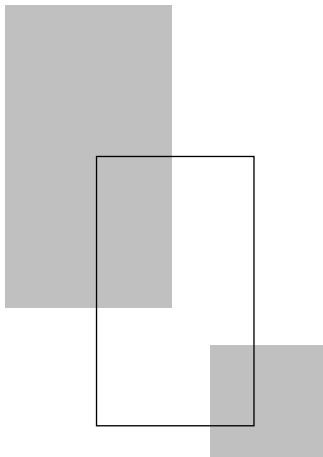
別売ケーブルは以下のものが用意されています。

◆ パラレルインターフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL2 L712	FMVシリーズ、各社AT互換機に接続できます。

◆ USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応していますが、本プリンタとの接続時はUSB1.1で動作します。



第 2 章

プリンタの機能と その使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸込量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能	37
液晶ディスプレイ	38
ランプ	39
スイッチ	39
操作パネルを操作する	40
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	40
オンライン状態で行う操作	41
用紙をカットする	41
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	41
印字モードを切り替える	42
高複写モードに切り替える	42
漢字の書体を切り替える	42
オフライン状態で行う操作	43
用紙の吸込や排出を行う	43
改行する	44
改ページを行う	44
給紙口を切り替える	45

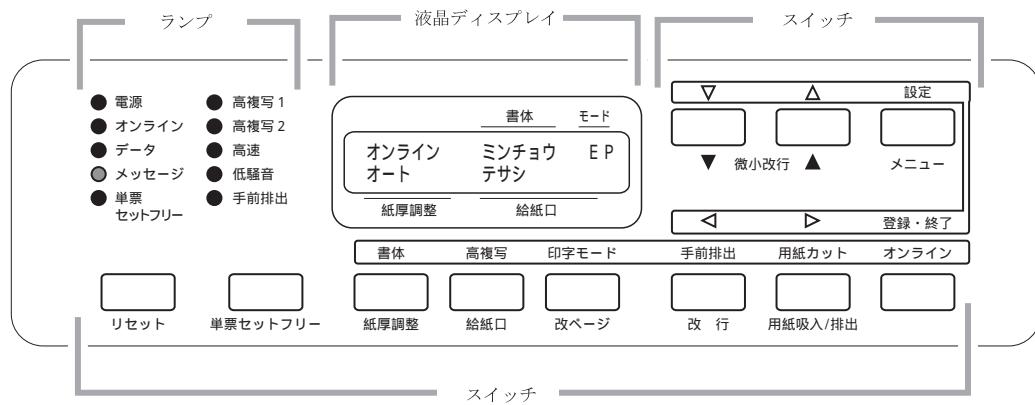
紙厚調整モードを切り替える	45
印字開始位置を微調整する	45
単票手差しの方法を切り替える	46
プリンタをリセットする	47
機能設定項目について	48
メニュー印刷	48
テスト印刷	48
装置機能設定	48
余白量設定	49
ESC/P 固有設定	49
補正機能	49
その他の設定	49
登録	49
保守モード	49
機能設定を変える	50
基本的な操作	50
選んだ項目に設定する操作	51
数値を設定する操作	52
途中で機能設定を抜ける操作	52
セットアップ項目一覧	53
機能設定の変えかた	53
行間ズレを直す	73
用紙吸入口量を調整する	76
連続帳票用紙をカット位置に送る	78
カット位置に送る	78
自動検出機能	80



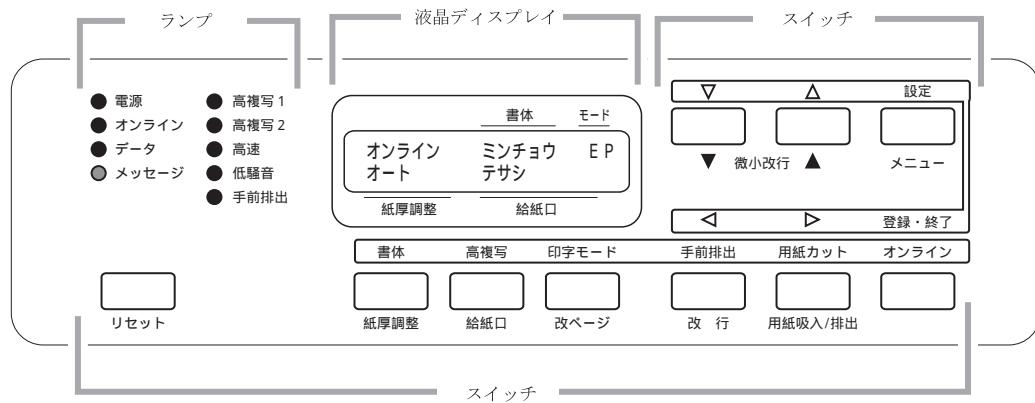
操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチ、プリンタの設定状態や障害発生時にその内容を表示する液晶ディスプレイが付いています。

FMPR5610/5410 操作パネル

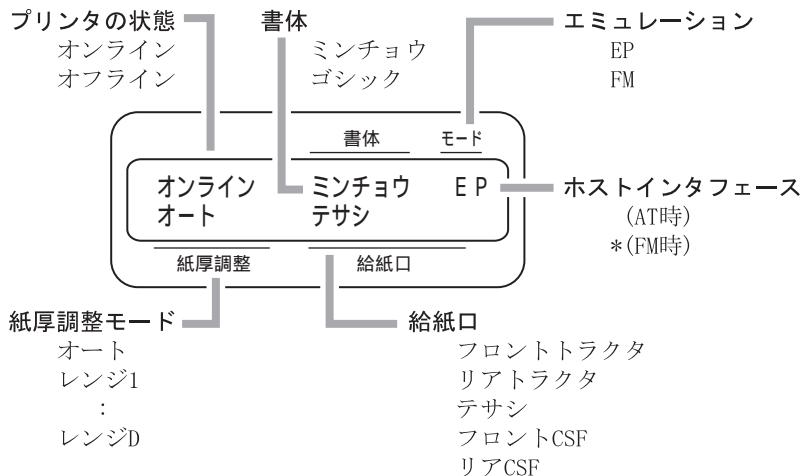


FMPR5310E 操作パネル



■ 液晶ディスプレイ

16 桁×2 行表示の液晶ディスプレイであり、プリンタの状態を表示します。



■ ランプ

各ランプの機能は下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源スイッチを入れる(()側に倒す)と点灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
データ	緑	プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。 点 灯: データが残っている 点 滅: データをパソコンから受信中 消 灯: データがない 点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。
メッセージ	橙	印刷できない状態にあることを知らせます。 点 灯: エラーが発生し、印刷できない状態 消 灯: 印刷できる状態
単票セットフリー	緑	単票セットフリー機能がオンの状態で点灯します。(FMPR5310Eにはありません。)
高複写1、2	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
高速	緑	高速印字モード(間引き印字)のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード(間引き印字)のときに点灯します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。

■ スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。

各スイッチを使用した機能については、次ページ以降を参照してください。



操作パネルを操作する

印刷をするときに用紙の給紙口を切り替えたり、強制的に改ページを行ったりするために操作パネルを操作します。



ガイド

プリンタのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。ただし、**▼微小改行▲**スイッチは操作できます。

印字ヘッドが動いているときに、トップカバーを開けた場合は、**▼微小改行▲**スイッチも操作できません。

■ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、操作パネルの**オンライン**スイッチによって切り替えます。

◆ オンライン状態

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。通常、電源を投入するとオンライン状態になり「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき(オフライン状態)に**オンライン**スイッチを押すと、オンライン状態になります。

◆ オフライン状態

パソコンからデータを受信できない状態をいいます。オンライン状態のときに**オンライン**スイッチを押すと、オフライン状態になります。



オンライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの上の名称で表記します。

■ 用紙をカットする

前/後トラクタ時に**用紙カット**スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。

(78 ページ参照)

再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。

単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。

■ 単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）

単票用紙の排出方向の切り替えを行います。

単票用紙の排出方向には、手前（テーブル側）と後方（スタッカ側）の2つがあります。

◆ 「手前排出」ランプ消灯時

手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。

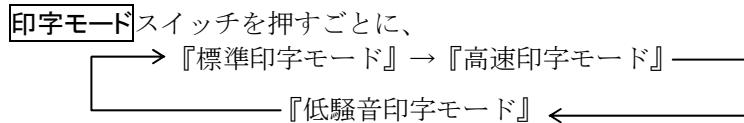
◆ 「手前排出」ランプ点灯時

手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。

排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダとも用紙繰り出し方向です。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「自動排出」設定の場合は、プリンタ側の排出方向設定が有効となります。

■ 印字モードを切り替える



の順に切り替わります。

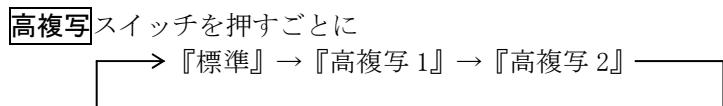
標準印字モード : 180dpi の解像度で印刷します。

高速印字モード : 間引き印字することにより、標準の 2 倍の速度 (高速ランプ点灯) で印字します。

低騒音印字モード : 高速印字モード (間引き印字) のパターンを標準 (低騒音ランプ点灯) 準印字速度で印字し、騒音を低減します。プリンタドライバからの高速印字、高品質 (標準印字) の指定は、低騒音印字モードが解除されると有効になります。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。プロパティが「プリンタ設定優先」の場合は、プリンタ側の印字モード設定が有効となります。

■ 高複写モードに切り替える



の順に切り替わります。

高複写モードのときは、「高複写 1」または「高複写 2」ランプが点灯します。

高複写 1 : 印字速度を若干落とし、印字圧を上げます。
(高複写 1 ランプ点灯)

高複写 2 : 印字速度を半分以下に落とし、フロント、リアのヘッドで同一ドットを二度打ちします。
(高複写 2 ランプ点灯)

■ 漢字の書体を切り替える

書体スイッチを押すごとに『ミンチョウ』と『ゴシック』が切り替えられます。

選択された書体が、液晶ディスプレイに表示されます。



オフライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの下の名称で表記します。

■ 用紙の吸入や排出を行う

◆ 前トラクタ／後トラクタセット時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙無し状態の場合 **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態の場合 **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

◆ 単票用紙セット（手差しモード）時

(給紙口を「テサシ」選択時)

機能設定の「ソリタリセッティ」（55ページ参照）で「オトローティング」を「ムカ」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態で **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

◆ 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時

(給紙口を「フロント CSF」または「リア CSF」選択時)

フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをビン1、ビン2に割り当てるかは、機能設定「ソリタリセッティ」の「CSF 1ビンセレクト」（67ページ参照）に従います。



ガイド

用紙後退中に途中で止まることがあります、故障ではありません。しばらくすると動きだします。

■ 改行する

改行スイッチを1回押すと、正改行(用紙繰り出し方向)動作を行います。

正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙(前トラクタ、単票、フロントカットシートフィーダ)と、プリンタ背面から吸入する用紙(後トラクタ、リアカットシートフィーダ)では、用紙繰り出し方向が異なります。

押し続けると、連続正改行動作となります。

(**改行**スイッチによる正改行の送り量は、1/6インチ固定です。)

■ 改ページを行う

改ページスイッチを押します。

◆ 前トラクタ/後トラクタ時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、機能設定「ESC/P ココウセッティ」で「レンショウページショウ」により設定されます。(初期設定 11インチ)(61ページ参照)。

印刷実行後はプリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、**リセット**スイッチによるリセット、リセットコマンド送出によるリセットを実行した場合は、機能設定「ESC/P ココウセッティ」の「レンショウページショウ」で設定したページ長になります。

◆ 単票用紙セット(手差しモード)時

(給紙口を「テサシ」選択時)

用紙を排出します。

(機能設定「ソノタセッティ」で「テサシウシ FF コード」を「ページオフ」(66ページ参照)にした場合はページ長分用紙を送ります)

◆ 単票用紙セット(カットシートフィーダ搭載)時

(給紙口を「フロント CSF」または「リア CSF」選択時)

フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをビン1、ビン2に割り当てるかは、機能設定「ソノタセッティ」の「CSF 1ビンセタク」(67ページ参照)に従います。

■ 紙口を切り替える

使用する給紙口を選択します。

給紙口スイッチを1回押すごとに、給紙口が、

→『フロントトラクタ』→『リアトラクタ』→『テサシ』→

『リア CSF』←『フロント CSF』←

の順に切り替わります。

選択された給紙口が、液晶ディスプレイに表示されます。

フロント CSF、リア CSF は、それぞれカットシートフィーダが搭載されているときのみ選択可能です。

フロント CSF 搭載時はフロントトラクタには切り替りません。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。

ただし、手差し口に用紙がセットされている状態で、プロパティ設定とプリンタ設定の給紙口が一致した場合は、手差し口から給紙します。

■ 紙厚調整モードを切り替える

紙厚調整スイッチを押すごとに、

→『オート』→『レンジ1』→………『レンジ9』→

『レンジD』←………『レンジA』←

の順に切り替わります。

選択されたモードが、液晶ディスプレイに表示されます。

「オート」に設定した場合は、プリンタドライバのプロパティでの用紙厚設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。

「オート」以外に設定した場合は、プリンタドライバのプロパティで設定した内容を無視するので設定されたレンジで印字します。

■ 印字開始位置を微調整する

▼微小改行▲スイッチを1回押すと、▼▲の方向に、1/180 ずつ微小改行を行います。

詳細は「第3章 用紙のセット」「印字開始位置について」(109ページ)を参照してください。



単票手差しの方法を切り替える————

単票手差しの方法を切り替えます。

単票セットフリースイッチを押すごとに単票セットフリーのオン、オフが切り替わります。



ガイド

FMPR5310E には**単票セットフリー**スイッチはありません。

◆ 単票セットフリーON時（単票セットフリーランプ消灯）

用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。

単票セットフリーONの場合のみ「ソウキノウ セッティ」の「オートローディング」の時間設定が有効となります。

◆ 単票セットフリーON時（単票セットフリーランプ点灯）

用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。「単票セットフリー」ランプが点灯します。印字開始位置は機能設定「ヨハクリヨウ セッティ」の「セットフリー ノ サテンヨハク」で設定した値になります（60ページ参照）。オートローディングが無効の場合（55ページ参照）は、**用紙吸入/排出**スイッチを押さないと用紙を吸入しません。



プリンタをリセットする

リセットすると未印刷データは消去されます。



ガイド

プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタを初期化すると、未印刷データは消去されます。

リセット後、動作モード表示(37 ページ参照)に EP、FM のいずれかが表示されていなときは、再度プリンタをリセットしてください。

1 **オンラインスイッチを押してオフライン状態にする**

2 **リセットスイッチを押す**

液晶ディスプレイに「ショキカ シマスカ ?Y:リセット N:オンライン」と表示されます。



ガイド

初期化しないときは、**オンライン**スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

3 **再度、リセットスイッチを押す**



機能設定項目について

プリンタの設定値は、メニュー mode で変更することができます。ここでは、メニュー mode で設定できる各項目について説明します。

設定を変更する手順については、「機能設定を変える」(50 ページ)を参照してください。

設定項目の詳細は、「セットアップ項目一覧」(53 ページ)を参照してください。

■ メニュー印刷

設定一覧の印刷を行います。

設定内容変更後、まだ設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、登録されている設定値を印刷します。

■ テスト印刷

テストパターンを選択し、印刷を行います。

テストパターンは、イメージモード、漢字モード、ANK モード、スキップモードから選択できます。

テスト印刷は、**登録・終了**スイッチを押して終了します。

■ 装置機能設定

装置機能を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- ・ホストインターフェース (FMPR5310E は「AT」のみ)
- ・エミュレーションモード (FMPR5310E は「ESC/P」のみ)
- ・印字モード
- ・用紙厚さ調整モード
- ・印字圧
- ・オートローディングの有効/無効、開始時間の設定
- ・単票セットフリー機能 (FMPR5610/5410 のみ)
- ・単票手差し用紙の排出方向
- ・CSF 用紙の排出方向
- ・単票用紙なし検出
- ・電源投入時の PE 検出制御
- ・漢字書体

- ・単票自動排出
- ・ブザー鳴動
- ・印字方向
- ・給紙口指定

■ 余白量設定

上下端または左端の余白量を設定します。

上端余白量は、いずれも用紙上端から1行目の文字上端までの値を指します。

■ ESC/P 固有設定

ESC/P 固有の書式設定を行います。

■ 補正機能

改行や上端余白の補正を行います。

■ その他の設定

メニュー印刷～補正機能以外の設定を行います。

■ 登録

設定内容に関する初期化、取り消し、書き込みを行います。

ESC/P 有効設定では、変更した設定内容の取り消しや、初期化(工場出荷状態に戻す)、変更内容の登録を行うことができます。

■ 保守モード

保守に必要な表示や設定、ROM 版数の表示やヘッド使用状況の表示、HEX ダンプ印刷などを行います。

保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的では使用しないでください。



機能設定を変える

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、メニュー mode で行います。

■ 基本的な操作

メニュー mode では、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

メニュー mode では、次のスイッチを使用します。

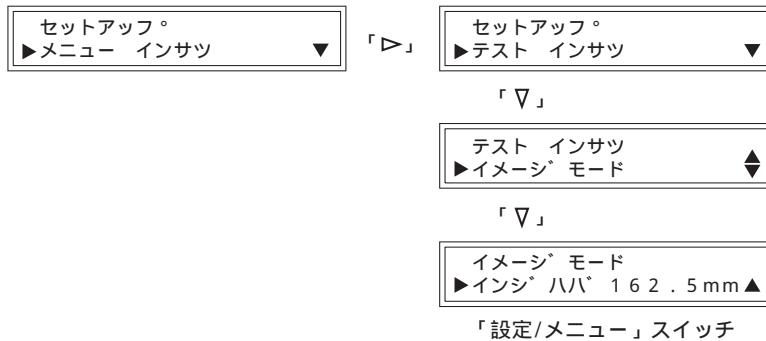
設定/メニュースイッチ オフライン状態で本スイッチを押すとメニュー mode になります。メニュー mode 移行後は、本スイッチを押すと表示中の値に設定します。

△または▽スイッチ レベルを移動します。

◁または▷スイッチ 同じレベル内で項目を切り替えます。

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



■ 選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。

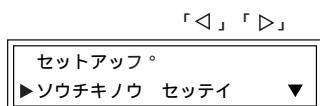
表示例は、ブザーの鳴動のオン/オフを設定するときのものです。

- 1 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニューモードにする

オンライン状態
「オンライン」スイッチ
オフライン状態
「設定/メニュー」スイッチ



- 2 ◇または▷スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える



- 3 ▽または△スイッチで、レベルを移動する

▽スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。△スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

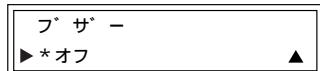
- 4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する



- 5 **設定/メニュー**スイッチを押して、値を確定する

設定/メニュースイッチを押すと、設定値の前に「*」が表示され、その値が設定されます。

「設定/メニュー」スイッチ



6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 メニュー mode の「トウロク」で「セッティトウロク」を実行し、設定内容を登録する

登録・終了スイッチを押した後、△スイッチを押すと、設定を登録します。▽スイッチを押すと、登録が取り消しになります。これを実行しないと、ここまで設定した内容は保存されません。

「登録・終了」スイッチ

: セッティトウロク
: セッティトリケシ

5 の操作後、**登録・終了**スイッチを押すと、メニュー mode の「トウロク」と同様に設定内容を登録できます。

注) 設定登録後、オンライン状態になっていない場合、**オンライン**スイッチを押してオンライン状態にします。

■ 数値を設定する操作

余白の設定や用紙吸込量の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

表示例は、F トラクタ給紙位置を設定するときのものです。

設定画面を表示し、▷スイッチで加算、◁スイッチで減算します。

設定画面を表示 「◁」「▷」「▽」「△」

F トラクタ キュウシイチ
▶ * - 1 . 0 mm

値を増減 「◁」「▷」

F トラクタ キュウシイチ
▶ + 1 . 0 mm

■ 途中で機能設定を抜ける操作

登録・終了スイッチを押します。

設定変更をしていない場合は、下の画面表示に戻ります。

「登録・終了」スイッチ

ヨウシ ナシ *****
ヨウシヲ セットシテクダ [®] サイ

*****は現在の給紙方法が表示されます。



セットアップ項目一覧

メニュー モードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の後の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

FMPR5610、FMPR5410、FMPR5310E で機能設定が可能な項目が異なります。

CSF とは、カットシートフィーダの略称です。

■ 機能設定の変えかた

レベル1	レベル2	設定内容	機能
メニュー インサツ	セッティノ インサツ	インサツチュウ	「セッティノ インサツ」を表示させて 設定/メニュー スイッチを押すと、設定内容の一覧を印刷します。変更した設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、登録されている設定値を印刷します。
テスト インサツ	イメージ モード	インジハバ 162.5mm	テストパターンと印字幅を選択して 設定/メニュー スイッチを押すと、テスト印刷します。 終了するときは 登録・終了 スイッチを押します。
		インジハバ 345.5mm	
	カンジ モード ミンチョウ	インジハバ 162.5mm	
		インジハバ 345.5mm	
	カンジ モード ゴシック	インジハバ 162.5mm	
		インジハバ 345.5mm	
	ANK モード ドラフト	インジハバ 162.5mm	
		インジハバ 345.5mm	
	ANK モード コウヒンイ	インジハバ 162.5mm	
		インジハバ 345.5mm	
	スキップ モード	インジハバ 162.5mm	
		インジハバ 345.5mm	

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソウチキノウ セッティ	ホストインターフェース	AT*	プリンタが接続されているホストインターフェースを設定します。 RSV1 は保守用の機能です。誤作動の原因となりますので設定しないでください。
		FM (注 1)	
		RSV1 (注 2)	
	エミュレーションモード	シドウシキベツ (注 1)	電源投入後のエミュレーションモードを設定します。 「シドウシキベツ」の場合、「ホストインターフェース」が「AT」の時は「ESC/P」になり、「FM」の時は「FM」になります。 RSV2、RSV3 は保守用の機能です。 誤作動の原因となりますので設定しないでください。
		RSV2 (注 2)	
		ESC/P*	
		FM (注 1)	
		RSV3 (注 2)	
	インジモード	ヒヨウジデュン*	印字モードを設定します。
		コウソク	
		テイソウカン	
	カミアツチヨウセイ	オート*	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。電源投入後は操作パネルより変更可能です。 <ul style="list-style-type: none">オートの場合、自動またはプリンタドライバのプロパティ設定に従います。オート以外の場合、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、指定した設定に従います。
		レシジョウ 1 : レシジョウ D	

注1) FMPR5610/5410 のみ表示されます。

注2) FMPR5310E のみ表示されます。

レベル1	レベル2	設定内容	機能		
リカバリセッティ	インジアツモード	ヒヨウジュン*	電源投入時の印字圧モードを設定します。		
		コウフクシャ1			
		コウフクシャ2			
	オートローディング (注1) (注2)	ムコウ	単票用紙に印刷するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。		
		0.5sec ゴカイシ			
		1.0sec ゴカイシ			
		1.5sec ゴカイシ*			
		2.0sec ゴカイシ			
		タンピョウセッtfリー(注3)		ユコウ*	電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効/無効を設定します。
		ムコウ			
テサンハイシュツホウコウ	テマエハイシュツ*	電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタドライバで設定することができます。			
	コウホウハイシュツ				
	CSFハイシュツホウコウ		テマエハイシュツ		
テサンPEケンシュツ	コウホウハイシュツ*	電源投入時にカットシートフィーダを搭載している場合の単票用紙の排出方向を設定します。また、プリンタドライバで設定することができます。			
	ケンシュツスル*				
	ケンシュツシナイ	手差しモードの単票用紙無しを検出する/しないを設定します。			

注1) 「エミュレーションモード」が「FM」モードで給紙口がカットシートフィーダの時は、オートローディングは無効です。

注2) 「タンピョウセッtfリー」が「ユコウ」に設定されている場合は、本設定での時間は無効です。

注3) FMPR5310E には本設定項目はありません。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
リウチキノウ セッティ	PE ケンチジ ノジ ヨウタイ (注 1)	オンライン* オフライン	PE(用紙無し)検知時の状態をオンラインとするかオフラインとするかを設定します。 「オンライン」の場合: 単票モードの時に印刷後、用紙無しを検出してもオンラインとします。
	カソジ ショタイ	シチョウ* ゴシック	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
	テサン ジド ウハイシユツ	ハイシユツスル* ハイシユツシナイ	手差し PE 検出が「ケンシユツスル」に設定されているとき、手差し PE 検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
	ブザー	オン* オフ	ブザー鳴動のオン/オフを設定します。オフを選択すると、一切鳴らなくなります。

注 1) 操作パネルで **用紙カット/用紙吸収/排出**スイッチおよび
手前排出/改行スイッチなどで用紙無しを検出した場合はオフラインとなります。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
リウチキノウ セッティ	インジ ホウコウ	リョウホウコウ* カタホウコウ	電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。両方向に設定されているときは、プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。片方向に設定されているときは、プリンタドライバの設定にかかわらず片方向印字となります。
	キュウシング チンテイ	ドライバ ユーザン* プリントユーザン	給紙口（用紙パス）の指定を、ドライバの指定またはプリンタ側の設定のどちらを優先するか設定します。
ヨハクリョウ セッティ	ジ ヨウタシヨハクシテイ	ドライバ ユーザン* プリントユーザン	「ドライバ ユーザン」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指定した上端余白量となります（前後トラクタ フィーダにおける用紙吸 入直後の印字は4.2mmとなります）。「プリントユーザン」にすると、本メニュー モードで設定されている上端余白量になります。

レベル1	レベル2	設定内容	機能	
ヨハグリヨウ セッティ	テサン FCSF ウエヨハク EP (注 1)	4. 2mm	ESC/P モード時の手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。	
		8. 5mm*		
		22. 0mm		
		リバタ (XX. Xmm) (注 2)		リバタ: 0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm
	RCSF ウエヨハク EP (注 1)	4. 2mm	ESC/P モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。	
		8. 5mm*		
		22. 0mm		
		リバタ (XX. Xmm) (注 2)		リバタ: 0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm
F トランク ウエヨハク EP (注 1)	4. 2mm	ESC/P モード時の前トランク用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。		
	8. 5mm*			
	22. 0mm			
	リバタ (XX. Xmm) (注 2)		リバタ: 0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm	
R トランク ウエヨハク EP (注 1)	4. 2mm	ESC/P モード時の後トランク用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。		
	8. 5mm*			
	22. 0mm			
	リバタ (XX. Xmm) (注 2)		リバタ: 0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm	

注 1) 「ショウタシヨハクシティ」の設定が「ドライバユウゼン」のときは、ドライバで設定した上端余白量となります。

(前後トランクフィーダにおける用紙吸入直後の印字は、上端余白量 4.2mm となります。)

注 2) 4.2mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ヨハグリヨウ セッティ	テサン FCSF ウエヨハク FM	4. 2mm	FM モード時の手差し口および前カットシートフィーダからの用紙を吸入後(前カットシートフィーダ)の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9. 1mm : はがき(横)印刷時 14. 3mm : はがき(縦)印刷時
		9. 1mm	
		14. 3mm	
		22. 0mm*	
		リリタ (XX. Xmm) (注 1)	リリタ: 0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm
	RCSF ウエヨハク FM	4. 2mm	FM モード時の後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 9. 1mm : はがき(横)印刷時 14. 3mm : はがき(縦)印刷時
		9. 1mm	
		14. 3mm	
		22. 0mm*	
		リリタ (XX. Xmm) (注 1)	リリタ:0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm
F ト ラ ク タ ウエヨハク FM	4. 2mm	22. 0mm*	FM モード時の前トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	リリタ (XX. Xmm) (注 1)	リリタ:0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm	
R ト ラ ク タ ウエヨハク FM	4. 2mm	22. 0mm*	FM モード時の後トラクタ用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	リリタ (XX. Xmm) (注 1)	リリタ:0. 0mm (0. 5mm 単位)～ 30. 0mm	

注 1) 4.2mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ヨハグリヨウ セッティ	F トラクタ カタンヨハク	4.2mm*	前トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
		101mm	
	R トラクタ カタンヨハク	4.2mm*	後トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。 ESC/P モード、FM モード共通。
		157mm	
	セットフリー ノ サタンヨハク (注1)	0.0mm : 5.1mm* : 45.2mm [約 0.3mm (1/90 インチ) 単位]	単票セットフリーオン時の左端余白量 (用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量) を設定します。
	タノヨウシ ノ サタンヨハク	ヒヨウジ ュン* ヒタリヨセ	単票セットフリー機能無効時の印字開始位置を設定します。 この設定は、すべての用紙に有効になります。 「ヒヨウジ ュン」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り(96 ページ参照)の位置となり、「ヒタリヨセ」の場合、12.7mm 左になります。

注1) 5.0mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。

FMPR5310E には本設定項目はありません。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ESC/P コンセッティ	LAN セッテイ	ユウコウ*	LAN 接続の設定は有効で固定です。本項目は、LAN カード（オプション）搭載時のみ表示されます。
	レンショウペーページショウ	11 インチ*	連帳用紙のページ長を設定します。
		12 インチ	前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
	レンショウミシンメスキップ	0 インチ*	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。
		1 インチ	前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザ定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
	オートティアオフ	ユウコウ	連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。
		ムコウ*	オートティアオフとは、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）ごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	ギョウカン	6LPI*	行間(改行ピッチ)の大きさを設定します。
		8LPI	
	ANK モジピッチ	10CPI*	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
		12CPI	
	ANK モジヒンイ	LQ*	ANK 文字の文字品位を設定します。
		ドラフト	

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ESC/P コンフィギュレーション	ANK シュクショウモジ	ヒヨウジ ユン*	ANK 文字の大きさを設定します。
		シュクショウ	
	ANK コードヒョウ	グラフィック コード	ANK コード表を設定します。
		カタカナ コード*	
	ANK ショタイ	クーリエ*	ANK 文字の書体を設定します。
		サンセリフ	
	ゼロフォント	スラッシュナシ*	ANK コードの0(ゼロ)の字体を「0」とするか「ø」とするかを設定します。 クーリエフォントに対してのみ有効となります。
		スラッシュアリ	
	コクサイモジ	ニッホン*	国際文字の出力種類を設定します。
		アメリカ	
CR コード	CR コード	CR*	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
		CR + LF	
		AFXT (注 1)	
	SLCT IN	ユウコウ*	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。
		ムコウ	
DC1/DC3	DC1/DC3	ユウコウ	DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
		ムコウ*	
	SLCT	HIGH コティ	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とするかを設定します。
紙供給		カヘン	
ジュンシバッファ (USB)	アリ*	受信バッファの有無を設定します。	
	ナシ		
テザシ カイギ ヨウホセイ	-1.0mm	手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)	
	-0.6mm		
	-0.3mm		
	0mm*		
	+0.3mm		
	+0.6mm		
	+1.0mm		

注 1) ハード信号の制御にしたがいます。

詳しくは、207 ページの *AUTO FEED XT を参照してください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ホセキノウ	FCSF カイギョウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
	RCSF カイギョウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後カットシートフィーダ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
	F トラ カイギョウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
	R トラ カイギョウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ホセキノウ	F トラ サイシュウページ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	前トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約100mm間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います)。
	R トラ サイシュウページ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm* +0.3mm +0.6mm +1.0mm	後トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約155mm間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います)。
	テサシ FCSF キュウシ仔	-1.0mm : 0mm* (0.1mm単位) : +1.0mm	手差し口および前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	RCSF キュウシ仔	-1.0mm : 0mm* (0.1mm単位) : +1.0mm	後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	F トラクタ キュウシ仔	-1.0mm : 0mm* (0.1mm単位) : +1.0mm	前トラクタ給紙後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	R トラクタ キュウシ仔	-1.0mm : 0mm* (0.1mm単位) : +1.0mm	後トラクタ給紙後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソリューション	Fパス キャリア 仔	ポジション1* ポジション2	単票手挿入、前トラクタ、前カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1 : 約 31 行目 ・ポジション2 : 約 42 行目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
	Rパス キャリア 仔	ポジション1* ポジション2	後トラクタ、後カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1 : 約 31 行目 ・ポジション2 : 約 42 行目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
	シャコウケンシユツ	ユウコウ* ムコウ	単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	セットフリーシャコウチ (注1) (注3)	0.5mm	手差し単票用紙を吸入するときに、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm*	
		1.5mm	
		2.0mm	
		2.5mm	
	テサシシャコウチ (注2)	0.5mm	単票セットフリーオフ時の手差し単票用紙を吸入する時に、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm*	
		1.5mm	
		2.0mm	
		2.5mm	
	テサシジトウオンライン	ユウコウ*	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		ムコウ	
	トラクタジトウオンライン	ユウコウ	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		ムコウ*	
	テサシヨウシノ FF コード	ハイシュツ*	単票用紙セット時(手差しモード時)のFFコードおよび
		ページオクリ	
	セットフリーウタンハイシュツ (注3)	ユウコウ*	改ページスイッチの処理方法を設定します。
		ムコウ	
	ヨウシガインジボウシ (注4)	ユウコウ*	単票セットフリーオンで手差し単票用紙を吸入した時に、用紙の右端が吸入可能範囲外であった場合に用紙を排出するかしないかを設定します。
		ムコウ	
	トラクタインジカットリヨウ (注5)	10.0mm	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
		14.0mm*	

注1) 「ソウチキノウ セッティ」の「タンピョウセッフリー」が「ユウコウ」(55 ページ参照)に設定されて、なおかつ「ソノタノセッティ」の「シャコウケンシュツ」が「ユウコウ」(65 ページ参照)に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注2) 「ソウチキノウ セッティ」の「タンピョウセッフリー」が「ムコウ」(55 ページ参照)に設定されて、なおかつ「ソノタノセッティ」の「シャコウケンシュツ」が「ユウコウ」(65 ページ参照)に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注3) FMPR5310E には本設定項目はありません。

注4) カットシートフィーダ使用時は、用紙外印字防止が有効の場合でも、114 枚を越える媒体(約 A4 横以上の単票)では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

注5) 連続帳票への左右の印字余白が 16mm 未満となる場合は「トラクタインジカットリヨウ」を 10mm に設定してください。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	カイギョウジヤムケンチ	ユウコウ* ムコウ	改行ジャム検知機能の有効/無効を設定します。 「ユウコウ」に設定してあると用紙の紙送り中に紙づまりが発生した場合、LCDに「カイギョウジヤムケンチ」のエラーメッセージが表示されます。 注)段差のある用紙を使用すると「カイギョウジヤムケンチ」エラーが発生することがあります。その場合は「ムコウ」に設定してご使用ください。
	CSF 1ビンセンタク	FCSF* RCSF	前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン1として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダがビン2となります。 本項目は、前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
リタノセッティ	CSF キュウシセイキ ^ヨ	ヒヨウジ ^{ュン} *	カットシートフィーダからの吸入方式を設定します。 「ヒヨウジ ^{ュン} 」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。 「スイッチバック」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。スイッチバックは、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦途中まで排出させた後に、もう一度吸入する方式です。「ヒヨウジ ^{ュン} 」に比べ、改行精度が向上します。
		スイッチバック	
	トラクタ キュウシセイキ ^ヨ	セイド ^{ュウセン} *	連帳用紙の吸入方式を設定します。 「セイド ^{ュウセン} 」は、用紙吸入時に用紙厚さ検出動作を行い、吸入された用紙の厚さに最適な用紙送り制御をします。ソクト ^{ュウセン} に比べ改行精度が向上します。 「ソクト ^{ュウセン} 」は、用紙厚さ検出をしないで直接印字開始位置まで用紙を吸入します。「セイド ^{ュウセン} 」に比べ用紙吸入時間が短縮されますが、「セイド ^{ュウセン} 」と比べ改行精度が悪くなります。
	ギャクカイギ ^{ヨウヨクセイ}	ソクト ^{ュウセン} ムコウ*	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	ヨウシカットオクリセイギョ	イッテイヨウ*	<p>用紙カットスイッチを押したときの、用紙の送りと戻し動作を設定します。本項目は、前トラクタモード、および後トラクタモード時のみ有効な制御です。</p> <p>「イッテイヨウ」の場合： 用紙カットスイッチを押すと1インチ用紙を送り出します。</p> <p>▼微小改行スイッチで上余白を変更したときは、用紙のミシン目とプリンタのカット位置は合わなくなります。もう一度用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻ります。</p> <p>用紙カットスイッチを押さないで（用紙を戻さないで）、印刷起動をした場合は、用紙を元の位置に戻してから印刷します。</p> <p>「カット仔アセ」の場合： ▼微小改行スイッチで上余白を変更しても、用紙のミシン目とプリンタのカット位置が合います（ただし、電源を切ると、カット位置が合わなくなります）。 もう一度、 用紙カットスイッチを押すと元の位置に戻ります。</p> <p>用紙カットスイッチを押さないで（用紙を戻さないで）、印刷起動をした場合は、用紙を元の位置に戻してから印刷します。</p>

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	リボン ホゴキノウ (注 1)	ユウコウ ムコウ*	連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
	CSF カミアツケンシユツ	マイカイ	紙厚調整が「オート」に設定されているとき、カットシートファイーダ給紙の印刷時に、用紙厚さ検出を毎ページ行うかどうかを設定します。
		ツウジヨウ*	
	ACK タイミング	コウリク ヒヨウジュン*	インタフェースの*ACKNLG 信号のパルス幅を設定します。
	BUSY-ACK タイミング	A-B	インタフェース信号の*ACKNLG と BUSY のタイミングを設定します。 「シドウシキハツ」の場合、「ホストインターフェース」が「AT」のときは「A-B-A」になり、「FM」のときは「B-A」になります。 RSV4、RSV5 は保守用の機能です。 誤作動の原因となりますので設定しないでください。
A-B-A*			
B-A(注 2)			
RSV4(注 3)			
ジドウシキハツ(注 2)			
RSV5(注 3)			

注 1) 「ソノタノセッティ」の「ヨウシガインジボウシ」が「ユウコウ」(66 ページ参照)と設定されている場合のみ、本設定が有効となります。

注2) FMPR5610/5410 のみ表示されます。

注3) FMPR5310E のみ表示されます。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
ソノタノセッティ	ヘッドコウカン ヒヨウジ	ユコウ*	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時にLCDに警告表示します。(印字ヘッドの消耗状態はFMPRリモートパネルの消耗品管理、「ホシュモード」の「ヘッドピングカソタ」、および設定一覧の印刷内容にパーセントで表示します。) 消耗状態によって警告表示は以下のようになります。 90%以上： 「ヘッドコウカンジュンビ」 100%以上： 「ヘッドコウカン」
	エラー カンシ キノウ (注1)	ユコウ*	FMPRステータスマニタでのプリンタエラーオンモードを有効とするか無効とするかを設定します。 ※LANアダプタを装着し、ネットワーク環境で使用する場合は、本設定を「ムコウ」に設定してください。
	スキップ インジ	ユコウ*	1行中の印字データ間に一定量の空白部分がある場合に、空白部分をスキップ(変速動作)するかどうかを設定します。ただし、空白の前後にある印字データの印字速度が異なる場合(LQ文字+空白+CQ文字等)は、本設定に関わらず、空白部分での変速動作を行います。

注1) FMPR5310Eには本設定項目はありません。

レベル1	レベル2	設定内容	機能
トウロク	セッティ トリケシ	セッティ	各設定項目の設定値を、変更前の設定に戻します。
	セッティ ショキカ	セッティ	各設定項目の設定値を、工場出荷時の設定に戻します。
	セッティ トウロク	セッティ	各設定項目の現在の設定値を記憶します。
ホシュモード	ROM ハンスウ		ファームウェアの版数を表示します。
	ヘッドヒンカウンタ		印字ヘッドの印字打数を、ヘッド寿命に対する割合(%)で表示します。
	HEX ダンプ インサツ	セッティ	HEX ダンプ印刷モードとなります。詳細は「HEX ダンプ印字をする」(174 ページ)を参照してください。



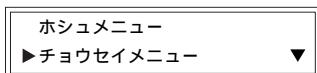
行間ズレを直す -

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。

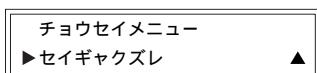
標準印字圧と高複写モードの 2 つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしてください。

注) FMPR5610 の場合、単票用紙を使用するときは、単票セットフリー機能をオフ(操作パネルの**単票セットフリー**スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯状態)にしてから用紙をセットしてください。

- 1 前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする
 - 2 **設定/メニュー**スイッチを押しながら電源を入れる
保守メニュー モードになります。
 - 3 調整メニューを表示させる

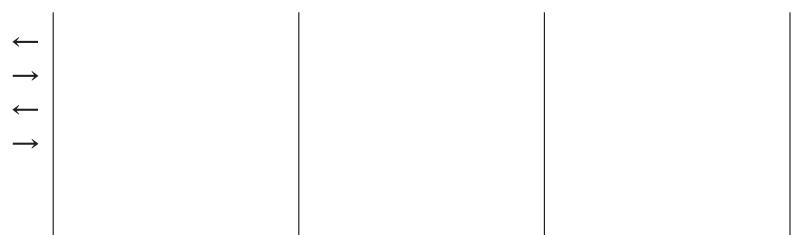


- 4 ▽スイッチを押して「セイギヤクズレ」を表示させる



- ## 5 設定/メニュー ボタンを押す

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印 (←と→) は、印字ヘッドの移動方向を示します。



6 調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

△スイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに1/900 インチずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

▽スイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに1/900 インチずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

7 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 6 の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に**印字モード/改ページ**スイッチを押します。

印字モード/改ページスイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

→ 高速印字モード→ドラフト印字モード→標準印字モード—
(高速ランプ点灯) (高速+オンラインランプ点灯)

注) 印字モードは印字ヘッドが行端位置にきたときに切り替わります。

印字モード/改ページスイッチを押したままにすると、1行印字後にその次の印字モードに切り替わってしまいます。印字モードが切り替わったら、すぐに**印字モード/改ページ**スイッチを離してください。

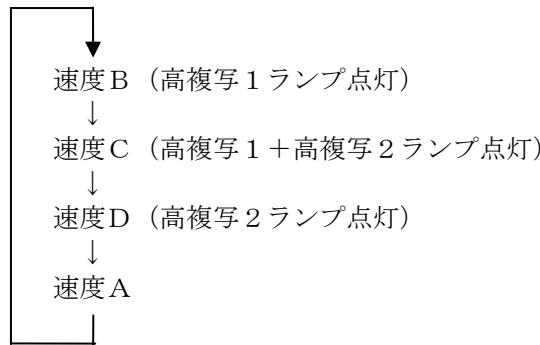
8 **高複写**スイッチを押して高複写モードにする

高複写モードは印字する用紙厚により基本となるA～Dの4つの印字速度があります。

用紙厚	複写モード		
	標準	高複写 1	高複写 2
レンジ1～3	A	B	D
レンジ4～	B	C	D

9 高複写モードでの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順6の調整を行う

高複写スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。



10 調整が終わったら登録・終了**スイッチを押す**

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、調整項目選択モードに戻ります。

注) **登録・終了**スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。



用紙吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。

用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1 用紙をセットする

2 オフライン状態で**設定／メニュー**スイッチを押す

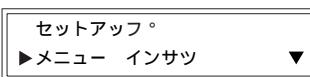
メニュー モードになります。

オンライン状態

「オンライン」スイッチ

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



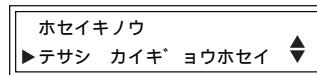
3 ◇または▷スイッチを押して、「ホセイキノウ」を表示させる

「◇」「▷」



4 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する

「▽」



5 ◇または▷スイッチを押して、次のいずれかのモードを選択する

- ・ テサシ FCSF キュウシイチ
- ・ RCSF キュウシイチ
- ・ F ト ラクタ キュウシイチ
- ・ R ト ラクタ キュウシイチ

6 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する

「テサシ FCSF キュウシイチ」を選択した場合の例で説明します

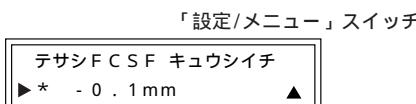
**7** ◇または▷スイッチを押して吸入位置を調整する

◇スイッチを1回押す毎に一側に0.1mmづつ変化します。

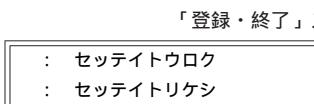
▷スイッチを1回押す毎に+側に0.1mmづつ変化します。

調整量は約±9mmまで可能です。

- ・前方から吸入された用紙に対して上端余白を大きくしたいときは、▷スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が小さくなります。
- ・前方から吸入された用紙に対して上端余白を小さくしたいときは、◇スイッチを押します。
後方から吸入された用紙に対しては、上端余白が大きくなります。
- ・用紙位置の補正は、単票(前カットシートフィーダも含む)、後カットシートフィーダ、前トラクタ、および後トラクタを各々独立して行うことができます。

8 調整が終わったら「設定/メニュー」スイッチを押す

設定値の先頭に「*」が表示されます。

9 「登録・終了」スイッチを押して設定した値を登録する

△スイッチを押すと、設定した内容で登録します。

これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

▽スイッチを押すと、設定した内容が取り消しになります。

調整した内容がプリンタに記憶され、オンライン状態になります。



連続帳票用紙をカット位置に送る —————

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

■ カット位置に送る

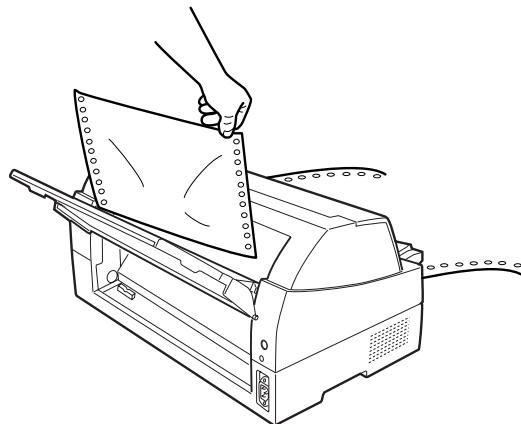
次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

1 オンライン状態で用紙カットスイッチを押す

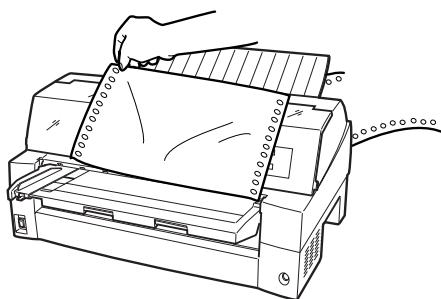
ミシン目が用紙カット位置まで送られます。

ESC/P モード時、機能設定の「ESC/P ユカセティ」で「オートカット」を「ユカ」に設定している場合は（「機能設定を変える」50 ページ参照）、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

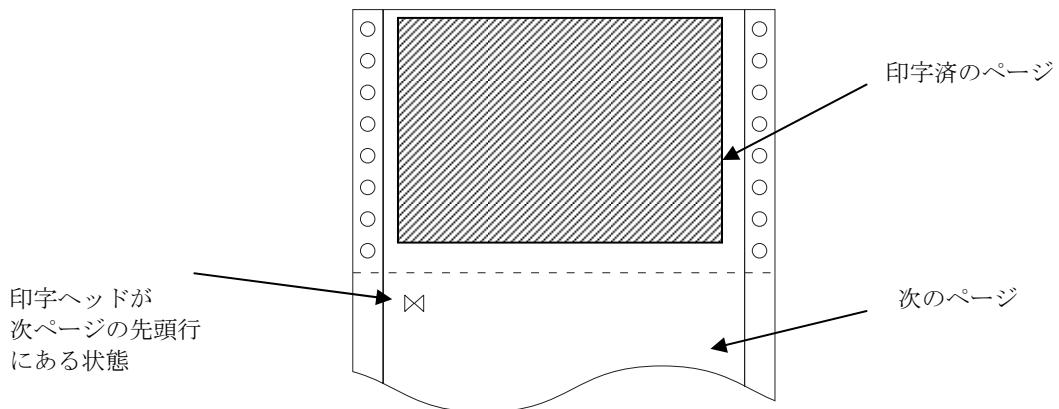
〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉



〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



注) ページ長設定が正しくないとき、および **▼微小改行▲**スイッチで用紙を移動させた場合は、カット位置が合わなくなります。

2 用紙を切り取る

3 もう一度、**用紙カット**を押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。



自動検出機能

このプリンタには、次の4つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「メッセージ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。液晶ディスプレイには「ヨウシ ナシ *****」と表示されています。

◆ 印字ヘッド昇温検出

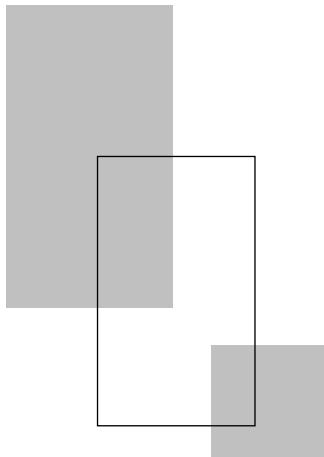
印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1行を2回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字(50%以上)を行うと、1行を2回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電源を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約5分間は電流が投入できません。数分後、電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター(179ページ参照)に相談してください。



第 3 章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

用紙をセットする	82
連続帳票用紙をセットする	
(前トラクタ給紙の場合)	82
連続帳票用紙をセットする	
(後トラクタ給紙の場合)	89
単票用紙をセットする	
(単票セットフリーオン時、 FMPR5610/5410 のみ)	94
単票用紙をセットする	
(FMPR5610/5410/5310E 共通)	98
単票用紙をセットする	
(カットシートフィーダを 取り付けた場合)	101
用紙厚を調整する	105
印字開始位置について	109
印字開始位置 (行方向) を微調整する	110
実力値について	111
印字位置精度について	111



用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。



ガイド

FMPR5610/5410 では、プリンタの前後にトラクタを搭載しており、同時に2種類の連続用紙をセットできます。

■ 連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

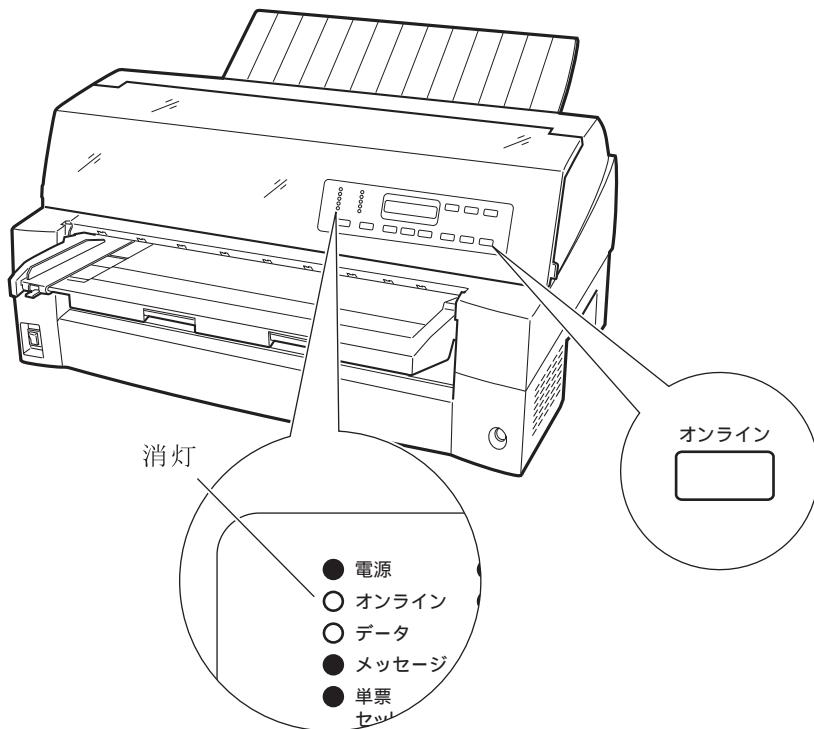
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



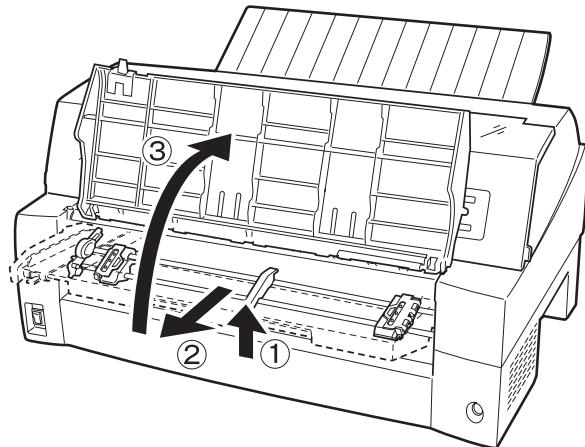
3 液晶ディスプレイに「フロントトラクタ」と表示されるまで **給紙口スイッチ**を押す

「前トラクタ」状態にします。

4 単票テーブルを開く

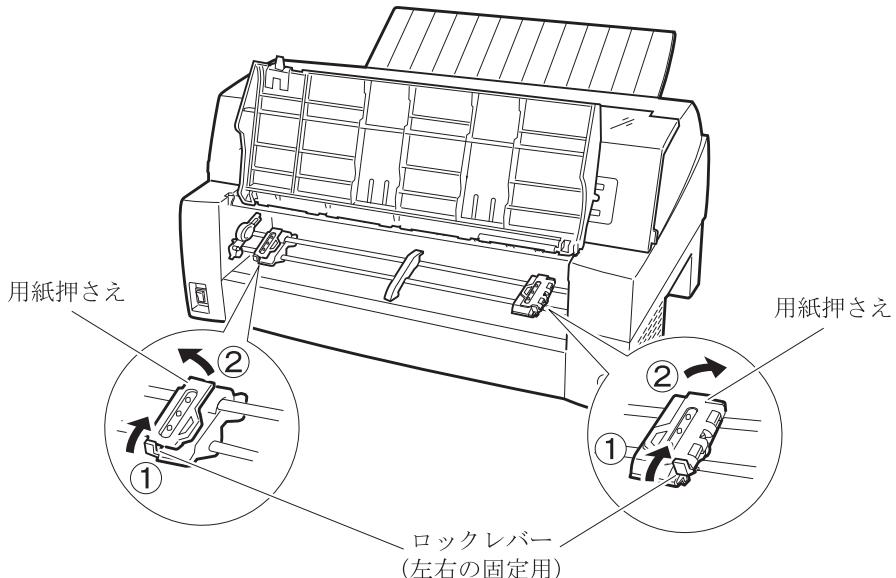
単票テーブルを開くと、単票検知センサに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「フロントトラクタ」に変更してから以下の操作を行ってください。

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



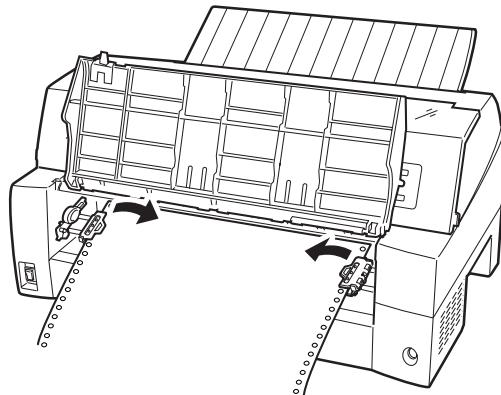
5 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



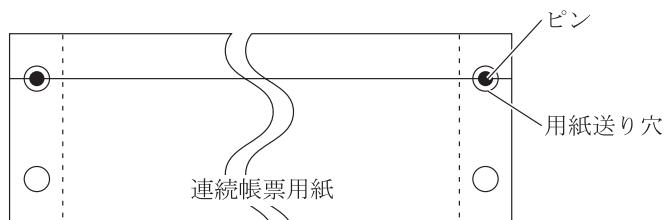
6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



お願い

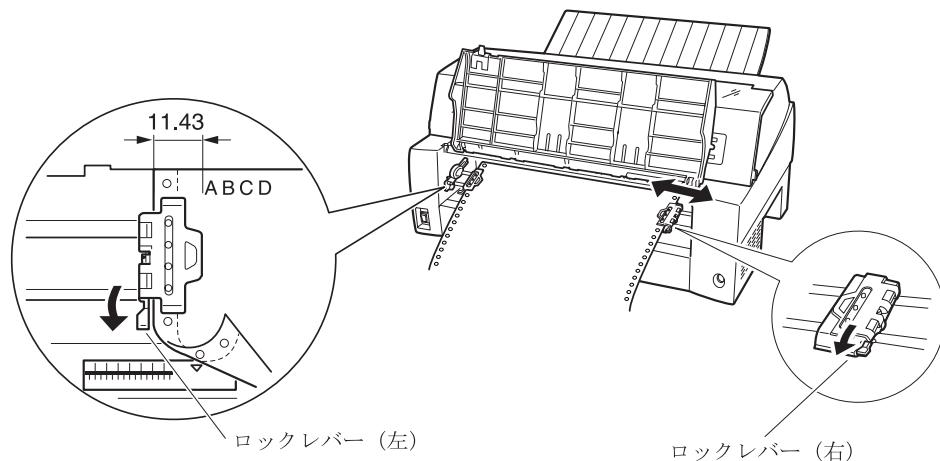
- 用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
 - 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
 - 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



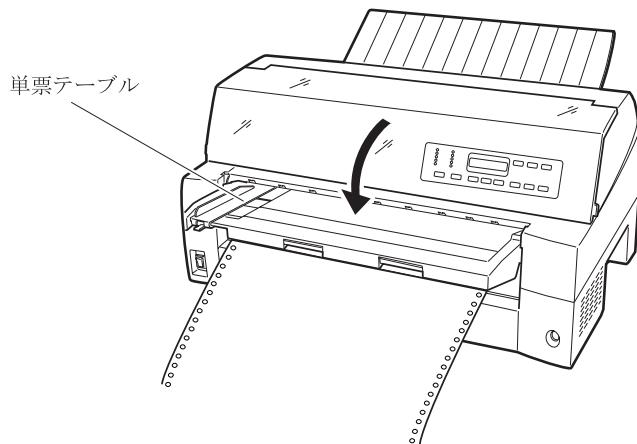
7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。

注） 左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の「トラクタインジカットリヨウ」を 10mm に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。



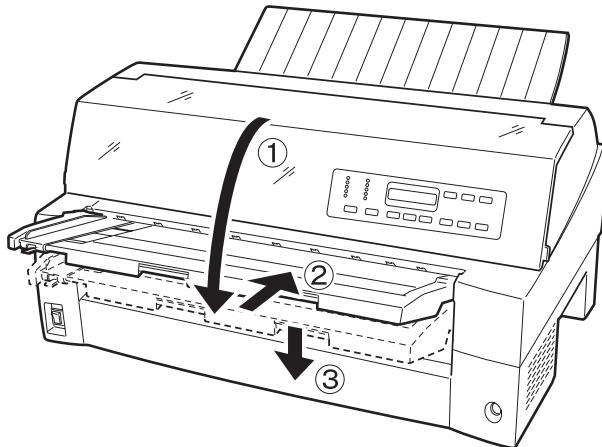
8 単票テーブルを倒す



お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

単票テーブルは下図のように回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②)閉じます(③)。



9 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸込/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」(109ページ)を参照してください。

お願い

- 用紙吸込時に用紙づまりが発生した場合、吸込動作失敗として操作パネルのメッセージランプ点灯および液晶ディスプレイに下記の表示がされます。

キュウシシ[®] ャム F ト ラクタ
ヨウシヨトリノゾ[®] イテクダサイ

用紙づまりが発生した場合は、145ページの「用紙づまりのとき」を参照してつまた用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。

- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸込させると、単票テーブルの用紙も同時に吸込してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

注) 用紙を排出するには、次の方法があります。

印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸込/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。

オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。



ガイド

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないで注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	用紙を置く位置が下図のようになれば正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

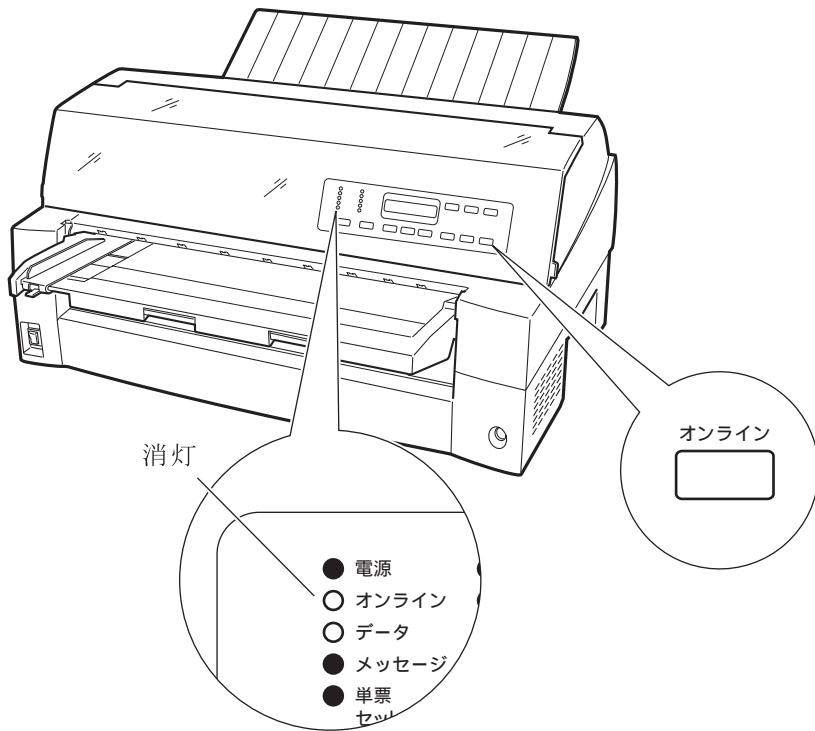
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

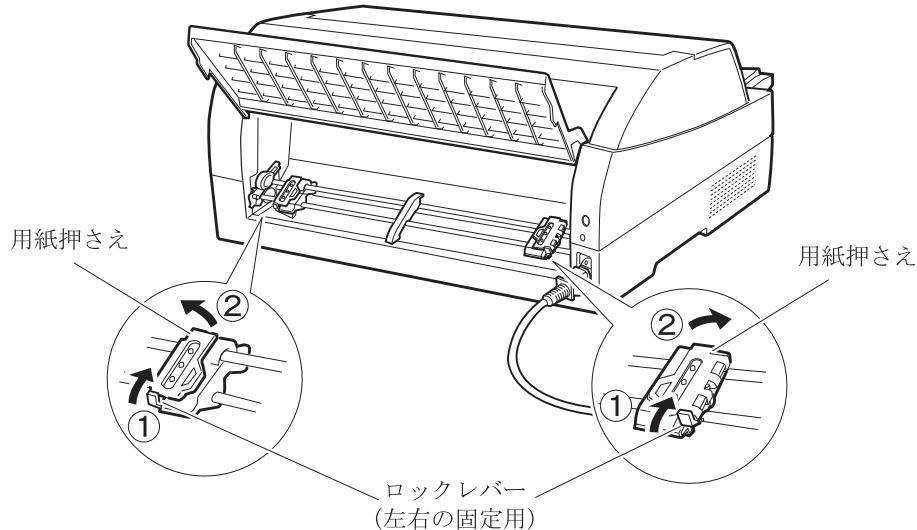


3 液晶ディスプレイに「リアトラクタ」と表示されるまで **給紙口スイッチ**を押す

「後トラクタ」状態にします。

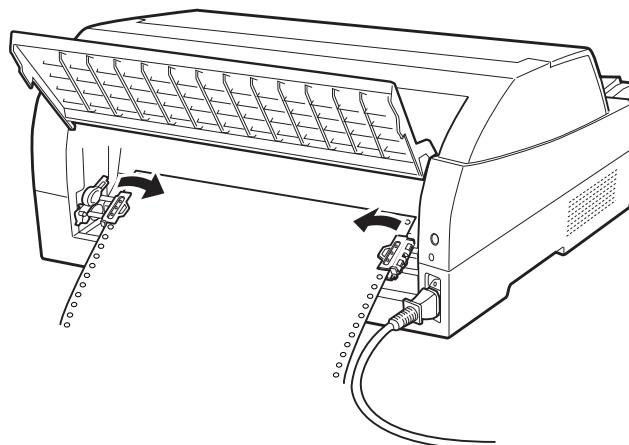
4 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開きます

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして(①) 用紙送りトラクタ左右のロックを外し、用紙押さえを開きます(②)。



5 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

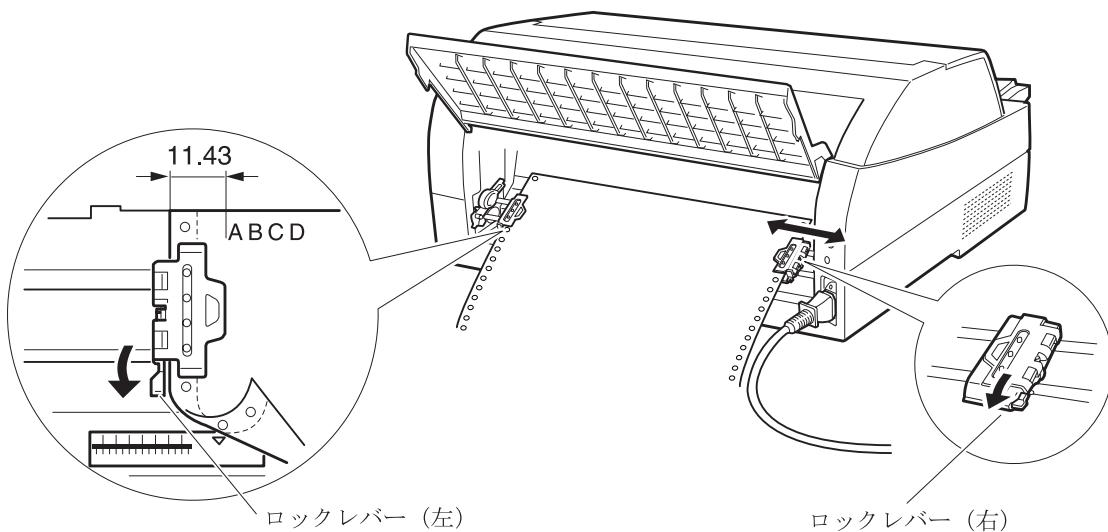
左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



6 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。

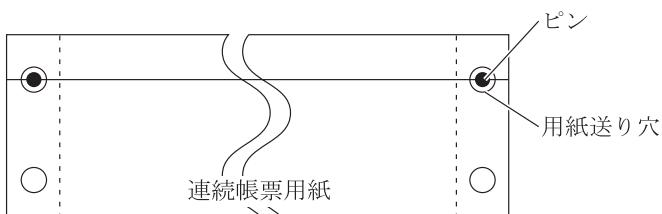
注） 左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の「トラクタインジカタリヨウ」を 10mm に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。



お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



7 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」（109ページ）を参照してください。

8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

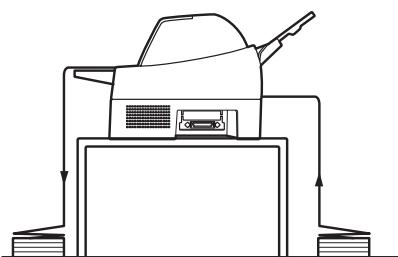
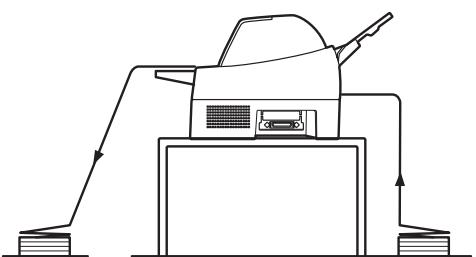
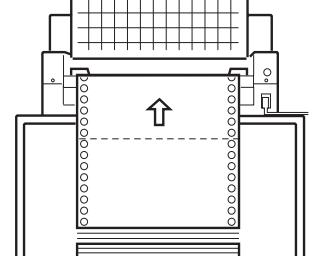
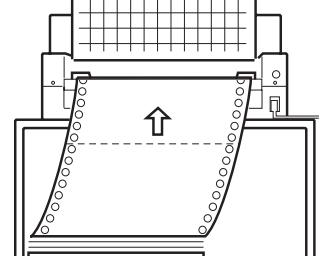
注) 用紙を排出するには、次の方法があります。

印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。（詳細については、「カット位置に送る」（78ページ）を参照してください。）

オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

◆ 後連續帳票用紙の置きかた

連續帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないで注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようにずれないと正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時、FMPR5610/5410のみ）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4です（詳細は「第4章 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（「単票用紙をセットする（FMPR5610/5410/5310E 共通）」98ページ参照）

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

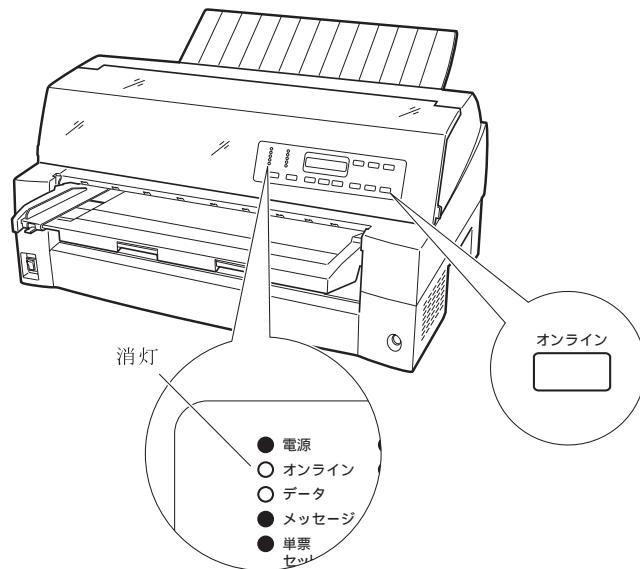
3 「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は**単票セットフリー**スイッチを1回押してください。

4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで**給紙口**スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



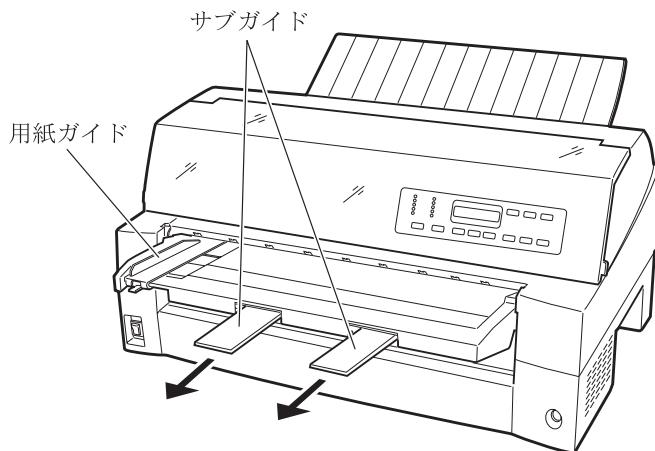
お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

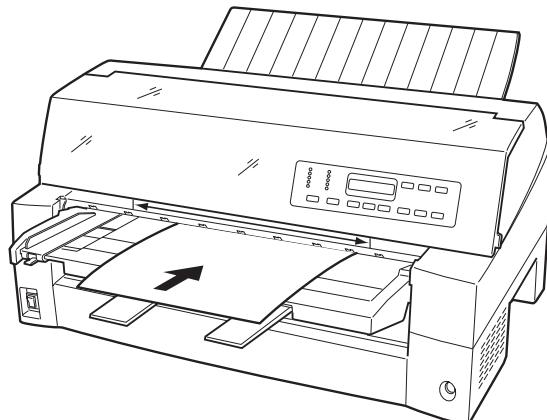
5 用紙ガイドをラベル←部の位置に合わせる

用紙セット範囲の目安になります。

用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブルの左端に突き当たるまで寄せてください。

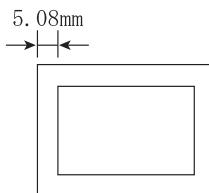
6 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す**7 用紙をセットする**

印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



- 注 1) サブガイドを引き出して使用する場合は、上図のように 2 つのサブガイドの上に用紙を乗せ、サブガイドの長い辺から用紙がはみ出さないようにセットしてください。サブガイドからはみ出した状態で用紙をセットすると、用紙の端がサブガイドに引っかかり、正しく吸入されない場合があります。
- 注 2) 「ソウチキノウ セッティ」(55 ページ参照)で「オートローティング」を「ムコウ」に設定している場合は、自動的に吸入されませんので、オフラインにしてから、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、「ヨハクリヨウ セッティ」(60 ページ参照)の左端余白量に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



- 注 3) 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

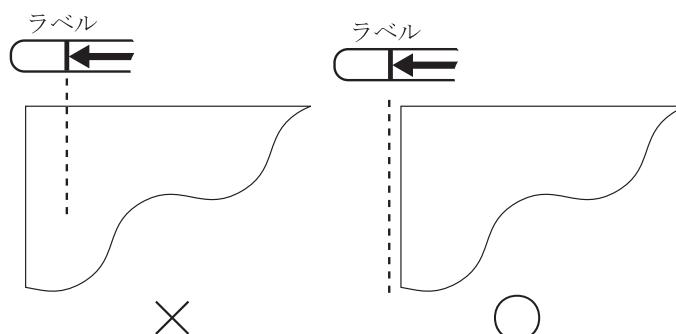
注) 「ソノタノセッティ」(66 ページ参照)で「テサシ シドウオンライン」を「ユコウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

◆ 用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル ← 部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の X で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。

用紙ガイドをラベル ← 部の位置に合わせておくと用紙セット範囲の目安になります。

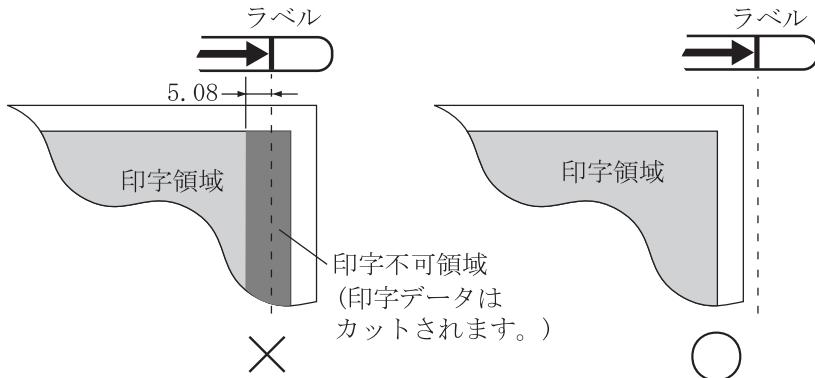
用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブル左端に突き当たるまで左に寄せてください。



注) プリンタのラベル ← 部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）付近に用紙をセットする場合、用紙ガイドと単票テーブルの隙間に用紙の先端がもぐり込む場合がありますので注意してください。

◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル→部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

- 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。
- 単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
 用紙幅 100mm 以上 (注)
 用紙長さ 70~364mm (はがき~B4 サイズ)
 詳細は「第4章 用紙について」を参照してください。
- 注) 用紙をセットできる範囲は368mmです。
 この範囲にセットできる用紙をお使いください。
- 東のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生するので、使用を避けてください。
 東とじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
- 単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を1枚ずつ手で切ってご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
 用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

■ 単票用紙をセットする (FMPR5610/5410/5310E 共通)

FMPR5610/5410 の単票セットフリー時、およびFMPR5310E の単票用紙のセットについて以下に示します。

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳用紙をセットしたままでもセットできます。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

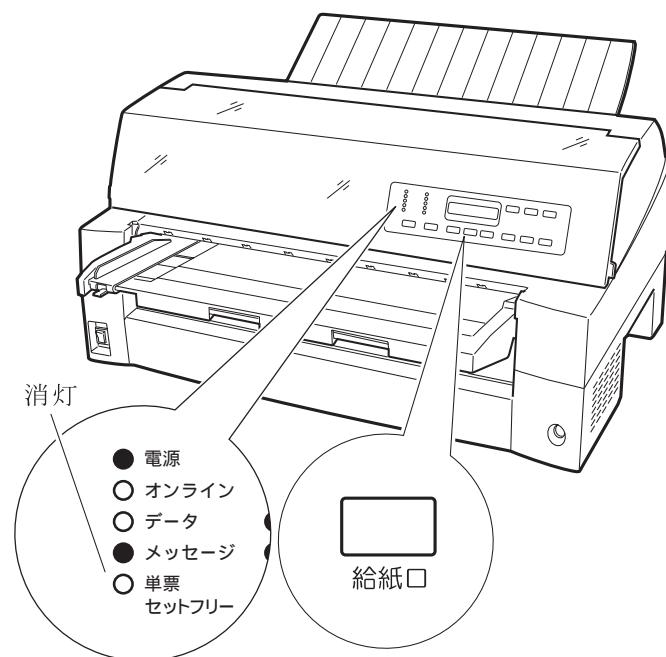
3 **単票セットフリー**スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる

FMPR5310E には「単票セットフリー」スイッチはありません。そのまま手順 4 に進んでください。

4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで**給紙口**スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



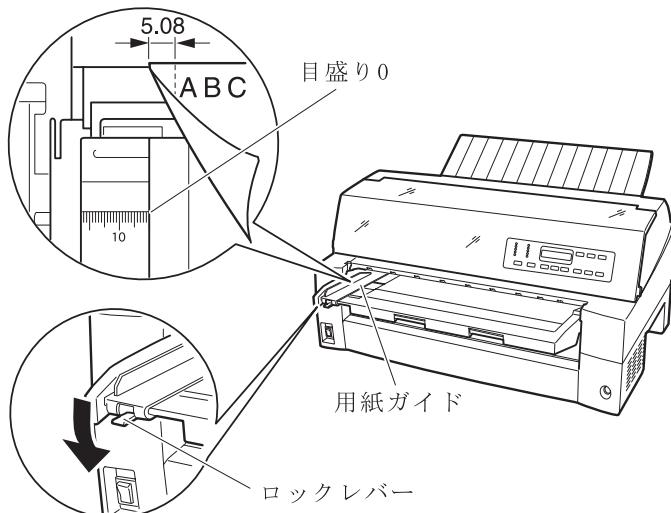
注) FMPR5310E には「単票セットフリー」ランプはありません。

お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

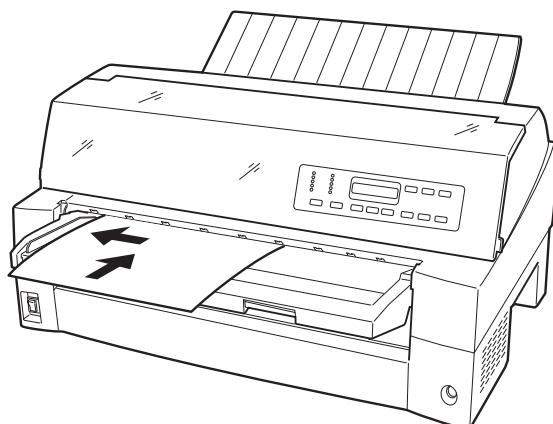
5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り 0 (mm) の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします(第1ドット目が用紙の左端より 5.08mm の位置に印字します)。

**6 単票用紙をセットする**

印字する面を上にし、単票用紙の左端を必ず用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。

用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



- 注 1) 「ソウチキノウ セッティ」(55 ページ参照)で「オートローティング」を「コウ」に設定している場合は、**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押して用紙をセットしてください。
- 注 2) 幅のせまい媒体(100mm 未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り 0(mm)の位置に合わせます。
- 注 3) 用紙ガイドは目盛り 0(mm)の位置より右側にしないでください。
- 注 4) A3 用紙の場合は、用紙ガイドを目盛り 28(mm)よりも左側へ移動して用紙をセットしてください。

7 **オンライン**スイッチを押し、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にしてパソコンから印字データを送ります。

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

- 注) 「ソノタノセッティ」(66 ページ参照)で「テサシ シトウオンライン」を「コウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

■ 単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

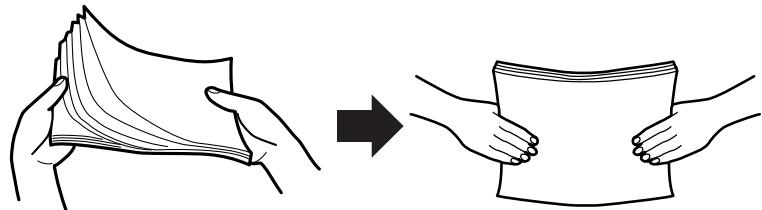
カットシートフィーダを取り付けた場合に用紙をセットする方法について説明します。

カットシートフィーダの取り付けについては、「カットシートフィーダを取り付ける」（187 ページ）を参照してください。

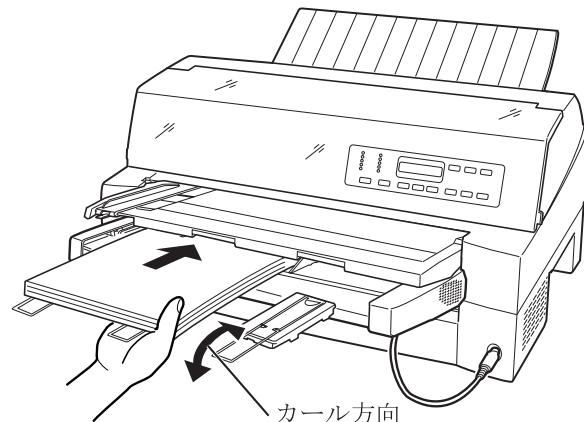


ガイド

- ・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



- ・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。（背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。）また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



ガイド

- ・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量（紙厚）などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

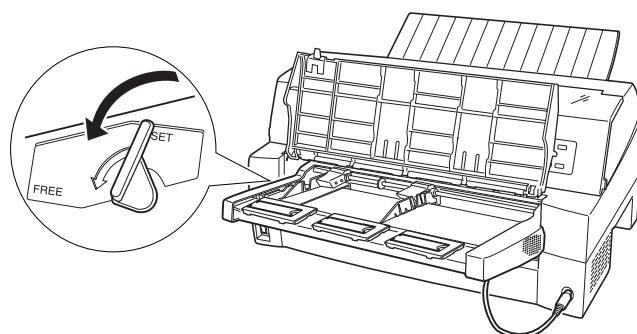
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

**3 液晶ディスプレイ上にカットシートフィーダが表示されるまで
給紙口スイッチを押す**

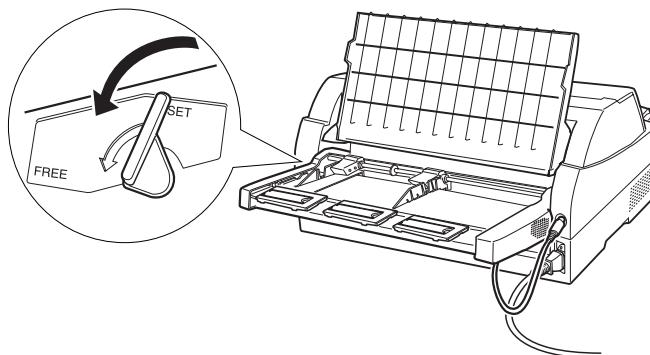
プリンタ前部に取り付けられている場合は、「フロント CSF」、プリンタ後部に取り付けられている場合は、「リア CSF」を選択します。

4 カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブル（16 ページ参照）を、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く**5 カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする**

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



6 用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

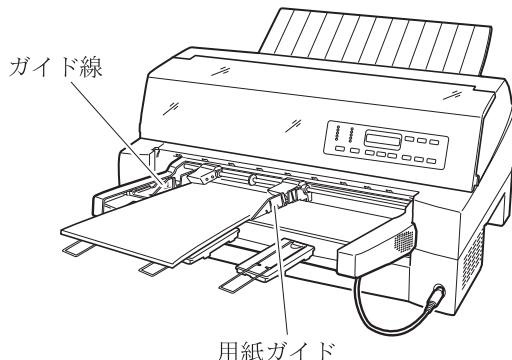
左側の用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置(最も内側)に寄せ
てご使用ください。

ガイド

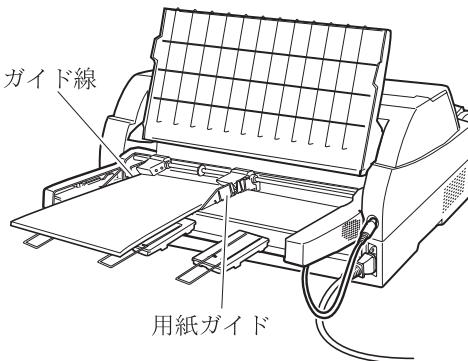
55kg 紙の場合、総枚数が 120 枚となります。

**7 長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンシ
ョンワイヤを展開する**
(「カットシートフィーダを取り付ける」187 ページ参照)**8 右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる**

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



ガイド

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

**9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、
単票テーブル、リアスタッカを元に戻す**

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

お願ひ

リアスタッカへ印字後の用紙をスタッカしすぎると用紙詰まりなどが発生します。スタッカ可能枚数は120枚（上紙55kg用紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。



用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合に、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

- 1) ドライバのプロパティで用紙厚を指定する。このとき、操作パネルの自動紙厚調整はオートのままにしておいてください。
- 2) 紙厚調整をオート以外に設定した場合、紙厚に関するドライバの設定は無視し紙厚調整の設定値に従います。

1 オフライン状態にして**設定/メニュー**スイッチを押す

メニュー モードになります。

2 ◇または▷スイッチを押して「ソウチキノウセッティ」を表示させる

3 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する

4 ◇または▷スイッチを押して「カミアツチヨウセイ」を表示させる

5 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する

6 ◇または▷スイッチを押してレンジ 1～Dを選択する

操作パネルから用紙厚を調整するときは、107 ページの表を参考にしてください。

操作パネルの紙厚調整のレンジが“1”的とき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“D”的とき最も広くなります。

7 [設定/メニュー]スイッチを押す

設定値の先頭に「*」が表示され、その値が設定されます。

8 [登録・終了]スイッチを押し設定登録メニューを表示させる

:	セッティトウロク
:	セッティトリケシ

9 △スイッチを押して設定を登録する

△スイッチを押すと、設定した内容で登録します。

これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

▽スイッチを押すと、設定した内容が取り消しになります。

用紙の種類と厚さ			レンジ												
1枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量 45 ~70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○												
連量 70~ 110kg	一般的な 2P	0.13		○											
連量 110 ~135kg	一般的な 3P	0.18			○										
ハガキ 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23				○									
	一般的な 5P	0.28					○								
	一般的な 6P	0.33						○							
	一般的な 7P	0.38							○						
	一般的な 8P	0.43								○					
	一般的な 9P	0.48									○				
	各種宅配伝 票 (ゆうパッ クなど)	0.53										○			
		0.58											○		
		0.63												○	
		0.68													○

注) FMPR5310E では複写紙の最大枚数は 8P(高複写モード 1 の場合)となります。

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動紙厚調整レンジをセットしてください。

手動紙厚調整は数字 1~9、英字 A~D の 13 段階あり、操作パネルによりレンジ 1 から 1 レンジ増す毎に約 0.05mm 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として 1~2 の設定で 1 枚、1 レンジ増すごとに用紙 1 枚分間隔が広くなります。使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるよう手動紙厚調整レンジを設定してください。

使用する用紙に対して、手動紙厚調整レンジが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が広すぎるとき 印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が狭すぎるとき

- 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- リボンによって用紙が汚れることがあります。
- 用紙の送りが悪くなることがあります。
- キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

- ・紙厚調整がオートのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。
- ・紙厚調整が手動のとき
操作パネルでの設定後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。

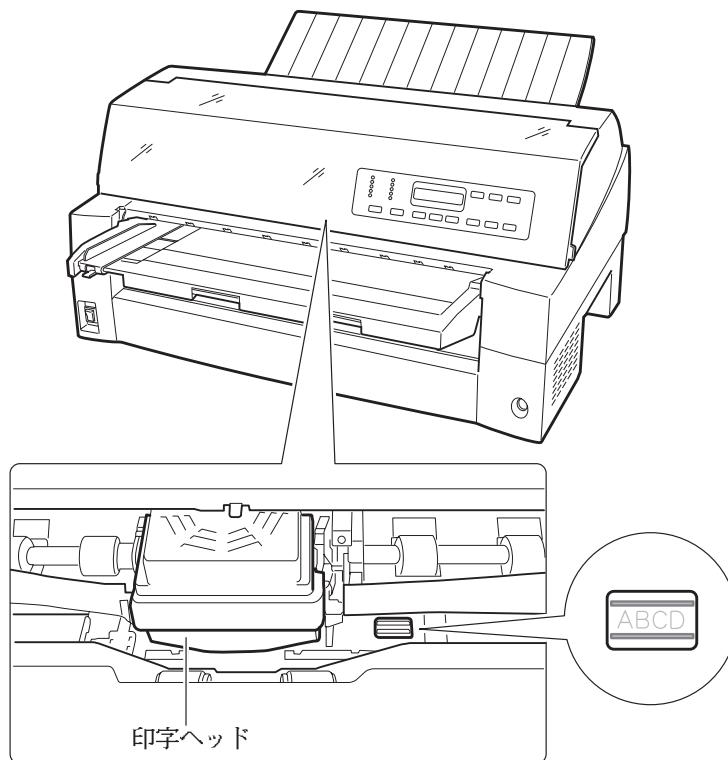


印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

注) 用紙セット直後は Windows ドライバの上端余白に対応するため、上端余白が最小値となる位置に仮吸込されます。最初に**微小改行▲**スイッチ、**微小改行▼**スイッチ、または**改行**スイッチを押したとき、機能設定で設定した上端余白量に移動した後、スイッチ操作分用紙を移動します。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



■ 印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンタが動作しないので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

微小改行▲スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、正方向に1/180インチ改行します。

押し続けると連続して正改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

微小改行▼スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、逆方向に1/180インチ改行します。

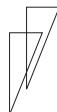
押し続けると連続して逆改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、正改行となります。



ガイド

連続帳票用紙の印字開始位置を**微小改行▲**スイッチまたは**微小改行▼**スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、「連続帳票用紙をカット位置に送る」(78ページ参照)でも、用紙を送り出す際に、変更した分が加減されます。さらに、カット位置に用紙を送り出した状態で、**▼微小改行▲**スイッチを押した場合は、その位置から印字が開始されます。



実力値について

本装置の能力を最大に引き出してご使用いただくために、本装置の実力値を充分理解したうえでご使用ください。

印字位置精度は、媒体、環境により影響を受けます。推奨媒体を常温常湿の環境で使用した場合に、以下の各項目に示す範囲で印刷されるように設計されています。以下に示す数値はあくまでも参考値であり保証するものではありません。

■ 印字位置精度について

推奨媒体（連帳帳票）、常温常湿、印字保証領域において弊社測定値は以下のとおりです。（この数値は参考値であり保証値ではありません）

(1) 吸入斜行

連帳（推奨紙：1P、55kg、 上質）	±0.5mm/345mm（印字の傾き）
カット紙（推奨紙：A4）	±0.8mm/345mm（印字の傾き）

(2) 累積斜行（頁内）

連帳（推奨紙：1P、55kg、 上質）	±0.5mm/345mm（印字の傾き）
------------------------	---------------------

(3) 累積改行（頁越え）

連帳（推奨紙：1P、55kg、 上質）	±0.6mm（吸入後、1文字目を基準 とした用紙送り方向の印字位置）
------------------------	---------------------------------------



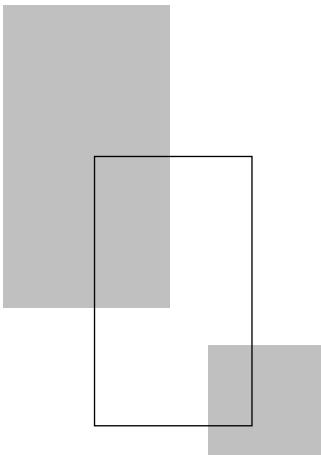
ガイド

- ・紙厚（複写枚数）が厚くなるほど、実力値は低下します。
- ・帳票印刷の運用に際しては印刷確認の上ご使用ください。
- ・印字位置に関する以下の項目については調整が可能です。用紙の種類や長期稼動などこれが生じたときは調整してください。

上端余白(用紙吸入)：「用紙吸入量を調整する」（76 ページ）を参照してください。

累積改行：「機能設定を変える」の「**ヘッキノウ**」-「**ヘカキヨウヘイ**」（62 ページ）、「**ヘキノウ**」-「**Fトカキヨウヘイ**」、「**Rトカキヨウヘイ**」（63 ページ）を参照してください。

行間ズレ(両方向)：「行間ズレを直す」（73 ページ）を参照してください。



第 4 章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

連続帳票用紙	114
一般用紙（前・後トラクタ）	118
はがき用紙（前トラクタ）	119
封筒用紙（前・後トラクタ）	120
タック用紙（前・後トラクタ）	122
宅配伝票（前トラクタ）	124
手差しで使用する単票用紙	125
一般用紙	125
用紙のとじ方法	127
はがき	127
封筒	128
宅配伝票	130
カットシートフィーダ（オプション）で	
使用する単票用紙	131
一般用紙	131
用紙のとじ方法	133
はがき	133
プレプリント用紙を使用するとき	134
とじ穴の開けかた	137
用紙の形状について	138
取り扱い上のご注意	139

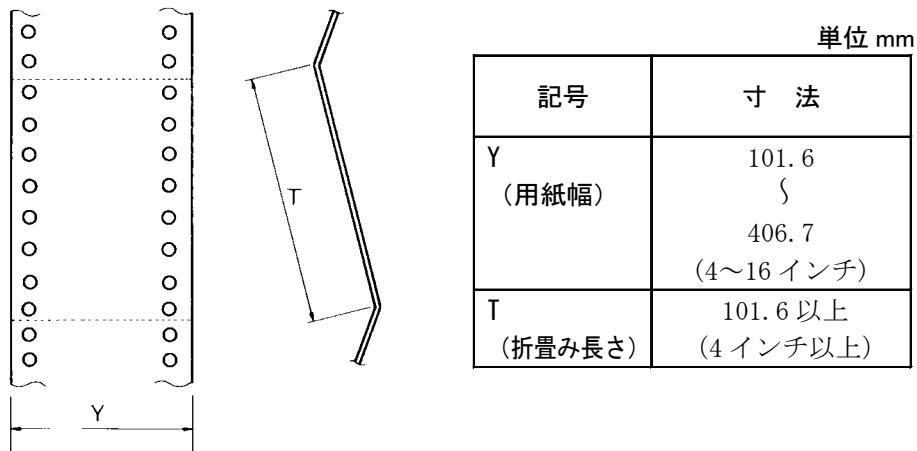


連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組合せは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70	
ノンカーボン紙	2P	34, 43, 55, (70)	() 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	
	9P	34, (43, 55)	

注) FMPR5310E では最大枚数は 8P(高複写モード 1 の場合)になります。

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
裏 カーボン紙	2P	34, 45, 55, (70)	
	3P	34, 45, (55, 70)	
	4P	34, (45, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
	9P	34, (45, 55)	
	2P	30, 40, 45, (55, 70)	
中 カーボン紙	3P	30, 40, (45, 55)	
	4P	30, 40, (45, 55)	
	5P	30, 40, (45, 55)	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。
(「はがき用紙（前トラクタ）」119 ページ参照)

注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。
なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 5P までです。
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。
不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5) 全体の用紙厚さは、0.65mm 以下にしてください。

注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

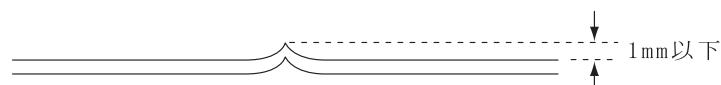
◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法		適用する用紙枚数	備考
点のりとじ		9枚まで	本プリンタに最も適したとじ方です。
ダブルギヤザー		9枚まで	用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列	9枚まで	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。
	二列		

注 1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。



注 3) プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとでは使用しないでください。

注 4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

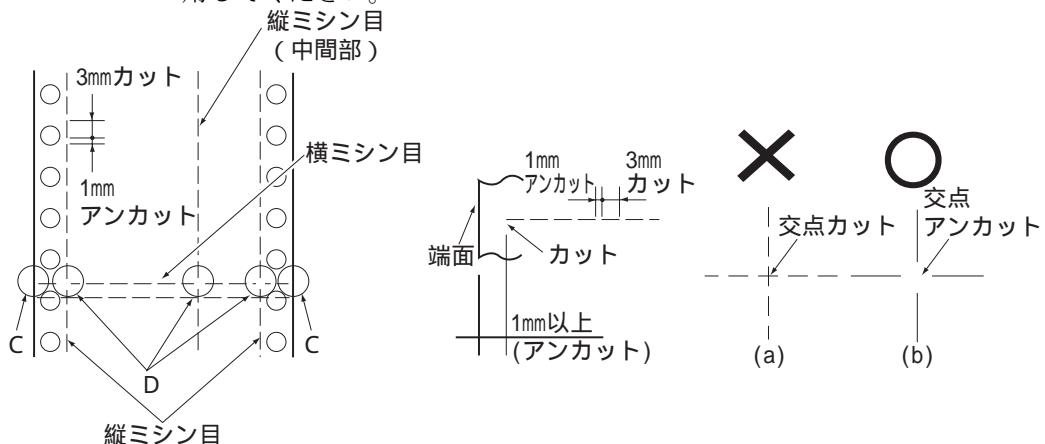
注 5) 用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定「ソノセッティ」の「リボン ホゴキノウ」を「ユウコウ」にしてください。

◆ ミシン目の入れ方

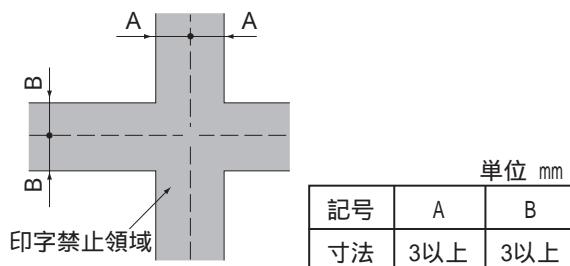
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- ・1枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約3:1にしてください。
- ・横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部C）は、1mm以上にしてください。
- ・縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- ・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

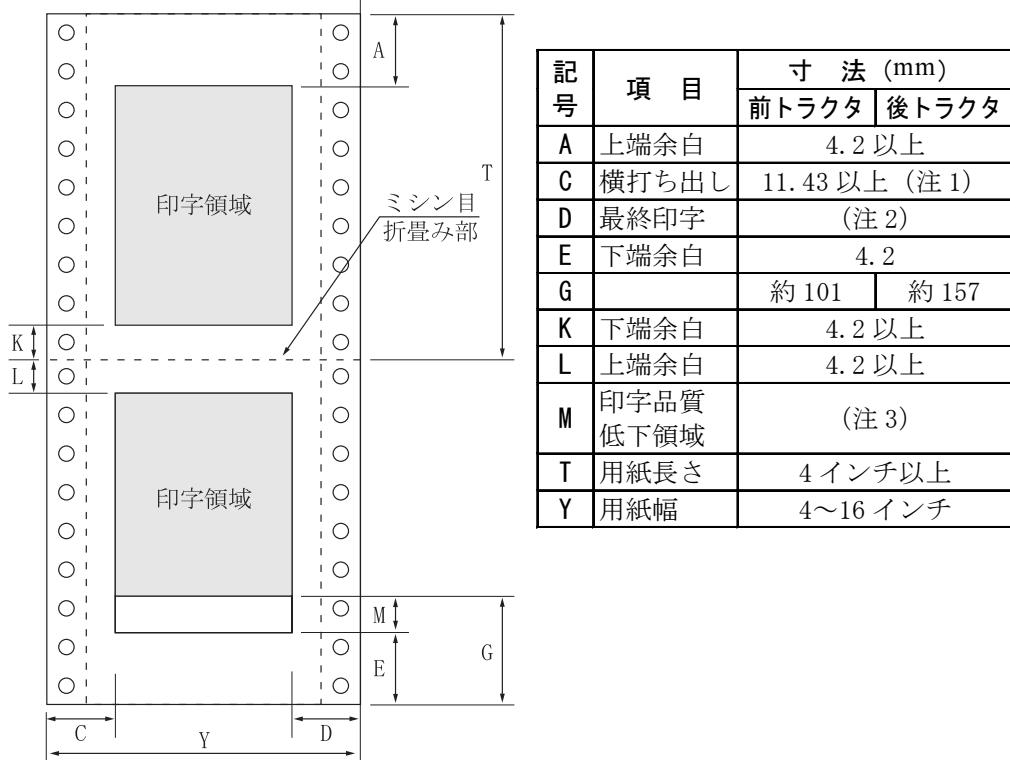


■ 一般用紙（前・後トラクタ）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆ 用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



注 1) C 値は用紙幅 15 インチ以下の場合は、16 インチの場合は、14~30mm となります。

注 2) D 値については用紙幅と印字行数によりますが、最小 11.43mm とします。

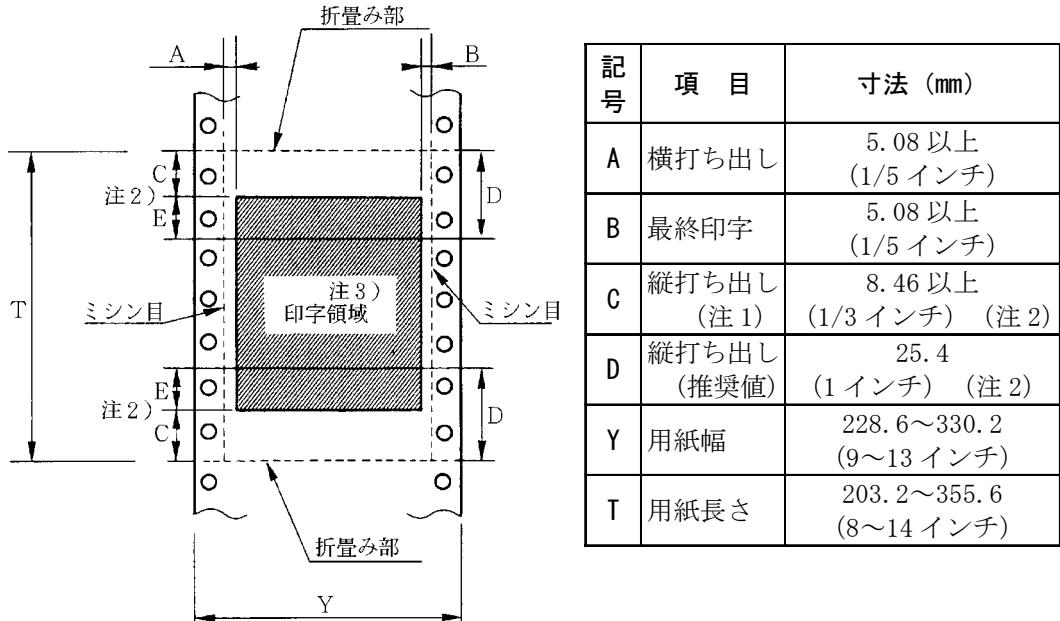
注3) M の領域はトラクタから外れた領域です。トラクタから外れた後の改行がうまくいかない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置(前トラクタ約 101mm、後トラクタ約 157mm)で PE を検知するように設定変更してください。機能設定「ヨハクリヨウ セッティ」の「F トラクタ カタンヨハク」、「R トラクタ カタンヨハク」でそれぞれ変更できます。

注4) 左右の印字余白(C,D)が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の「トラクタインジカットヨウ」を 10mm に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。

■ はがき用紙（前トラクタ）

このプリンタで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズおよび印字領域



- 注 1) C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)
- 注 2) E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。
- 注 3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

◆ 連量紙

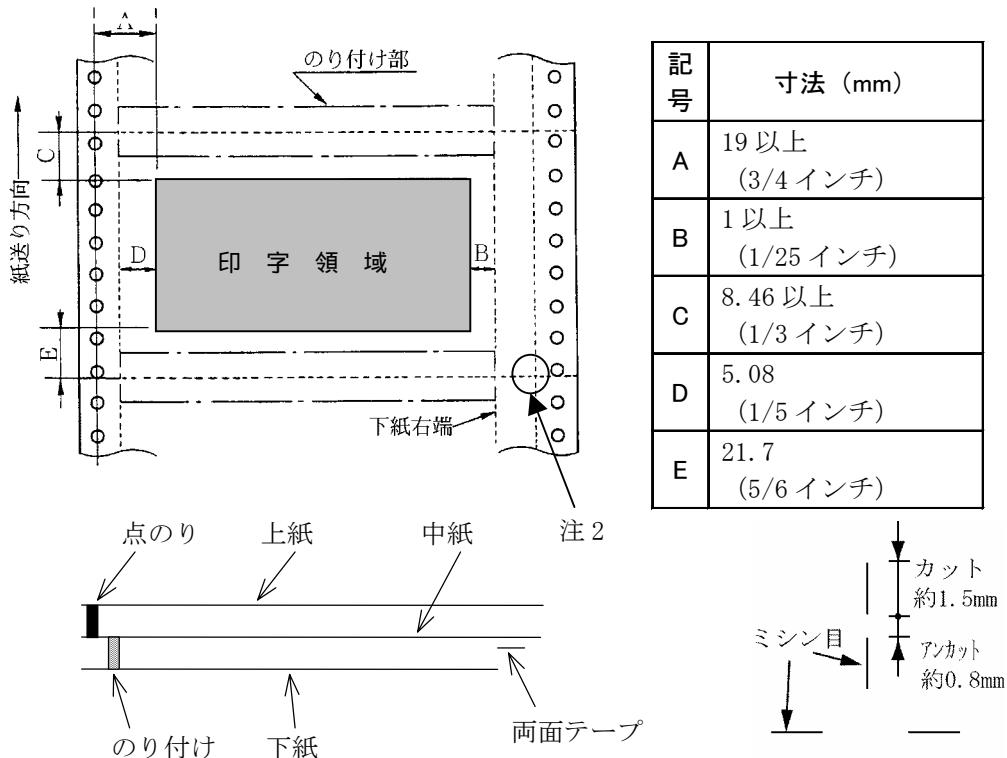
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

■ 封筒用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2) ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。

(ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)

縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アンカットの方法にしてください。
(「ミシン目の入れ方」117 ページ参照)

注 3) のり付けの幅は、1/6 インチ以下とします。

注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

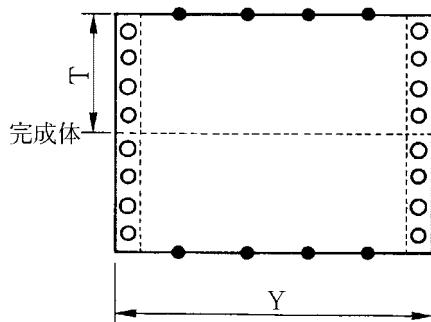
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

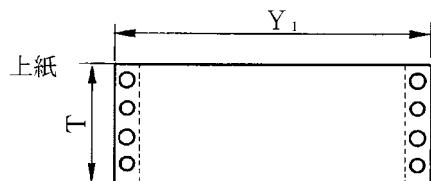
◆ 形状および構造

----- : ミシン目
—●— : ミシン目 + 折り目



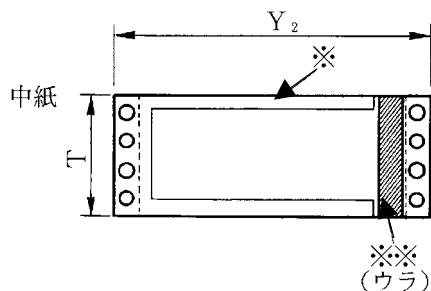
(a) 大きさ

記号	寸法 (mm)
T	127 (5 インチ)
Y	254 (10 インチ)
Y1	254 (10 インチ)
Y2	254 (10 インチ)
Y3	228.6 (9 インチ)



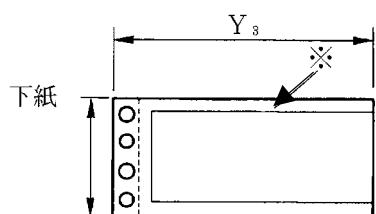
(b) とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6 インチ幅 (※印)



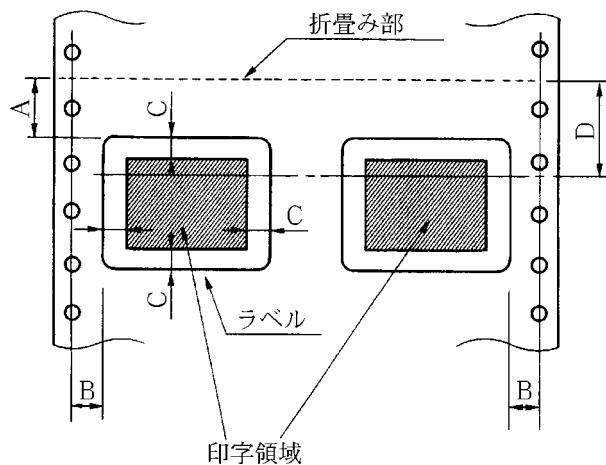
両面テープ使用 (※※印)

銘柄	アスコットテープ	
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



■ タック用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	2.54 以上 (1/10 インチ)
B	6.35 以上 (1/4 インチ)
C	2.54 以上 (1/10 インチ)
D	25.4 (1 インチ) (注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

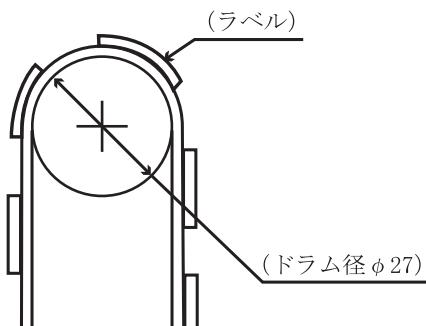
注) D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
(改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。)

◆ 用紙厚さ

- 用紙厚さは、ラベル+台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- 台紙の厚さは、0.1mm 以下してください。
- ラベルの厚さは、0.1mm 以下してください。

◆ ラベルの貼付け強度

- 次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



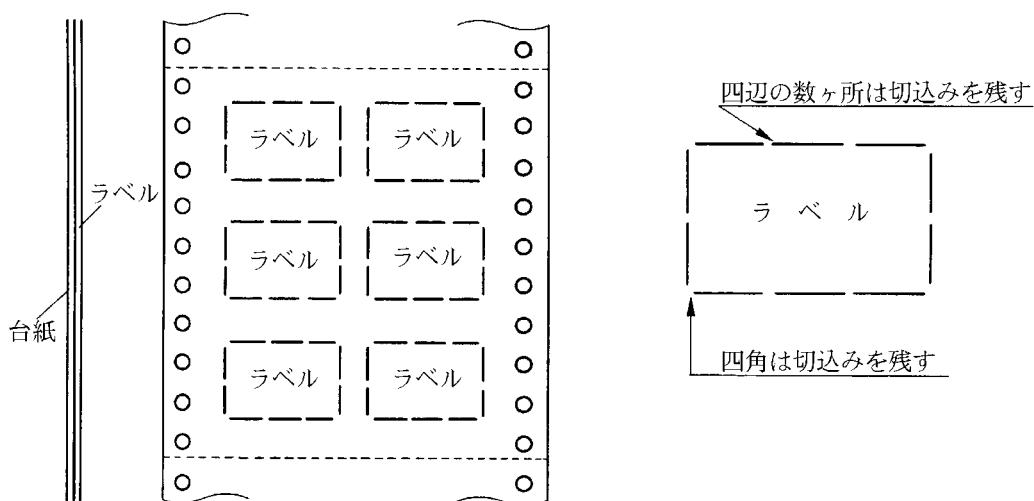
項目	条件
巻付ドラム径	φ 27
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40°C
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

- ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

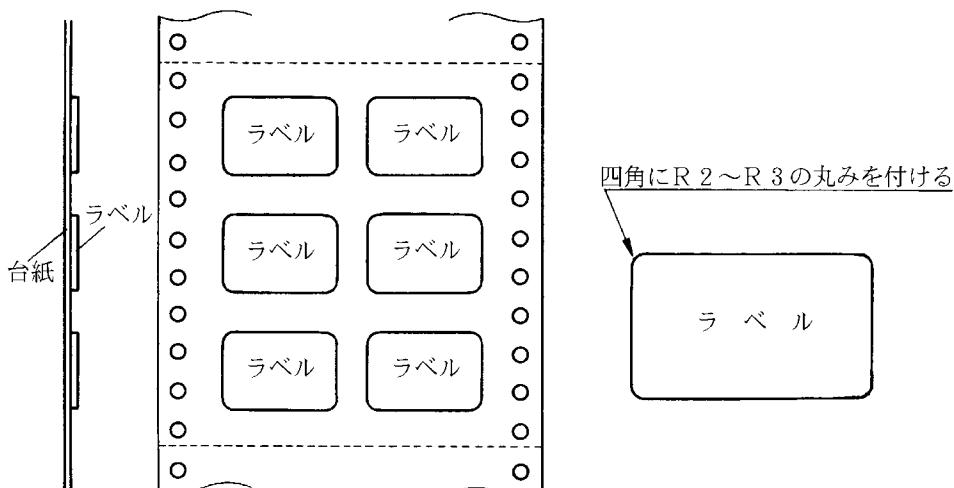
1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようしてください。

2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。



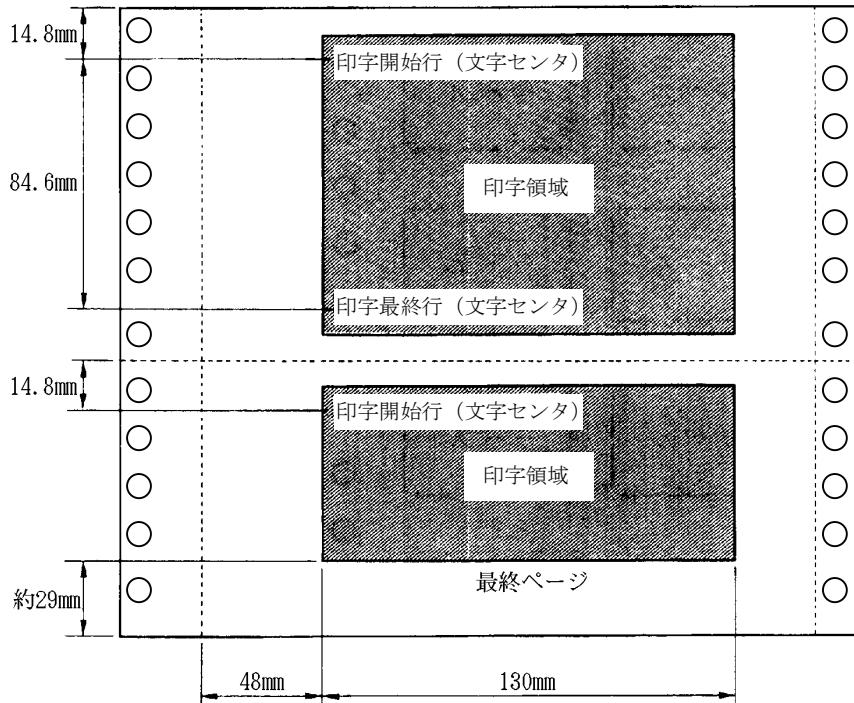
■ 宅配伝票（前トラクタ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。

他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

◆ 印字領域

郵便小包ラベル



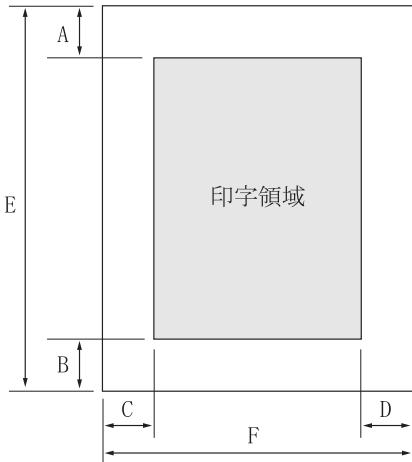
注 1) 印字領域外への印字は禁止します。



手差しで使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		単票セットフリーオフの場合 (注7)	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注3) (注4)	5.08 以上	5.08
D	右端余白 (注3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420(注5)	70~364
F	用紙幅	55~420	100 以上 (注6)

注1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注4) A3 横を使用する場合は、C 値は 33~38.5mm となります。

※「ヨハリヨウ セッティ」の「タヨウシノ サタヨハ」（60 ページ参照）で印字領域を「ヒダリヨセ」に設定している場合は、C 値は 23.7~29.2mm となります。

注5) 単票セットフリーオフの場合（および FMPR5310E）は、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。
また、前カットシートフィーダを取り付けたとき、用紙長さは 90~420 mm となります。

注6) 用紙をセットできる範囲は 368mm です。
この範囲にセットできる用紙をお使いください。

注7) FMPR5310E の場合は「単票セットフリーオフの場合」の寸法となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) (注 1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 110, 135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P	34, 43, 55, (70)	・ () 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	
	9P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙 (注 2)	2P	34, 44, 55, (70)	
	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
	9P	34, (45, 55)	

注 1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

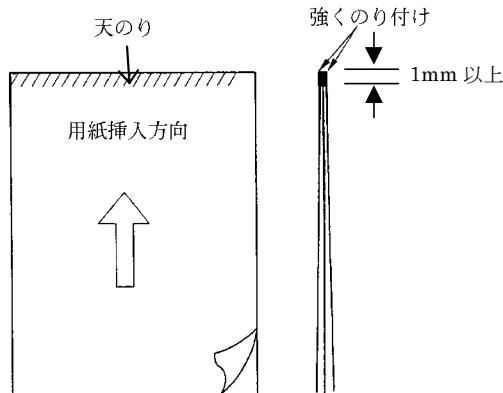
注 4) 単票用紙で用紙の排出方向を手前排出(テーブル側)にしたとき、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出(スタッカ側)に切り替えてご使用してください。

切り替えるには、操作パネルの「手前排出」スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します(「単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)」41 ページ参照)。または、機能設定の「ソウキノウ セッティ」の「テザン ハイシツホウカ」を「コウホウハイシツ」に設定します。(55 ページ参照)

(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

■ 用紙のとじ方法

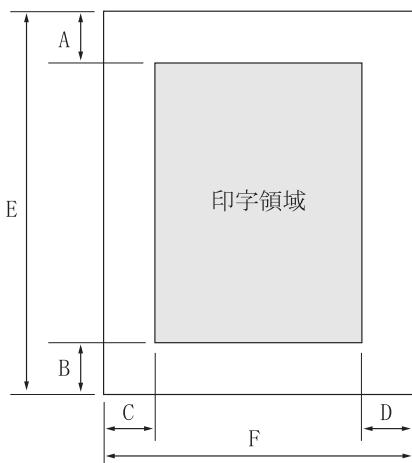
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



- 注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
- 注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域

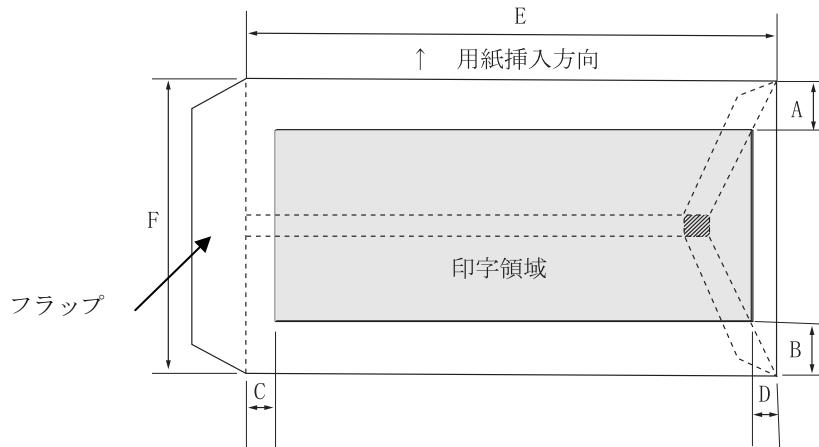


記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

- 注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■ 封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙幅	148~332
F	用紙長さ	90~240

◆ 封筒サイズおよび坪量

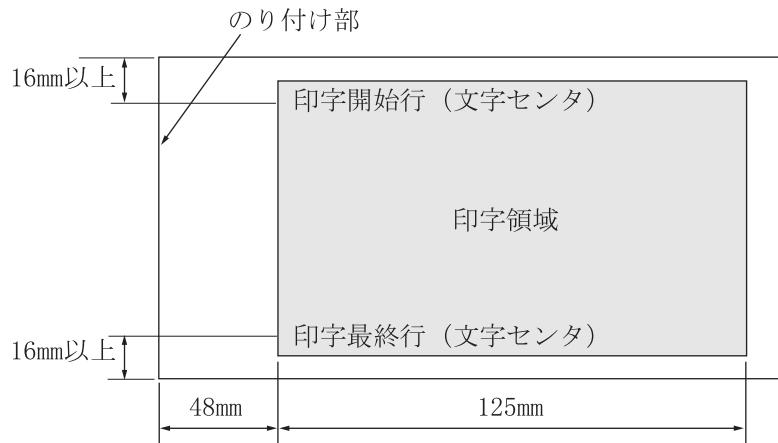
封筒の種類	寸法		坪量 (g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形2号	277	119	70, 85	70以上85以下	0.48
長形3号	235	120			
長形4号	205	90	50, 60, 70, 85	55以上85以下	0.48
長形5号	185	90			
角形2号	332	240			
角形3号	277	216			
角形4号	267	197	70, 85	70以上85以下	0.48
角形5号	240	190			
角形6号	229	162			
角形7号	205	142			
角形8号	197	119	50, 60, 70, 85	55以上85以下	0.48
洋形1号	176	120			
洋形2号	162	114			
洋形3号	148	98			
洋形4号	235	105	50, 60, 70, 85	70以上85以下	0.46
洋形5号	217	95			
洋形6号	190	98			
洋形7号	165	92			
US10	239	105	81以下	81以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

- 注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。
- 注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(「用紙厚を調整する」105 ページ参照)
- 注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
- 注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合には、破線部の右側で印字してください。
- 注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
- 注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
- 注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
- 注 9) 封筒は FMPR5610/5410 の場合、単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。
- 注 10) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。(99 ページ参照)

■ 宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル（普通用 A、C）

◆ 印字領域



注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。

注 2) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票 (Max 0.6mm) 以下としてください。

注 3) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

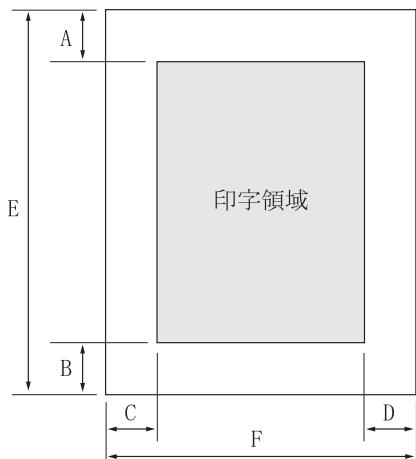


カットシートフィーダ (オプション)

で使用する単票用紙——

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		フロントカットシートフィーダ	リアカットシートフィーダ
A	上端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注 3) (注 4)	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白 (注 3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420	100~420
F	用紙幅 (注 5)	100~420	100~420

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。

※ 「ヨハクリヨウ セッテイ」 の「タノヨウシ ノ サタシヨハク」 (60 ページ参照) で印字領域を「ヒダリヨセ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。

注 5) カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 135	
ノンカーボン紙 注2)	2P	34, 43, 55, (70)	・()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	2P	34, 44, 55, (70)	
裏カーボン紙 注2)	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	

注1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示します。

注2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

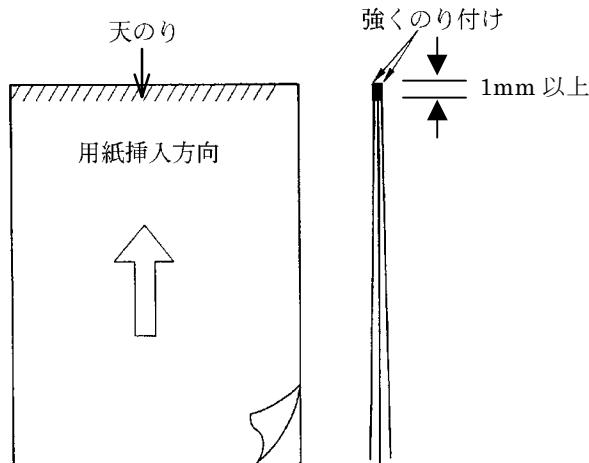
注4) 単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、リアカットシートフィーダの場合は手前排出(単票テーブル側)に、フロントカットシートフィーダの場合は後方排出(スタッカ側)に、排出方向を切り替えてご使用ください。

(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

排出方向を切り替えは、操作パネルの**手前排出**スイッチを押して「手前排出」ランプを点灯させると手前排出になり、消灯させると後方排出になります(39ページ参照)。または、機能設定の「リカバリセッティ」の「CSF ハイショットカウ」を「テーマハイショット」または「コウカハイショット」に設定します(55ページ参照)。

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

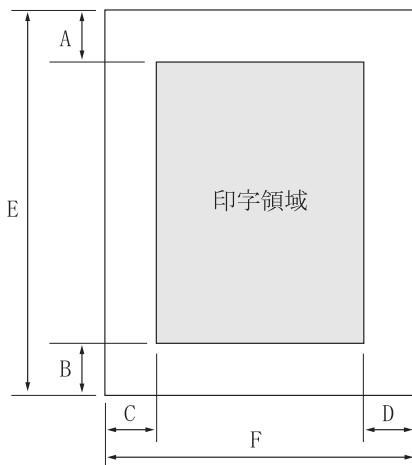
注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

- (1) 一般用紙 (55kg、1P) … 120 枚
- (2) 5P (34kg) 用紙 …… 25 枚
- (3) 官製はがき …… 40 枚

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注 1) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

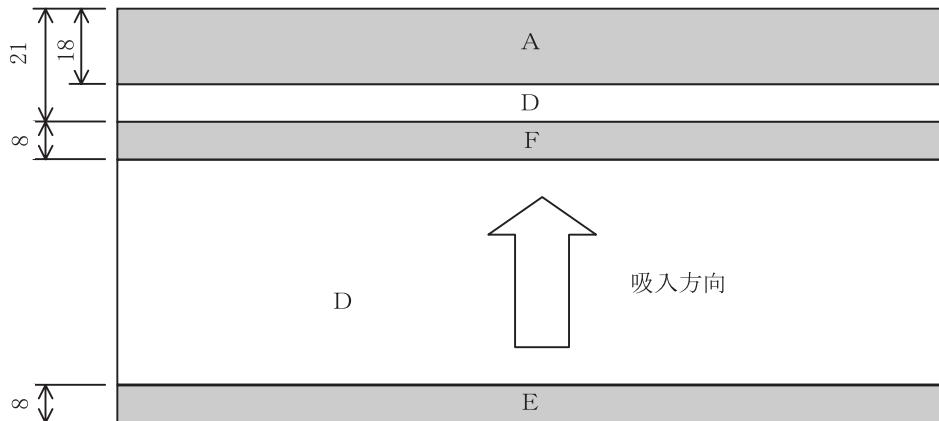
注 2) 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。



プレプリント用紙を使用するとき――――――

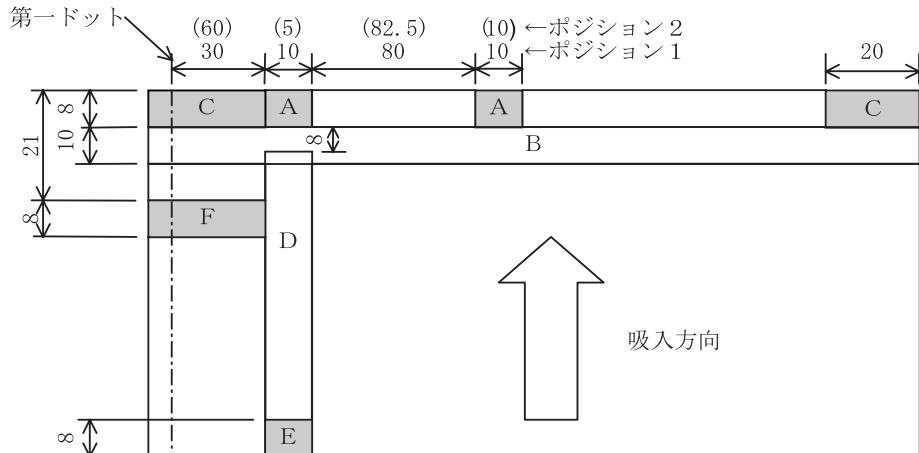
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ F M P R5610/5410 で単票セットフリーオン時の手差し単票のプレプリント禁止領域



- (1) A、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」(136 ページ参照)に示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時(および FMPR5310E)の手差し单票、カットシートフィーダで使用する单票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

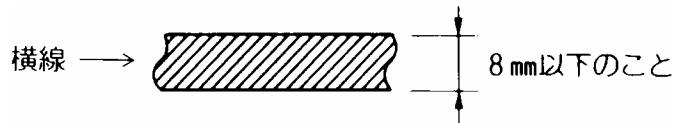


- (1) A、B、C、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印刷するとき」(136 ページ参照) に示す幅の条件に従ってください。
- (3) B、C 部は「ソノタノセッティ」の「シャコウケンシュツ」と「ヨウシガインジボウシ」を「ムコウ」にした場合は、プレプリントの制約はなくなります。
- (4) F 部は「ソウチキノセッティ」の「オートローティング」を「ムコウ」にすると、プレプリントの制約はなくなります。また、連帳使用時は適用外です。
- (5) ポジション 1、2 は「ソノタノセッティ」の「F パス キャリア 仔」と「R パス キャリア 仔」で設定できます。

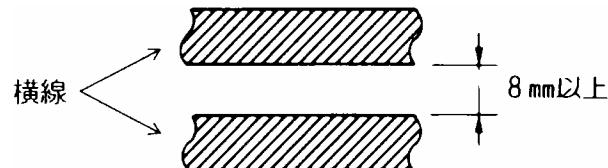
◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ず D 部内に印刷するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



- (2) (1) の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

やむを得ず A、B、C、E、F 部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。



とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

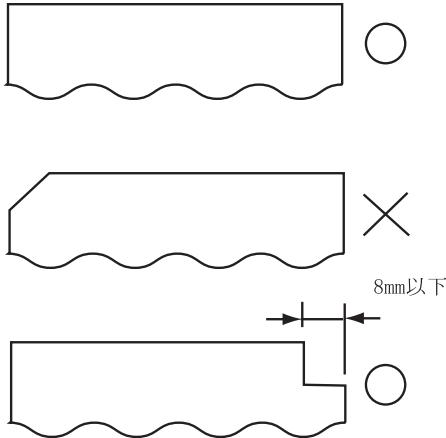
また下記の制限事項があります。

- ・ 練じ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08mm を避けて印字してください。
- ・ 練じ穴の径は 8mm 以下にしてください。
長円穴の場合は長径側を 8mm 以下にしてください。



用紙の形状について

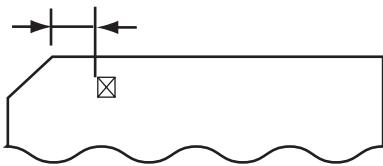
◆ 単票セットフリーオン時の用紙上端について



このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。

用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリーオフ時(および FMPR5310E)の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。



用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。



取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

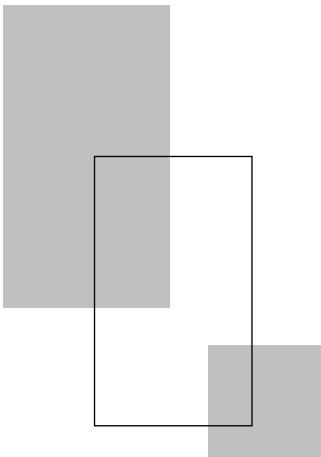
◆ 特殊用紙について

- ・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- ・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。
- ・用紙厚段差のある用紙に印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて、使用してください(「用紙厚を調整する」105 ページ参照)。

◆ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・段差のある用紙
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙



第 5 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する	142
用紙づまりのとき	145
連続帳票用紙がつまつたとき	145
単票用紙がつまつたとき	150
リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	152
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき	154
プリンタがうまく動かないとき	157
エラーメッセージが表示されている	157
単票用紙吸入時の不具合	164
単票用紙排出時の不具合	164
連帳用紙吸入時の不具合	165
印字中の問題点	165
印字結果の問題点	166
印字位置の問題点	169
印字位置がページによってズレる	170
カットシートフィーダ使用時の不具合	170
テスト印字をする	172
HEX ダンプ印字をする	174
清掃のしかた	175
プリンタを輸送するとき	176
消耗品の廃却について	177
プリンタドライバの入手方法	178
アフターサービス	179



リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サプライ番号	備考
リボンカセット SDM-9(黒)	0325470	黒色インクリボンが入った リボンカセットです。
サブカセット SDM-9(黒)	0325480	つめかえ用インクリボンで す。

⚠ 注意

誤 飲 インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

- リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまつたり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまつたり、巻きとりがロックすることがあります。
- 使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

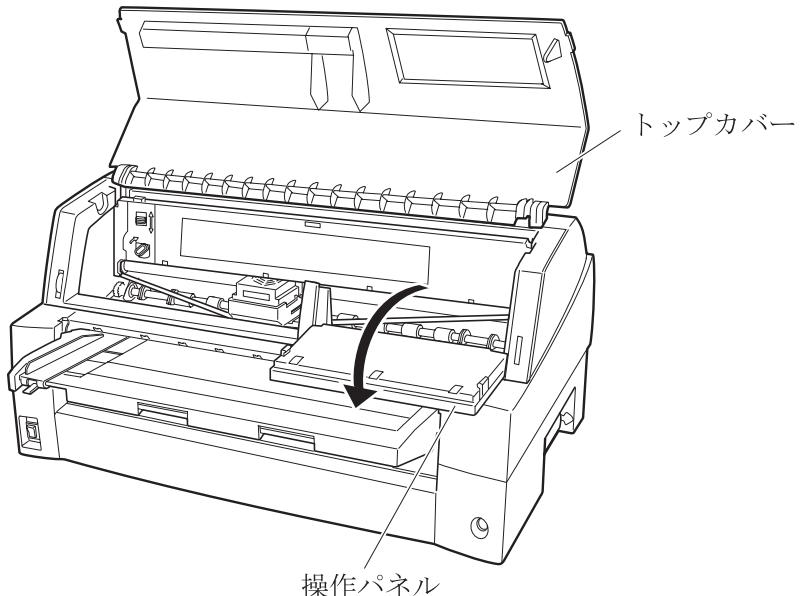
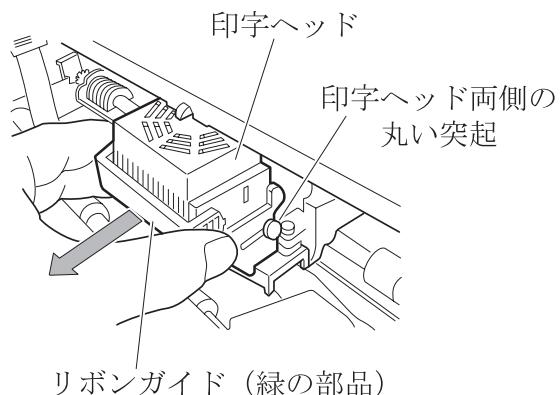
1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2 電源を切る

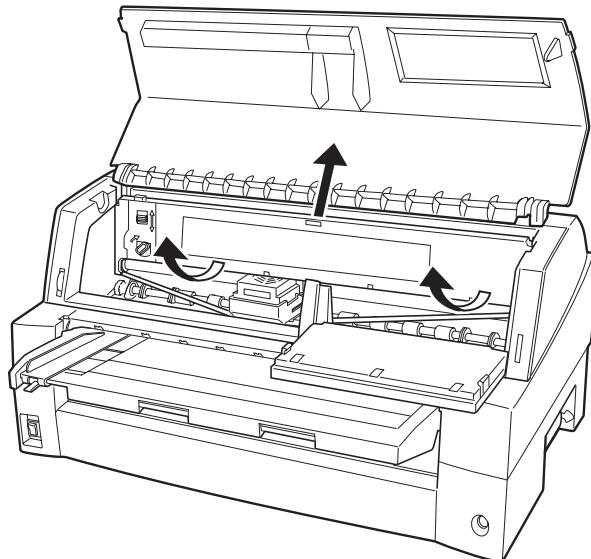
(電源スイッチが (○) 側に倒れた状態になります。)

3 トップカバーを開ける

4 操作パネルを手前側に倒す**5 リボンガイドを外す**

6 リボンカセットを取り外す

リボンカセットを手前に起こしてロックを外し、プリンタから取り外します。



7 新しリボンカセットを取り付ける

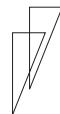
新しいリボンカセットの取り付けは、「リボンカセットを取り付ける」(24 ページ) を参照してください。

⚠ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります。

◆ サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換方法は、サブカセットに添付してある交換要領書を参照してください。



用紙つまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまつたとき

用紙つまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。

その後、用紙つまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

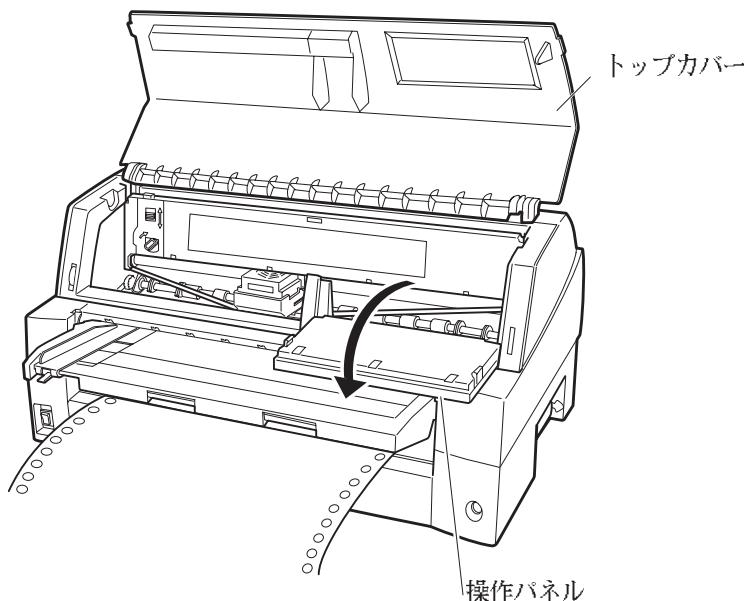
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

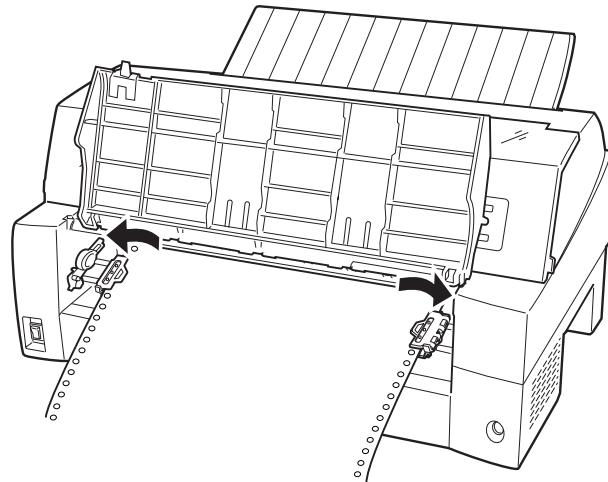
トップカバーを開き、装置内部の用紙つまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



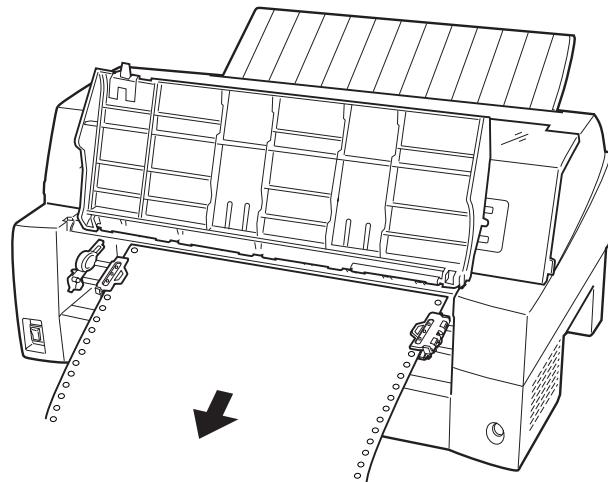
5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

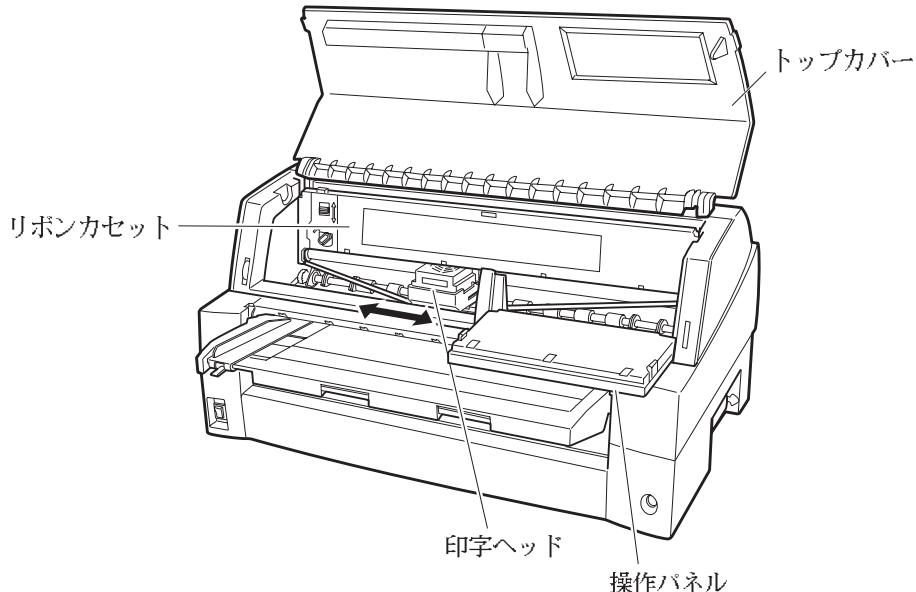


6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまつてうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

△ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

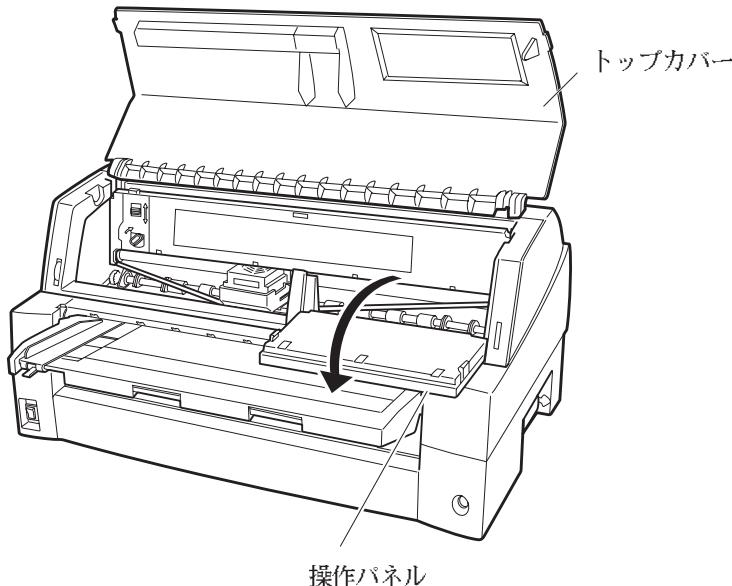
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

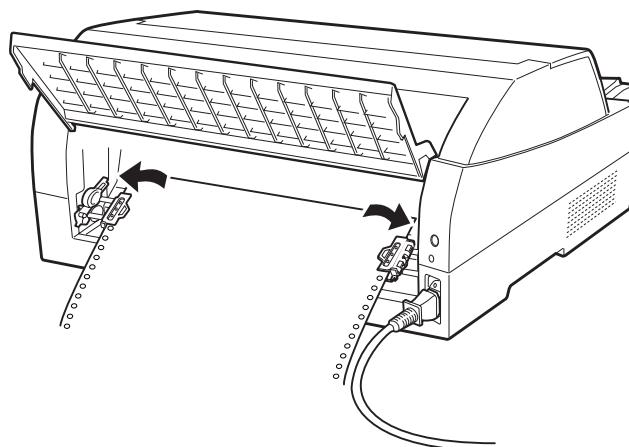
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

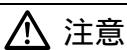
用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。



6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ 単票用紙がつまつたとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

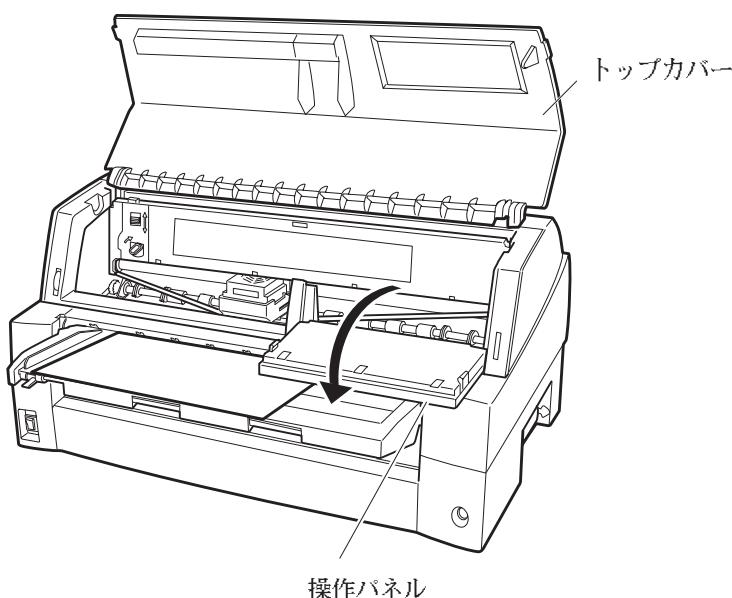
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

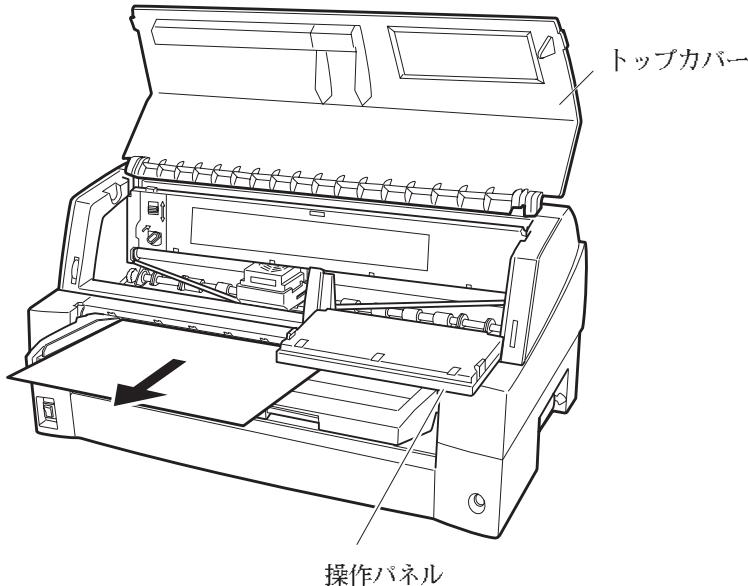
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ リアスタッカ部に用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

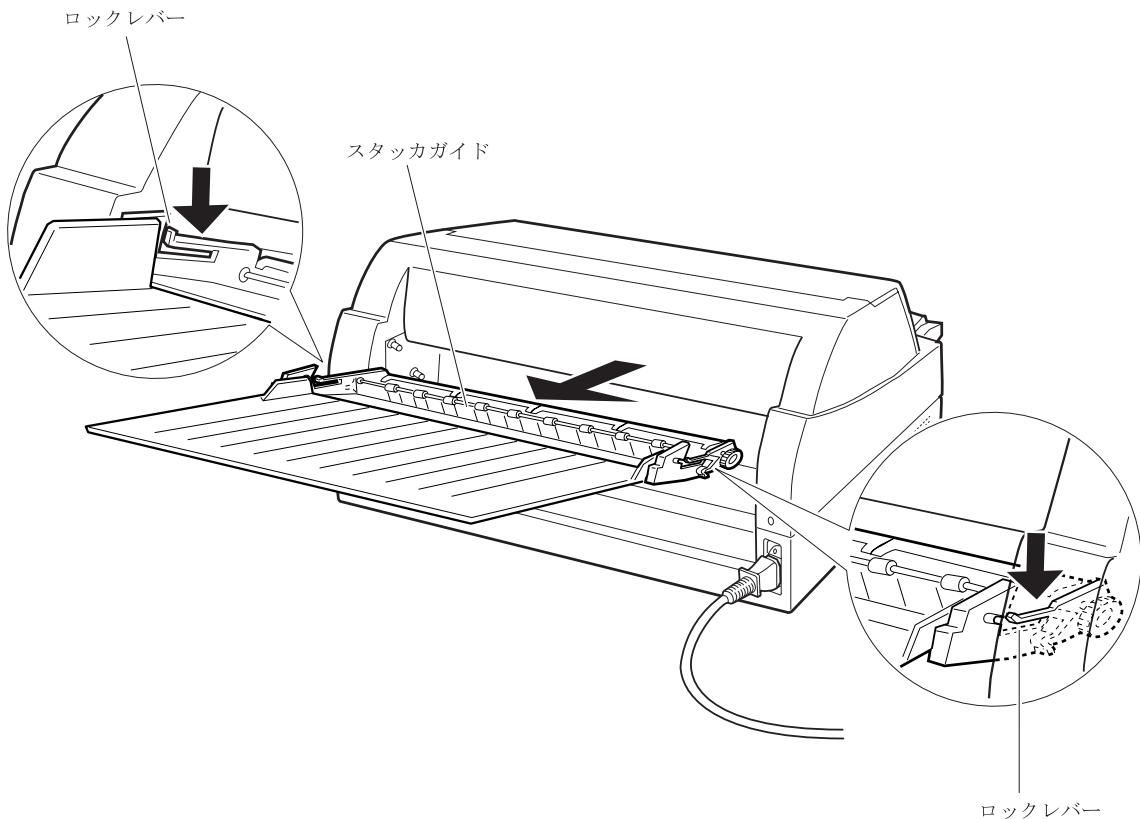
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 スタッカユニットを取り外す

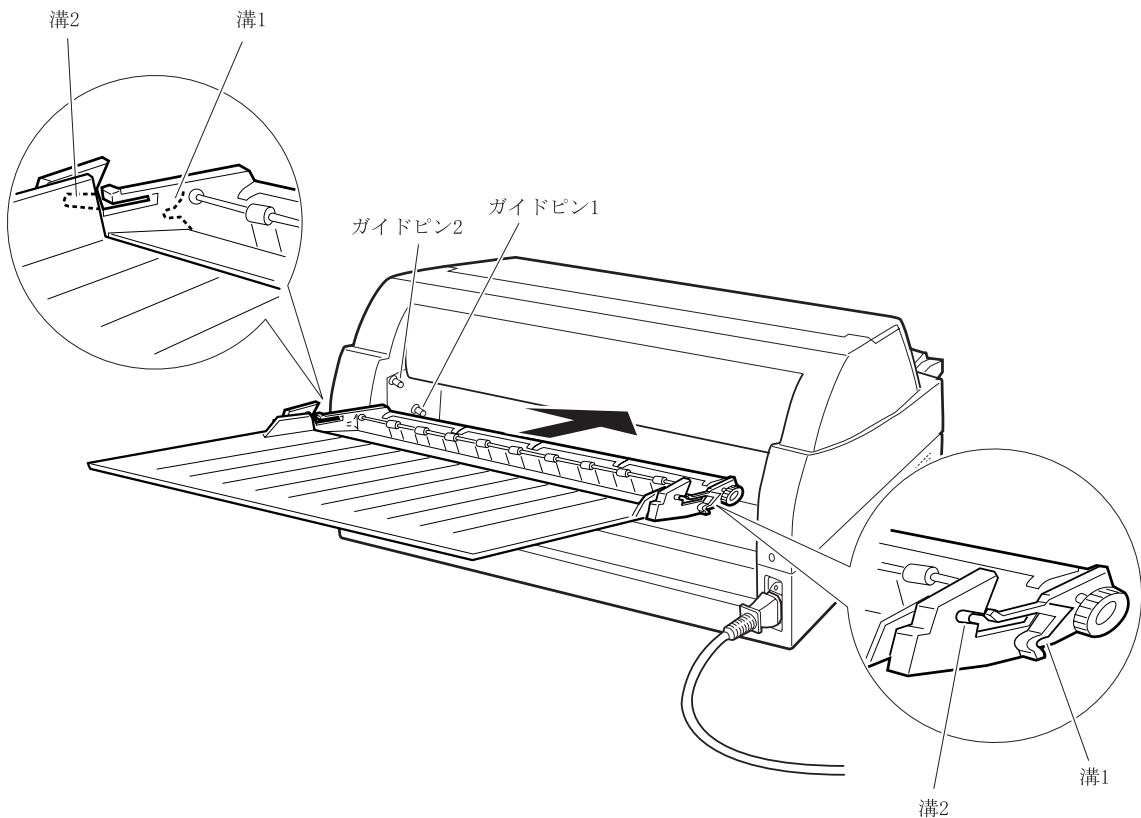
スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。

装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



4 スタッカユニットを取り付ける

スタッカユニット左右の溝1をガイドピン1に合わせ、ガイドピン2が溝2にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙詰まりの状況を確認します。

◆ カットシートフィーダユニット内の用紙詰まりの場合

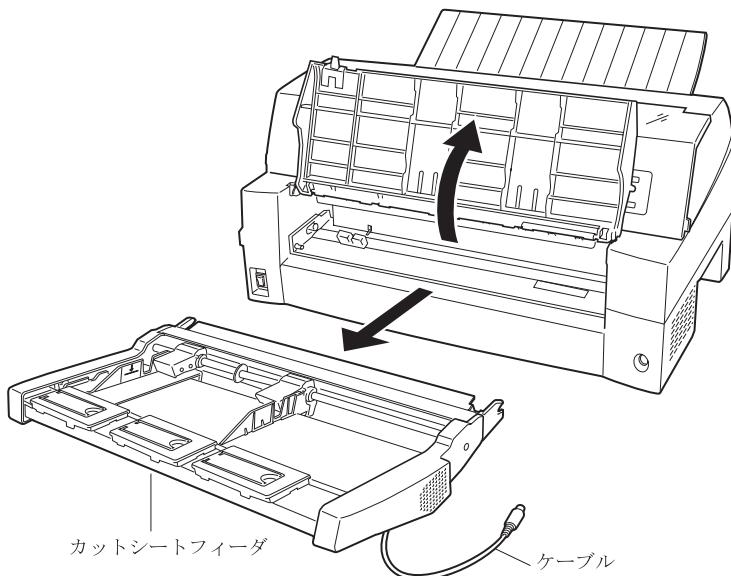
1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。

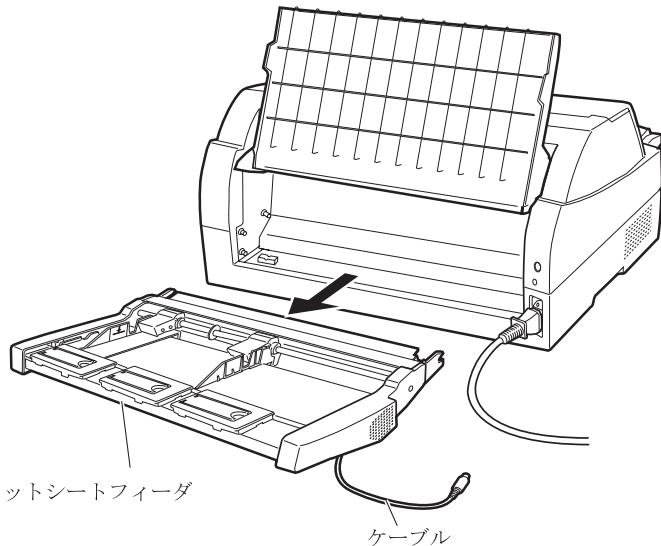


感電 ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。
電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。

プリンタ前部から取り外す場合

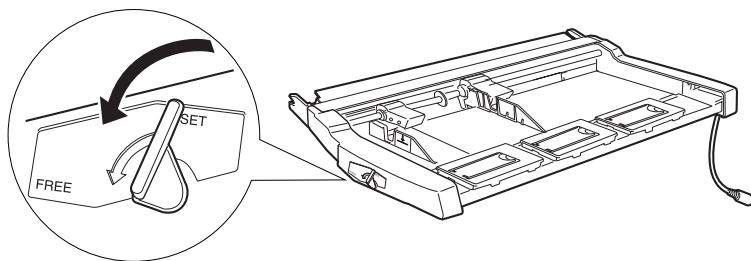


プリンタ後部から取り外す場合



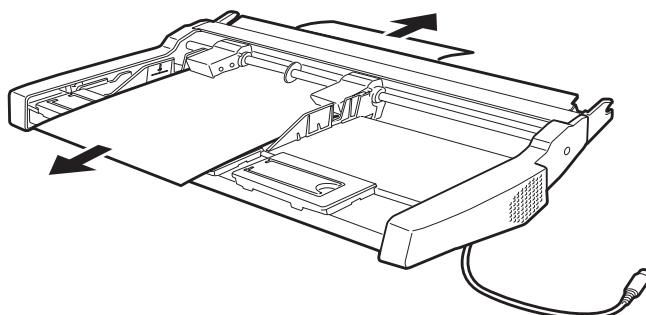
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダを取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダを取り外します。（「カットシートフィーダを取り外す」194ページ参照）

【つまつた用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

1 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（155ページ参照）

2 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまつた用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまつたまま取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



注意

高 温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

お願い

一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。



プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。

処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご相談ください。

■ エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると、操作パネルのランプが点灯、点滅し液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ランプの状態、液晶ディスプレイのメッセージ、プリンタの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	カバーオープン カバートジテクダサイ	トップカバーが開いている。	トップカバーを閉じてください。
	ヨウシナシテサシ ヨウシヨセツシテクダサイ	単票用紙がセットされていない。	単票テーブルに用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシフロントラクタ ヨウシヨセツシテクダサイ	フロントトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシリアトラクタ ヨウシヨセツシテクダサイ	リアトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシFCSF ヨウシヨホキウシテクダサイ	フロントカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	ヨウシナシRCSF ヨウシヨホキウシテクダサイ	リアカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。 (「第3章 用紙のセット」参照)
	タンピヨウヌキトリマチ ヨウシヨヌキトッテクダサイ	排出された用紙が単票テーブルに残っている。	単票テーブルにある用紙を取り除いてください。
	ヨウシタヒエラFトラクタ ヨウシヨカクニンシテクダサイ	プリンタ内部でフロントトラクタ給紙の連続帳票退避中に紙詰まりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。 (「連続帳票用紙がつまつたとき」145 ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	ヨシタヒエラー R トクタ ヨシヲ カクニシテクダサイ	プリンタ内部でリアトラクタ給紙の連續帳票退避中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。（「連續帳票用紙がつまつたとき」145ページ参照）。
	ヨシキュウニユウエラー ヨシヲ サイセツシテクダサイ	プラテン直前直後の用紙ガイド（斜面）上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。（「清掃のしかた」175ページ参照）
		単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しなかった。	より素早く用紙をセットしてください。 「ソウキノセッティ」で「オートローティング」の時間を変更してください。（55ページ参照）
		用紙が斜めに給紙された（吸入斜行）を検出した。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
		プレプリントによりセンサが誤検出している（プレプリントのない用紙は問題無い）。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」（134ページ）を参照してください。
		単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題がある。	幅100～364mm（はがき～B4）の用紙を使用してください。
		単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題がある。	幅55～100mm未満、365～420mmの用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。
	キュウシシヤム テサシ ヨシヲトリノゾテクダサイ	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	96ページを参照し、セット位置を修正してください。 用紙の形状に関しては、「用紙の形状について」（138ページ）を参照してください。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点灯	キュウシジヤム Fトラクタ ヨウシヲトリノゾ イケクダサイ	フロントトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」145ページ参照)。
		フロントトラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください (「第3章 用紙のセット」参照)。
	キュウシジヤム Rトラクタ ヨウシヲトリノゾ イケクダサイ	リアトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」145ページ参照)。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください (「第3章 用紙のセット」参照)。
	キュウシジヤム FCSF ヨウシヲトリノゾ イケクダサイ	フロントカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」154ページ参照)。
	キュウシジヤム RCSF ヨウシヲトリノゾ イケクダサイ	リアカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」154ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	インジケタズレ パワー OFF ソウチ カクニン	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1. 段差のある用紙を使用している。 2. 紙厚設定が正しくない。 3. 用紙つまりが発生した。 4. リボンが印字ヘッドにひっかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください（「用紙厚を調整する」105 ページ参照）。
	ヨウシツイシヨウケンシツ パワー OFF ヨウシ カクニン	用紙が厚すぎる。	「第4章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
		段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができない。	手動紙厚調整で印字するか、ドライバのプロパティでレンジを設定してください（「用紙厚を調整する」105 ページ参照）。
	カキヨウジヤムケンチ パワー OFF ヨウシ カクニン	1. 紙送り動作中に紙つまりが発生した。 2. 段差のある用紙を使用している。	つまった用紙を取り除いてください。 段差のある用紙を使用すると、「カキヨウジヤムケンチ」エラーが発生することがあります。その場合は、機能設定で「リタ/セッティ」の「カキヨウジヤムケンチ」を「ぬく」にしてください（「機能設定を変える」50 ページ参照）。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	ハイシジヤム テサシ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部で手差し单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「单票用紙がつまつたとき」150ページ参照)。
	ハイシジヤム F トラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロントトラクタ給紙の連続帳票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」145ページ参照)。
	ハイシジヤム R トラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリアトラクタ給紙の連続帳票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「連続帳票用紙がつまつたとき」145ページ参照)。
	ハイシジヤム FCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロントCSF給紙の单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」154ページ参照)。
	ハイシジヤム RCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリアCSF給紙の单票排出中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください(「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまつたとき」154ページ参照)。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	SP アラーム パワー OFF シテクダサイ	スペースモータのドライバで異常を検出した。	<p>《操作手順》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の [キャンセル] ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. 電源を入れて、再度印刷し直してください。
	LF アラーム パワー OFF シテクダサイ	LF モータおよびトラクタモータのドライバで異常を検出した。	
	ヘッドアラーム パワー OFF シテクダサイ	印字ヘッドのドライバで異常を検出した。	
	HIGH VOL アラーム パワー OFF シテクダサイ	電源電圧の異常を検出した。	
	LOW VOL アラーム パワー OFF シテクダサイ	電源電圧の異常を検出した。	
	OVERLOAD アラーム パワー OFF シテクダサイ	電源電圧の異常を検出した。	
	リボンモータアラーム パワー OFF シテクダサイ	リボンモータのドライバで異常を検出した。	
	CSF モータアラーム パワー OFF シテクダサイ	CSF モータのドライバで異常を検出した。	
	フレームファンアラーム パワー OFF シテクダサイ (注)	印字部冷却ファンの異常を検出した。	
	SP モータファンアラーム パワー OFF シテクダサイ	スペースモータ冷却ファンの異常を検出した。	
	パワー ファンアラーム パワー OFF シテクダサイ	電源冷却ファンの異常を検出した。	
	APTC アラーム パワー OFF シテクダサイ	APTC ホームポジション検出に失敗した。	
	HCPP アラーム パワー OFF シテクダサイ	HCPP ホームポジション検出に失敗した。	
	ROM/RAM アラーム パワー OFF シテクダサイ	ROM/RAM の異常を検出した。	

注) 本項目は FMPR5610 のみ表示されます。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージランプ点滅	LRES アーム パワー OFF ソウチ カクニン	印字キャリアホームポジション検出に失敗した。	<p>《操作手順》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の【キャンセル】ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注) 印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. プリンタ(給紙口、内部、排出部)の用紙を取り除いてください。 3. 印字ヘッドを手で両端まで動くことを確認してください。 異物があった場合は取り除いてください。 4. 電源を入れて、再度印刷し直してください。
	セットフリーアーム パワー OFF ソウチ カクニン (注)	斜行ユニットホームポジション検出に失敗した。	<p>《操作手順》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の【キャンセル】ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注) 印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. 単票テーブルの奥に異物がないか確認してください。 3. 電源を入れて、再度印刷し直してください。

注) FMPR5310Eでは表示されません。

■ 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	給紙口の選択が、「フロント トランクタ」または「リアトランクタ」になっている。	給紙口 スイッチを押して、「テサシ」を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	オンライン スイッチを押してオンライン状態にした後に、 用紙吸入/排出 スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	用紙吸入/排出 スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。

■ 単票用紙排出時の不具合

単票用紙排出がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
用紙排出を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	手前排出 スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカ側）にしてください。（「単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」41 ページ参照）、または機能設定の「ソウキノウ セッティ」の「テサシ ハイシュツホウコウ」を「コウホウハイシュツ」に設定してください（55 ページ参照）。

■ 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンライン スイッチを押してオフライン状態にしてから、 用紙吸入/排出 スイッチを押してください。
	給紙口が正しく選択されていない。	給紙口 スイッチを押して、正しい給紙口（「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」）を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	用紙吸入/排出 スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	プラテン直前直後の用紙ガイド（斜面）上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください（「清掃のしかた」（175ページ）参照）。
吸入途中で排出される。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。

■ 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	オンライン スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	ドライバのプロパティで設定した用紙パスが正しくない。	ドライバのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付ていない。	リボンカセットを取り付けてください。

■ 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭くなっている。	広めに設定し直してリボン汚れが出なくなるようにしてください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭い。	ドライバのプロパティ設定値(レンジ設定)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」105 ページ参照)。
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください(「リボンカセットを交換する」142 ページ参照)。
縦線のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直してください。
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	ドライバのプロパティ設定値(レンジ設定)を、多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」105 ページ参照)。
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(73 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。

現象	原因	処置
印字がうすい。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して広い。	レンジを狭めに設定し直してください。(印字が濃くなるまで設定します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	ドライバのプロパティで設定した用紙厚さが適正值に対して広い。	ドライバのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください(「用紙厚を調整する」105 ページ参照)。
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください(「リボンカセットを交換する」142 ページ参照)。
	印字ヘッドの交換時期が近づいている。	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に LCD に「ヘッドコウカンジュンビ」、印字ヘッドの寿命になりますと「ヘッドコウカン」の表示を約 5 秒間行います。電源を入れ直しても「ヘッドコウカンジュンビ」、「ヘッドコウカン」が表示される場合は、印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター(179 ページ参照)にご連絡ください。機能設定の「リタノセッティ」の「ヘッドコウカンヒョウジ」が「ムコウ」に設定されている場合は、表示を行いません(71 ページ参照)。

現象	原因	処置
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。 お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（179 ページ参照）にご連絡ください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。 後給紙の場合、印字の下側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていない。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください（「リボンカセットを取り付ける」24 ページ参照）。
印字が所々でよじれたように欠ける（用紙を変えても発生する）。	リボンがたるんだり、よじれたりしている。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください（リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します）。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。 (連帳用紙のみ発生する)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける。	機能設定で連帳改行時のリボン保護制御を有効にして使用してください。

■ 印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	ドライバの余白設定に対してプリンタの設定が正しくない。	機能設定の「ヨハクリヨウ セッティ」の「ジヨウタシヨハクシティ」を「トライバ セン」にしてください(57 ページ参照)。
	ドライバでの給紙方法選択、余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要がある。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸込後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	機能設定の単票左端余白量とドライバの余白設定が異なっている。	プリンタとドライバの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

■ 印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第4章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ドライバのページ長設定値が異なる。	ドライバのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれることがある。	用紙吸入量を調整してください。 調整の行いかたについては、「用紙吸入量を調整する」(76ページ)を参照してください。
	機能設定の「ソノタノセッティ」の「トラクタ キュウシセイヨ」が「ソクドユウセン」に設定されている。	機能設定で「ソノタノセッティ」の「トラクタ キュウシセイヨ」を「セドユウセン」にしてください (68ページ参照)。

■ カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	プリンタ本体の電源を切断し、コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる(赤線を越えている)。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。

現象	原因	処置
用紙が吸入しない。	給紙口が正しく選択されていない。	操作パネルの 給紙口 スイッチを操作し「フロント CSF」または、「リア CSF」にセットしてください。
	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていない。	正しくセットし直してください（「カットシートフィーダを取り付ける」187 ページ参照）。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
紙づまりが起きる。	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
用紙排出を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるため。	手前排出 スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカ側）にしてください（「単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」41 ページ参照）、または機能設定の「ソウキノウ セッティ」の「CSF ハイシュツホウコウ」を「コウホウシュツ」に設定してください（55 ページ参照）。



テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニューモードにする

オンライン状態

「オンライン」スイッチ

オフライン状態

「設定/メニュー」スイッチ



- 3 ◇または▷スイッチを押して「テストインサツ」を表示させる

「◇」「▷」

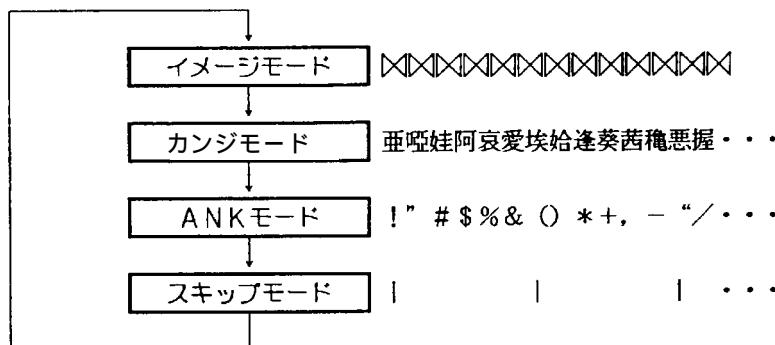


- 4 ▽スイッチで下のレベルへ移り、◇または▷スイッチでテストパターンを選択する

「↓」「↑」



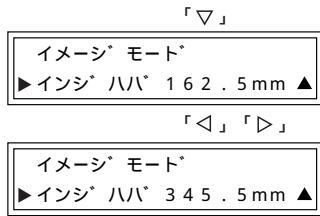
「◇」「▷」



漢字モードは明朝、ゴシック、ANKモードはドラフト、高品位を選択できます。

エミュレーションは、セットアップのモード設定(ESC/P または FM)に従います。

- 5 ▽スイッチで下のレベルへ移り、◁または▷スイッチを押して印字幅を選択する



- 6 設定/メニュースイッチを押す

テスト印字が開始されます。

- 7 テスト印字中に登録・終了スイッチを押すと、テスト印字が終了する



HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 オフライン状態で **設定/メニュー**スイッチを押し、メニュー モードにする

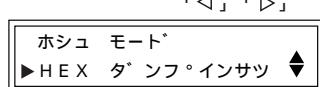
オンライン状態
 「オンライン」スイッチ
 オフライン状態
 「設定/メニュー」スイッチ



- 3 ◇または▷スイッチを押して「ホシュモード」を表示させる



- 4 ▽スイッチで下のレベルに移り、◇または▷スイッチを押して「HEX ダンプインサツ」を選択する

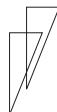


- 6 ▽スイッチで下のレベルに移り、「セッティ」と表示されたら **設定/メニュー**スイッチを押す

オンライン状態になり、パソコンからのデータは 16 進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するには、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にし、**リセット**スイッチを押します。

「ショキカ シマスカ?」と表示されたら、再度**リセット**スイッチを押します。通常のオフライン状態に戻ります。



清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠ 注意

- | | |
|-----|--|
| 感 電 | プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。 |
| 高 温 | 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。 |

お願い

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（179ページ参照）までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグを抜く

2 トップカバーを開ける

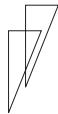
3 プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラの表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4 トップカバーを閉じて、電源を入れる



プリンタを輸送するとき-

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンタの電源を一旦入れた後に切る

(電源スイッチが (○) 側に倒れていることを確認します。)

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 用紙を取り去り、リアスタッフを取り外す

3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す

4 リボンカヤットを取り外す

(「リボンカヤットを交換する」142ページ参照)

5 リアスタッフを梱包する

6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8 プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる



消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票（産業廃棄物マニュフェスト）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳		マニュフェスト情報		
名 称	種 類	形 状	重金属等有無	特 性
リボンカセット	廃プラスチック	固 形	無 し	－



プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FMWORLD.NET URL: <http://www.fmworId.net/>



ガイド

- ・「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められおり、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。
お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。



アフターサービス

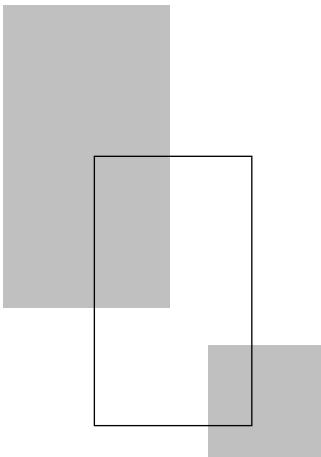
- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品供給期間は、製造中止後5年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。
サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル：0120-422-297

受付時間 : 平日 9:00~17:00

(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)



第 6 章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの概要	182
プリンタ LAN カードのご使用方法	183
プリンタ LAN カード搭載方法	184
プリンタ LAN カード取り外し方法	186
カットシートフィーダを取り付ける	187
プリンタ前部に取り付ける	187
プリンタ後部に取り付ける	191
カットシートフィーダを取り外す	194



オプションの概要

本プリンタには、次のオプションがあります。

◆ カットシートフィーダ (FMPR673CF1)

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。A4 普通紙 55kg での用紙セット枚数は 120 枚です。

◆ トラクタユニット (FMPR-TU8)

連続帳票用紙をセットする装置です。プリンタに標準添付されているトラクタ同様にプリンタの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。トラクタユニットを追加することにより、同時に 2 種類の連続帳票用紙をセットすることができます。トラクタユニットの取り扱いについては、「トラクタユニットの着脱について」(29 ページ)を参照してください。

◆ プリンタ LAN カード (FMPR-LN1)

100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN カードです。TCP/IP に対応しています。LAN カード搭載時は、パラレルインターフェースおよび USB インタフェースとの同時接続はできません。



警告

感 電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。



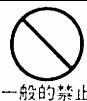
プリンタ LAN カードのご使用方法

本プリンタのオプションである別売のプリンタ LAN カードをプリンタ側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。

LAN カード搭載時は、パラレルインターフェースおよび USB インタフェースとの同時接続はできません。

品名	型名	備考
プリンタ LAN カード	FMPR-LN1	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で直接印刷できます。

▲注意



プリンタ LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

一般的禁止

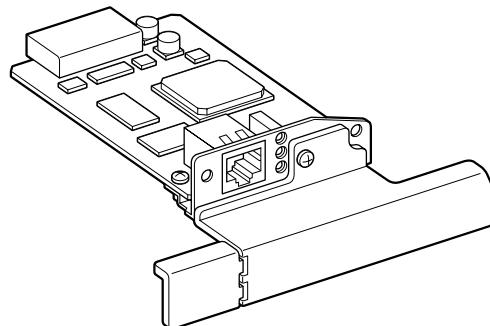


プリンタ LAN カード搭載方法

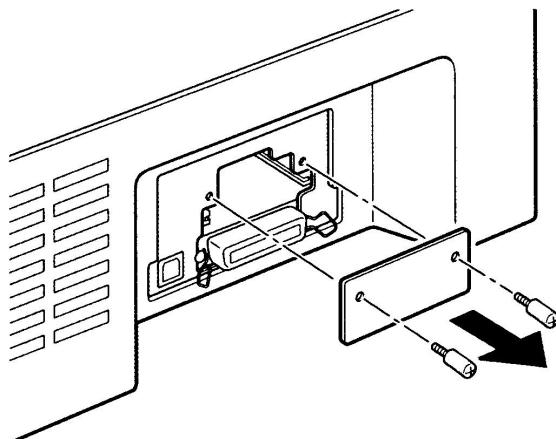
プリンタ LAN カードの搭載は次の手順で行います。なお取り付け後のネットワーク接続については、プリンタ LAN カードのオンラインマニュアルを参照してください。

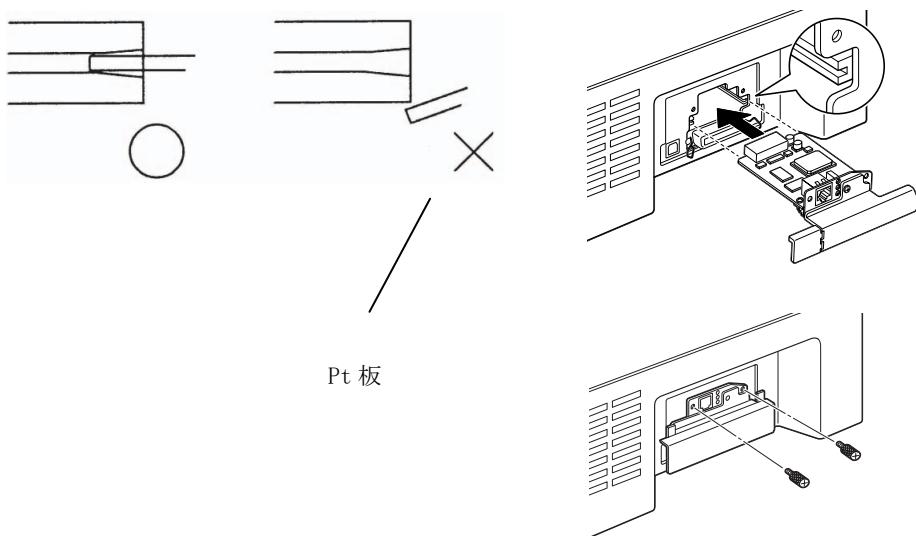
1 プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認する

本製品のプラスチックブラケット部はご購入状態では下図の形状です。そのプラスチックブラケットの左端部は、切り取らないでご購入状態のまま取り付けをお願いします。



2 プリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードを外した後、プリンタのオプションインターフェースカバーを外します。



3 取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付けます。**4** プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードを差し込みます。**▲注意**

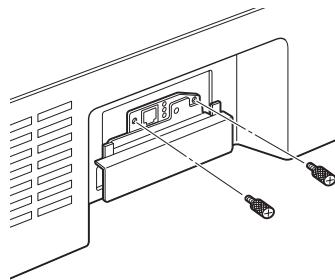
高温注意

プリンタ本体の基板の一部が高温になっていること
があるので注意してください。
また、故障の原因になるので基板には手を触れないで
ください。



プリンタ LAN カード取り外し方法

- 1 プリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードを外した後、本製品の固定ネジを外します。



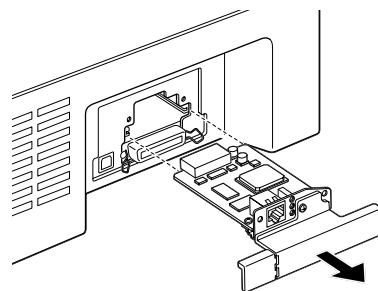
▲注意



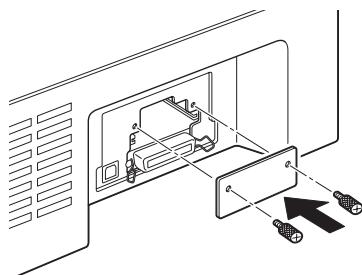
電源が入っている状態で本製品を取り外すと、故障の原因になることがあります。

一般的注意

- 2 プラスチックブラケットの中央部（下図矢印付近）を持って本製品を取り外します。



- 3 プリンタのオプションインターフェースカバーを取り付けます。





カットシートフィーダを取り付ける――

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後同時に取り付けることもできます。本プリンタでは、カットシートフィーダ FMPR673CF1 を使用できます。



感電

カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。



ガイド

- ・プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットは取り付けられません。取り外したトラクタユニットは保管しておいてください。
- ・カットシートフィーダをプリンタの前後同時に取り付けた場合は、「ソリューション」の「CSF 1 ビンセンタ」（67 ページ参照）でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

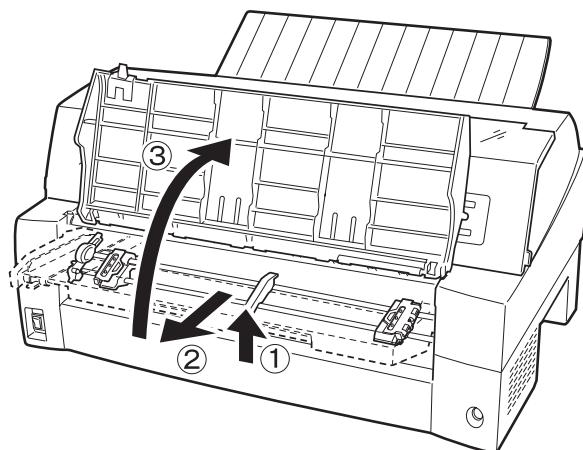
■ プリンタ前部に取り付ける

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

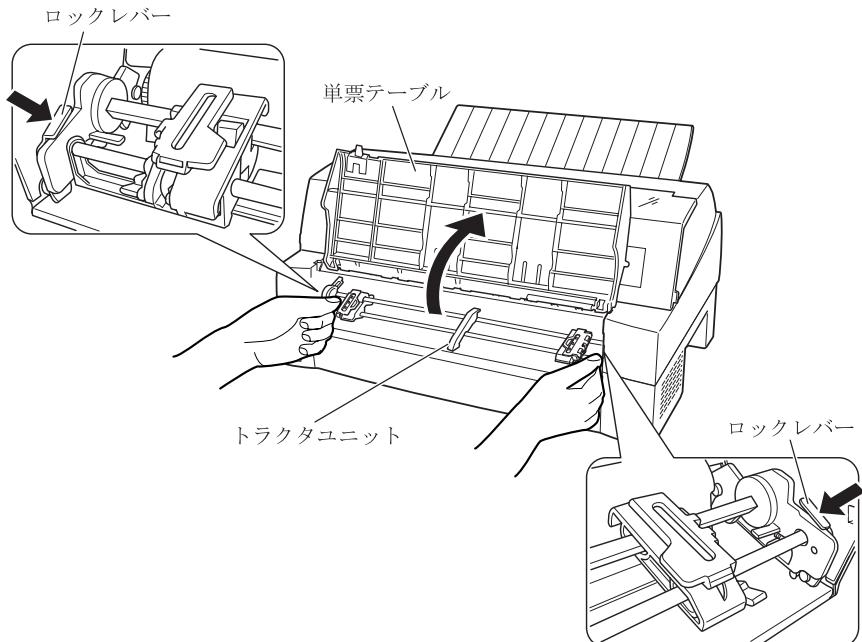
2 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



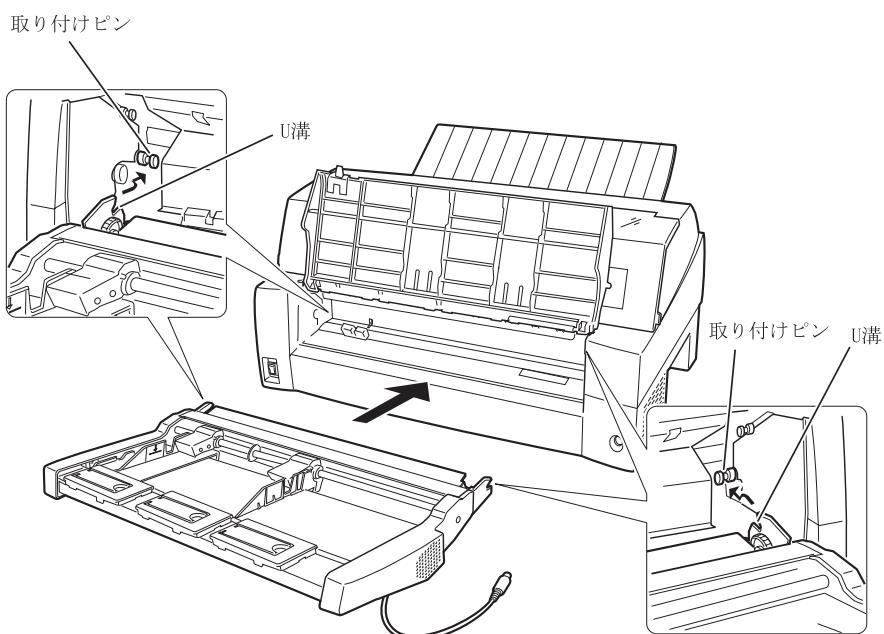
3 トラクタユニットを取り外す

単票テーブルを開きます。トラクタユニットの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタユニットを上方に持ち上げて外します。

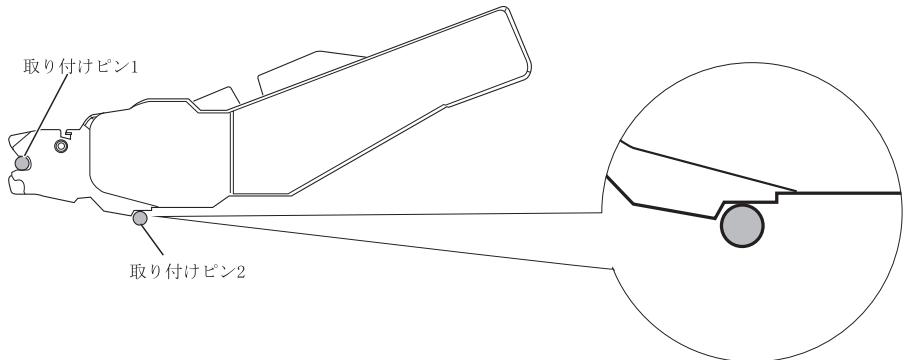


4 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



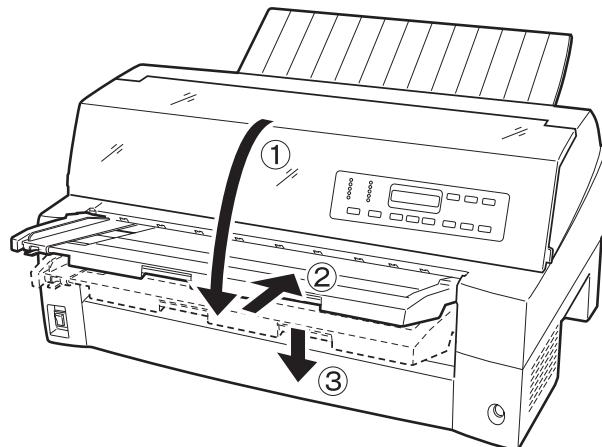
取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



5 単票テーブルを元に戻す

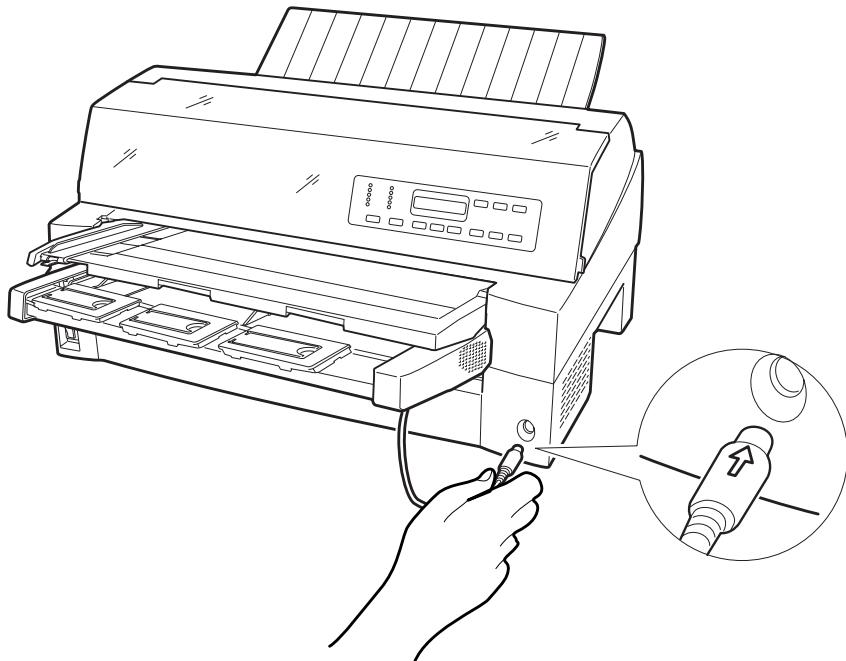
単票テーブルを下図のように回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②)閉じます(③)。

単票テーブルのセットが正しくないと、用紙つまりの原因となります。

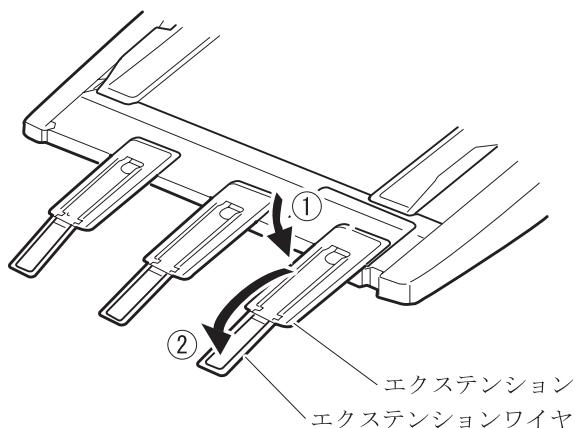


6 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



■ プリンタ後部に取り付ける

プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタユニットの同時搭載が可能です。

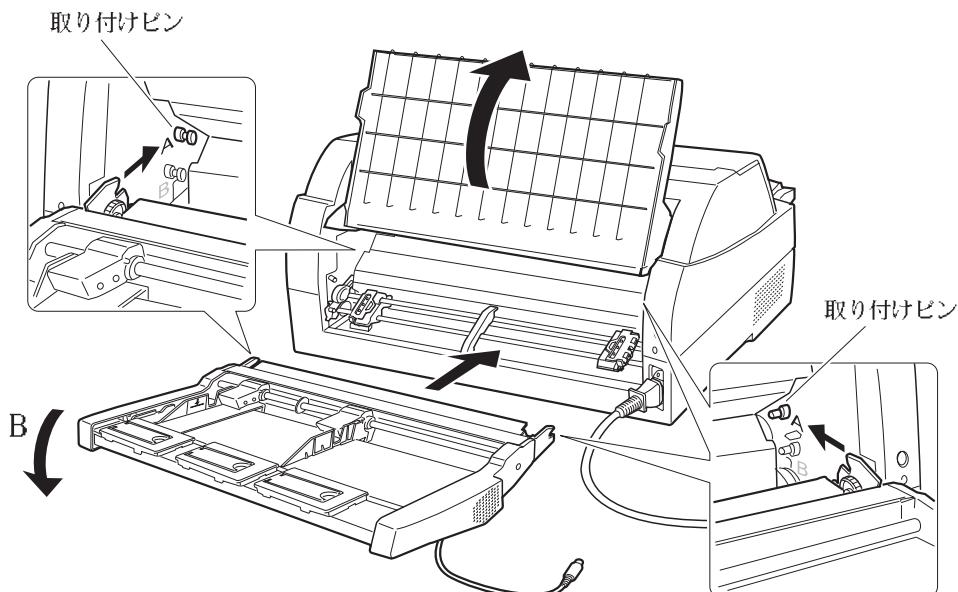
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

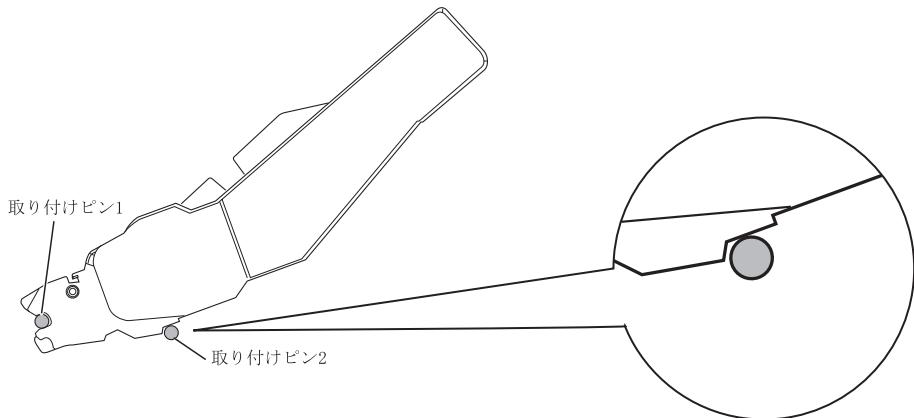
プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

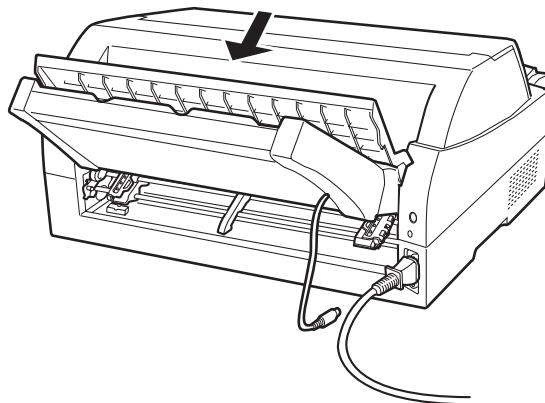
リアスッカを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダのラベルAをプリンタ側の刻印Aに合わせて差し込みます。）そのまま取付けピンを支点にして、矢印Bの方向に回転させるように下ろします。



取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

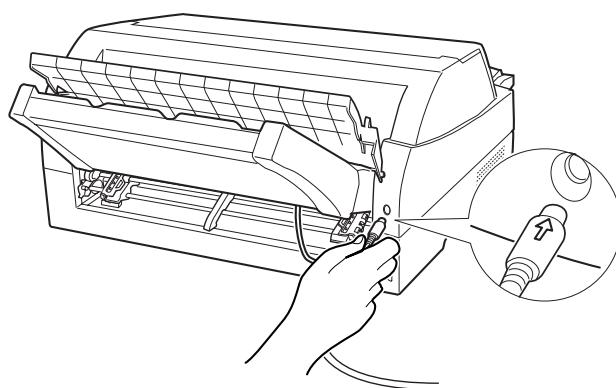


3 リアスタッカを閉じる

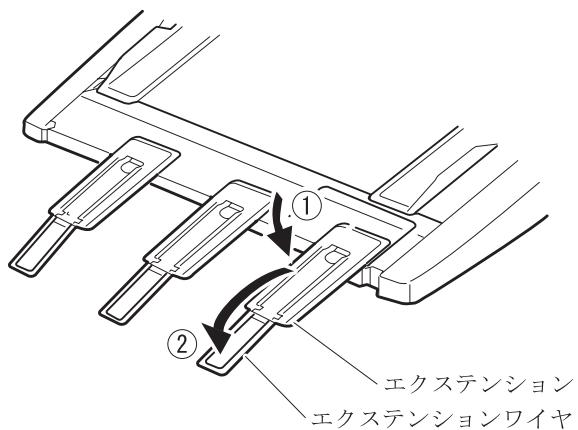


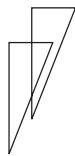
4 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



- 5 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する





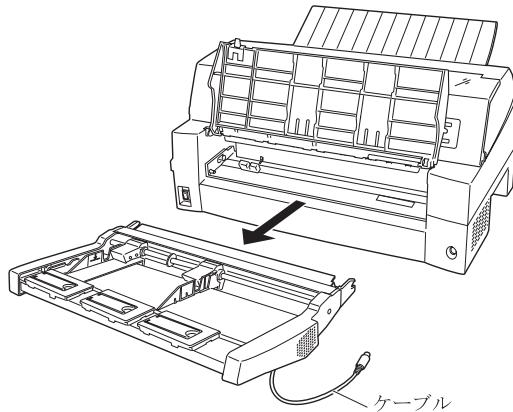
カットシートフィーダを取り外す —————

- 1 プリンタの電源を切る
- 2 カットシートフィーダのケーブルを抜く
- 3 カットシートフィーダを取り外す

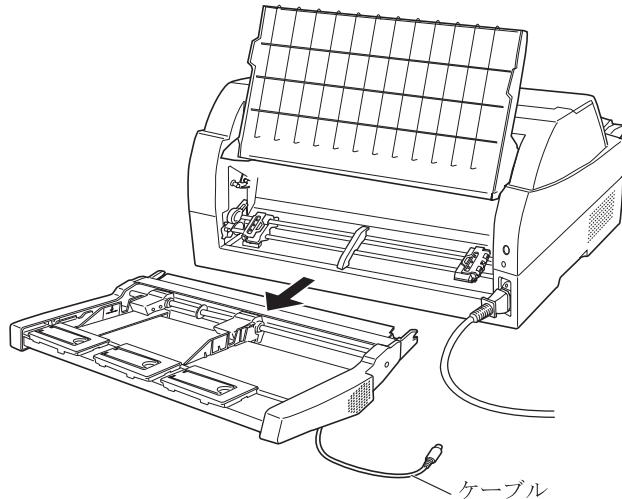
⚠ 警告

感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

プリンタ前部に取り付けた場合



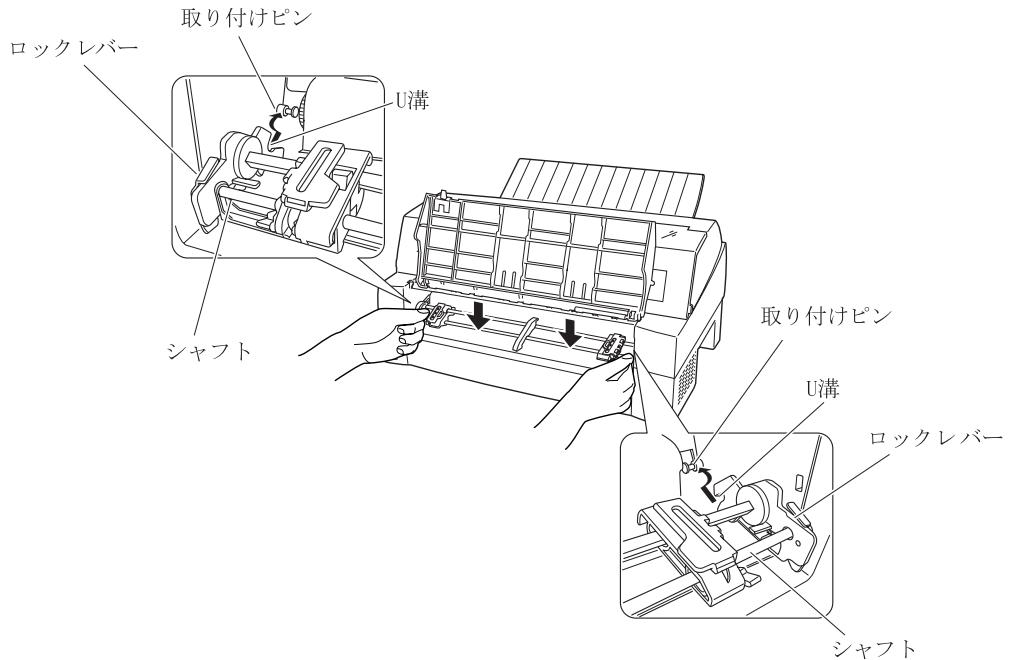
プリンタ後部に取り付けた場合



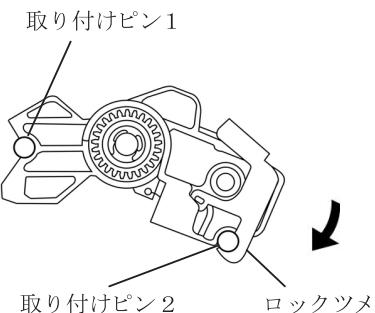
 ガイド

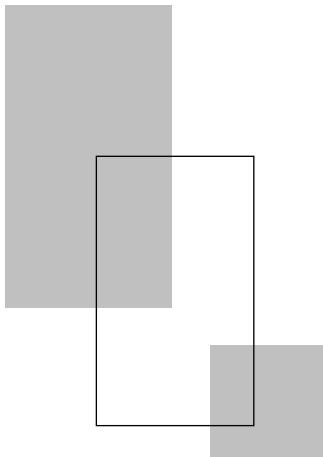
プリンタ前部のカットシートフィーダを取り外した後に、トラクタユニットを取り付ける方法を以下に示します。

- 1) トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。(左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。)
- 2) トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。)



- 3) 下図のように取り付けピン2にトラクタユニットの左右のロックツメが、しっかりとかかっていることを確認してください。





付 錄

プリンタの概略仕様	198
外観図	202
標準外観図	202
カットシートフィーダ(オプション)	
取り付け時の外観図	203
インターフェース仕様	204
パラレルインターフェース	204
USBインターフェース仕様	210
ESC/P モードの制限事項	211
初期状態	212
FM モード (FMPR5610/5410のみ)	212
ESC/P モード	213
コマンド一覧表	214
FM モードコマンド一覧表	215
ESC/P モードコマンド一覧表	223
キャラクタコード一覧表	228
FM モードキャラクタコード一覧表	228
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	229
非漢字一覧表	231
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	238
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	241
ご注意	244



プリンタの概略仕様

・印字方式 ワイヤドットマトリックス

・印字速度

(文字/秒)

FMPR5610					
	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	180	159	159	149	74
漢字高速 (27/180 インチ)	360	318	318	298	148
ANK レギュラ (パイカ)	270	239	239	224	112
ANK レギュラ (エリート)	324	286	286	268	134
ANK レギュラ高速 (パイカ)	540	478	478	448	224
ANK レギュラ高速 (エリート)	648	572	572	536	268
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	540	330
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	648	396

(文字/秒)

FMPR5410					
	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	130	120	120	100	50
漢字高速 (27/180 インチ)	260	240	240	200	100
ANK レギュラ (パイカ)	195	180	180	150	75
ANK レギュラ (エリート)	234	216	216	180	90
ANK レギュラ高速 (パイカ)	390	360	360	300	150
ANK レギュラ高速 (エリート)	468	432	432	360	180
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	450	225
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	540	270

注) ANK ドラフトは ESC/P モードでフォントを指定する事で選択可能
(文字/秒)

FMPR5310E					
	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~6	レンジ1~3	レンジ4~6	
漢字 (27/180 インチ)	125	115	115	96	48
漢字高速 (27/180 インチ)	250	230	230	192	96
ANK レギュラ (パイカ)	187	173	173	144	72
ANK レギュラ (エリート)	224	207	207	172	90
ANK レギュラ高速 (パイカ)	374	346	346	288	144
ANK レギュラ高速 (エリート)	448	415	415	345	180
ANK ドラフト (パイカ)	540	519	519	432	216
ANK ドラフト (エリート)	648	622	622	518	270

・ドット径 0.2mm

・ドットピッチ 1/180 インチ (縦、横共)

・印字桁数

漢字全角 : 90 (文字/行)

半角漢字 : 180 (文字/行)

ANK (パイカ) : 136 (文字/行)

ANK (エリート) : 163 (文字/行)

・印字動作 両方向最短距離印字

・複写能力 (コピー能力)

FMPR5610/5410

標準モード : オリジナル+7P

高複写モード : オリジナル+8P

(ただし、高複写モード 1 の場合)

FMPR5310E

標準モード : オリジナル+5P

高複写モード : オリジナル+7P

(ただし、高複写モード 1 の場合)

・イメージ印字 行ドット数

FM モード選択時 2448

ESC/P モード選択時 4896

・用紙送り 用紙送り方式 : 押込みトラクタ方式

(連続帳票用紙)

フリクション方式 (単票用紙)

改行間隔 : 1/360 インチ×n

(n はプログラム設定による)

改行速度 : 約 50ms (1/6 インチ改行時)

・スタッカ容量 (単票) 120 枚以下 (A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg)

・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、
印字デューティ、使用環境などにより減
少しますので、ご注意ください。

・使用環境 温度 : 稼動時 5~35°C

非稼動時 -15~60°C

(ただし、温度勾配 15°C/H 以下)

湿度 : 稼動時 20~80%RH

(最高湿球温度 29°C 以下)

非稼動時 5~95%RH

(ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH/
日以下)

・インターフェース

IEEE 1284 双方向パラレルインターフェース

USB1.1 インタフェース

・電源仕様	入力電源種別 : 商用単相 電源電圧 : AC100V±10% 電源周波数 : 50/60±1Hz
・消費電力	FMPR5410/5310E 平均 190W (最大 465W) FMPR5610 平均 270W (最大 685W) 待機時 10W 以下
・外形寸法	600mm (幅) × 350mm (奥行) × 290mm (高)
・質量	FMPR5410/5310E 約 22kg FMPR5610 約 22.5kg
・稼動音	FMPR5410/5310E 58dB (A) FMPR5610 60dB (A)
・リボン	種類 : 据置き型リボンカセット (サブカセット詰め替型) リボン寿命 : 1500 万字 (ANK ドラフト文字)
注)	上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。 温度 -10~50°C 湿度 20~90%RH 色 : 黒単色
・耐用期間	プリンタ装置 : 5 年 (電源の通電条件:8 時間/日以内) または 750 万行 (いずれか早い方) 耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。 24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。 印字ヘッド : 通常モード 5 億打/ピン (ANK、漢字印字時) 高複写モード 1 3 億打/ピン (ANK、漢字印字時) 高複写モード 2 1.5 億打/ピン (ANK、漢字印字時)
注)	通常モードの印字でも、FMPR5410/5310E では 40%、FMPR5610 では 18% の黒率を超えると自動的に高複写モード 1 になります。

・制限事項

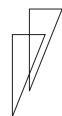
連續改行 LF モータ劣化防止のため、連續改行、連續改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。

高密度印字 印字ヘッド劣化防止のため、50% デューティ 以上のパターンを印刷すると、2 分割印字になることがあります。

逆改行動作

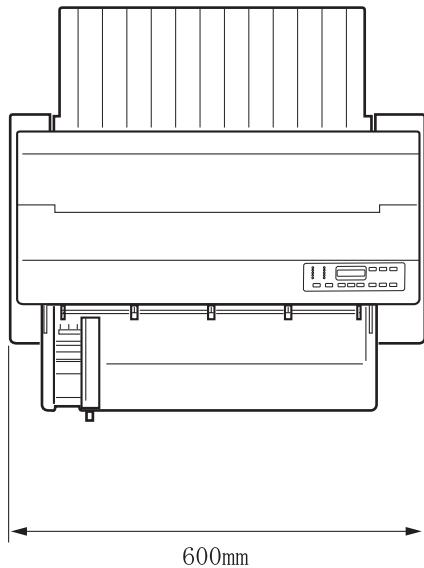
- 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。
- カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。
- 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙詰まりや用紙ガレの原因となるため行わないでください。

連續印字 印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連續印刷を行うと 2 分割印字になることがあります。

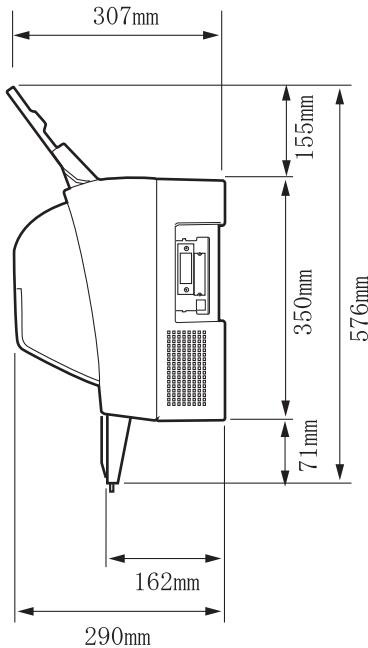


外観図

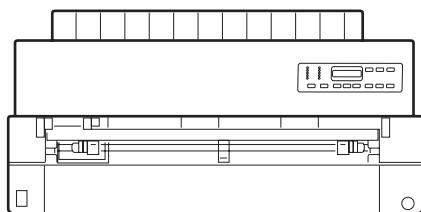
■ 標準外観図



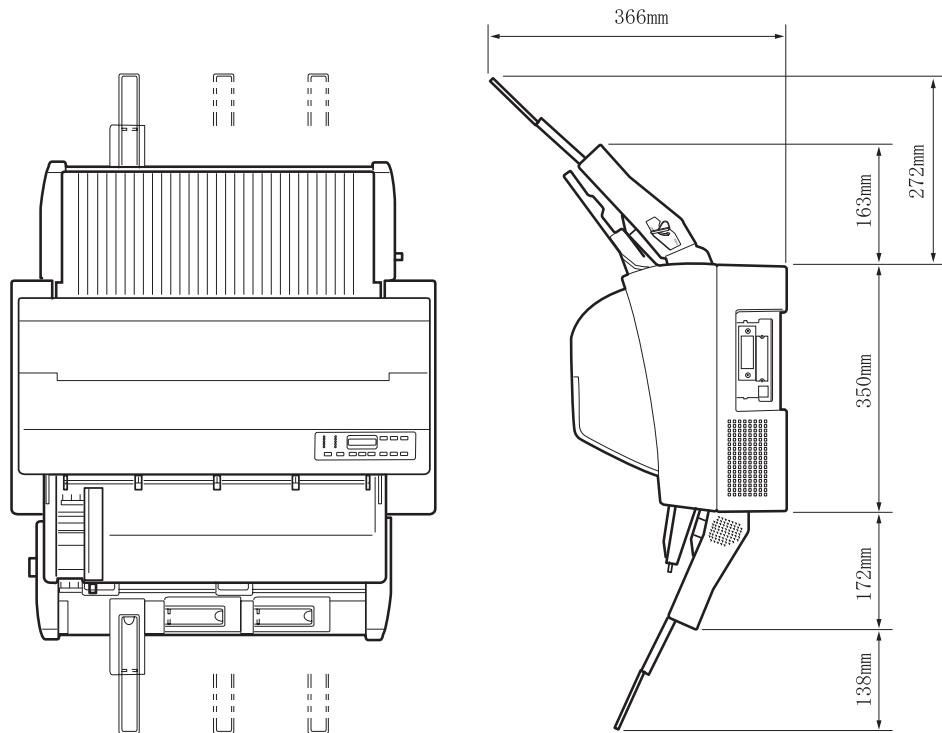
〈上面図〉

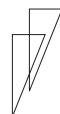


〈側面図〉



〈正面図〉

■ カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図**◆ カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図**



インターフェース仕様

■ パラレルインターフェース

◆ 基本仕様

IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース

◆ インタフェースコネクタ

プリンタ側：レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360 相当
ケーブル側：プラグ : アンフェノール(DDK)57-30360 相当

◆ インタフェースケーブル

素 材 : 7/φ 0.12 (AWG28 相当)以上

タ イ プ : シールド

長 さ : フラットケーブル : 1.5m 以下
ツイストケーブル : 3.5m 以下

◆ 信号レベル

LOW : 0.0V～+0.4

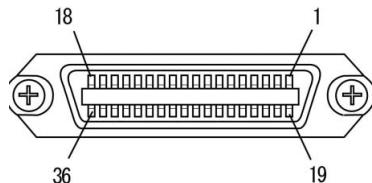
HIGH : +2.4V～+5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インターフェースコネクタ (36 ピン)



※ パソコンの BIOS 設定

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は
必ず「Bidirectional (双方向)」にしてご使用ください。

確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを
参照してください。

● FM モード (FMPR5610/5410 のみ)

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	*DSTB	19	*DSTB-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INPRM-RET
13	SLCT	31	*INPRM
14	±0V (RINF1)	32	*FAULT
15	OSCXT (RINF2)	33	LD (RINF3)
16	SG	34	*EXPRM
17	FG	35	NC
18	+5V	36	SG

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

注 2) ()内の信号は、ステータス出力です。

注 2) “*”は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8 プリンタの受信データです。

“H” で信号あり、 “L” で信号なしです。

DSTB DATA1～8 を読み込むためのストローブ信号です。

定常状態では “H” です。 “H” から “L” になると、データを読み込みます。

*INPRM プリンタを初期状態にする信号です。

初期状態については、212 ページを参照してください。

実行中の動作が終了した後、プリンタの初期化を行います。

定常状態では “H” です。 “H” から “L” になると、実行中の動作を正常終了し、“L” から “H” になると、初期化します。

*EXPRM との相違点は、実行中の動作が終了した後初期化を行うことと、外字登録が保持されることです。

*EXPRM プリンタを初期状態にする信号です。
外字登録データはすべてクリアされます。
動作中でもプリンタの初期化を行います。
初期状態については、212 ページを参照してください。
定常状態では “H” です。 “H” から “L” になると、実行中の動作を中断し、“L” から “H” になると、初期化を開始します。

・出力信号の説明

*ACKNLG *DSTB に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE 用紙切れを通知する信号です。
用紙が残り少なくなると、この信号は “H” になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。

オンライン状態のときに、プリンタ内に用紙がなくなり、プリンタ動作コマンドを受信すると、動作終了後、オフライン状態になり、ブザーが鳴動します。

上記の状態で用紙を新しくセットすると、この信号は “L” になり、「用紙切れ」ランプが消灯します。このとき、DC1 コードは無効です。

この後、オンラインを押すと、オンライン状態に戻ります。
(エラーが無い場合)

BUSY プリンタのビジー状態を通知する信号です。
この信号が “H” のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。ただし、DC3 コードによるオフライン状態のときは、DC1 コードを受信できます。
以下の状態のとき、この信号は “H” です。
受信データ処理中、プリンタエラー状態、オフライン状態

SLCT プリンタのオンライン、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が、“L” のときはオフライン状態を、“H” のときはオンライン状態を示します。

次の動作で、オフライン状態になります。

- ・オンライン状態でオンラインを押したとき、または DC3 コードを受信したとき
- ・電源投入、または*EXPRM, *INPRM コマンド受信により、初期動作中にアラーム、用紙無しを検出したとき
- ・印字動作中に、用紙無し、スペースエラーを検出したとき

● ESC/P モード

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

注 2) “*”は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8 プリンタの受信データです。

“H” で信号あり、 “L” で信号なしです。

*STROBE DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。

定常状態では “H” です。 “H” から “L” になるとき、データを読み込みます。

*INIT プリンタを初期状態にする信号です。

初期状態については、212 ページを参照してください。

“L” になるとプリンタは初期状態になります。

*SLCT IN DC1/DC3 を無効にする信号です。

電源投入時に “L” になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT

復帰改行する信号です。

“L” になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・出力信号の説明

*ACKNLG *STROBE に対する応答信号です。

データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE 用紙切れを通知する信号です。

用紙が残り少なくなると、この信号は “H” になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。

BUSY プリンタのビジー状態を通知する信号です。

この信号が “H” のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。

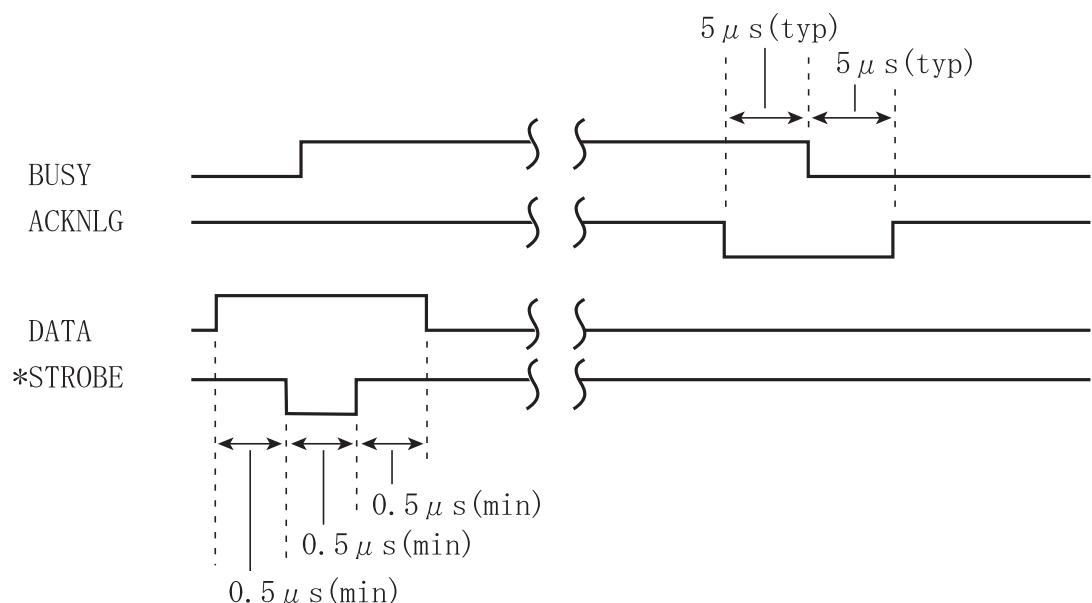
以下の状態のとき、この信号は “H” です。

受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中

SLCT 常に “H” です。

*ERROR アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。

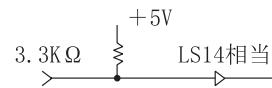
この信号が “L” のときは、アラーム状態、オフライン状態です。



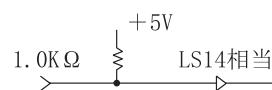
◆ インタフェース回路

・入力回路

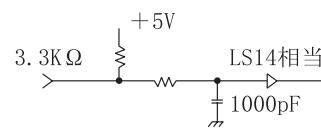
ピン No.	ESC/P モード
2~9	DATA1~8



ピン No.	ESC/P モード
14	*AUTOFEED
	XT

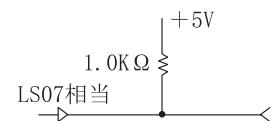


ピン No.	ESC/P モード
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力回路

ピン No.	ESC/P モード
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC

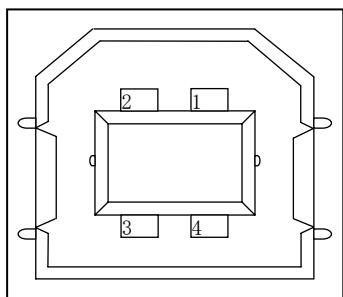


■ USB インタフェース仕様

◆ ケーブル

仕様 : USB1.1
 タイプ : シールドタイプ
 長さ : 5m以下

◆ コネクタピン配列



No.	信号線名称	機能
1	vbus	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆ コネクタ仕様

プリンタ側 : typeB レセプタクル (メス)
 アップストリームポート

ケーブル側 : typeB プラグ (オス)

◆ 仕 様

基本仕様

USB インタフェース準拠

注意) 全ての USB デバイスとの接続を保証するものではありません。

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード (最大 12Mbps+0.25%)



ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、FM モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています（FMPR5310E は ESC/P モードのみ対応）。ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。

（「ESC/P モードコマンド一覧表」 223 ページ参照）

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを FM モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。

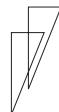
（54 ページ参照）

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタドライバを使用してください。

Windows のとき : FMPR5610 の場合
 FMPR5610 プリンタドライバ（プリンタ添付）
 : FMPR5410 の場合
 FMPR5410 プリンタドライバ（プリンタ添付）
 : FMPR5310E の場合
 FMPR5310E プリンタドライバ（プリンタ添付）

MS-DOS のとき : VP-1700 または VP-1000 用



初期状態

■ FM モード (FMPR5610/5410 のみ)

電源投入時、*INIT/*INPRM 受信時、およびリセットコマンド (RIS/RBS) 受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	リセットコマンド
解像度	180dpi	同左
行受信バッファ	クリア	〃
左端、右端の設定	左端=左端 1 =左端 2 =1 ドット (始端) 右端=2448 ドット (終端)	〃
タブ設定 (水平、垂直)	すべて解除	〃
ページ長	11 インチ	〃
スキップパーフォレーション行	0 行	〃
改行ピッチ	1/6 インチ	〃
書体 (ANK)	ドラフト	〃
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	〃
ANK 文字サイズ	標準	〃
ANK アンダーライン	なし	〃
スーパーサブスクリプト指定	解除	〃
プロポーショナル指定	解除	〃
プロポーショナル空白幅	1/10 インチ	〃
書体	明朝/ゴシック (注)	〃
漢字指定	ANK モード	〃
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	〃
漢字縦書き	横書き	〃
漢字縦書き時の文字回転	物理的に左 90° 回転	〃
半角縦書きの制御	2 文字ペア	〃
漢字アンダーライン	なし	〃
漢字文字サイズ	標準	〃
漢字縦拡大の基準	上端合わせ	〃
罫線接続	接続しない	〃
漢字未定義コード	■印字	〃
外字登録	すべてクリア	保持
フロント/リアシートフィーダ 搭載時	用紙排出	同左
フロント/リアシートフィーダの ホッパから吸入する用紙の指定	一般紙	〃

注) 機能設定「ソウキノウ セッティ」の「カンジショタイ」設定によります。

■ ESC/P モード

電源投入時、*INIT 受信時、およびリセットコマンド(ESC@)受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	ESC@
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同左
印刷バッファ	クリア	リ
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない
ページ長	11 インチ (注 1)	
ミシン目スキップ	解除 (注 1)	
右マージン	136 桁(10CPI の文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6 インチ/行 (注 1)	
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10 文字/インチ (注 1)	
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ (注 1)	
文字品位	高品位 (注 1)	
国際文字選択	日本 (注 1)	
文字コード表	カタカナコード表 (注 1)	
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除 (注 1)	
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体 (注 1)	
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量 : 0 右スペース量 : 3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量 : 0 右スペース量 : 2	
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量 : 0 右スペース量 : 2	
漢字装飾	解除	
单方向印字	解除 (注 1)	
漢字高速印字	解除 (注 2)	
カットシートフィーダモード	第 1 ビン選択	

注 1) 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注 2) ただし、印字モード/改ページスイッチにより高速印字モードにしていた場合、ESC@受信では高速印字を解除しません。



コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。

お願い

本プリンタでは、1 インチ以上の逆改行を行わないでください。これを行うと、印字が乱れたり、用紙詰まりの原因になったりします。



ガイド

フロント/リアシートフィーダ給紙の場合、逆改行のトータル量は 1/3 インチ以下とします。

◆ 表の見方

- ・ < >₁₆ 内の文字は 16 進表記です。
- ・ コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
ESC = <1B>₁₆ CSI = <1B>₁₆ + <5B>₁₆
CEX = <1C>₁₆ PUI = <1B>₁₆ + <51>₁₆
- ・ „は、スペース (空白<20>₁₆) を示します。
- ・ Pa、P₁、P₂、…、Pn はパラメータを示します。

■ FM モードコマンド一覧表

このプリンタは、基本ピッチが1/180インチです。FMモードでは180dpiモードで動作します。

また、このプリンタのドット位置は次のとおりです。

始端：1 ドット

終端：2448 ドット

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

FMPR5310E は FM モードをサポートしていません。

※欄の記号は次の意味を表します。

○：本プリンタで使用できる

×：本プリンタではサポートしていない

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
装 置 制 御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンタを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(212 ページ)を参照してください。	
		RBS	リセット	CEX+]		
動作 モード 設定	DCH	解像度変更指定		PU1+Pa+!+A	解像度を変更します。	×
装置制御	DC1	デバイス・コン トロール 1		<11> ₁₆	オンライン状態にします。	○
	DC3	デバイス・コン トロール 3		<13> ₁₆	印字後、オフライン状態にします。	
	PDIR	印字方向指定		PU1+Pa+ ₀ ¹	印字方向を指定します。 Pa = 0 両方向印字指定 (初期値) 1 片方向印字指定	○
	HSPR	高速印字指定		PU1+Pa+ ₀ ¹	高速印字を指定します。 Pa = 0 通常印字 (初期値) 1 高速印字	
	BEL	ベル		<07> ₁₆	ブザーが鳴ります。 装置機能設定の「ブザー」の設定が オフに設定してある場合は無効で す。	○
	CAN	抹 消		<18> ₁₆	バッファ内のデータをクリアします。	
	DEL	削 除		<7F> ₁₆	1 文字削除します。	

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
ペ ー ジ 制 御	用紙制御	CSF	カットシート フィーダ制御	PU1+Pa+ _u +[カットシートフィーダの動作（吸入・排出）、吸入する用紙の種類と 吸入口を指定します。 Pa= 0 用紙を吸入 1 用紙を排出 10 一般紙 (上端余白約 22.0mm) (注 1) 11 はがき縦 (上端余白約 12.7mm) 12 はがき横 (上端余白約 9.7mm) 20 第1ビン 21 第2ビン 22 無効	○
	CSF2	カットシート フィーダ制御 2		PU1+Pa+ _u +¥	カットシートフィーダの自動給紙 を指定します。 Pa= 0 自動給紙を解除 3 自動給紙を指定	○
印字領域	SPF	自動改ページ指 定		PU1+Pa+ _u +K	スキップパーフォレーション行を 指定します	○
	LMRG	左端指定		PU1+P1+;+P2+ +Q	左端位置を指定します。	○
ページ長 設定	PGL1	ページ長指定 1		PU1+Pa+ _u +A	行単位でページ長を指定します。	○
	PGL2	ページ長指定 2		PU1+Pa+ _u +B	インチ単位でページ長を指定しま す。	○
印 字 位 置 制 御	基本制御	CR	復 帰	<0D> ₁₆	印字後、受信位置を同一行の左端に します。	○
		BS	後 退	<08> ₁₆	印字後、受信位置を 1 文字分後退し ます。	○
		LF	改 行	<0A> ₁₆	印字後、受信位置を次の行の左端に します。	○
		NEL	復 改	ESC+E		
		NEL	復 改	CEX+@		
		FF	改ページ	<0C> ₁₆	印字後、受信位置を次のページの左 端にします。	○

注 1) 上端余白とは、用紙の上端から印字開始行の文字上端までのことをい
ます。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※	
印 字 位 置 制 御	ピッチ 制御	CP	漢字文字ピッチ 指定	CEX+\$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	○	
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。		
		LP2	改行ピッチ指定 2	PU1+P1+;+P2+ +G	P1/P2 インチで改行ピッチを指定し ます。		
		SPI	改行ピッチ/ ANK 文字ピッチ 指定	CSI+P1+;+P2+ +G	改行ピッチおよび ANK 文字ピッチを 指定します。		
タブ位置 設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設 定します。		○	
		SCT	水平タブセット	CEX+F	水平タブストップを指定します。		
		STF	水平タブ位置指 定	CEX+#+P1+ ... +Pn			
		HTSA	水平タブ位置指 定	CSI+P1+;+... +Pn+ +N	現在行に垂直タブストップを設 定します。		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J			
		SLT	垂直タブセット	CEX+H	垂直タブストップを指定します。		
		VTSA	垂直タブ位置指 定	PU1+P1+;+... +Pn+ +@			
タブ位置 解除	RCT	水平タブリセッ ト	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解 除します。 TBC で Pa=0 を指定したときと同じ です。		○	
		RLT	垂直タブリセッ ト	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解 除します。 TBC で Pa=1 を指定したときと同じ です。		
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa= 0 現在位置の水平タブス トップを解除 (RCT と同じ) (初期値) 1 現在行の垂直タブスト ップを解除 (RLT と同じ) 3 すべての水平タブスト ップを解除 4 すべての垂直タブスト ップを解除		

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	<09> ₁₆	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。	○
	CHBT	水平逆タブ		CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。	
	HPA	絶対水平タブ		CSI+Pa+ <u>l</u>	受信位置を指定した位置にします。	
	HPA2	絶対水平タブ 2		PU1+Pa+ <u>l</u> +P	受信位置を指定します。	
	HPR	相対水平タブ		CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。	
	PS	指定間隔		CEX+!+Pa		
	HPB	相対水平逆タブ		CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。	
	VT	垂直タブ		<0B> ₁₆	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。	
	VPA	絶対垂直タブ		CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。 (注 2)	
	VPR	相対垂直タブ		CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
行組み	SAP	動作位置指定		CEX+''+P1+P2	印字後、受信位置を指定した位置にします。 (注 2)	○
	HVP	動作位置指定		CSI+P1+;+P2+f		
	LC	行組み指定		CEX+)+P1+P2+P3+P4	右端、左端 1、左端 2 を指定します。	
	KNL1	漢字復改 1		CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端 1 にします	
文字印字制御	KNL2	漢字復改 2		CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端 2 にします	○
	NPH	段 落		CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字 1 文字分進めます。	
	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+\$+@	JIS ⁷⁸ 漢字モードを指定します。	
				ESC+\$+B	JIS ⁸³ 漢字モードを指定します。	○
			ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。	

注 2) このプリンタは、逆改行動作に制限があります。(201 ページ参照)印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできなかつたりする場合がありますので、逆改行動作を伴うコマンドは使用しないことをおすすめします。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※									
印 字 位 置 制 御	漢字/ANK	TF	書体指定	CEX+ (+P1+P2)	ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。 ・レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。 ・レギュラ文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。	○									
					<table border="1"> <tr> <td></td><td>P₁=0 (ANK)</td><td>P₁=1 (漢字)</td></tr> <tr> <td>P₂=0</td><td>ド ラ フ ト</td><td>明 朝</td></tr> <tr> <td>P₂=1</td><td>レ ギ ュ ラ</td><td>ゴ シ ッ ク</td></tr> </table> ←初期値		P ₁ =0 (ANK)	P ₁ =1 (漢字)	P ₂ =0	ド ラ フ ト	明 朝	P ₂ =1	レ ギ ュ ラ	ゴ シ ッ ク	
	P ₁ =0 (ANK)	P ₁ =1 (漢字)													
P ₂ =0	ド ラ フ ト	明 朝													
P ₂ =1	レ ギ ュ ラ	ゴ シ ッ ク													
	HSS2	半角指定 2	PU1+Pa+ +	1 バイト半角文字を指定します。 Pa= 0 標準文字 (ANK 文字) (初期値) 1 半角文字											
プロポー ショナル	SPS	欧文ピッチ処理 開始	CEX+T	プロポーショナル印字を指定します。		○									
	EPS	欧文ピッチ処理 終了	CEX+U	プロポーショナル印字を解除します。		○									
上つき/ 下つき 文字	SSP	上つき文字開始	CEX+N	上つき文字を指定します。		○									
	ESP	上つき文字終了	CEX+O	上つき文字を解除します。		○									
	SSB	下つき文字開始	CEX+P	下つき文字を指定します。		○									
	ESB	下つき文字終了	CEX+Q	下つき文字を解除します。		○									
拡大/ 縮小	KGM	漢字拡大印字指 定	CEX+' +P1+P2	漢字文字の拡大 (縮小) 印字のサイズを指定します。 SFC コマンドのスケラーブル指定が無効の場合 P ₁ , P ₂ の範囲 50, 100, 200% SFC コマンドのスケラーブル指定が有効の場合 P ₁ , P ₂ の範囲 1~999%		○									
	GSM	ANK 倍幅拡大 印字指定	CSI+P1+;+P2 + +B	ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。 縦方向に 100%、横方向に 100、200% を指定できます。		○									

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
文字印字制御	拡大/縮小	SFC	スケーラブル文字制御	PU1+P1+;+P2+;+P3+;+P4+;+P5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P ₁ = 0 スケーラブル無効 (初期値) 1 スケーラブル有効 P ₂ = 0 ドットフォント優先 1 アウトラインフォント優先 P ₃ = 0 固定 P ₄ = 0 固定 P ₅ = 0 200%拡大時にアウトラインフォント使用 1 200%拡大時にドットフォント使用	×
強調	HL	カラー/漢字アンダーライン指定		CEX+*+Pa	漢字アンダーラインを指定します。 Pa= 0 通常印字 (初期値) 4漢字アンダーライン 10 13 } 無効 15 16	○
	SGR	カラー/ANK アンダーライン指定		CSI+Pa+m	ANK アンダーラインを指定します。 Pa= 0 通常印字 (初期値) 4ANK アンダーライン 30 33 } 無効 35 36	○
縦書き横書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J		漢字の縦書きを指定します。	○
	VWF2	漢字縦書き指定 2	PU1+Pa+u+q		漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。 Pa= 0 物理的に 90 度回転 (初期値) 1 パターンによる最適変換	○
	HWF	漢字横書き指定	CEX+K		漢字の横書きを指定します。	○
	HVWF	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+u+p		漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。 Pa= 0 2 文字ペア (初期値) 1 1 文字中心	○
文字印字	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+u+t	罫線接続を指定します。 Pa = 0 接続しない (初期値) 1 接続する	○

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
制 御		KUDC	漢字未定義コード	PU1+Pa+ _u +X	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa = 0 ■印字（初期値） 1 漢字スペース	
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+ _u +E	プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。	
イ メ ージ デ ー タ 印 字	イメージ 処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+ _u +W+ データ	イメージを印字します。	○
		SIMG	単密度倍幅 イメージ転送	PU1+Pa+ _u +V+ データ	単密度倍幅イメージを印字します。	
		DIMG	倍幅イメージ転 送	PU1+Pa+ _u +X+ データ	倍幅イメージを印字します。	
外 字 登 録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P1+ P2+D1+ … +D144	24×24 ドットの、ユーザ定義文字を 登録します。	○
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P1+ P2+D1+ … +D576	48×48 ドットの、ユーザ定義文字を 登録します。	×

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

このプリンタは、逆改行動作に制限があります。(201 ページ参照) 印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできない場合がありますので、以下のコマンドは使用しないことをおすすめします。

機能名称		名 称		コマンド	機 能	※
非 推 奨 コ マ ン ド	逆改行 タブ	LBT	垂直逆タブ	CEX+E	印字後、受信位置を手前の垂直タブ ストップの左端にします。	○
		VPB	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+k	印字後、指定した行だけ逆改行して 受信位置を左端にします。	
	印字位置	KSM	漢字モードセッ ト	CEX+---t	文字中心合わせを指定します。	○
		KRM	漢字モードリセ ット	CEX+.+t	文字下端合わせを指定します。	
		KUPF	漢字基準線指定	PU1+Pa+u+d	文字中心/下端/上端合わせを指定 します。	

■ ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

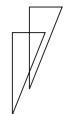
機能名称	名 称	コマンド	機 能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	改行量を Pa/60 インチに設定します。
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+B+P ₁ +P ₂ +…P _n +NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	水平タブ位置設定	ESC+D+P ₁ +P ₂ +…P _n +NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
	VFU チャネル選択	ESC+/+Pa	チャネル番号を指定します。
	VFU タブ位置設定	ESC + b + Pa +P ₁ +…P _n +NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
	改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
	改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします。

機能名称		名 称	コマンド	機 能
書式	印字・紙送り	n/180 インチ順方向紙送り	ESC+J+Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
設定・実行	印字位置設定	水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
		垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
		後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って 1 文字分左へ移動します。
		絶対位置指定	ESC + \$ + P ₁ + P ₂	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
		相対位置指定	ESC + ¥ + P ₁ + P ₂	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	A N K 文字	文字セット	12CPI 指定	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します
			10CPI 指定	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
			プロポーショナル指定/解除	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ANK 文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ANK 文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ANK 文字のコード表を選択します。
	文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC + % + Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
		ダウンロード文字定義	ESC + & + NUL + P ₁ + P ₂ + { Pa ₁ + Pb ₁ + Pc ₁ + D ₁ ~D _n } × n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
		文字セットコピー	ESC + : + NUL + P ₁ + P ₂	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称		名 称	コマンド	機 能
テキスト処理	A N K 文 字	文字間スペース量設定	ESC +_ +Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	ESC + a +Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
	装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。 どちらのコマンドも同一内容の ANK 文字縮小印字をします。
		縮小指定	ESC +SI	
		縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
		アンダーライン指定/ 解除	ESC +_ +Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
		縦倍拡大指定/解除	ESC + w +Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	自動解除付き倍幅拡大 指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
		自動解除付き倍幅拡大 指定	ESC +SO	
		自動解除付き倍幅拡大 解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
		倍幅拡大指定/解除	ESC +W +Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
		強調指定	ESC +E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
		強調解除	ESC +F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
		二重印字指定	ESC +G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
		二重印字解除	ESC +H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
		自動解除付き倍幅拡大 指定	FS +SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
		自動解除付き倍幅拡大 解除	FS +DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
		一括指定	ESC + ! +Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称		名 称	コマンド	機 能
テキスト処理	共通	イタリック指定	ESC+4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
		イタリック解除	ESC+5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
		文字スタイル選択	ESC + q + Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	縦書き指定	FS+J	漢字文字の縦書きを指定します。
		横書き指定	FS+K	漢字文字の横書きを指定します。
		半角縦書き 2 文字指定	FS+D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
		4 倍角指定/解除	FS+W+Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
		漢字アンダーライン指定/解除	FS+—+Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
		漢字一括指定	FS+！+Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
	文字セット	漢字モード指定	FS+&	漢字モードを指定します。
		漢字モード解除	FS+. .	漢字モード指定を解除します。
		半角文字指定	FS+SI	漢字文字の半角印字を指定します。
		半角文字解除	FS+DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
		1/4 角文字指定	FS+ r +Pa	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
		漢字書体選択	FS+ k +Pa	漢字文字の書体を選択します。
	文字定義	外字定義	FS + 2 + P ₁ + P ₂ +D ₁ ~D ₇₂	外字登録コード、登録パターンを指定します。
	文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS + S + P ₁ + P ₂	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
		半角文字スペース量設定	FS + T + P ₁ + P ₂	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
		半角文字スペース量補正	FS+U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
		半角文字スペース量補正解除	FS+V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
イメージ処理	8 ドット単密度ビットイメージ	ESC+K+P ₁ +P ₂ +D ₁ ~D _n	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC+L+P ₁ +P ₂ +D ₁ ~D _n	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+Y+P ₁ +P ₂ +D ₁ ~D _n	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
	8 ドット 4 倍密度ビットイメージ	ESC+Z+P ₁ +P ₂ +D ₁ ~D _n	8 ビット 4 倍密度のビットイメージを指定します。
	ビットイメージ選択	ESC+*+Pa+P ₁ +P ₂ +D ₁ ~D _n	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
	ビットイメージ変換	ESC+?+P ₁ +P ₂	8 ビット系のビットイメージ(ESC+K, ESC+L, ESC+Y, ESC+Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	ESC+@	プリンタを初期状態にします。
	キャリッジ制御	単方向印字指定/解除	単方向印字の指定、解除を行います。
		漢字高速印字指定/解除	漢字高速印字の指定、解除を行います。
		リターンホーム	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	デバイスコントロール 1	プリンタを選択状態にします。
		デバイスコントロール 3	プリンタを非選択状態にします。
		1 文字削除	直前のデータを 1 文字クリアします。
		データ抹消	バッファ内のデータをクリアします。
	CSF 制御	カットシートフィーダ制御	プリンタの給紙方法を選択します。
	カラー選択	ESC+ r +Pa	このコマンドは無効です。
	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。



キャラクタコード一覧表

■ FM モードキャラクタコード一覧表

FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

上位 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	~	p	—	+	—	タ	ミ	二	×	
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	—	—	。	ア	チ	ム	ヒ	円
2			”	2	B	R	b	r	—	—	「	イ	ツ	メ	ヰ	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	—	—	」	ウ	テ	モ	ヰ	月
4			\$	4	D	T	d	t	—	—	、	エ	ト	ヤ	◆	日
5			%	5	E	U	e	u	—	—	・	オ	ナ	ユ	◀	時
6			&	6	F	V	f	v	—	—	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	—	—	ア	キ	ヌ	ラ	▶	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	イ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT)	9	I	Y	i	y	—	—	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	—	—	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	—	—	オ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l		—	—	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M]	m	}	—	—	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	—	—	—	ヨ	セ	ホ	。	/	■■
F			/	?	O	—	o	DEL	+	ノ	ツ	ソ	マ	。	＼	

■ ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

上位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	—	—	—	—	—	—	—	×
1	DC1	!	1	A	Q	a	q	—	—	—	—	—	—	—	—	円
2	DC2	"	2	B	R	b	r	—	—	—	—	—	—	—	—	年
3	DC3	#	3	C	S	c	s	—	—	—	—	—	—	—	—	月
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	—	—	—	—	—	—	—	—	日
5	^_	5	E	U	e	u	—	—	—	—	—	—	—	—	—	時
6	&	6	F	V	f	v	—	—	—	—	—	—	—	—	—	分
7	BEL	'	7	G	W	g	w	■	■	■	■	■	■	■	■	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	—	—	—	—	—	—	〒
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	—	—	—	—	—	—	市
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—	—	—	—	—	—	—	—	区
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	■	■	■	■	■	■	■	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	+	—	—	—	—	—	—	—	村
D	CR		=	M	J	m	j	}	■	■	■	■	■	■	■	人
E	SO	.	>	N	^	n	~	—	■	■	■	■	■	■	■	■
F	SI	/	?	O	—	o	—	+	■	■	■	■	■	■	■	＼

注 1) <15>₁₆ を除く、<00>₁₆～<7F>₁₆ はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 16進 国	23	24	40	58	5C	5D	5E	60	78	7C	7D	7E				
アメリカ	#	S	@	l	＼	】	^	~	{		}					~
フランス	#	S	à	ç	g	š	é	ù	è	“						
ドイツ	#	S	s	ä	ö	ü	ä	ö	ü	ß						
イギリス	£	S	@	[＼	】	^	~	{		}					~
デンマーク I	#	S	@	æ	ø	å	^	~	æ	ø	å					~
オランダ	#	¤	é	ä	ö	å	ü	é	ä	ö	å	ü				
イタリア	#	S	@	~	è	é	ù	à	ò	è	í					
スペイン I	P1	S	@	i	ñ	é	~	~	~	~	~	~				~
日本	#	S	@	「	¥	」	^	~	{		}					~
ノルウェー	#	¤	é	ä	ø	å	ü	é	æ	ø	å	ü				
デンマーク II	#	S	é	ä	ø	å	ü	é	æ	ø	å	ü				
スペイン II	#	S	á	i	ñ	é	é	ü	í	ñ	ó	ú				
デンマーク III	#	S	á	i	ñ	é	é	ü	í	ñ	ó	ú				

◆ 拡張グラフィックスコード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	‘	p	ç	É	á	í	ú	æ	ñ	ñ	é
1	DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	ú	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
2	DC2	”	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ú	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
3	DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
5	§	%	5	E	U	e	u	ä	ò	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
6	&	6	F	V	f	v	á	ú	á	í	í	í	í	í	í	í
7	BEL	‘	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	ó	ó	ó	ó	ó	ó
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	ô	ô	ô	ô	ô	ô
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ë	ö	ö	ö	ö	ö	ö	ö
A	LF	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	ü	ü	ü	ü	ü	ü	ü
B	VT	ESC	+	;	K	l	k	í	ç	ò	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	!	î	ł	í	í	í	í	í	í
D	CR		=	M	J	m)	ì	¥	í	í	í	í	í	í	í
E	SO		>	N	^	n	~	À	Pt	«	»	»	»	»	»	»
F	SI	/	?	O	—	o	~	Á	ƒ	»	»	»	»	»	»	»

注) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード 国 16進	23	24	40	58	5C	5B	5E	60	78	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	ł	\	¡	^	~	{	¡	¡	~
フランス	#	\$	à	ç	§	§	é	ù	è	“	“	”
ドイツ	#	\$	s	À	Ö	Ü	ä	ö	ü	ß	ß	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	^	~	{	¡	¡	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	À	^	~	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	À	Ö	À	ú	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	\	é	à	ù	á	ò	è	í	í
スペイン I	Pt	\$	@	í	Ñ	é	~	~	ñ	ñ	ñ	ñ
日本	#	\$	@	「	¥	l	^	~	{	¡	¡	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	À	ú	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	À	ú	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	á	í	Ñ	é	~	í	ñ	ñ	ó	ú
デンマーク	#	\$	á	í	Ñ	é	ú	í	ñ	ñ	ó	ú

非漢字一覽表 —

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区	点\$	20 21 22 23 24 25 26 27	28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F	30 31 32 33 34 35 36 37	38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
\$		0 1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14 15	16 17 18 19 20 21 22 23	24 25 26 27 28 29 30 31

区	点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F	50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	\$	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63	

点区	\$	60 61 62 63 64 65 66 67	68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F	70 71 72 73 74 75 76 77	78 79 80 81 82 83 84 85	86 87 88 89 90 91 92 93	94
	€	64 65 66 67 68 69 70 71	72 73 74 75 76 77 78 79	80 81 82 83 84 85 86 87	88 89 90 91 92 93 94		

注 1) 区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは 0180 + 03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、%の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注 2) コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ FM モード文字コード一覧表

JIS⁷⁸ モード外字登録領域

点\$区\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
28 8	※
29 9	※
点\$区\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63	
28 8	
29 9	
点\$区\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95	
28 8	
29 9	※ ※

注) ※部(2820, 287F, 2920, 297F)は登録できません。

JIS⁸³ モード

追加文字

点\$区\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	28 8

点 \$ 区 \$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
28 8	十

点区\$	20 21 22 23 24 25 26 27	28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F	30 31 32 33 34 35 36 37 38	39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区\$	0 1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 31
	74 84	堯 槟 遙 瑤		

外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
29 9	※
2A 10	※
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
29 9	
2A 10	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
29 9	
2A 10	※ ※

注 1) ※部(2920,297F,2A20,2A7F)は登録できません。

注 2) JIS⁸³の 2A21～2A7E と JIS⁷⁸の 2821～287E は同一エリアです。

半角漢字

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
77:87	※
78:88	※
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
77:87	
78:88	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
77:87	
78:88	※ ※

注) ※部(7720,777F,7820,787F)は登録できません。

JIS⁻⁹⁰第一水準漢字一覽表

JIS コードはすべて 16 進形式

注) 「茜」のJISコードは302Bと読みます。実際の使用には、" &H"をつけて、" &H302B"とします。

JIS⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覽表

■ ご注意

このプリンタが印字する漢字は JIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS
3022(1602)	啞	啞	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	禱
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榦	榦	4642(3834)	瀆	瀆
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	濬	濬
3135(1721)	爵	爵	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	榦	榦
3139(1725)	厩	厩	3B2C(2712)	鑄	鑄	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	囊
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	澣	澣
316B(1775)	焰	焰	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醜	醜
322A(1810)	鷗	鷗	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頬	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鱈	鱈
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醬	4C4D(4445)	麵	麵
337A(1990)	嚙	嚙	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蟬	4D32(4518)	獸	獸
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	增	增	4D69(4573)	菜	菜
3622(2202)	俠	俠	4169(3373)	瘦	瘦	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驛	驛	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	軀	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蠟
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簾	簾	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	𢂔	𢂔	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	緜	緜
3834(2420)	鹹	鹹	4536(3722)	墳	墳			
396D(2577)	麌	麌	453F(3731)	顛	顛			

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)	コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)
3083 (1619)	鰯	鰯	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鶯	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壺	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砾	礪	626A (6674)
3349 (1941)	攬	攬	5978 (5788)	456E (3778)	栴	栴	5B6D (5977)
3376 (1986)	竈	竈	635E (6762)	4573 (3783)	濤	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	灌	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迄	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諫	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蠅	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頸	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	礮	礮	6268 (6672)	4B79 (4389)	僕	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蕊	6922 (7302)	4C79 (4489)	藪	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	勒	勒	7057 (8055)	4F36 (4722)	籠	籠	6446 (6838)

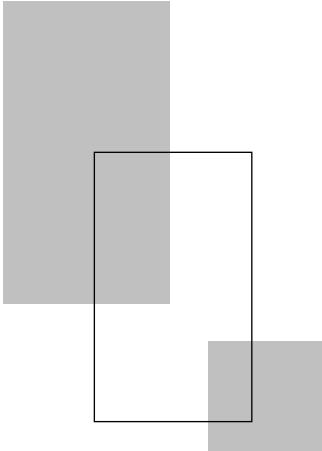
◆ 第二水準に追加された文字

コード (区点)	追加文字	コード (区点)	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	楨	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注) 「凜」と「熙」の 2 文字は ESC/P モードではサポートされていません。

ソフトウェア編





第 1 章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの
基本的なことがらおよびインストール方法について説明
します。

添付ソフトウェアの機能	250
添付ソフトウェアの動作環境	252
プリンタの動作環境	252
パソコンの接続方法	253
CD-ROM の内容	254
プリンタドライバセットアップディスク	254
ソフトウェアのインストール	256
プリンタドライバのインストール	257
Windows XP のとき	257
Windows 2000 のとき	269
Windows Server 2003 のとき	282
Windows Me のとき	294
Windows 98 のとき	307
Windows NT 4.0 のとき	320
Windows 95 のとき	327
FMPR プリンタユーティリティのインストール	337
初めてインストールするとき	338
FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき	341



添付ソフトウェアの機能

◆ プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。

FMPR5610/FMPR5410/FMPR5310E プリンタ装置では、Windows 95/98/Me /NT 4.0/2000/XP/Server 2003 用に専用のプリンタドライバを用意しています。

プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、「ソフトウェア編」の「第1章 ソフトウェアの概要」、「第2章 プリンタドライバの設定」をお読みください。



ガイド

- FMPR5310E プリンタ装置は、Windows 95 には対応していません。

◆ FMPR プリンタユーティリティ

Windows 環境でプリンタ装置をより使いやすくするソフトウェアで、プリンタ装置の状態を監視する FMPR ステータスモニタとプリンタ装置の機能設定と消耗品管理を行う FMPR リモートパネルがあります。



ガイド

- ・プリンタとの接続インターフェースが、パラレルまたは USB 接続の場合、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。
- ・FMPR プリンタユーティリティは、パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合との組み合わせでは、動作しません。
- ・FMPR プリンタユーティリティは、FMPR5310E プリンタ装置には添付していません。
- ・FMPR プリンタユーティリティは、FMPR5310E プリンタ装置では動作しません。

○FMPR ステータスモニタ

「FMPR ステータスモニタ」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。

「FMPR ステータスモニタ」は、パラレルまたは USB インタフェースで動作します。

「FMPR ステータスモニタ」をパソコンにインストールし起動すると、プリンタにエラーが発生したときにパソコン画面にエラー情報、対処方法がポップアップ表示されます。

「FMPR ステータスモニタ」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPR プリンタユーティリティのインストール」(337 ページ)をお読みください。

○FMPR リモートパネル

「FMPR リモートパネル」とは、プリンタの機能設定および、消耗品の管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。

「FMPR リモートパネル」は、パラレル、USB または LAN (オプションの FMPR-LN1 使用時) インタフェースで動作します。

「FMPR リモートパネル」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作します。

「FMPR リモートパネル」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPR プリンタユーティリティのインストール」(337 ページ)をお読みください。



ガイド

- ・プリンタとの接続インターフェースが、パラレルまたは USB 接続の場合、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。
- ・FMPR リモートパネルは FM-LNA110 との組み合わせでは、動作しません。

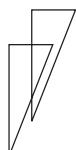


添付ソフトウェアの動作環境

対象機種	OS
FMV シリーズ	Windows 95 (日本語版)
各社 DOS/V 互換機	Windows 98 (日本語版)
	Windows Me (日本語版)
	Windows NT 4.0 (日本語版)
	Windows 2000 (日本語版)
	Windows XP (日本語版)
	Windows Server 2003 (日本語版)

注意事項

- パソコンの BIOS 設定について
本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は必ず「Bidirectional (双方向)」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。
- USB 接続
本プリンタの USB インタフェースは、USB1.1 仕様です。
本プリンタを接続するパソコンが USB 機器に対応していることを確認してください。
確認方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。
- 対応 OS について
Windows 95 は、FMPR5610/FMPR5410 プリンタ装置のみの対応となります。
FMPR5310E プリンタ装置では、動作対応外となります。



プリンタの動作環境

- 本プリンタドライバは ESC/P モードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。
- FMPR5610/FMPR5410/FMPR5310E プリンタドライバは、モノクロ専用のプリンタドライバです。
- MetaFrame 環境で運用する場合には、添付 CD-ROM 内の指定ドライバを使用してください。詳細は、CD-ROM 内の MetaFrame フォルダの Readme.txt を参照してください。



パソコンの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、接続するインターフェースによって異なります。



ガイド

- ・本プリンタドライバは、他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のプリンタドライバを本プリンタで使用することはできません。
- ・本プリンタは、次のオプション品によりパソコンとの LAN 接続が可能です。

- 1) プリンタ LAN カード (FMPR-LN1)
- 2) プリンタ LAN アダプタ (FM-LNA110)

※プリンタ LAN アダプタ (FM-LNA110) は、FUJITSU FMPR5610/FMPR5410 プリンタのみの対応となります。

FMPR5310E プリンタは、接続対象外となります。

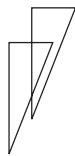
詳細は、「オプション品のご紹介」および各オプションのマニュアルをお読みください。

○パラレルインターフェースによる接続

- ・パソコン
双方面パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
- ・OS
Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003
- ・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール (257 ページ)」をお読みください。

○USB による接続

- ・パソコン
USB1.1 インタフェースを内蔵する PC/AT 互換機
- ・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003
- ・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール (257 ページ)」をお読みください。



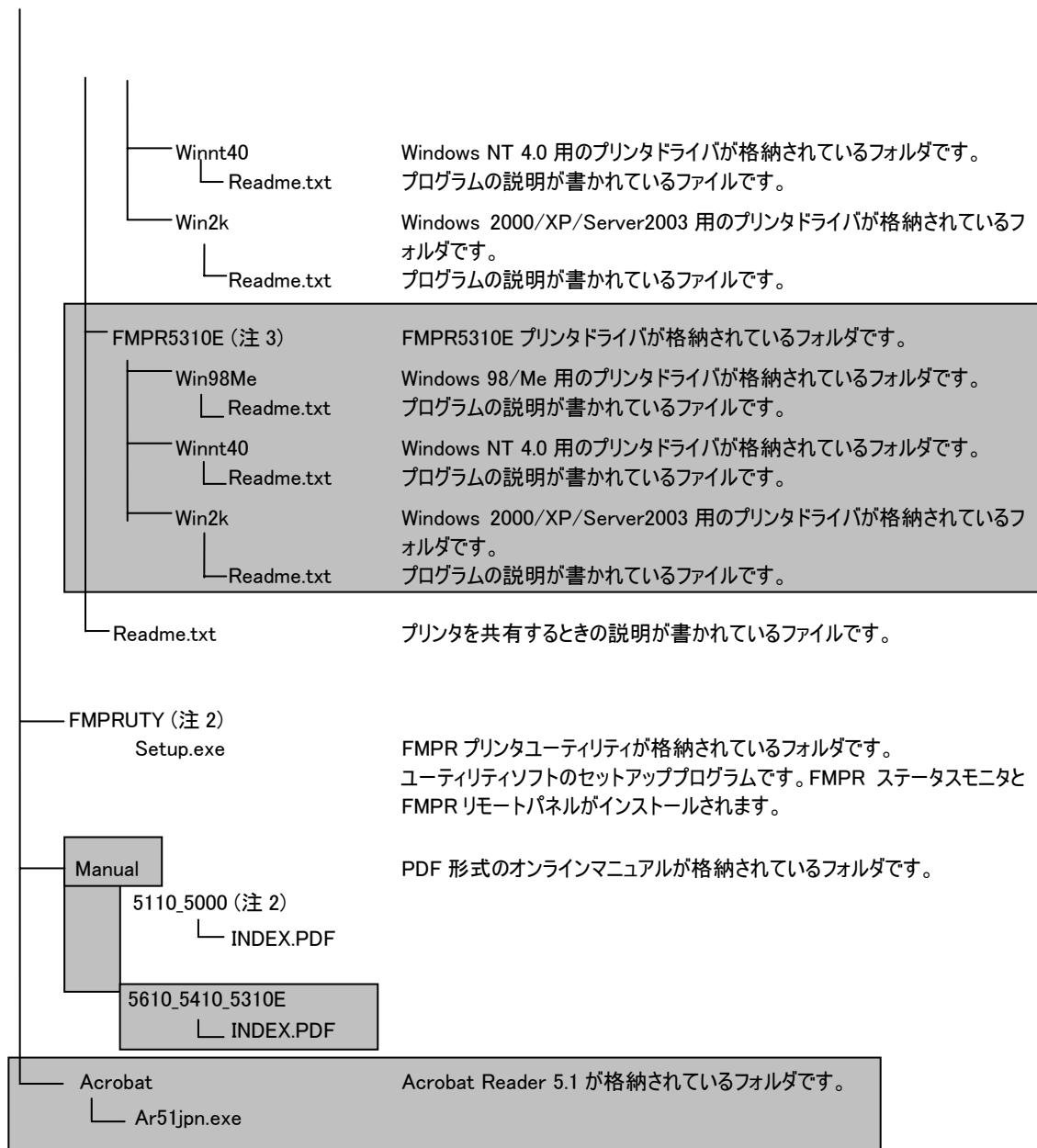
CD-ROM の内容

■ プリンタ ドライバ セットアップディスク

「プリンタ ドライバ セットアップディスク」は以下の内容になって います。

プリンタ ドライバの Readme.txt には、プリンタ ドライバに関する 補足情報や、最新情報が記載されています。プリンタ ドライバをセ ットアップする際には、必ずお読みください。

FMPR シリーズセットアップディスク	
— Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。はじめにお読みください。
— Drivers	プリンタ ドライバが格納されているフォルダです。
— FMPR5X10 (注 2)	FMPR5610/ FMPR 5410/ FMPR 5110 プリンタ ドライバが格納されている フォルダです。
— Win95	Windows 95 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— Win98Me	Windows 98/Me 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— Winnt40	Windows NT 4.0 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— Win2k	Windows 2000/XP/Server2003 用のプリンタ ドライバが格納されている フォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— MetaFrame	MetaFrame 対応プリンタ ドライバ が格納されているフォルダです。 MetaFrame プログラムの説明が書かれているファイルです。
— Winnt 40	Windows NT 4.0 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです
— Win2k	Windows 2000 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— FMPR5000 (注 2)	FMPR5000 プリンタ ドライバが格納されているフォルダです。
— Win95	Windows 95 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。
— Win98Me	Windows 98/Me 用のプリンタ ドライバが格納されているフォルダです。 プログラムの説明が書かれているファイルです。



注1) FMPR5310E に添付されているセットアップディスクには  のみ格納されています。

注2) 本フォルダは FMPR5610/5410 のみ格納されています。

注3) 本フォルダは FMPR5310E のみ格納されています。



ソフトウェアのインストール

「プリンタドライバ セットアップディスク」にはプリンタドライバと FMPR プリンタユーティリティが格納されています。

インストールは、

1. プリンタドライバのインストール
2. FMPR プリンタユーティリティのインストール

の順に行ってください。

注) FMPR5310E に添付されているセットアップディスクには、FMPR プリンタユーティリティは格納されていません。



プリンタドライバのインストール —————

■ Windows XP のとき

ここでは、Windows XP が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows XP Professional の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダから Plug&Play で検出するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410” または “FMPR5310E” と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator (コンピュータの管理者) 権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410、または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。
- ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows XP の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、Plug&Play でのインストールを推奨します。
- USB インタフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の【キャンセル】ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

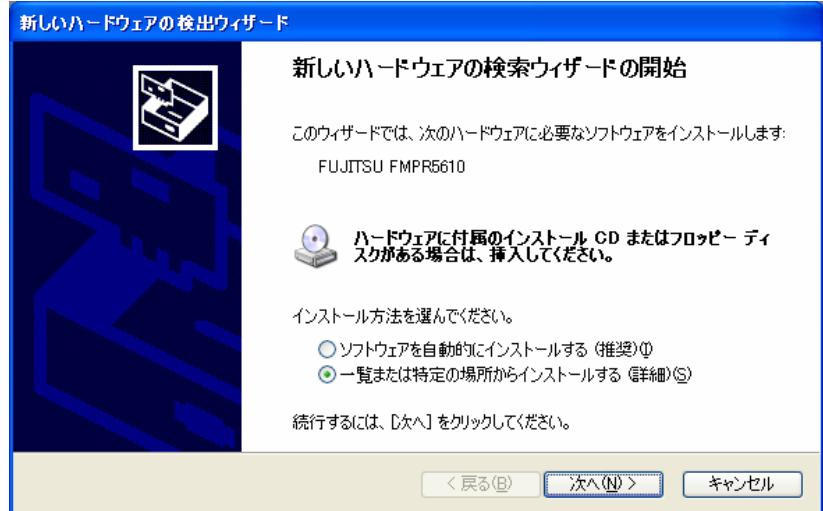
◆ Plug&Play で検出する場合

パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5610」と表示されます。

◆ ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
- プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の(261 ページ)でインストールしてください。

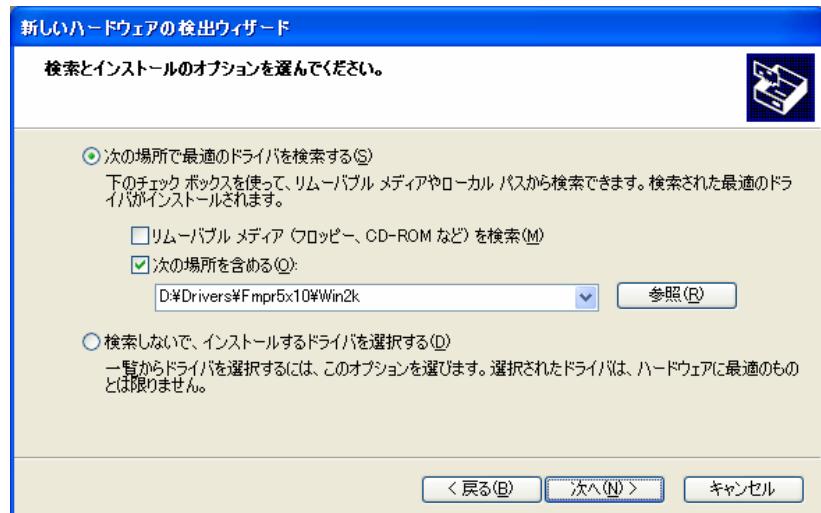
- 1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows XP を起動する
- 2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ] をクリックする



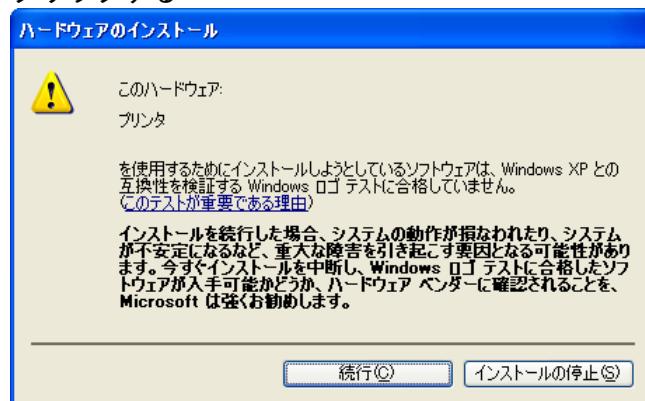
- 3 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、[参照]をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択した後【次へ】をクリックする

- 注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブ名を変更してください。
- 注2) FMPR5310Eのときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win2kと入力してください。

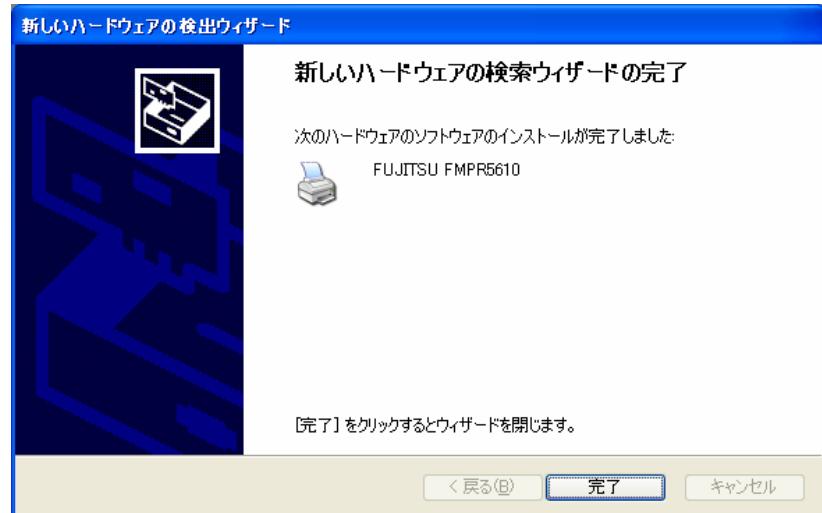


5 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、【続行】をクリックする



6 ファイルのコピーが開始されます。

- 7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: FUJITSU FMPR5610」というメッセージが表示される事を確認し【完了】をクリックする



- 8 「プリンタとFAX」フォルダにプリンタ名が表示されます。これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、Plug&Play で検出する場合があります。

手動でプリンタを指定する場合、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、Plug&Play で検出する場合を推奨します。

ここでは、Windows XP Professional にプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

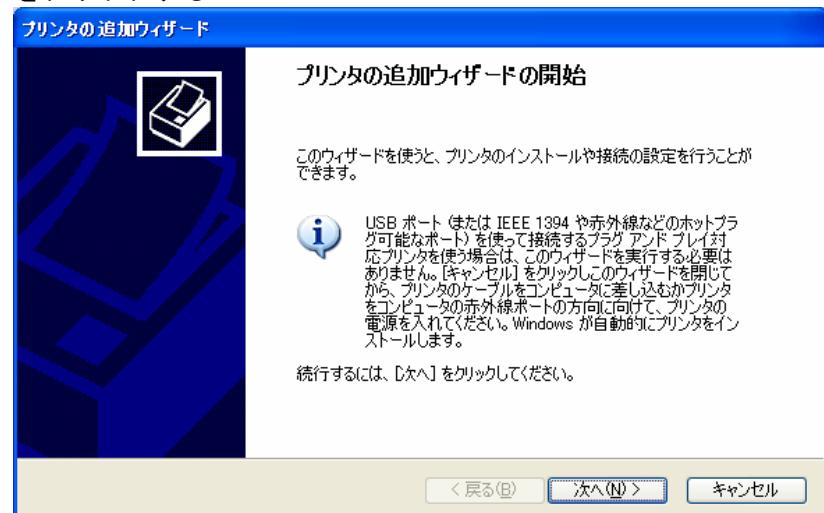
1 Windows XP を起動する

2 [スタート] → [プリンタとFAX] を選択して、次に [プリンタのインストール] をクリックする

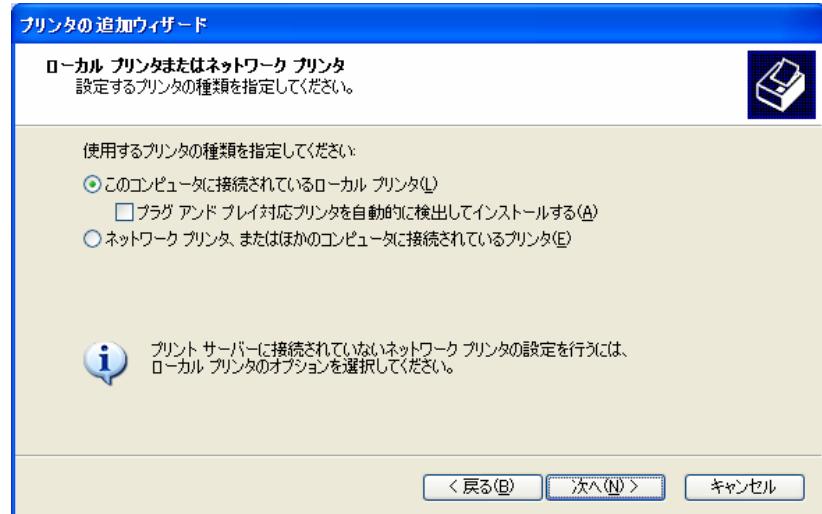
ガイド

- Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] を選択して、「プリンタとその他のハードウェア」画面で「プリンタの追加する」を選択してください。

3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら [次へ] をクリックする



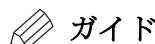
- 4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

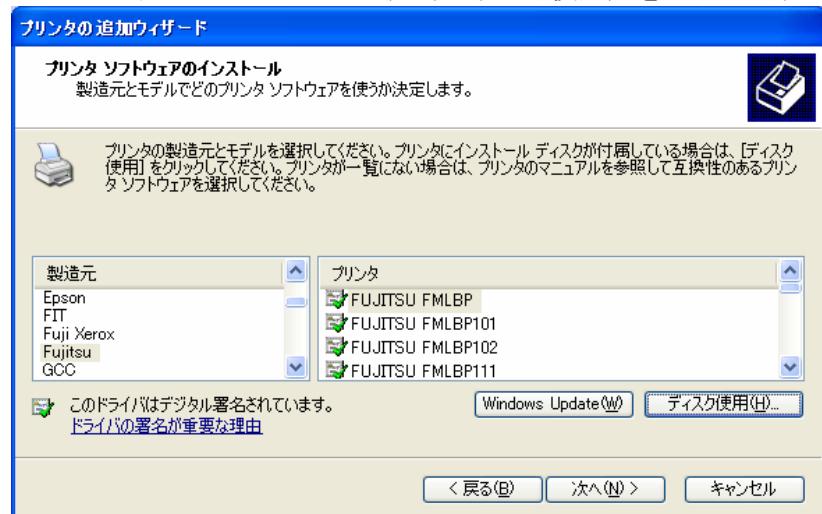
- Plug&Play で検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
- 本設定を行った場合は、「Plug&Play で検出する場合」(258 ページ)の手順 2 に進みます。
- 「Plug&Play で検出する場合」(260 ページ)の手順 7 が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 12 に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン (パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続) のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
- 印刷先 (ポート) を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
- また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 使用するプリンタポートを選択し、[次へ] をクリックする



- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。

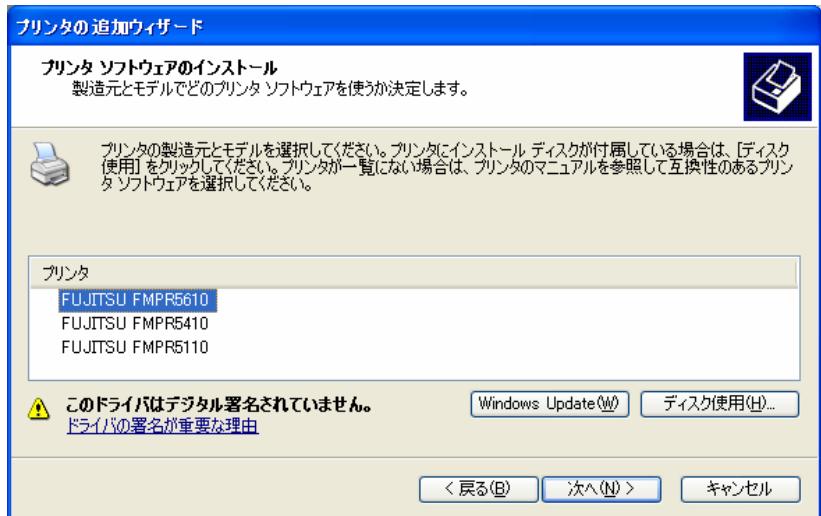
6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[ディスク使用] をクリックする



- 7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」と入力するか、[参照]をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」を選択する
入力が終わったら [OK] をクリックする

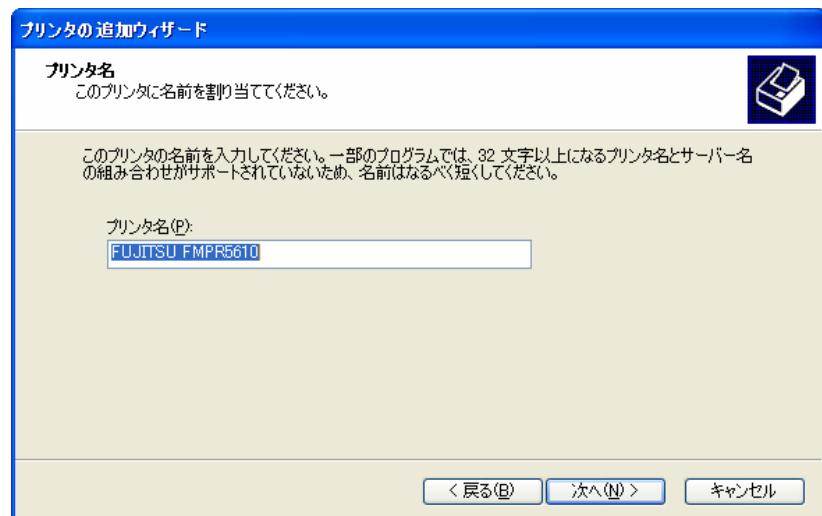
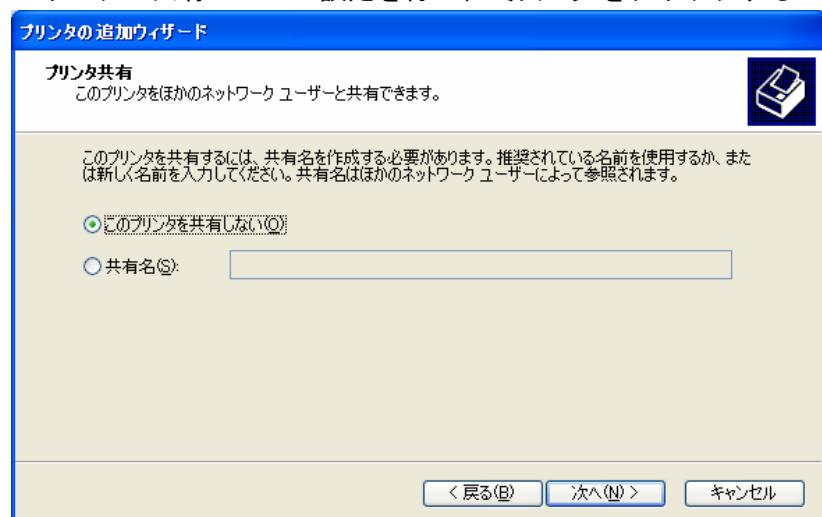
- 注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。
注 2) FMPR5310E のときは、Drivers\FMPR5310E\Win2k と入力してください。

- 8 プリンタを選択して [次へ] をクリックする



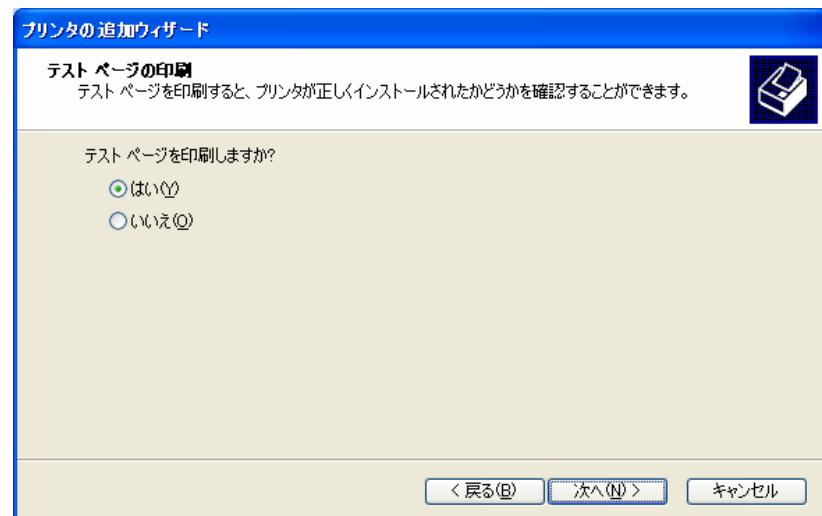
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9 プリンタ名を入力し、【次へ】をクリックする**10 プリンタの共有について設定を行い、【次へ】をクリックする****ガイド**

- ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。

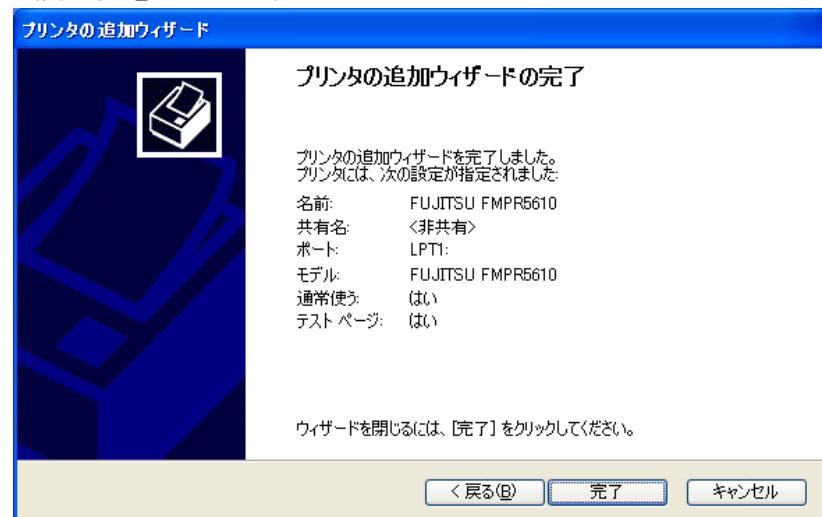
11 テストページ印刷の設定を行い、[次へ] をクリックする



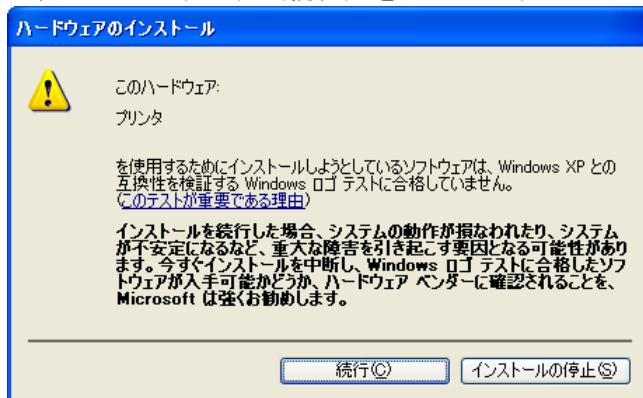
 **ガイド**

- ・ [はい] を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。
- ・ 手順5で仮のプリンタポートを指定した場合は、[いいえ] を選択してください。

12 [完了] をクリックする



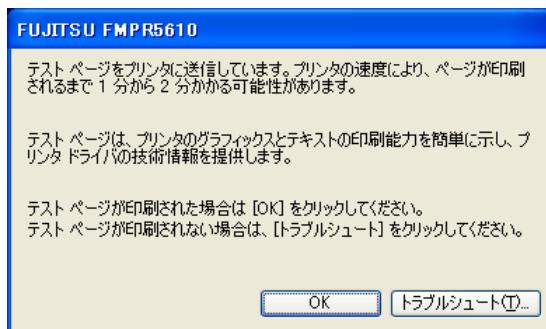
13 「ハードウェアのインストール」画面で、「プリンタを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindows ロゴテストに合格していません。」と表示されますが、【続行】をクリックする



ガイド

- 【続行】をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

14 テストページが正しく印刷されたら、【OK】をクリックする



15 「プリンタとFAX」 フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 2000 Professional の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダから Plug&Play で検出するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator (コンピュータの管理者) 権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610 または FUJITSU FMPR5410 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 2000 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows 2000 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので Plug&Play でのインストールを推奨します。
- USB インタフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆ Plug&Play で検出する場合

パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5610」と表示されます。

ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の(275 ページ)でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 2000 を起動する

2 検出に成功すると、以下の画面が表示されます。

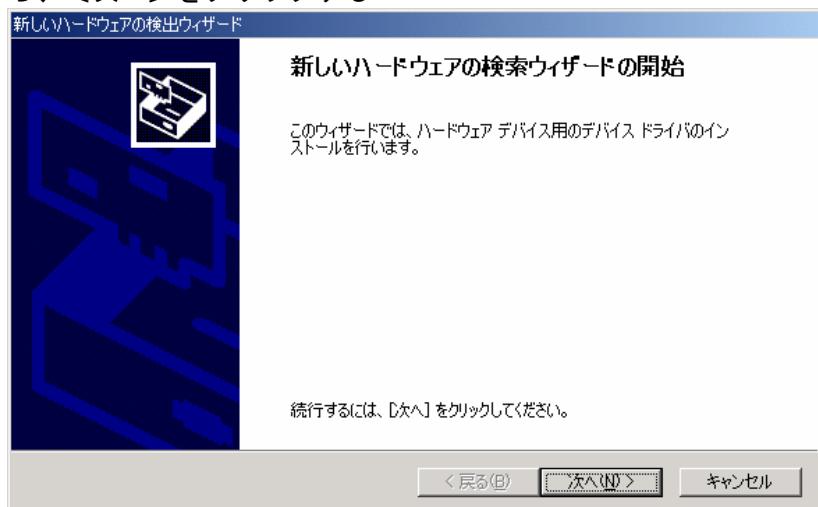


ガイド

- USB インターフェースで接続した場合“不明”となることがあります、手順 3 項以降は同じ手順でインストールしてください。

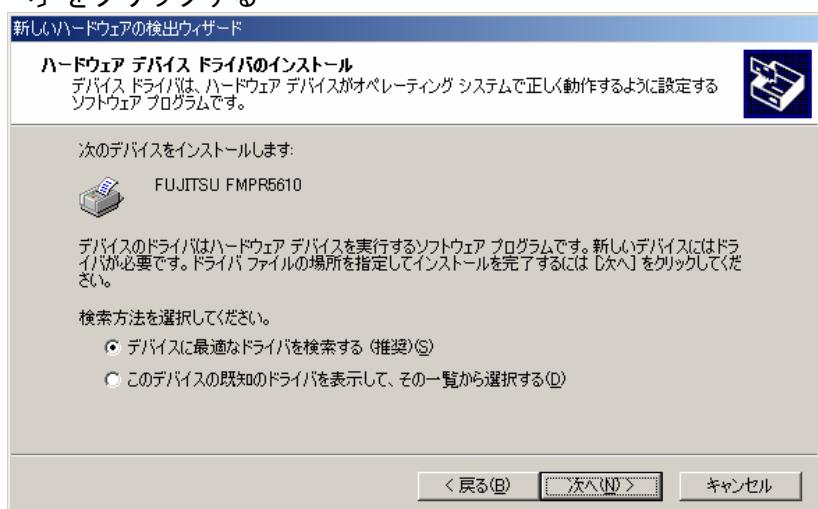


- 3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



- 4 添付のプリンタ ドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- 5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して、[次へ] をクリックする



ガイド

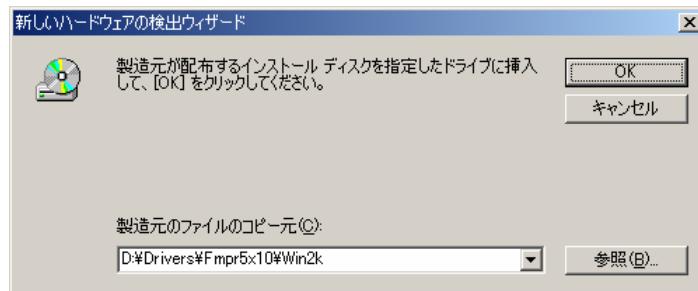
- USB インタフェースの時は、本画面のプリンタアイコンが?アイコンになる場合があります。（これ以降の画面も同じです）

6 「場所を指定」だけにチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

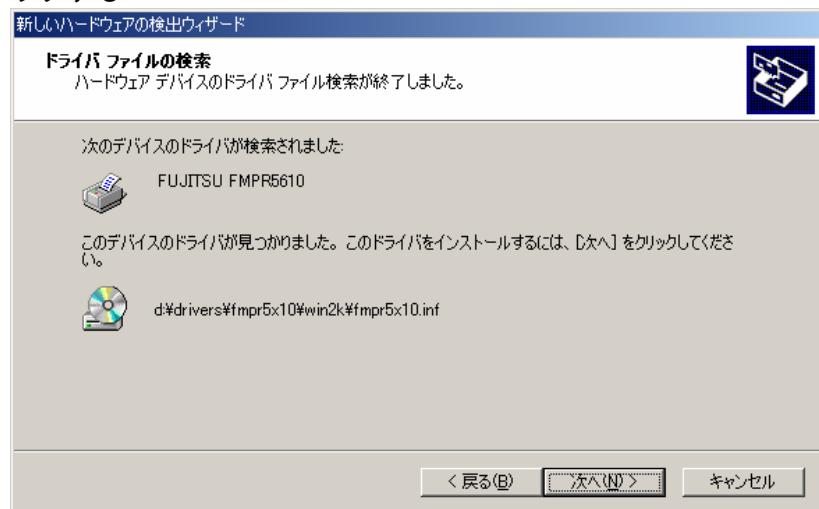
7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

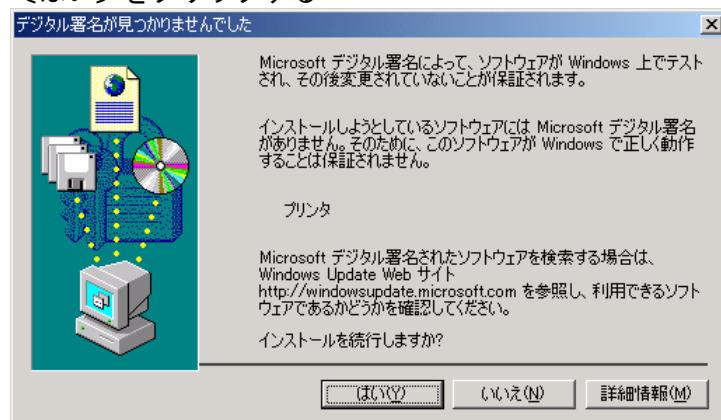
注 2) FMPR5310E のときは、Drivers\FMPR5310E\Win2k と入力してください。



- 8 「ドライバファイルの検索」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



- 9 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、[はい] をクリックする



- 10 ファイルのコピーが開始されます。

11 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「FUJITSU FMPR5610 このデバイスに対するソフトウェアのインストールが完了しました。」というメッセージが表示される事を確認し、【完了】をクリックする



12 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

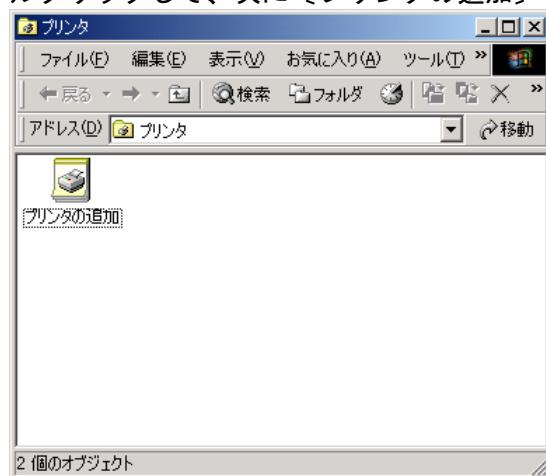


◆ プリンタフォルダからのインストール

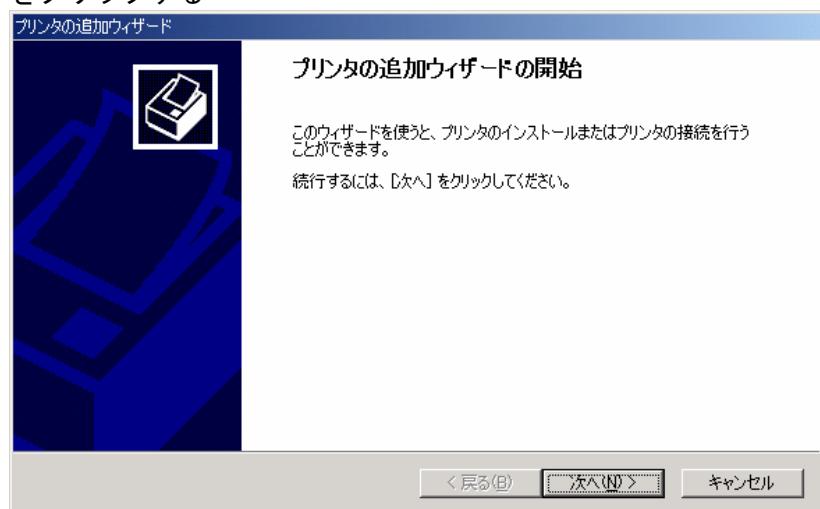
プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、Plug&Play で検出する場合があります。

1 Windows 2000 を起動する

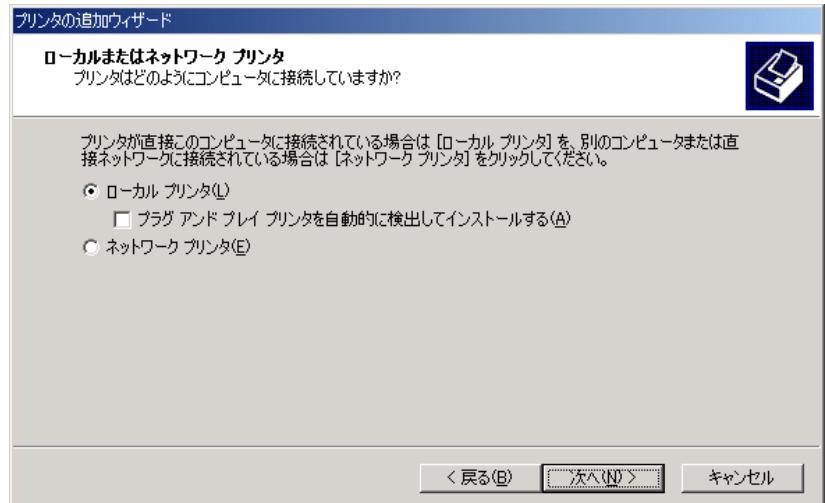
2 マイコンピュータのコントロールパネルより、[プリンタ] をダブルクリックして、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする



3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



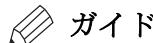
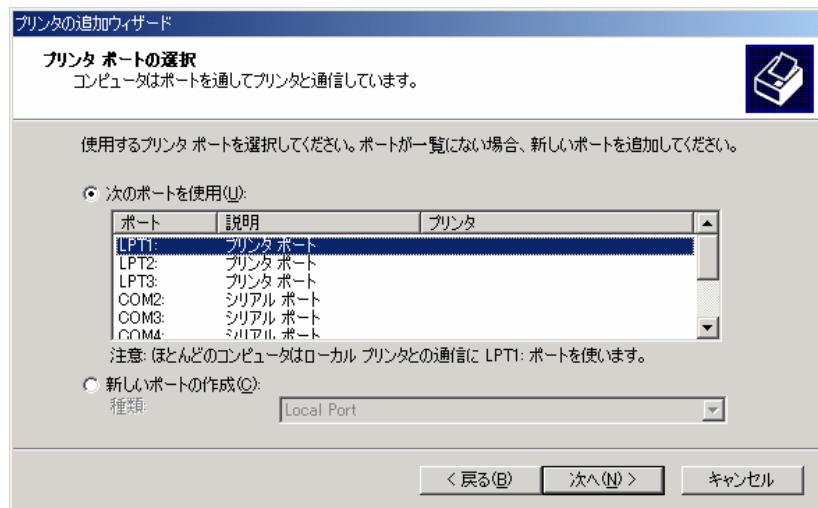
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする



ガイド

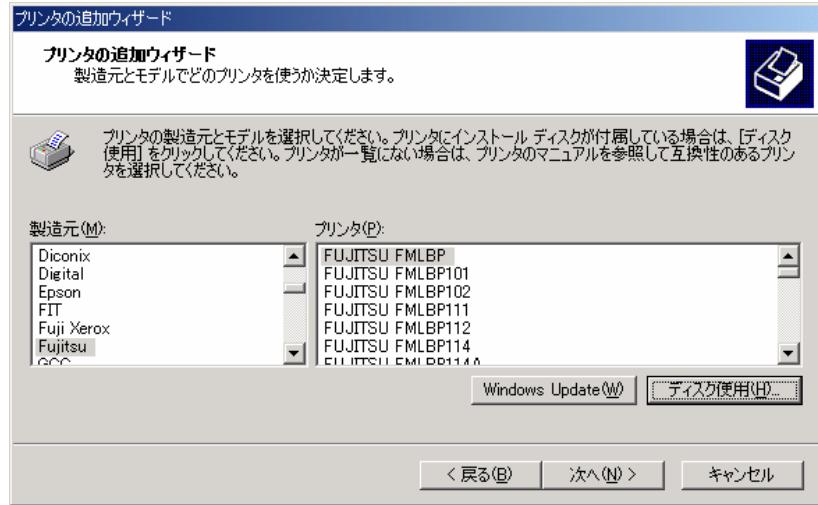
- Plug&Play で検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。
本設定を行った場合は、「Plug&Play で検出する場合」(270 ページ)の手順 2 に進みます。
「Plug&Play で検出する場合」(272 ページ)の手順 7 が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 12 に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン (パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続) のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
印刷先 (ポート) を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 使用するプリンタポートを選択し、【次へ】をクリックする



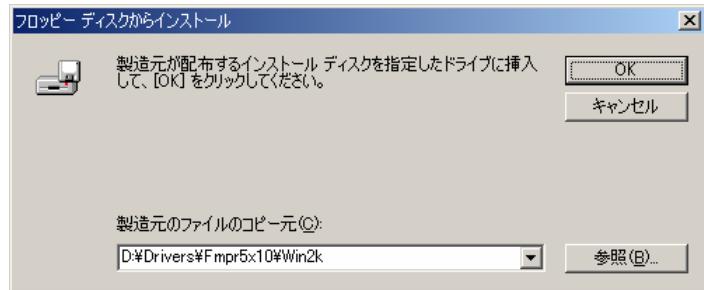
- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。

6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、【ディスク使用】をクリックする

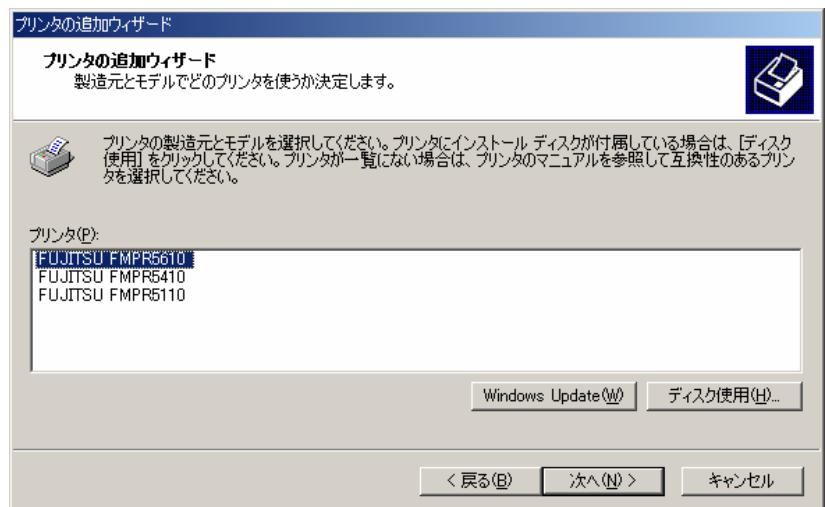


7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」と入力するか、[参照] をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら [OK] をクリックする

- 注1) 上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。
注2) FMPR5310E のときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win2k と入力してください。

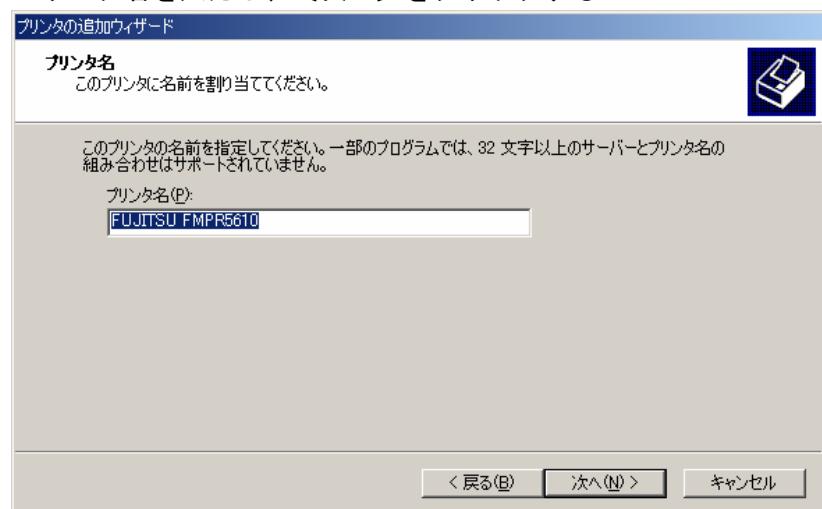
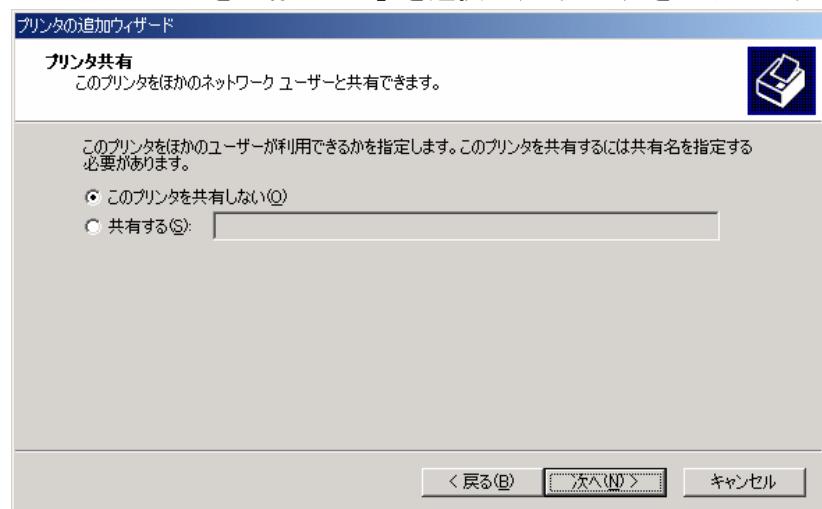


8 プリンタを選択して [次へ] をクリックする

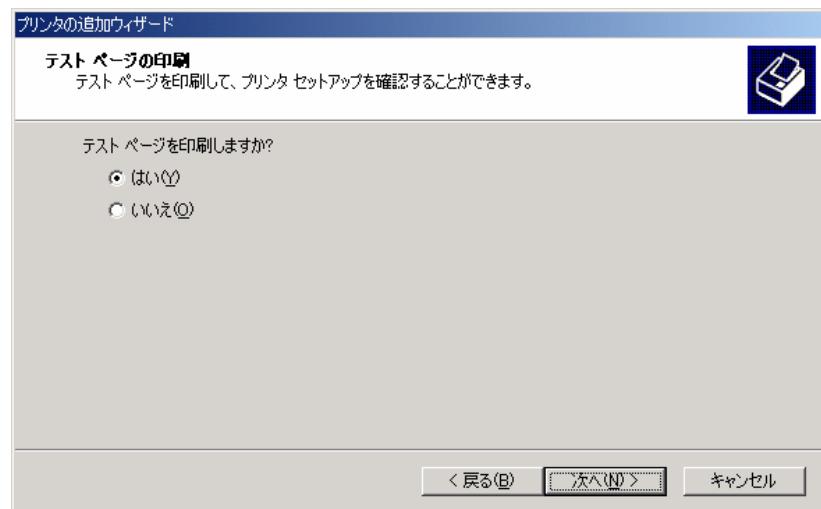


ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9 プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックする**10 「このプリンタを共有しない」を選択し、[次へ] をクリックする**

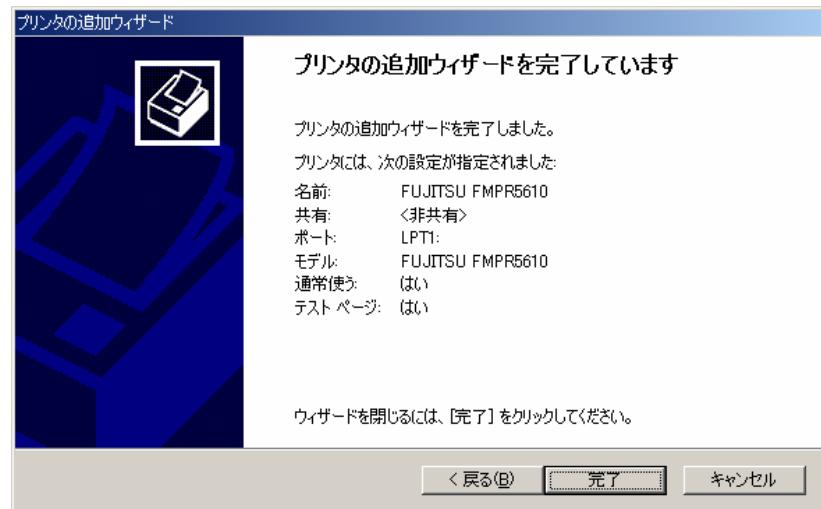
11 テストページ印刷の設定を行い、[次へ] をクリックする



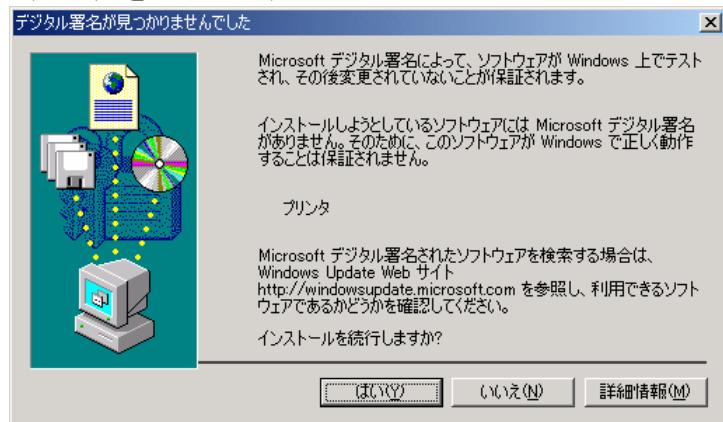
ガイド

- ・ [はい] を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。
- ・ 手順5で仮のプリンタポートを指定した場合は、[いいえ] を選択してください。

12 [完了] をクリックする

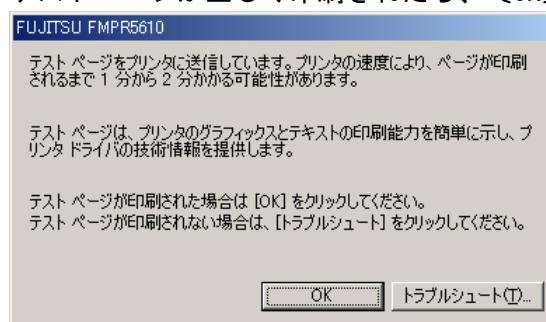


- 13 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、
〔はい〕をクリックする



- 14 ファイルのコピーが開始されます。

- 15 テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



- 16 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Server 2003 のとき

ここでは、Windows Server 2003 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Server 2003 Standard Edition の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダから Plug&Play で検出するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator (コンピュータの管理者) 権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Server 2003 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、Plug&Play でのインストールを推奨します。
- USB インタフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の [キャンセル] ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆ Plug&Play で検出する場合

パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR5610」と表示されます。

◆ ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
- プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の(286 ページ)でインストールしてください。

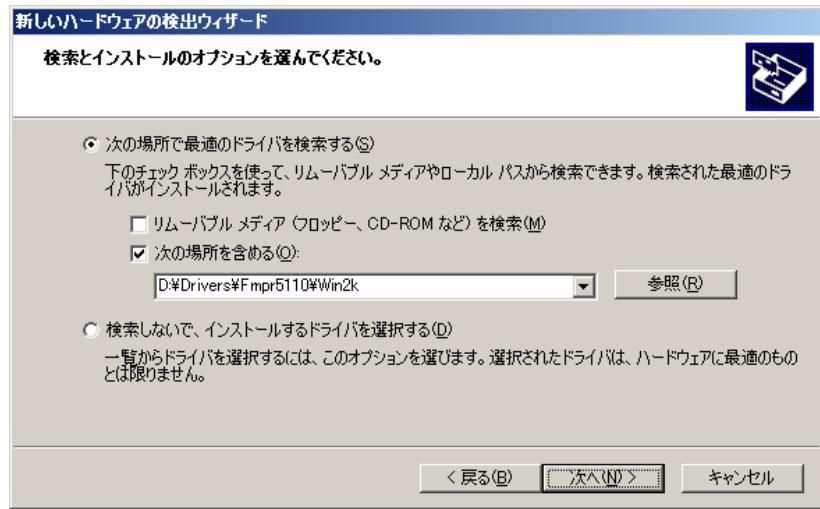
- 1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Server 2003 を起動する
- 2 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（推奨）」を選択し、〔次へ〕をクリックする



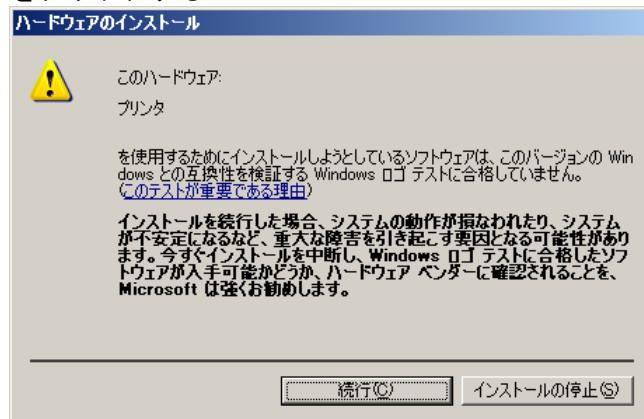
- 3 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- 4 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2kと入力するか、[参照]をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win2k」を選択する
入力が終わったら[次へ]をクリックする**

- 注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。
注2) FMPR5310Eのときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win2kと入力してください。

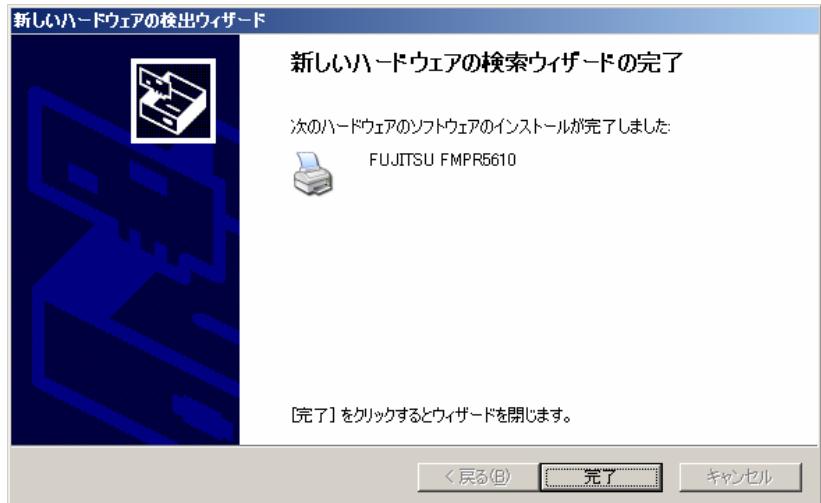


- 5 「ハードウェアのインストール」画面が表示されるので、[続行]をクリックする**

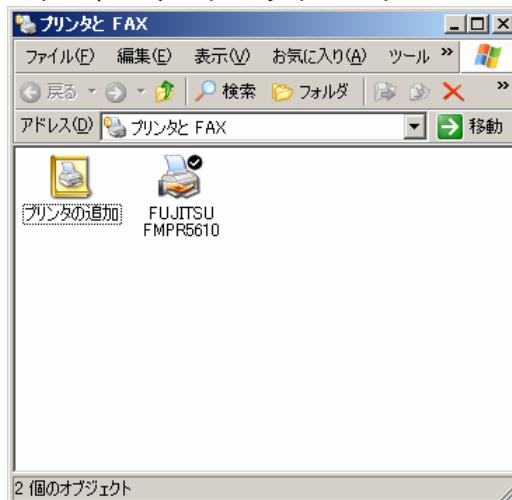


- 6 ファイルのコピーが開始されます。**

- 7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: FUJITSU FMPR5610」というメッセージが表示される事を確認し【完了】をクリックする



- 8 「プリンタとFAX」フォルダにプリンタ名が表示されます。これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

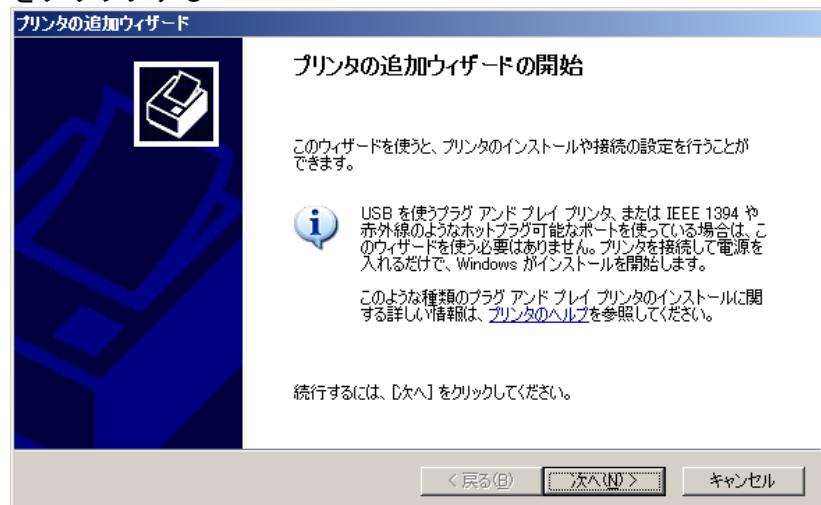


◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、Plug&Play で検出する場合があります。

手動でプリンタを指定する場合、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、Plug&Play で検出する場合を推奨します。

- 1 Windows Server 2003 を起動する
- 2 [スタート] → [プリンタと FAX] を選択して、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする
- 3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



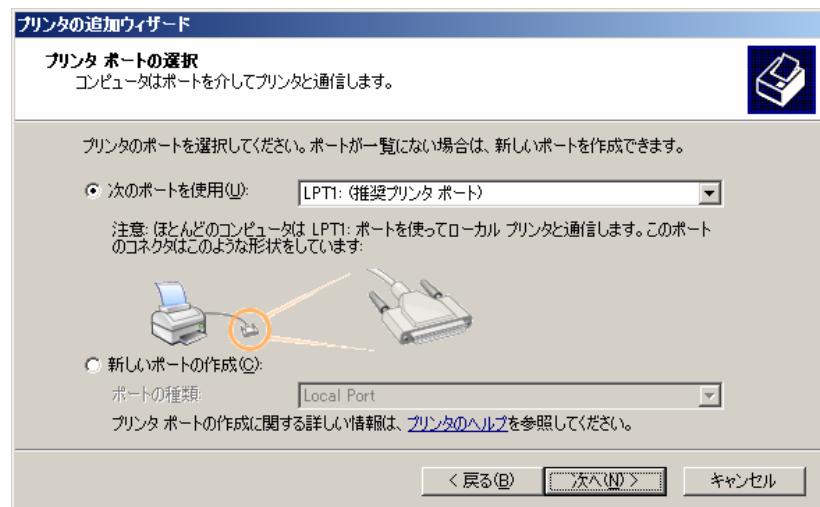
- 4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- Plug&Play で検出する場合は、「Plug and Play プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
- 本設定を行った場合は、「Plug&Play で検出する場合」(283 ページ)の手順 2 に進みます。
- 「Plug&Play で検出する場合」(285 ページ)の手順 7 が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 12 に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン (パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続) のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
- 印刷先 (ポート) を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
- また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

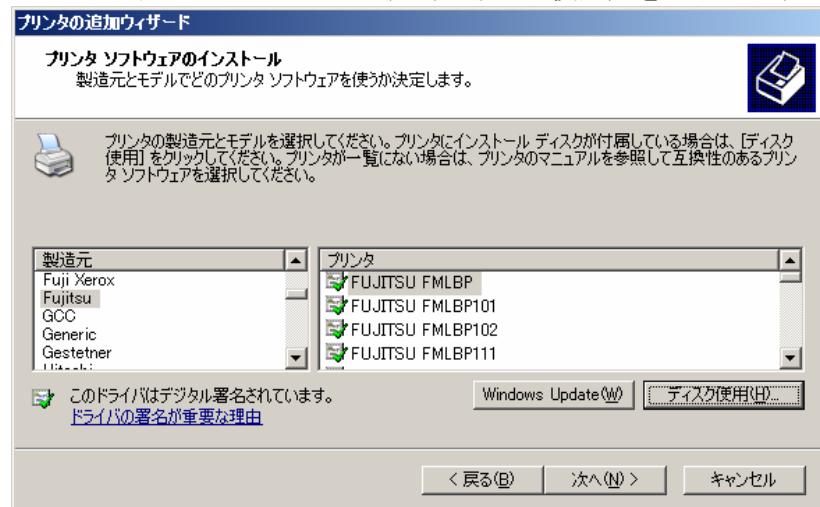
5 使用するプリンタポートを選択し、[次へ]をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。

6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[ディスク使用]をクリックする

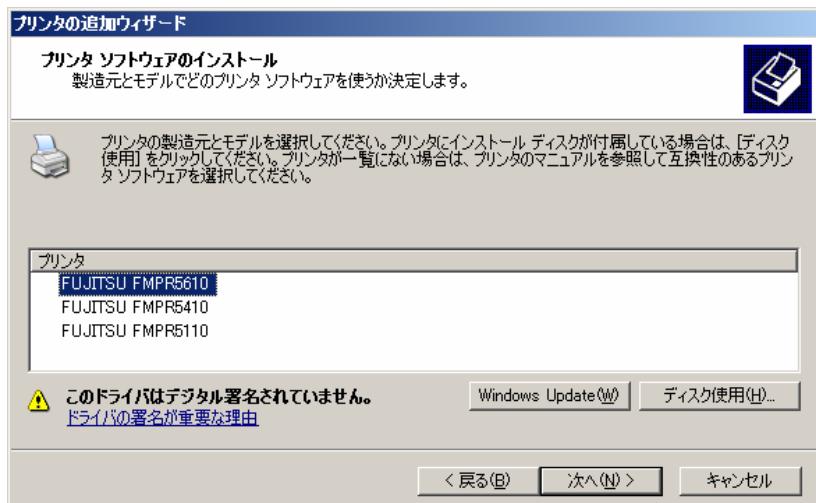


- 7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」と入力するか、[参照]をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win2k」を選択する
入力が終わったら[OK]をクリックする

注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。

注2) FMPR5310Eのときは、Drivers\FMPR5310E\Win2kと入力してください。

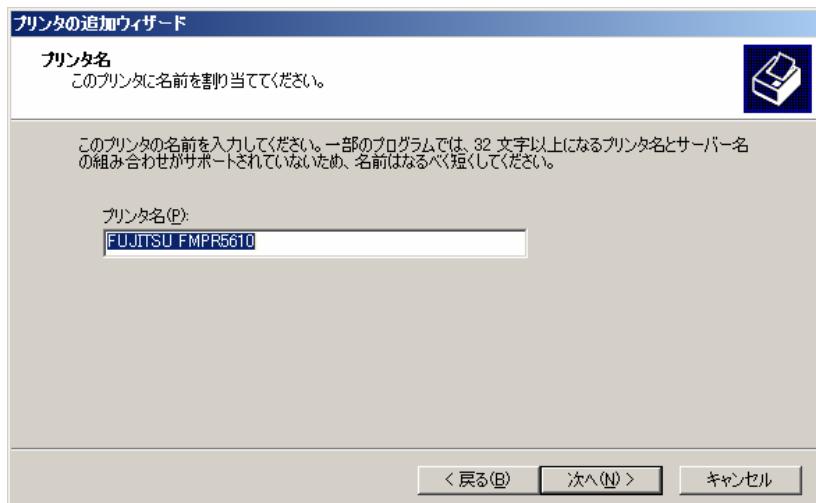
- 8 プリンタを選択して[次へ]をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

- 9 プリンタ名を入力し、[次へ]をクリックする



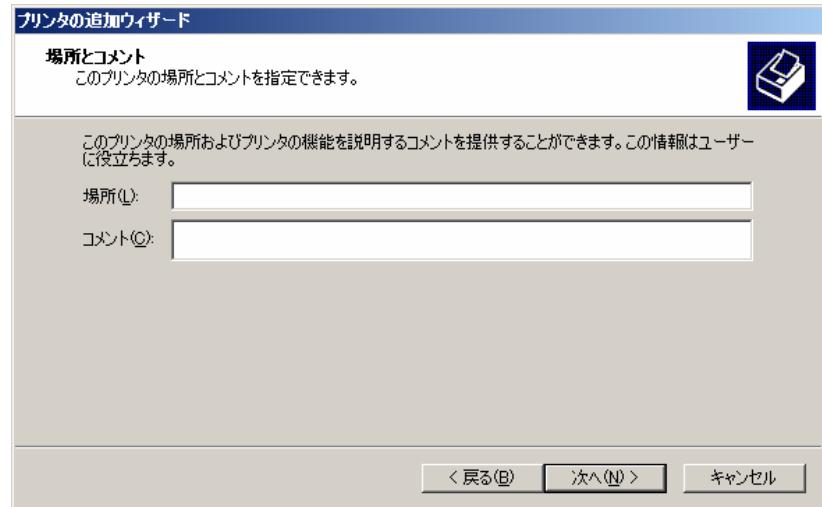
10 プリンタの共有について設定を行い、【次へ】をクリックする



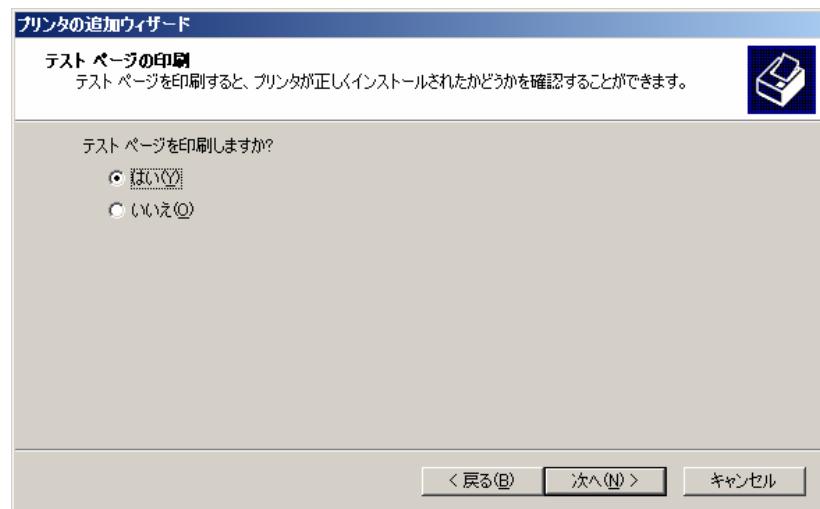
 ガイド

- 「このプリンタを共有しない」を選択した場合は、手順12に進みます。
- プリントサーバとして使用する場合は、「共有名」をクリックし、共有する時のプリンタ名を入力して、手順11に進みます。

11 プリントサーバとして共有した時の、プリンタの場所、コメントを提供するかどうかを指定し【次へ】をクリックする



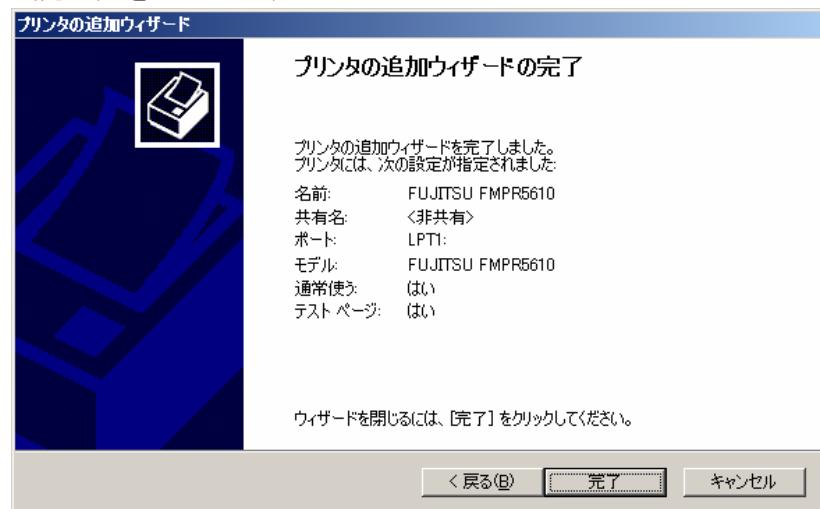
12 テストページ印刷の設定を行い、[次へ]をクリックする



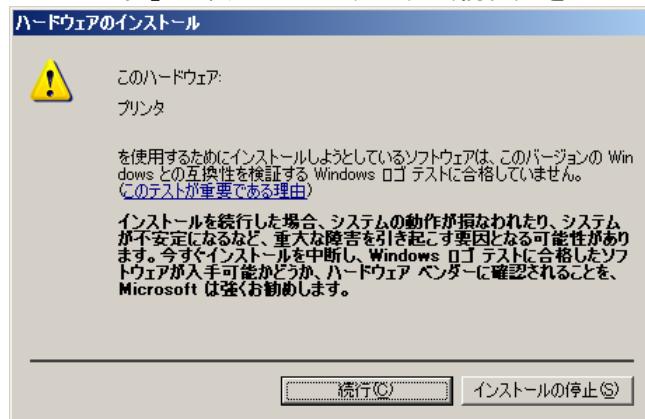
ガイド

- ・ [はい] を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。
- ・ 手順5で仮のプリンタポートを指定した場合は、[いいえ] を選択してください。

13 [完了]をクリックする



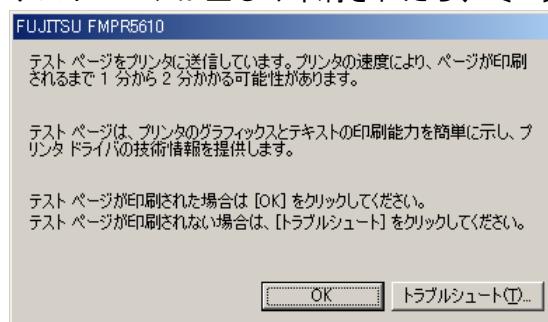
14 「ハードウェアのインストール」画面で、「プリントを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、このバージョンのWindowsとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。」と表示されますが、【続行】をクリックする



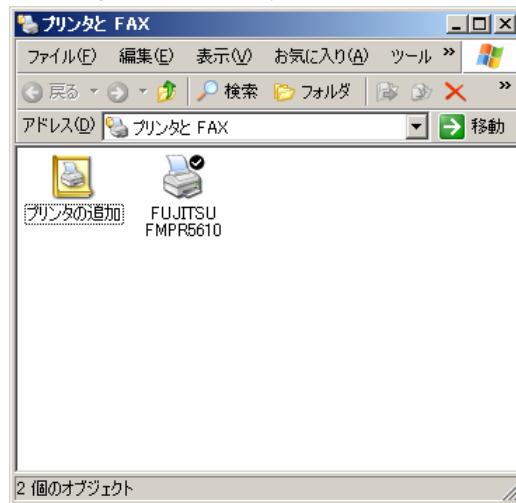
ガイド

- 【続行】をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

15 テストページが正しく印刷されたら、【OK】をクリックする

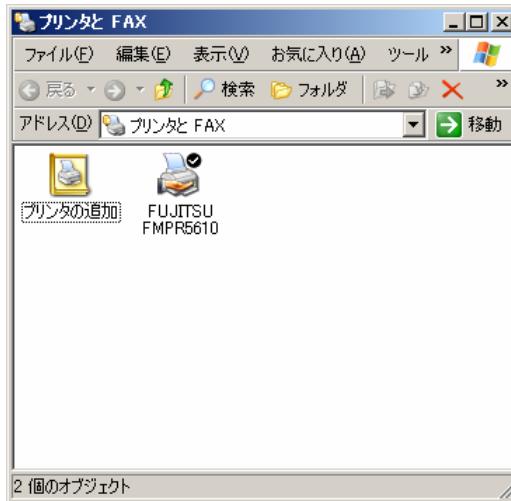


16 「プリンタとFAX」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

- 手順10で共有する設定を行った場合は、下記プリンタアイコンが表示されます。



■ Windows Me のとき

ここでは、Windows Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Me の画面を例に説明しています。インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Me の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- USB インタフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の【キャンセル】ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合 (コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。)」というメッセージが表示される場合があります。

[はい] をクリックしてください。

◆ Plug&Play で検出する場合



ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（303 ページ）でインストールしてください。

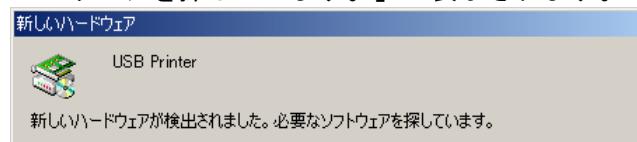
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する



ガイド

- パラレルインターフェースの場合は、手順 8 に進みます。
USB インタフェースの場合は、手順 2 に進みます。

2 「USB Printer 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。



- 3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、【次へ】をクリックする



ガイド

- ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順5に進みます。

- 4 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、【完了】をクリックする



ガイド

- 【完了】をクリックしたら、手順8に進みます。

5 手順3にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」と入力するか、【参照】をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」を選択する

入力が終わったら【次へ】をクリックする

注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。

注2) FMPR5310Eのときは、Drivers\FMPR5310E\Win98Meと入力してください。



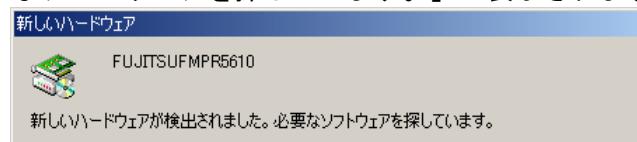
6 USB ドライバが見つかったことを確認して、【次へ】をクリックする



- 7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、【完了】をクリックする



- 8 「FUJITSU FMPR5610 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。



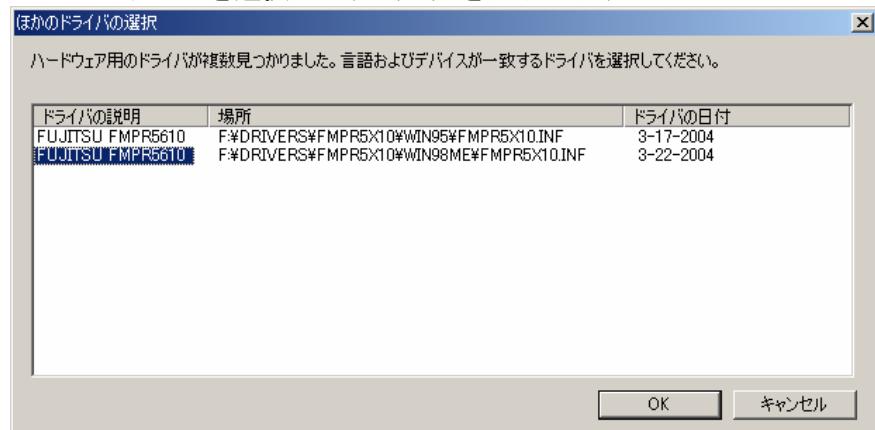
- 9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、【次へ】をクリックする



ガイド

- ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順 1 に進みます。

10 「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、"Win98Me" フォルダのドライバを選択して、[OK] をクリックする



ガイド

- ・フォルダ名は [場所] に表示されます。
- ・ [OK] をクリックしたら、手順 13 に進みます。

11 手順 9 にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」と入力するか、「参照」をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」を選択する

入力が終わったら [次へ] をクリックする

注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

注 2) FMPR5310E のときは、Drivers\FMPR5310E\Win98Me と入力してください。



12 プリンタドライバが見つかったことを確認して、[次へ]をクリックする



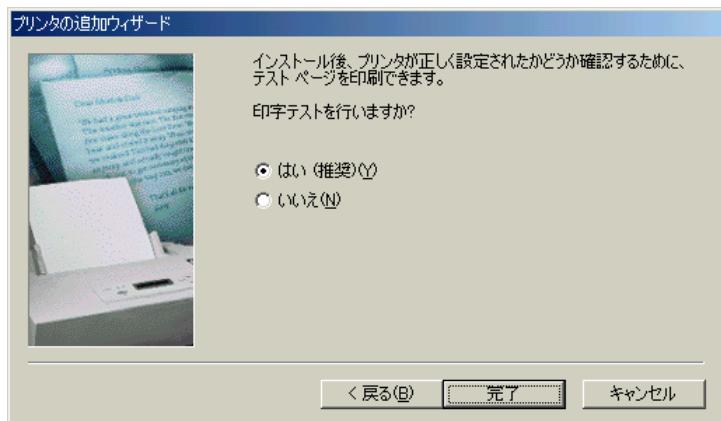
13 「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、[はい]を選択して、[次へ]をクリックする



ガイド

- 他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

14 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

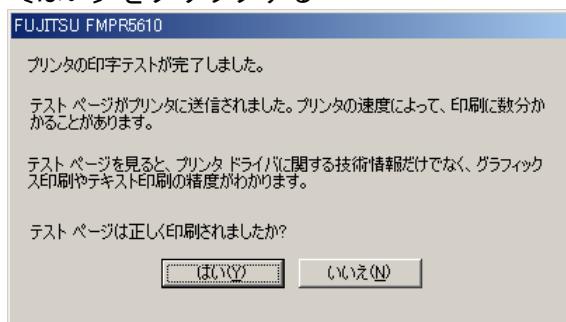


ガイド

- 〔はい (推奨)〕を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。

15 ファイルのコピーが開始されます。

16 手順14のテストページ印刷で〔はい (推奨)〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。 テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする



17 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、[完了] をクリックする

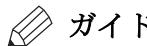


18 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

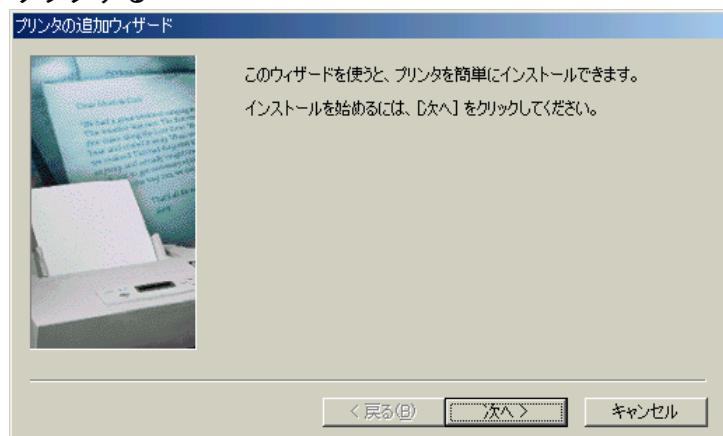


- USB インタフェースで接続するときは、「Plug&Play で検出する場合」の手順でインストールしてください。

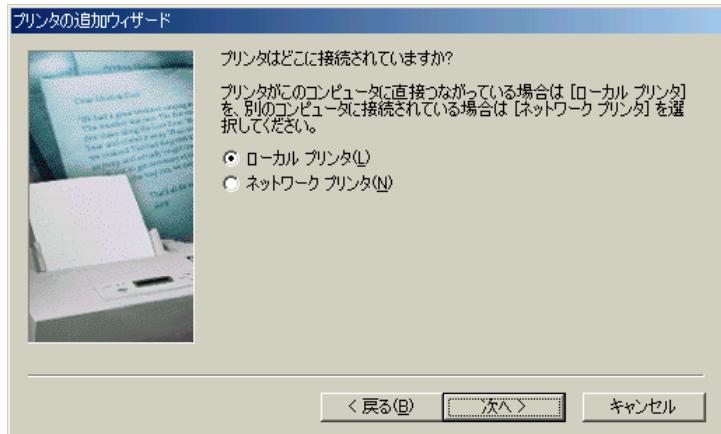
1 Windows Me を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、[プリンタ] をダブルクリックして、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



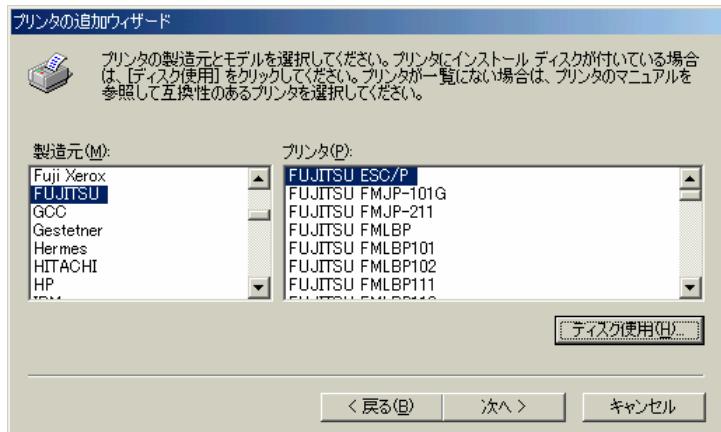
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする



 **ガイド**

- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

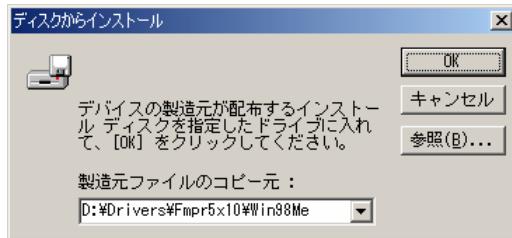
5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[ディスク使用] をクリックする



- 6 「配布ファイルのコピー元」に「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」と入力するか、[参照] をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win98Me」を選択する
入力が終わったら [OK] をクリックする

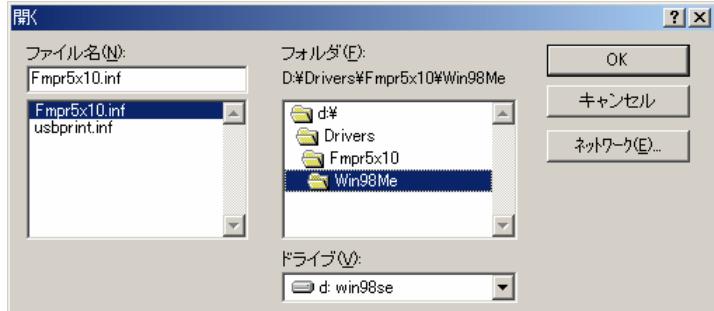
注1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

注2) FMPR5310E のときは、Drivers\FMPR5310E\Win98Me と入力してください。

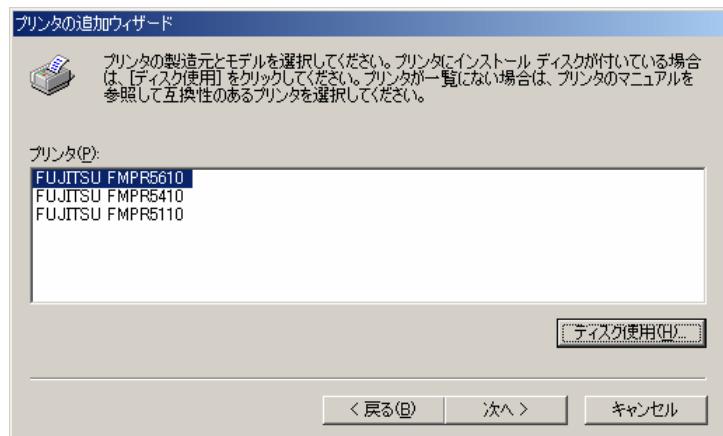


ガイド

- [参照] をクリックしてドライバファイルの場所を指定するときは、“Win98Me” フォルダの “FMPR5X10.INF” ファイルを選択してください。
FMPR5310E プリンタの時は、“FMPR5310E\Win98Me” フォルダの “FMPR531E.INF” を選択してください。



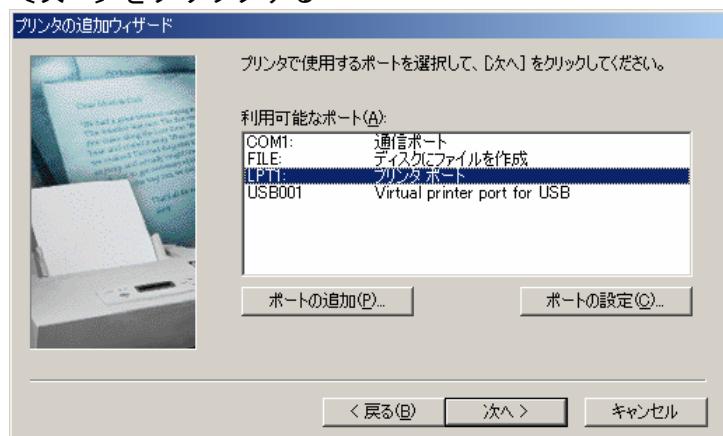
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9 以降の手順は、Plug&Play で検出する場合の手順 13 から 18 に従ってください。

■ Windows 98 のとき

ここでは、Windows 98 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 98 の画面を例に説明しています。インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 98 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- USB インタフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の【キャンセル】ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合 (コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。)」というメッセージが表示される場合があります。

[はい] をクリックしてください。

◆ Plug&Play で検出する場合



ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
- プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（316 ページ）でインストールしてください。

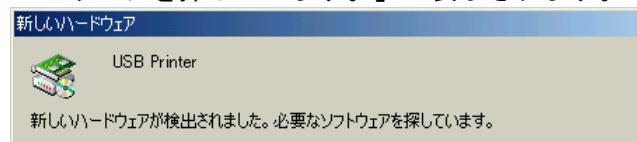
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する



ガイド

- パラレルインターフェースの場合は、手順 8 に進みます。
- USB インターフェースの場合は、手順 2 に進みます。

2 「USB Printer 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。



3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



- 5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:\¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、「参照」をクリックして「D:\¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする

注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。

注2) FMPR5310Eのときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win98Meと入力してください。



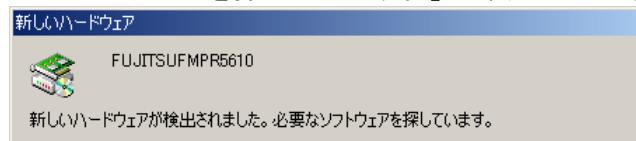
- 6 USB ドライバが見つかったことを確認して、[次へ] をクリックする



- 7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、[完了] をクリックする



- 8 「FUJITSU FMPR5610 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。



- 9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



- 10 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、[次へ] をクリックする



**1 1 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、[参照]をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら[次へ]をクリックする**

注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。

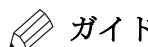
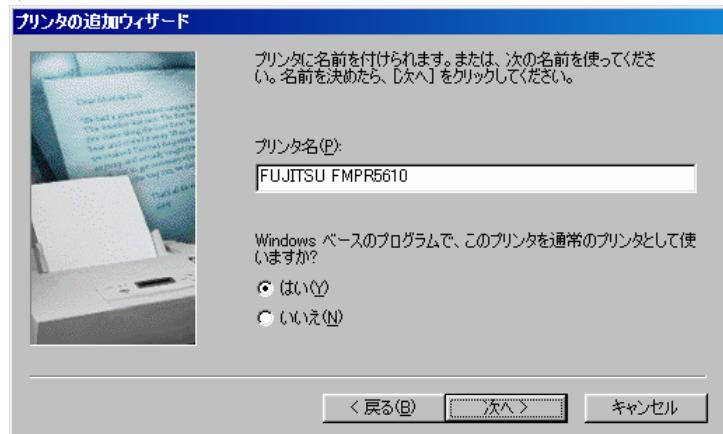
注2) FMPR5310Eのときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win98Meと入力してください。



1 2 プリンタドライバが見つかったことを確認して、[次へ]をクリックする

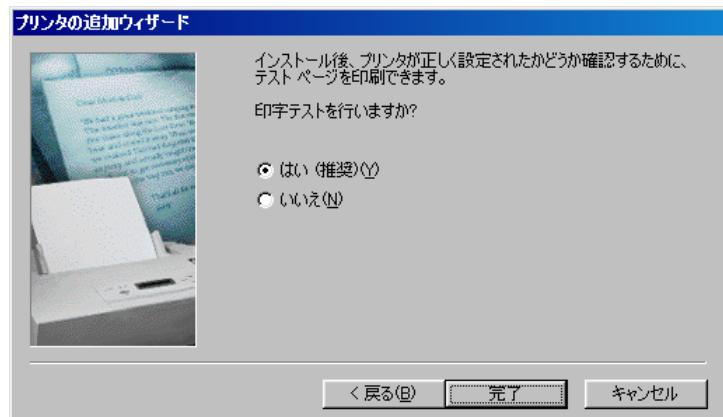


13 「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



- 他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

14 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする



- 〔はい (推奨)〕を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。

15 ファイルのコピーが開始されます。

16 [ディスクの挿入] ウィンドウが表示されたら、Windows 98 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[OK] をクリックする

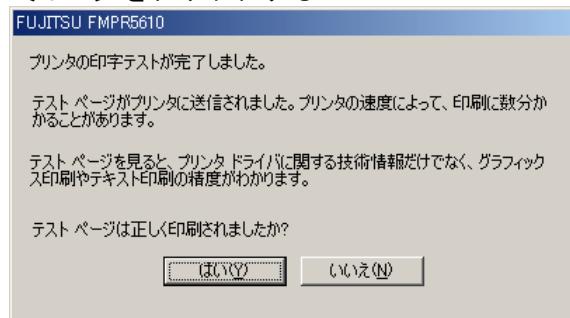


17 「ファイルのコピー元」に「D:\WIN98」と入力するか、[参照] をクリックして「D:\WIN98」を選択する
入力が終わったら [次へ] をクリックする

注1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。



18 手順 14 のテストページ印刷で [はい (推奨)] を選択した場合は、以下の画面が表示されます。 テストページが正しく印刷されたら、[はい] をクリックする



- 19 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする

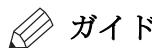


- 20 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

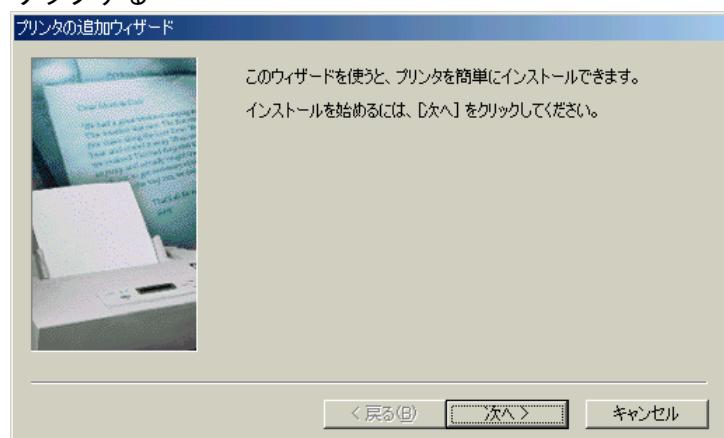


- USB インタフェースで接続するときは、「Plug&Play で検出する場合」の手順でインストールしてください。

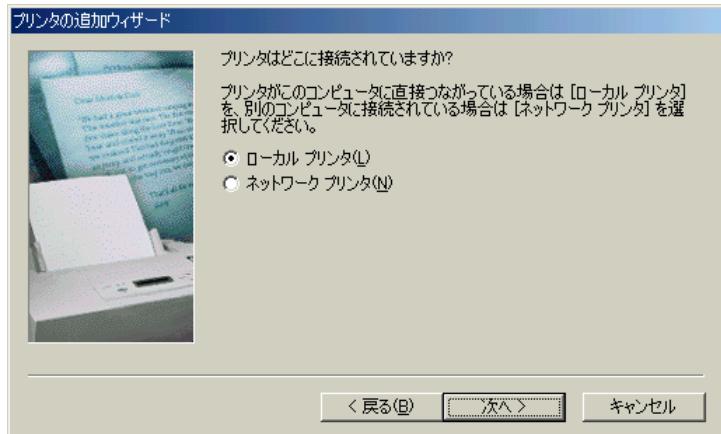
1 Windows 98 を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、[プリンタ] をダブルクリックして、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



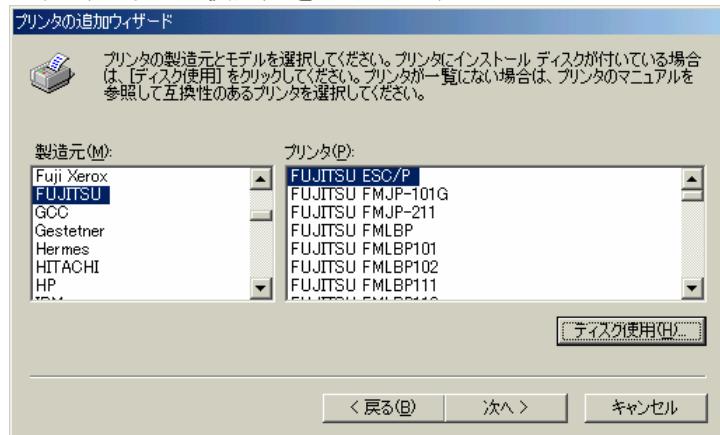
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする



ガイド

- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

- 5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、【ディスク使用】をクリックする



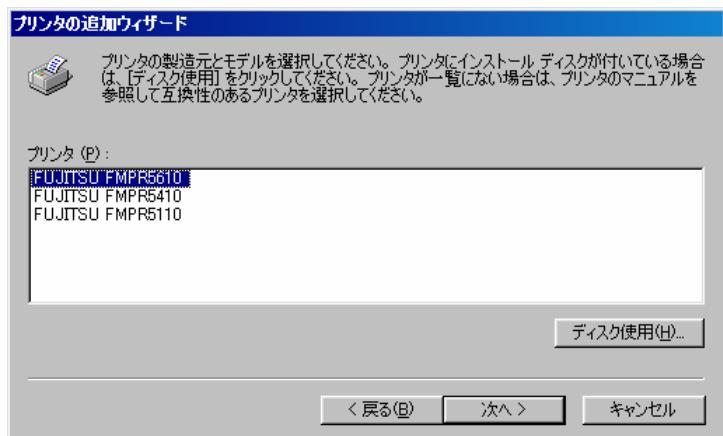
- 6 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」と入力するか、【参照】をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら【OK】をクリックする

注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。

注 2) FMPR5310E のときは、Drivers¥FMPR5310E¥Win98Me と入力してください。



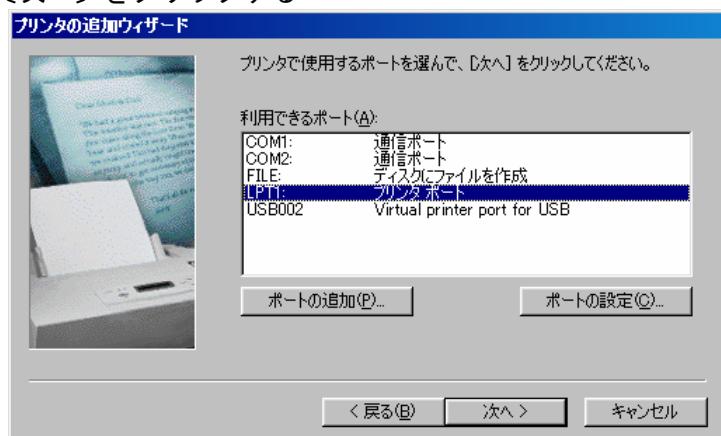
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9 以降の手順は、Plug&Play で検出する場合の手順 13 から 20 に従ってください。

■ Windows NT 4.0 のとき

ここでは、Windows NT 4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタフォルダから手動で指定します。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 または FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT 4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペーレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator (コンピュータの管理者) 権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows NT 4.0 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
- Windows NT 4.0 では、Plug&Play でのインストールをサポートしておりません。
また、USB インタフェースをサポートしておりませんので、USB インタフェースケーブルでのご使用はできません。
- Windows NT 4.0 では、USB インタフェースをサポートしておりませんので、USB インタフェースケーブルでのご使用はできません。

◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

- 1 Windows NT 4.0 を起動する
- 2 マイコンピュータのコントロールパネルより、[プリンタ] をダブルクリックして、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする



- 3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、[このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックする



ガイド

- ・ [ネットワークプリンタサーバー] を選択してインストールするには、あらかじめプリントサーバー上に対応するプリンタドライバがインストールされている必要があります。
- ・ 本プリンタドライバは、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

4 「利用可能なポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、[次へ] をクリックする



ガイド

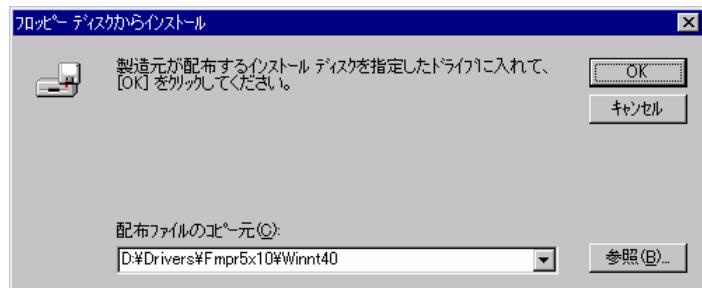
- ・ 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。
- この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、[ディスク使用] をクリックする

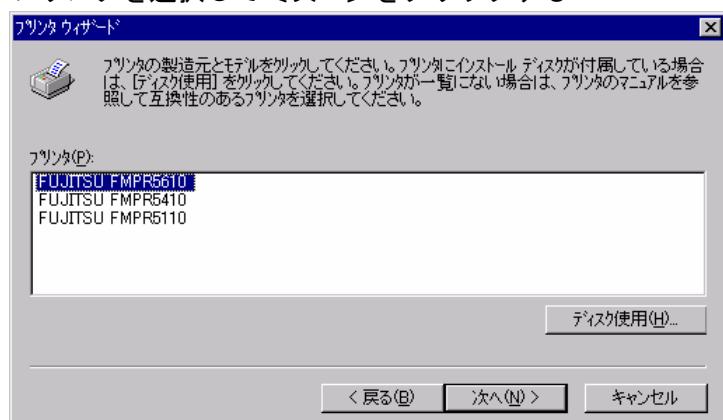


**6 「配布ファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Winnt40」と入力するか、[参照] をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR5X10¥Winnt40」を選択する
入力が終わったら [OK] をクリックする**

- 注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
- 注 2) FMPR5310E のときは、Drivers¥FMPR5310E¥Winnt40 と入力してください。



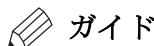
7 プリンタを選択して [次へ] をクリックする



 **ガイド**

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なる場合があります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

**8 プリンタ名を入力し、通常使用するプリンタに設定する場合は、
〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする**



ガイド

- 他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

9 プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- ここでは、必ず「共有しない」を選択してください。

10 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

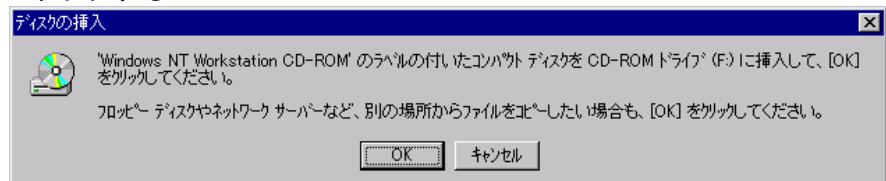


ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。
- 手順5で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

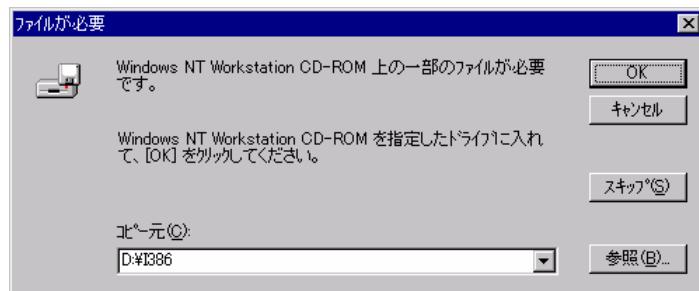
11 ファイルのコピーが開始されます。

12 [ディスクの挿入] 画面が表示されたら、Windows NT 4.0 システムディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットして〔OK〕をクリックする



- 13 「コピー元」に「D:¥1386」と入力するか、[参照]をクリックして「D:¥1386」を選択する
入力が終わったら[OK]をクリックする**

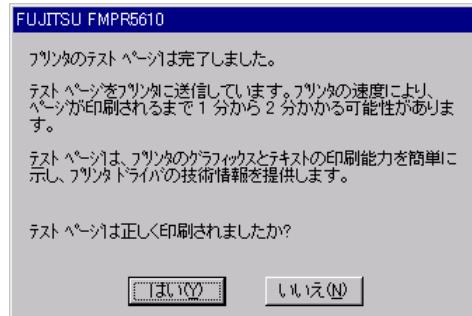
注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



- 14 ファイルのコピーが完了すると、「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。**



- 15 手順10のテストページ印刷で[はい]を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、[はい]をクリックする
これでプリンタドライバのインストールは完了です。**



■ Windows 95 のとき

ここでは、Windows 95 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 95(4.00.950C)の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、Plug&Play で検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug&Play でプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR5610 を例に説明しています。

FMPR5410 をお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”と読み替えてください。



ガイド

- FMPR5310E は、Windows 95 に対応していません。
 - ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95 のバージョン(4.00.950/4.00.950A/4.00.950B)によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
 - プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
 - 異なるバージョンの FUJITSU FMPR5610 または FUJITSU FMPR5410 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
 - ここでは、FUJITSU FMPR5610 または FUJITSU FMPR5410 プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 95 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1 (オプション)、プリンタ LAN アダプタ FM-LNA110 (オプション) のマニュアルを参照願います。
 - Windows 95 では、USB インタフェースをサポートしておりませんので、USB インタフェースケーブルでのご使用はできません。
 - インストールの途中で「バージョンの競合 (コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。)」というメッセージが表示される場合があります。
- [はい] をクリックしてください。

◆ Plug&Play で検出する場合

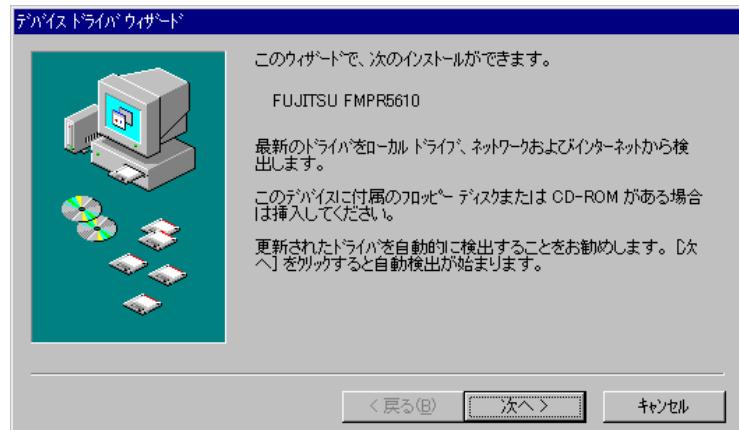


ガイド

- Plug&Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
- プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（333 ページ）でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動すると、「FUJITSU FMPR5610 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示されます。

2 「デバイスドライバーウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

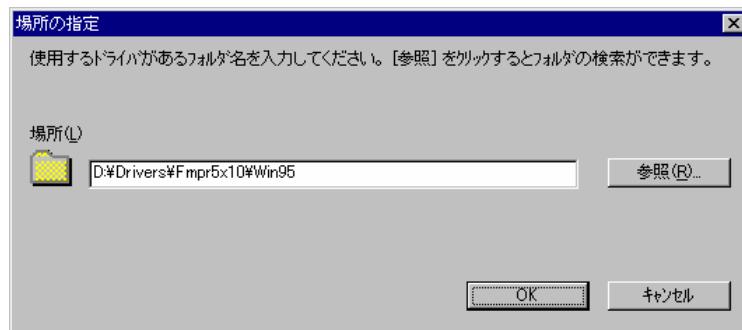


3 「場所の指定」をクリックする



**4 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、「場所」に「D:\¥Drivers¥FMPR5X10¥Win95」と入力するか、「参照」をクリックして「D:\¥Drivers¥FMPR5X10¥Win95」を選択する
入力が終わったら「次へ」をクリックする**

注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



5 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されたら、[完了] をクリックする



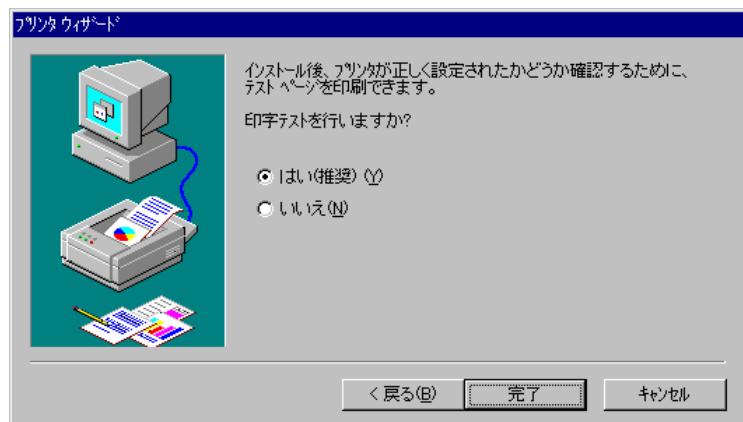
6 「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、[はい] を選択して、[次へ] をクリックする



ガイド

- 他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

7 テストページ印刷の設定を行い、[完了] をクリックする



ガイド

- 〔はい (推奨)〕を選択した場合は、プリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」(81ページ) を参照してください。

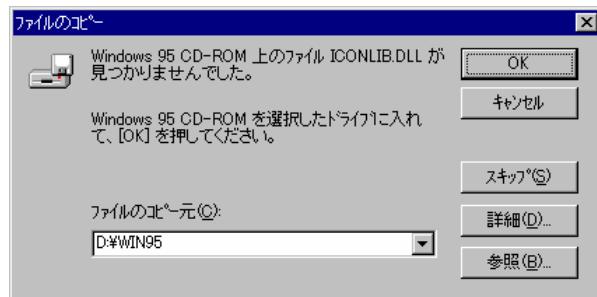
8 ファイルのコピーが開始されます。

9 [ディスクの挿入] ウィンドウが表示されたら、Windows 95 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[OK] をクリックする

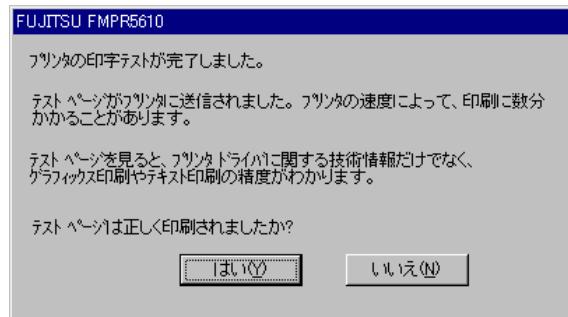


**10 「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN95」と入力するか、【参照】をクリックして「D:¥WIN95」を選択する
入力が終わったら【次へ】をクリックする**

注1) 上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



11 手順7のテストページ印刷で【はい（推奨）】を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、【はい】をクリックする



**12 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されます。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。**



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

- 1 Windows 95 を起動する
- 2 マイコンピュータより、[プリンタ] をダブルクリックして、次に [プリンタの追加] をダブルクリックする
- 3 「プリンタウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



4 「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックする



ガイド

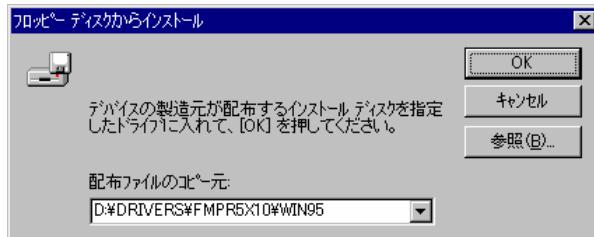
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
- 印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
- また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、[ディスク使用] をクリックする

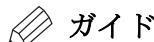
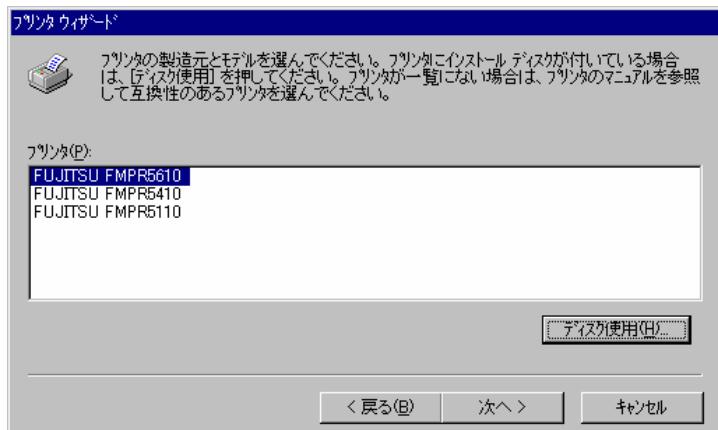


- 6 「配布ファイルのコピー元」に「D:\Drivers\FMPR5X10\Win95」と入力するか、[参照] をクリックして「D:\Drivers\FMPR5X10\Win95」を選択する
入力が終わったら [OK] をクリックする

注 1) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



- 7 プリンタを選択して [次へ] をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

- 8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、[次へ] をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート (LPT1) などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

- 9 以降の手順は、Plug&Play で検出する場合の手順 6 から 12 に従ってください。



FMPR プリンタユーティリティのインストール —

FMPR ステータスモニタおよび FMPR リモートパネルのインストールは以下の手順で行ってください。

FMPR プリンタユーティリティの機能については、「第3章 FMPR ステータスモニタ」、「第4章 FMPR リモートパネル」を参照してください。

ガイド

- ・本ユーティリティは、Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Server 2003に対応しています。
- ・FMPR5610 または FMPR5410 プリンタドライバがインストールされていない場合、本ユーティリティをインストールすることはできません。
必ず FMPR5610 または FMPR5410 プリンタドライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- ・FMPR5310E には FMPR プリンタユーティリティは添付していません。
- ・FMPR プリンタユーティリティ (FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル) は、FMPR5610 または FMPR5410 プリンタとの組合せで動作します。FMPR5310E プリンタでは動作しません。

■ 初めてインストールするとき

FMPR プリンタユーティリティを初めてインストールするときは、以下の手順で行います。

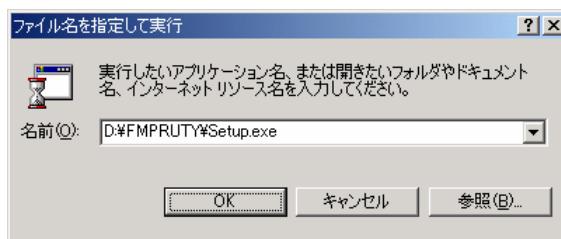
1 添付の「プリンタドライバセットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

2 [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューから [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする

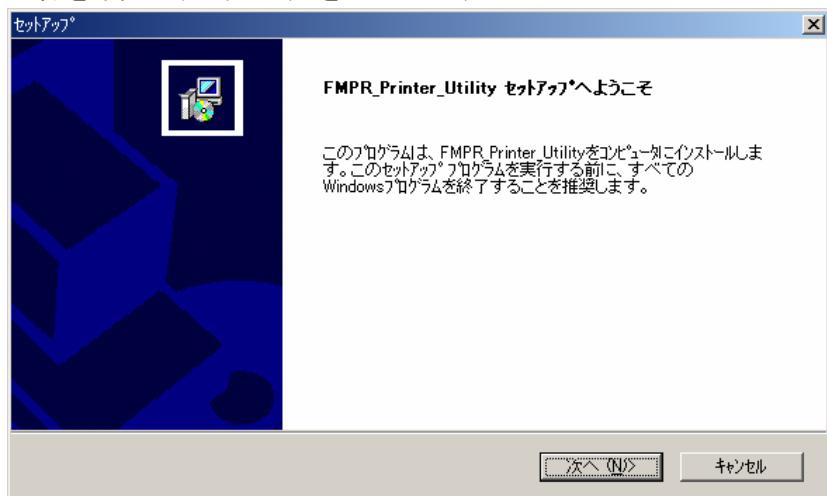
<名前>に「D:\FMPR\UTY\SETUP.EXE」と入力するか、[参照] をクリックして「D:\FMPR\UTY\SETUP.EXE」を選択します。

入力が終わったら [OK] ボタンをクリックしてください。

注1) CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。



3 内容を確認し、[次へ] をクリックする





ガイド

FMPR5610 または FMPR5410 プリンタドライバがインストールされていない場合、以下の画面が表示されます。FMPR5610 または FMPR5410 プリンタドライバをインストールしてから再度 FMPR プリンタユーティリティをインストールしてください。



4 プログラムをインストールするフォルダを指定する

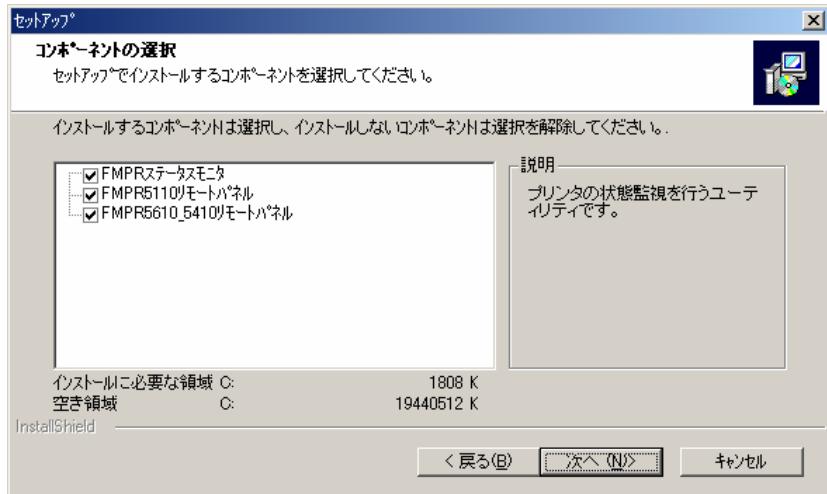
フォルダを変更する場合は、[参照] をクリックして、フォルダを選択します。

フォルダを指定したら、[次へ] をクリックします。



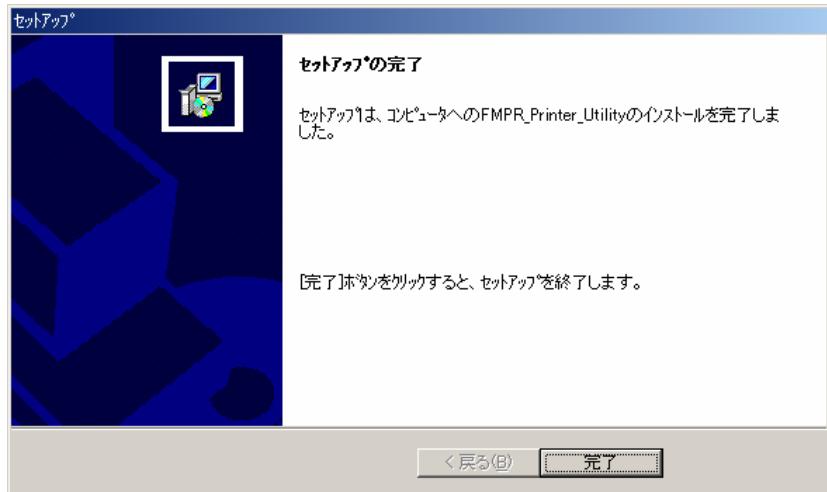
5 インストールするソフトウェアにチェックを付け、[次へ] をクリックする

[次へ] をクリックすると、インストールが開始されます。



6 [完了] ボタンをクリックする

これで FMPR プリンタユーティリティ (FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル) のインストールは終了です。



■ FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき

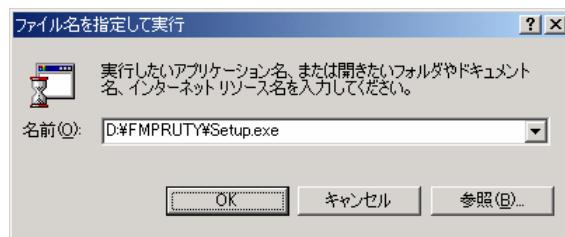
インストールされている FMPR プリンタユーティリティをメンテナンス（プログラムの変更・修正・削除）するときは、以下の手順で行います。

- 1 FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスマニタ、FMPR リモートパネル）を終了する
- 2 添付の「プリンタドライバセットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する
- 3 [スタート] ボタンをクリックして、スタートメニューから [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする

＜名前＞に「D:\FMPR\UTY\SETUP.EXE」と入力するか、[参照] をクリックして「D:\FMPR\UTY\SETUP.EXE」を選択します。

入力が終わったら [OK] ボタンをクリックしてください。

注1) CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

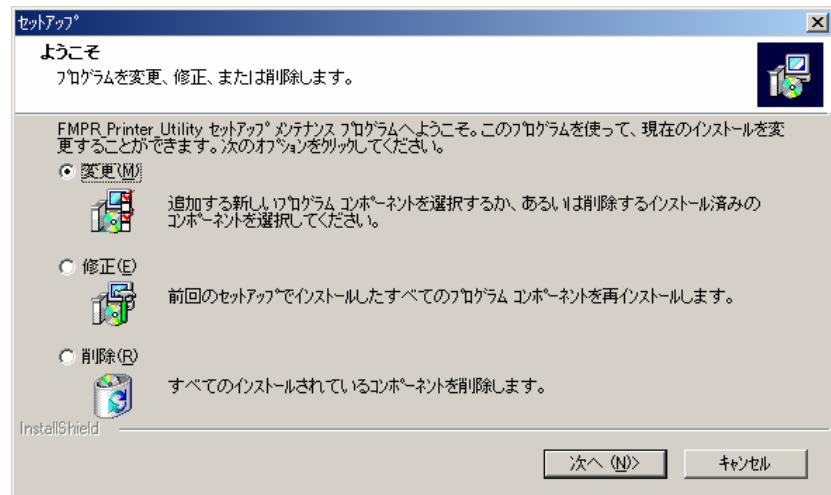


4 オプション選択する

インストール済みの FMPR プリンタユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 5へ進みます。

前回と同じプログラムを再インストールするときは、「修正」を選択し、〔次へ〕をクリックします。FMPR プリンタユーティリティの再インストールが開始されます。→手順 7へ進みます。

インストールされている FMPR プリンタユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 6へ進みます。

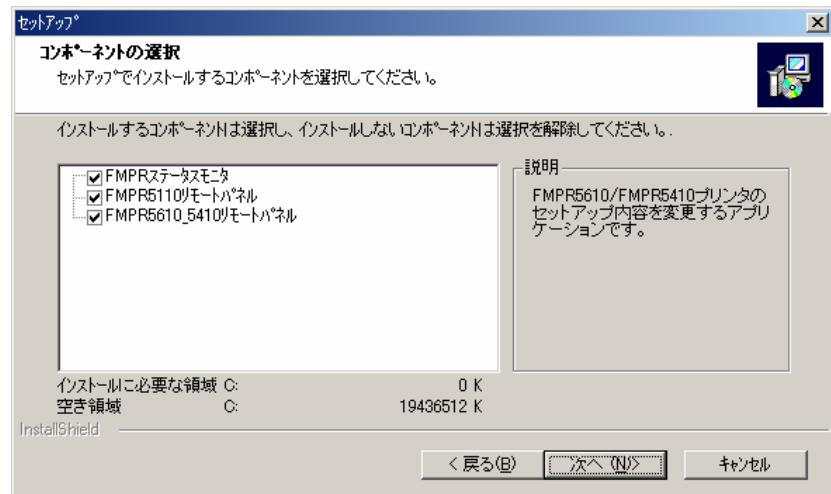


5 変更するプログラムを選択して、〔次へ〕をクリックする

チェックを付けると、プログラムが追加されます。

チェックを外すと、プログラムは削除されます。

〔次へ〕をクリックすると、プログラムの変更が開始されます。→手順 7へ進みます。



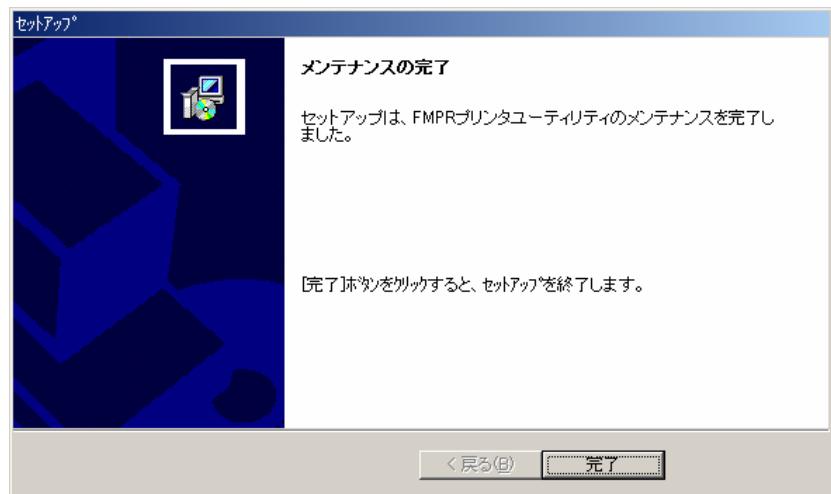
6 [OK] をクリックする

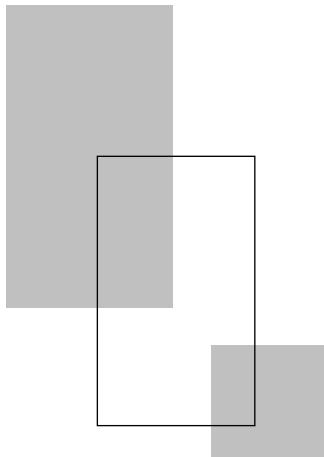
プログラムのアンインストールが開始されます。



7 [完了] をクリックする

これで FMPR プリンタユーティリティ (FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル) のメンテナンスは終了です。





第 2 章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定方法や設定項目について説明します。

プリンタドライバの設定	346
Windows 95/98/Me の設定画面	346
Windows NT 4.0 の設定画面	353
Windows 2000/XP/Server 2003 の設定画面	363
印刷可能領域	373
印刷の向き	377
給紙方法	378
印刷品質	379
用紙の種類またはメディア	380
印字圧	380
排出方向	381



プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

■ Windows 95/98/Me の設定画面

Windows 95/98/Me でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。

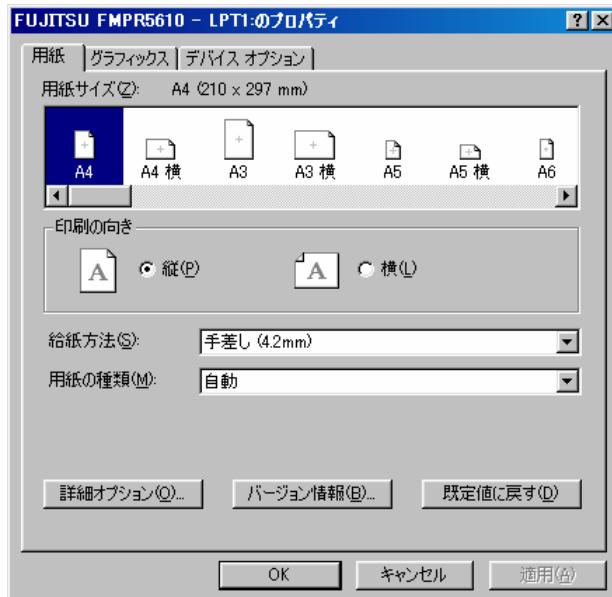
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。そのため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ・ ここでは、FUJITSU FMPR5610 の Windows 98 を例に説明しています。
FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E をお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。
尚、FUJITSU FMPR5310E プリンタは、Windows 95 に対応していません。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 - 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 - 〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 - 〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ [スタート] からの設定画面 (プリンタのプロパティ)



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。



ガイド

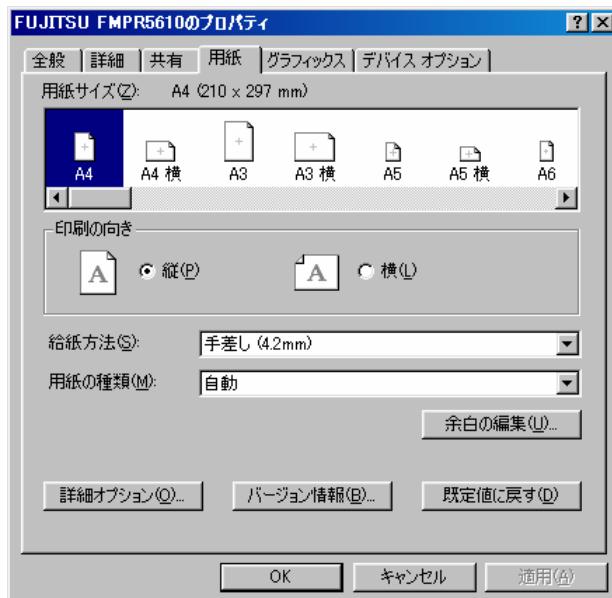
- ・本書では、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
- 〔全般（または情報）〕、〔詳細〕、〔共有〕タブの内容については、Windows 95/98/Me オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 FUJITSU FMPR5610 プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 - [OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 - [キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 - [既定値に戻す] のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ ダイアログ一覧

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
用紙サイズ	<p>用紙サイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。用紙の幅、長さについては、『プリンタ編』「第4章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。  <p>・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(373 ページ) を参照してください。</p>

設定項目	内 容
印刷の向き	<p>印刷の向きを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦：用紙を縦長に使って印刷します。 ・横：用紙を横長に使って印刷します。 <p>詳細は「印刷の向き」（377 ページ）を参照してください。</p>
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」（378 ページ）を参照してください。
用紙の種類	<p>用紙厚調整の方法を設定します。</p> <p>プリンタ装置側の用紙厚さ調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動 : 用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ1～レンジD : 用紙厚を指定の厚さに設定します。
余白の編集	<p>余白の編集を行います。</p> <p>選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。</p> <p>本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。</p>
詳細オプション	<p>単票用紙の排出方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出 : プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出 : 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出 : リアスタッカに排出します。
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
標準に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕



解像度やディザパターンなどを設定します。

設定項目	内 容
解像度	印刷するデータの解像度を次の中から指定します。FMPR5610, FMPR5410, FMPR5310E プリンタドライバは、180×180dpi のみとなります。
ディザリング	<p>ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。</p> <p>なし : ディザリングをおこないません。</p> <p>粗く : グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。</p> <p>細かく : グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。 (既定値)</p> <p>ラインアート : グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。</p> <p>誤差拡散法 : はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。</p>
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

[デバイスオプション]



印刷品質の設定を行います。

設定項目	内 容
印刷密度	印刷密度(印字圧)の設定をします。 • 標準 : 標準の印字圧で印刷します。 • 高複写 1 : 高複写の印字圧で印刷します。 • 高複写 2 : 2度打ちにより高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。
印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 • 高品質 (両方向印字) : 高品質モードで両方向印字を行います。 • 高品質 (片方向印字) : 高品質モードで片方向印字を行います。 • 高速 (両方向印字) : 高速モードで両方向印字を行います。 • 高速 (片方向印字) : 高速モードで片方向印字を行います。 • 低騒音 (両方向印字) : 低騒音モードで両方向印字を行います。 • 低騒音 (片方向印字) : 低騒音モードで片方向印字を行います。 • プリンタ設定優先 (両方向印字) : 印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 • プリンタ設定優先 (片方向印字) : 印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。

注 1) プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

■ Windows NT 4.0 の設定画面

Windows NT 4.0 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタ設定のプロパティ」、「ドキュメントの既定値」、「プリンタのプロパティ」の3つのプロパティで行います。

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- 一般ユーザーは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバー共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバーとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR5610 の Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。
FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタをお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。

◆ アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの【ファイル】メニューから、【印刷】を選択する
 - 2 【印刷】ダイアログで、【プロパティ】をクリックする
 - 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
- 【OK】をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
- 【キャンセル】をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ [スタート] からの設定画面（ドキュメントの既定値）

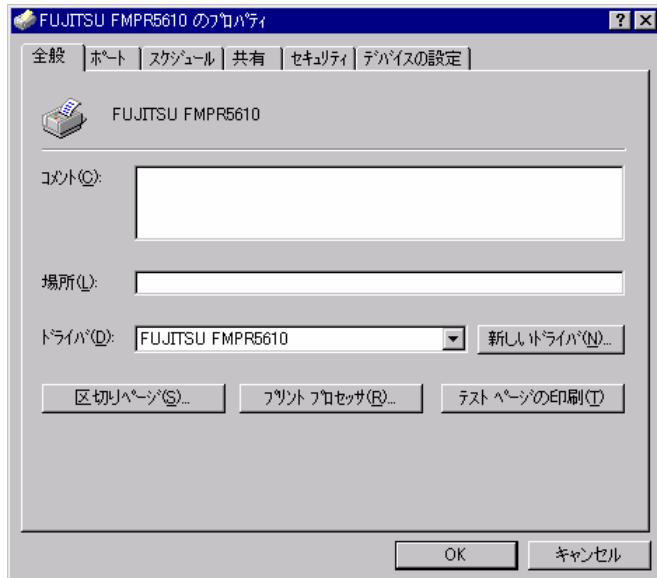


用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 FUJITSU FMPR5610 プリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [ドキュメントの規定値] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ [スタート] からの設定画面 (プリンタのプロパティ)



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、給紙口毎の用紙の割り当てなど設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 FUJITSU FMPR5610 プリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ ダイアログ一覧



ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR510 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般〕、〔ポート〕、〔スケジュール〕、〔共有〕、〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows NT 4.0 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注1）とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
- （注2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

[ページ設定] (注1)



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

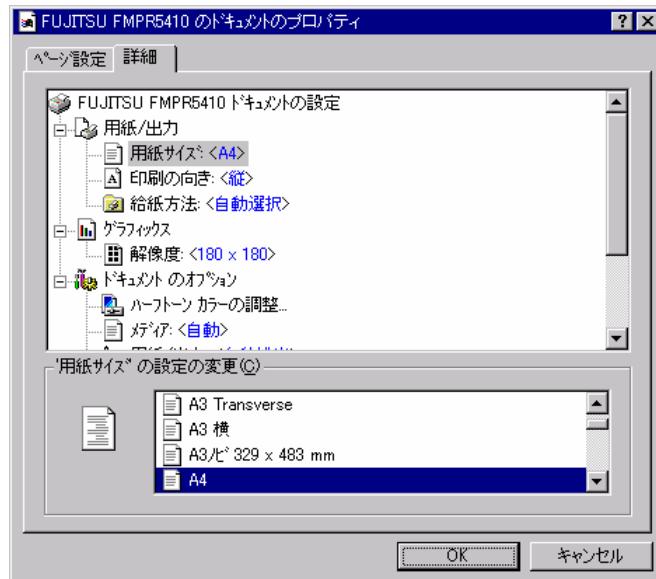
設定項目	内 容
用紙サイズ	<p>用紙サイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(373 ページ) を参照してください。 特別なサイズの用紙を使う場合、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] を選択し、[用紙] タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは『プリンタ編』「第4章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 用紙の登録方法については、本ページの「ガイド」を参照してください。
給紙方法	<p>用紙の給紙方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定] タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 <p>給紙方法については、「給紙方法」(378 ページ) を参照してください。</p>
印刷の向き	<p>印刷の向きを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦：用紙を縦長に使って印刷します。 横：用紙を横長に使って印刷します。 <p>印刷の向きについては、「印刷の向き」(377 ページ) を参照してください。</p>



ガイド

- 用紙の登録方法は以下の通りです。
 - 「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティ」を選択して、「プリントサーバのプロパティ」を開きます。
 - 「プリントサーバのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
 - 用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔詳細〕 (注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 給紙方法については、「給紙方法」(378ページ)を参照してください。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	ハーフトーンカラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。 「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ダイアログボックスが表示されます。
	メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・自動 : 用紙厚を自動で調整します。 ・レンジ1 ~ レンジD : 用紙厚を指定の厚さに設定します。

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントのオプション	用紙/出力	<p>単票用紙の排出方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出：単票テーブル側に排出します。 ・後方排出：リアスタッカに排出します。
	印刷品質 (注 1)	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質（両方向印字）：高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）：高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）：高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字）：低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字）：低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）：印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）：印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
	濃淡	<p>印字圧の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準：標準の印字圧で印刷します。 ・高複写 1：高複写の印字圧で印刷します。 ・高複写 2：2 度打ちにより高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。
	テキストをグラフィックスとして印刷	<p>テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフ：テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン：プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスਪーリնգ	<p>メタファイルのスպーリնգの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフ：印刷データをスպールしてから印刷します。 ・オン：印刷データを直接プリンタに送ります。

注1) プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

「FUJITSU FMPR5610 ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

〔デバイスの設定〕 (注 2)



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ給紙方法がどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU FMPR5610 デバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

■ Windows 2000/XP/Server 2003 の設定画面

Windows 2000/XP/Server 2003 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。

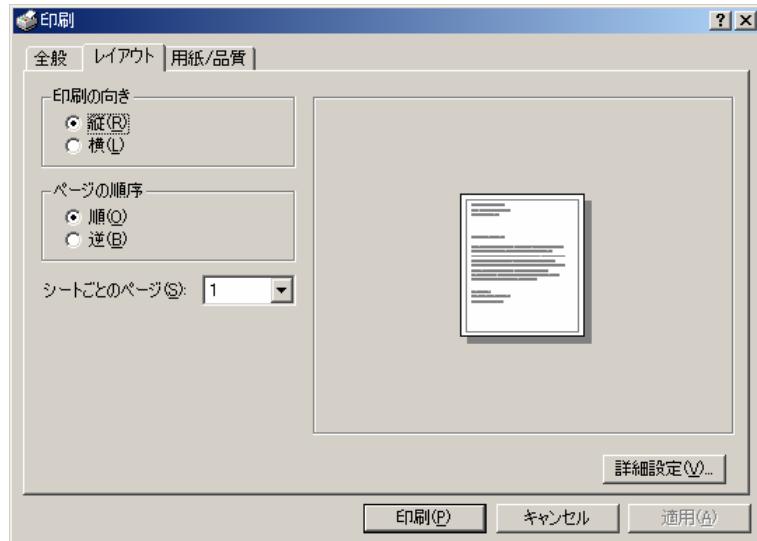
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
* アプリケーションソフトによっては、【全般】タブが表示されないことがあります。
- ・ ここでは、FUJITSU FMPR5610 の Windows 2000 の画面を例に説明しています。
FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E をお使いの場合は、“FMPR5610”を“FMPR5410”または“FMPR5310E”と読み替えてください。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

* アプリケーションソフトによっては、【全般】タブが表示されないことがあります。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

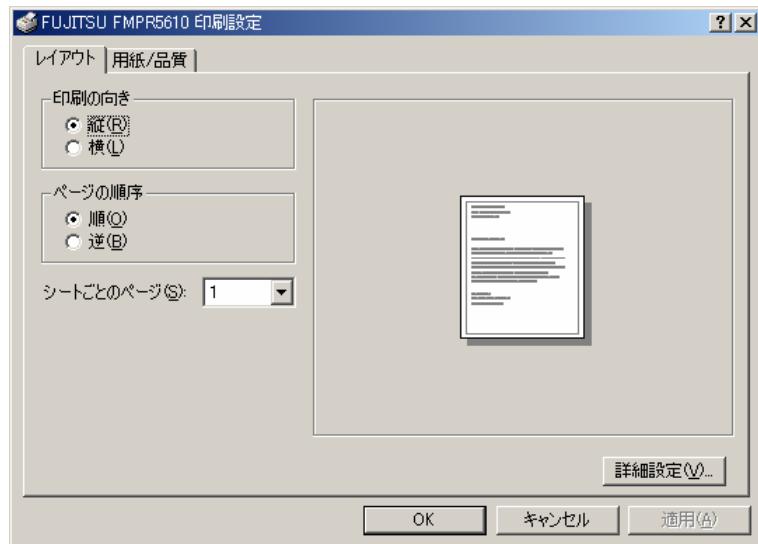
- 1 ワードパットの【ファイル】メニューから、【印刷】を選択する
- 2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

【印刷】をクリックすると変更した設定で印刷が開始されます。

【キャンセル】をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。

【適用】をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスは開いたままです。

◆ [スタート] からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 FUJITSU FMPR5610 プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、設定を変更します。

[OK] をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。

[適用] をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

 **ガイド**

- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
 - (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
 - (2) [詳細設定] の場合、「FUJITSU FMPR5610 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、[適用] ボタンが有効になります。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 FUJITSU FMPR5610 プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 - [OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 - [キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 - [適用] をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

- ・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
 - (1) 設定を変更した後、[デバイスの設定] タブの [FUJITSU FMPR5610 デバイスの設定] を右クリックします。[変更したオプションを元に戻す] ボタンが表示されますので、クリックします。 ([デバイスの設定] タブのみ有効)
- ・設定内容に変更があった場合のみ、[適用] ボタンが有効になります。

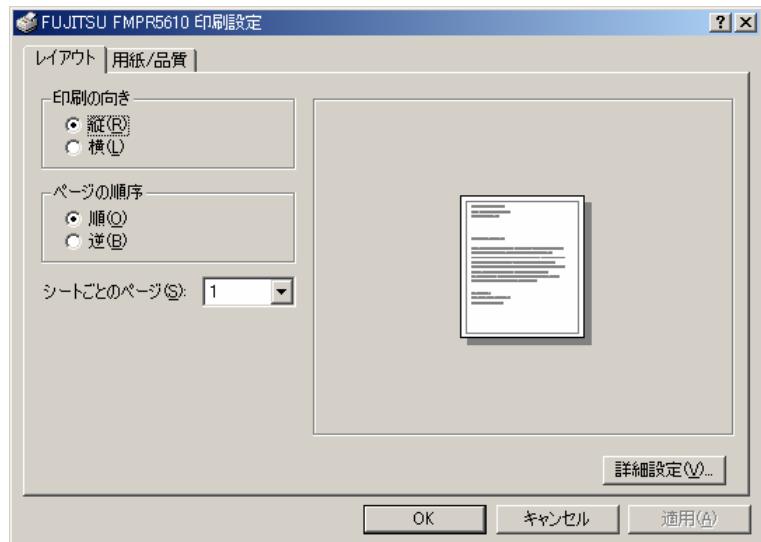
◆ ダイアログ一覧



ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR5610、FUJITSU FMPR5410 または FUJITSU FMPR5310E プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
- 〔全般〕、〔共有〕、〔ポート〕、〔詳細情報〕、〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows 2000/XP/Server 2003 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
- （注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

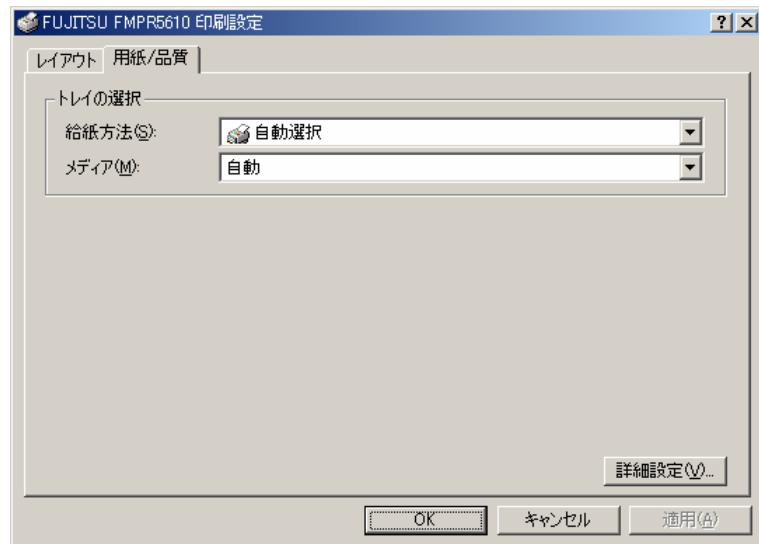
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

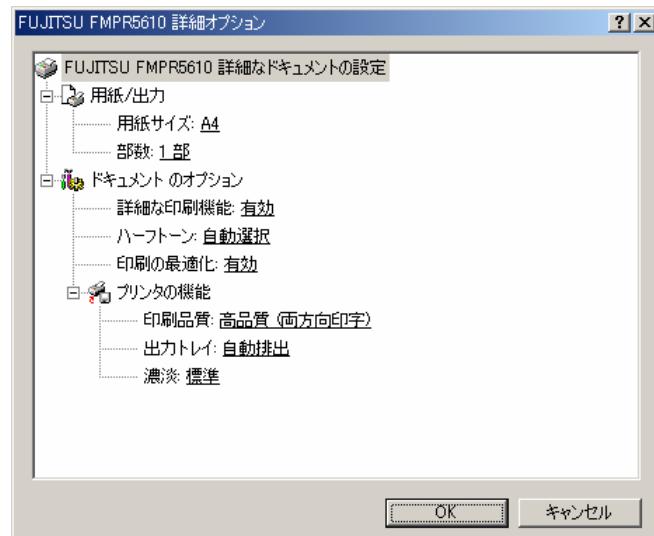
〔用紙/品質〕 (注 1)



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・ 「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定] タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」 (378 ページ) を参照してください。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンタ装置側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 ・ 自動 : 用紙厚を自動で調整します。 ・ レンジ 1 ~ レンジ D : 用紙厚を指定の厚さに設定します。

〔詳細〕 (注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備考
用紙/出力	用紙サイズ 部数	用紙サイズを選択します。 印刷部数を設定します。
グラフィックス	印刷品質	解像度を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能 ハーフトーン 印刷の最適化	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効: [ページの順序] [シートごとのページ] および [部数] の設定が有効になります。 無効: [ページの順序] [シートごとのページ] および [部数] の設定が無効になります。 ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。 印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	<p>印刷品質 (注1)</p> <p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質 (両方向印字) : 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質 (片方向印字) : 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速 (両方向印字) : 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速 (片方向印字) : 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音 (両方向印字) : 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音 (片方向印字) : 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先 (両方向印字) : 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先 (片方向印字) : 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
	出力トレイ	<p>用紙の排出方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出 : プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出 : 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出 : リアスタッカに排出します。

設定項目	設定内容	備考	
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	濃淡	<p>印字圧の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準： 標準の印字圧で印刷します。 高複写1： 高複写の印字圧で印刷します。 高複写2： 2度打ちにより高複写1よりさらに高複写の印字圧で印刷します。

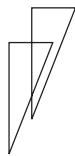
注1) プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

〔デバイスの設定〕 (注 2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。



印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A3 ハビ	329.00	483.00	—	—
A4 ハビ	224.00	355.00	355.00	224.00
B4 (JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B5 (JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒(長形4号)	—	—	205.00	90.00
封筒(長形3号)	—	—	235.00	120.00
封筒(角形3号)	—	—	277.00	216.00
封筒(角形2号)	—	—	332.00	240.00
名刺	55.00	90.00	—	—
10×11inch 連続紙	254.00	279.40	—	—
12×11inch 連続紙	304.80	279.40	—	—
15×11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦11inch 連続紙	381.00	25.40	—	—
縦2inch 連続紙	381.00	50.80	—	—
縦3inch 連続紙	381.00	76.20	—	—
縦4inch 連続紙	381.00	101.60	—	—
縦4.5inch 連続紙	381.00	114.30	—	—
縦5inch 連続紙	381.00	127.00	—	—
縦6inch 連続紙	381.00	152.40	—	—
縦7inch 連続紙	381.00	177.80	—	—
縦8inch 連続紙	381.00	203.20	—	—
縦9inch 連続紙	381.00	228.60	—	—
縦10inch 連続紙	381.00	254.00	—	—
縦10.5inch 連続紙	381.00	266.70	—	—
縦11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦12inch 連続紙	381.00	304.80	—	—
縦13inch 連続紙	381.00	330.20	—	—
縦14inch 連続紙	381.00	355.60	—	—
ユーザ定義サイズ(注1)	55.00～ 420.00	70.00～ 420.00	—	—

注1) この値はデフォルト値です。設定可能範囲(mm)は、用紙幅が55.00～420.00で、用紙長が70.00～420.00です。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003でのユーザ定義サイズ用紙は、プリンタフォルダを開いて、[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]で作成します。



ガイド

ユーザ定義サイズ用紙について

- 用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅(約420.0mmまで)設定できますが、印刷可能範囲内(最大345.5mm)で使用してください。最大印刷可能範囲を越えると、正しく印刷されない場合があります。

◆ 印刷領域

単位：mm

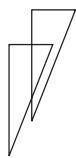
給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し (4.2mm)	4.23	4.23
手差し (8.5mm)	8.47	4.23
前トラクタフィーダ	0.00	0.00
後トラクタフィーダ	0.00	0.00
カットシートフィーダフロント (4.2mm)	4.23	4.23
カットシートフィーダフロント (8.5mm)	8.47	4.23
カットシートフィーダリア (4.2mm)	4.23	4.23
カットシートフィーダリア (8.5mm)	8.47	4.23

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4, A4 横	5.08	5.08
A5, A5 横	5.08	5.08
A6, A6 横	5.08	5.08
B4(JIS)	5.08	5.08
B4(JIS) 横	5.08	13.48
B5(JIS), B5(JIS) 横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
官製はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒(長形4号)	12.00	12.00
封筒(長形3号)	12.00	12.00
封筒(角形3号)	12.00	12.00
封筒(角形2号)	12.00	12.00
名刺	5.08	5.08
10×11inch 連続紙	0.00	0.00
12×11inch 連続紙	0.00	0.00
15×11inch 連続紙	0.00	35.56
縦1inch 連続紙	0.00	35.56
縦2inch 連続紙	0.00	35.56
縦3inch 連続紙	0.00	35.56
縦4inch 連続紙	0.00	35.56
縦4.5inch 連続紙	0.00	35.56
縦5inch 連続紙	0.00	35.56
縦6inch 連続紙	0.00	35.56

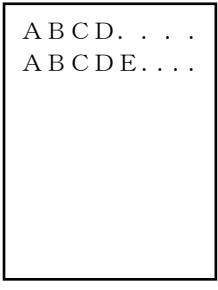
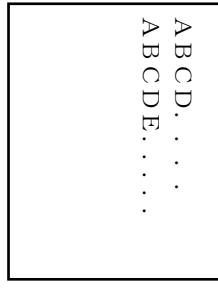
用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 7inch 連続紙	0.00	35.56
縦 8inch 連続紙	0.00	35.56
縦 9inch 連続紙	0.00	35.56
縦 10inch 連続紙	0.00	35.56
縦 10.5inch 連続紙	0.00	35.56
縦 11inch 連続紙	0.00	35.56
縦 12inch 連続紙	0.00	35.56
縦 13inch 連続紙	0.00	35.56
縦 14inch 連続紙	0.00	35.56
ユーザ定義サイズ	5.08	5.08

注) 紙給方法によって上端、下端余白が異なります。



印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようにになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横
	



ガイド

アプリケーションにより、Windows画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。



給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

・ **手差し (4.2mm)**

単票テーブルから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mmとなります。

・ **手差し (8.5mm)**

単票テーブルから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mmとなります。

・ **前トラクタフィーダ**

単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。

用紙吸入直後の上端余白量は4.2mmとなります。

・ **後トラクタフィーダ**

プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。

用紙吸入直後の上端余白量は4.2mmとなります。

・ **カットシートフィーダフロント (4.2mm)**

前シートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mmとなります。

・ **カットシートフィーダフロント (8.5mm)**

前シートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mmとなります。

・ **カットシートフィーダリア (4.2mm)**

後シートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、4.2mmとなります。

・ **カットシートフィーダリア (8.5mm)**

後シートフィーダから給紙します。

吸入した用紙の上端余白量は、8.5mmとなります。

ガイド

- ・ プリンタの機能設定の上端余白量指定をプリンタ優先にしている場合は、プリンタの共通設定の上端余白量で設定してある余白量になります。（『プリンタ編』「第2章 プリンタの機能とその使い方」「機能設定を変える」（50ページ参照）。正しい印刷結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。
- ・ Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003の給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙方法とは異なった給紙方法が指定される場合があります。印刷に使用する用紙に合わせ、自動選択以外の給紙方法を指定してください。



印刷品質

印刷の品位を設定します。

- ・ **高品質（両方向印字）**

高品質モードで両方向印字を行います。

- ・ **高品質（片方向印字）**

高品質モードで片方向印字を行います。

- ・ **高速（両方向印字）**

高速モードで両方向印字を行います。

- ・ **高速（片方向印字）**

高速モードで片方向印字を行います。

- ・ **低騒音（両方向印字）**

低騒音モードで両方向印字を行います。

- ・ **低騒音（片方向印字）**

低騒音モードで片方向印字を行います。

- ・ **プリンタ設定優先（両方向印字）**

印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

- ・ **プリンタ設定優先（片方向印字）**

印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。



用紙の種類またはメディア

印刷する用紙の厚さに応じて設定します。

・ **自動**

プリンタ装置が用紙の厚さを自動的に判断します。

・ **レンジ1、… レンジD**

印刷する用紙の厚さを指定します。



印字圧

印字圧を設定します。

お使いのOSにより、印刷密度または濃淡と表示されます。

・ **標準**

標準の印字圧で印刷します。

・ **高複写1**

高複写の印字圧で印刷します。

・ **高複写2**

2度打ちすることにより、高複写1よりさらに高複写の印字圧で印刷します。



排出方向

用紙の排出方向を設定します。

お使いのOSにより、排出装置や用紙/出力、出力トレイと表示されます。

- ・ **自動排出**

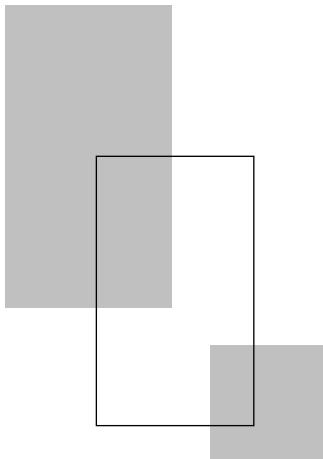
プリンタ装置の設定に従って、用紙を排出します。

- ・ **手前排出**

単票テーブルに用紙を排出します。

- ・ **後方排出**

リアスタッカに用紙を排出します。

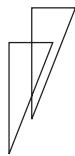


第 3 章

FMPR ステータスモニタ

この章では、FMPR ステータスモニタについて説明します。

FMPR ステータスモニタのインストール	384
FMPR ステータスモニタの機能	384
FMPR ステータスモニタの起動	384
ステータス表示ウィンドウ	385



FMPRステータスモニタのインストール —

『ソフトウェア編』「第1章 ソフトウェアの概要」をお読みください。



FMPRステータスモニタの機能 —

ここでは、FMPRステータスモニタの機能について説明します。

FMPRステータスモニタは、プリンタ装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。

プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。

Windowsの印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタの状態を取得し、表示します。（プリンタの状態が変わっても、FMPRステータスモニタの表示は自動的には更新されません。）

■ FMPRステータスモニタの起動

FMPRステータスモニタをインストールすると、Windowsの「スタートアップ」に登録されます。

Windowsを起動すると、FMPRステータスモニタは自動的に起動されます。ただし、印刷を実行しても、自動的には起動しません。FMPRステータスモニタを利用するには、印刷実行前にあらかじめFMPRステータスモニタを起動しておく必要があります。

FMPRステータスモニタを表示させるには、プリンタとの接続インターフェースを双方向通信に設定する必要があります。プリンタドライバで双方通信機能を有効に設定してください。

お願い

- FMPRステータスモニタは、FMPR5610またはFMPR5410でのみ動作します。FMPR5310Eでは動作しません。
- FMPRステータスモニタを使用するときは、FMPR5610プリンタまたはFMPR5410プリンタを「通常使うプリンタ」に設定し、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- FMPRステータスモニタは、パラレルまたはUSBインターフェース接続時に使用してください。以下の環境では、FMPRステータスモニタを使用できません。
 1. プリンタドライバのポート設定がパラレルまたはUSBポート以外の場合
 2. USB変換ケーブルで接続している場合

■ ステータス表示ウィンドウ

◆ ポップアップ表示



表示項目	内 容
タイトル	FMPR モニタ : プリンタ名
メッセージ本文 (注)	[ステータス番号 プリンタ状態名] プリンタ状態の説明 処置方法
ステータスアイコン	印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(エラーなし状態) 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。 (ワーニングメッセージ有り※) エラー発生状態であることを示す。 (復旧可能なエラー) エラー発生状態であることを示す。 (復旧不可能なエラー) エラー発生状態であることを示す。 (ハードエラー) ※ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名
文書名	印刷中の文書名 (印刷ジョブ名)
OK ボタン	[OK] ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納される。
印刷中止ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合に押下する。「印刷中止」ボタンを押下することにより、該当印刷ジョブの印刷中止を行い、本ウィンドウを消去する。

注) ステータス番号、プリンタ状態名、プリンタ状態の説明の一覧については
「FMPRステータスモニタ状態表示一覧」(400ページ)を参照してください。

◆ アイコン表示

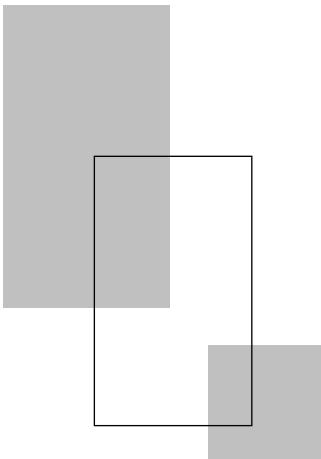


FMPR ステータスモニタアイコン

表示項目	内 容
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(エラーなし状態)  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。(ワーニングメッセージ有り※)  エラー発生状態であることを示す。(復旧可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。(復旧不可能なエラー)  エラー発生状態であることを示す。(ハードエラー) ※ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることにより、ツールチップによる動作概要表示が行われる。

◆ アイコン表示時のマウス操作

- 左ボタンダブルクリック： ステータス表示をポップアップ
- 右ボタンシングルクリック： ポップアップメニューの表示を行う。メニュー内の選択項目を以下に示す。
- [元のサイズに戻す (R)] マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能である。
- [印刷中止 (C)] 印刷中止ボタンと同じ機能である。
- [ステータス表示の終了 (X)] FMPR ステータスモニタプログラムを終了する。



第 4 章

FMPR リモートパネル

この章では、FMPR リモートパネルについて説明します。

FMPR リモートパネルのインストール	388
FMPR リモートパネルの機能	388
FMPR リモートパネルの起動	389
プリンタの機能設定	391



FMPRリモートパネルのインストール――――――

『ソフトウェア編』「第1章 ソフトウェアの概要」をお読みください。



FMPRリモートパネルの機能――――――

ここでは、FMPRリモートパネルの機能について説明します。
FMPRリモートパネルは、プリンタの機能設定と印字ヘッド消耗状況を
管理するユーティリティソフトです。



ガイド

- FMPRリモートパネルは、FMPR5610 または FMPR5410 でのみ動作します。 FMPR5310E では動作しません。
- エミュレーションモードやインターフェースの設定などの一部の設定は、FMPRリモートパネルから行うことはできません。一部の項目の設定は、プリンタのオフラインセットアップをお使いください。オフラインセットアップの方法は、『プリンタ編』「第2章プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定を変える」(50ページ)を参照してください。
- OSがWindows95でLAN接続のときにリモートパネルを使用する場合は、Winsock.D11のバージョンが4.10.1654以上である必要があります。ご使用のWinsock.D11が対応しているかどうかは以下の手順で確認してください。
 - 1 Windowsフォルダ内で「Winsock.D11」を検索する
 - 2 「Winsock.D11」のプロパティを開き、「バージョン情報」タブのファイルバージョンの値を確認するなお、バージョンアップは以下のマイクロソフトのページよりダウンロードが可能です。
http://www.microsoft.com/windows95/downloads/content/s/WUAdminTools/S_WUNetworkingTools/W95Sockets2/Default.asp

■ FMPRリモートパネルの起動

1 [スタート] → [プログラム] → [FMPR プリントユーティリティ] → [FMPR5610_5410リモートパネル] の順にクリックする

2 プリンタを選択し、[OK] をクリックする



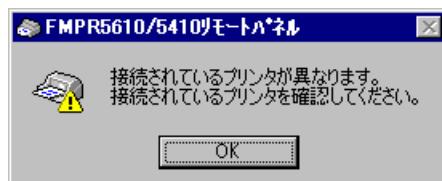
お願い

- FMPR リモートパネルは、パラレル、USB または LAN（オプションの FMPR-LN1 使用時）接続時に使用してください。
- FMPR リモートパネルをパラレル、USB で接続する場合は、プリンタ ドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- LAN インタフェース（オプションの FMPR-LN1 使用時）は、プリンタ ドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。
- 以下の環境では FMPR リモートパネルを使用できません。
 - プリンタ ドライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプションの FMPR-LN1 使用時）以外の場合
 - パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合
 - オプションの LAN アダプタ（FM-LNA110）で接続している場合

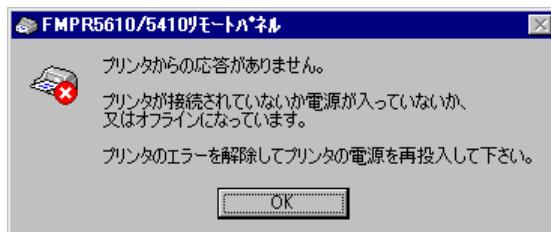


ガイド

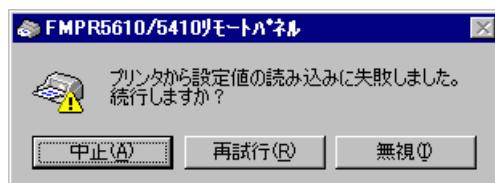
- リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
- 警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- リモートパネル起動時に、選択したプリンタと異なるプリンタが接続されていたときは、下記メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。



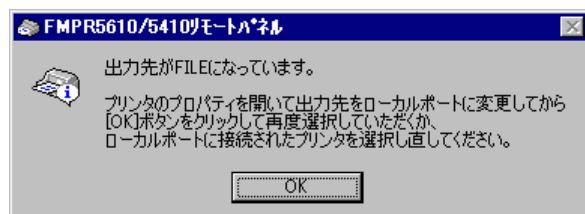
- LAN インタフェース（オプションの FMPR-LN1 使用時）で使用するときは、PR-PortManager で作成した LPR ポートでデフォルトのポート名（xxx. xxx. xxx. xxx:1p（注1））としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows Standard TCP/IP ポート、Windows LPR ポートでは動作しません。
注1：xxx. xxx. xxx. xxx には IP アドレスが入ります。
- FMPR リモートパネルは、プログラム起動時に、プリンタ装置から機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、下記のようにメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。



下記メッセージが表示されますので、FMPR リモートパネルの使用を中止する場合は〔中止〕をクリックしてください。
プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は〔再試行〕をクリックしてください。
プリンタからの情報を読み込まないでリモートパネルを起動する場合は〔無視〕をクリックしてください。



- 接続ポートが異なるときは、下記メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして、接続を確認してください。



■ プリンタの機能設定



[FMPRリモートパネルの起動画面]

◆ メニューの説明

【ファイル】メニュー



- ・設定ファイルの読み込み (O) Alt+O

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

- ・設定ファイルの保存 (A) Alt+A

リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

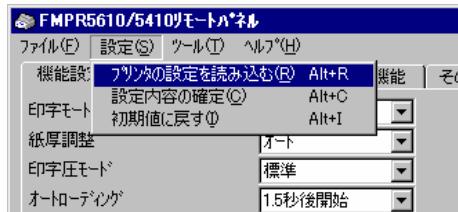
- ・設定一覧印刷 (P) Alt+P

設定内容の一覧印刷を行います。

- ・終了 (X)

リモートパネルを終了します。

【設定】メニュー



- ・プリンタの設定を読み込む (R) Alt+R

プリンタ装置から設定値を読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

- ・設定内容の確定 (C) Alt+C

リモートパネルで設定した内容をプリンタに送信します。

- ・初期値に戻す (I) Alt+I

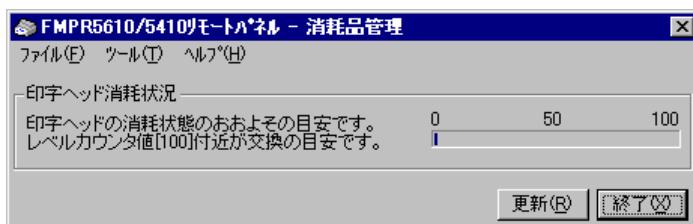
リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。
また、プリンタ装置の設定を初期値にします。

【ツール】メニュー



- ・消耗品管理 (M) Alt+M

プリンタ装置から、消耗品使用状況に関する情報を取得し、消耗品管理ウィンドウを表示します。



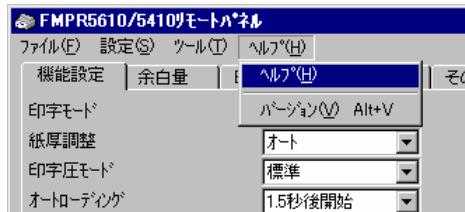
〔消耗品管理ウィンドウ〕



ガイド

- ・消耗品管理ウィンドウ起動時に、プリンタ装置から消耗品情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、応答無しメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

【ヘルプ】メニュー



- ・ヘルプ (H)

リモートパネルのヘルプを起動します。

- ・バージョン (V) Alt+V

リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆ ボタンの説明

【読み込 (R)】

“設定”メニューの「プリンタの設定を読み込む (R)」と同等機能です。

【確定 (C)】

“設定”メニューの「設定内容の確定 (C)」と同等機能です。

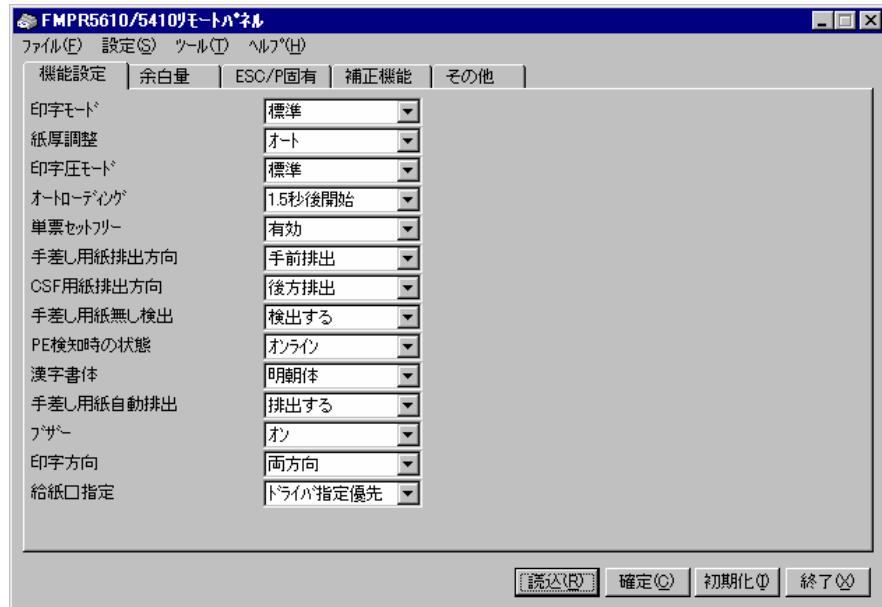
【初期化 (I)】

“設定”メニューの「初期値に戻す (I)」と同等機能です。

【終了 (X)】

リモートパネルプログラムを終了します。

◆ 装置機能の設定



〔装置機能〕シートでは、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第2章プリンタの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」[ソウキハセッテイ]（54ページ）を参照してください。

◆ 余白量の設定



〔余白量〕シートでは、余白量に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第2章プリンタの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」[ヨハクリヨウ セッティ] (57ページ) を参照してください。

◆ ESC/P 固有の設定



〔ESC/P 固有〕シートでは、ESC/P モード固有項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」〔ESC/P コンセプト〕(61 ページ) を参照してください。

◆ 補正機能の設定



〔補正機能〕シートでは、改行補正と上端余白量補正項目の設定を行います。

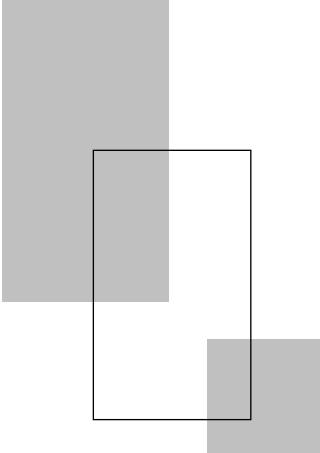
各設定項目については、『プリンタ編』「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」[セイキノカ] (62ページ) を参照してください。

◆ その他の設定



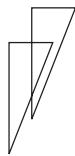
〔その他〕シートでは、プリンタの制御方法に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「セットアップ項目一覧」[ソソノセッテイ] (65ページ) を参照してください。



付 錄

FMPR ステータスマニタ状態表示一覧表 ······ 400



FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表——

ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0002	印刷中	印刷中です。
0300	オフライン	プリンタがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダ)	選択されているカットシートフィーダに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テープルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム(トラクタ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム(トラクタ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンタで使用できない厚さの用紙に印刷しようとしています。
0408	改行ジャム	用紙の紙送り中に紙づまりが発生しました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0702	斜行ユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	HCPP ホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	APTC ホームポジション検出に失敗しました。

ステータス番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0705	LRES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
0707	ファンアラーム	ファンの異常を検出しました。
0708	CSF モータアラーム	CSF モータのドライバで異常を検出しました。
0709	リボンモータアラーム	リボンモータのドライバで異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドのドライバで異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モータ及びトラクタモータのドライバで異常を検出しました。
0715	SP アラーム	スペースモータのドライバで異常を検出しました。
1500	応答なし	プリンタからの応答がありません。

索引～プリンタ編

E

- ESC/P 固有設定 49
ESC/P モードの制限事項 211

F

- FM-OASYS 9
FMRシリーズ 9

H

- HEX ダンプ印字 174

J

- JIS⁹⁰第一水準漢字一覧表 238
JIS⁹⁰第二水準漢字一覧表 241

O

- OASYS 9

あ

- アフターサービス 179

い

- 異常電流検出 80
一般用紙

- カットシートフィーダで使用する单
票用紙 131
手差しで使用する单票用紙 125
前・後トラクタ 118
イメージ印字 199
印字位置がページによってズレる 170
印字位置の問題点 169
印字開始位置（行方向）の微調整 110
印字開始位置について 109
印字開始位置の微調整 45
印字桁数 199
印字結果の問題点 166
印字速度 198
印字中の問題点 165
印字動作 199
印字ヘッド 12
印字ヘッド昇温検出 80
印字方式 198
印字モードの切り替え 42
印字領域

- 一般用紙（カットシートフィーダで使
用する单票用紙） 131
一般用紙（手差しで使用する单票用
紙） 125
一般用紙（前・後トラクタ） 118
宅配伝票 124
宅配伝票（手差しで使用する单票用
紙） 130
タック用紙（前・後トラクタ） 122
はがき（カットシートフィーダで使用
する单票用紙） 133
はがき（手差しで使用する单票用紙）
 127
はがき用紙（前トラクタ） 119
封筒（手差しで使用する单票用紙） 128
封筒用紙（前・後ろトラクタ） 120
インターフェース 199
インターフェース仕様 204
う
後トラクタユニット 12
後連続帳票用紙の置きかた 93
うまく動かないとき 157
え
液晶ディスプレイ 38
エラーメッセージの表示 157
お
オプションの概要 182
オプション品
 プリンタ LAN アダプタ 33
 プリンタケーブル 34
オフライン状態で行う操作 43
オフライン状態に切り替える 40
オンライン状態で行う操作 41
オンライン状態に切り替える 40
 「オンライン」ランプ 39
か
カードガイド 12
外観図
 カットシートフィーダ取り付け時 203
 標準 202
改行 44

外形寸法	200
改ページ	44
各部のはたらき	12
各部の名称	11
カット位置に送る	78
カットシートフィーダ (FMPR673CF1)	182
カットシートフィーダ使用時の不具合	170
カットシートフィーダで使用する単票用紙	131
カットシートフィーダの取り付け	187
プリンタ後部	191
プリンタ前部	187
カットシートフィーダの取り外し	194
稼動音	200
紙厚調整の動作タイミング	108
紙厚調整モードの切り替え	45
漢字の書体の切り替え	42
き	
機能設定項目について	48
機能設定を変える	50
キャラクタコード一覧表	
ESC/P モード	229
FM モード	228
給紙口の切り替え	45
行間ズレを直す	73
こ	
交換	
リボンカセット	142
構成品	7
「高速」ランプ	39
「高複写1、2」ランプ	39
高複写モードの切り替え	42
コマンド一覧表	
ESC/P モード	223
FM モード	215
さ	
サブガイド	12
し	
質量	200
実力値について	111
自動検出機能	80
仕様	198
使用環境	199
使用上のお願い	8
消費電力	200
使用方法について	9
消耗品の廃却	177
初期状態	
ESC/P モード	213
FM モード	212
す	
スイッチ	39
スタッカ容量	199
せ	
清掃のしかた	175
製品の内容	7
接続	
電源コードの接続	21
パソコンとの接続	18
設置する	14
設置場所について	8
セットアップ項目一覧	53
線のりとじ	116
そ	
操作パネル	12
操作パネルの機能	37
操作パネルの操作	40
装置機能設定	48
た	
耐用期間	200
宅配伝票 (手差しで使用する単票用紙)	
	130
宅配伝票 (前トラクタ)	124
タック用紙 (前・後トラクタ)	122
ダブルギャザー	116
単票セットフリー	46
「単票セットフリー」ランプ	39
単票テーブル	12
単票テーブルのセット	16
単票テーブルの取り扱い	17
単票手差しの方法の切り替え	46
単票用紙 (カットシートフィーダ)	131
単票用紙がつまつたとき	150
単票用紙吸入時の不具合	164
単票用紙のセット	

カットシートフィーダを取り付けた場合	101	カットシートフィーダで使用する単票用紙	133		
単票セットフリーOFF時	98	手差しで使用する単票用紙	127		
単票セットフリーON時	94	はがき用紙（前トラクタ）	119		
単票用紙の排出方向の切り替え	41	パソコンとの接続	18		
単票用紙排出時の不具合	164	パソコンの BIOS 設定	9		
て					
「低騒音」ランプ	39	非漢字一覧表	231		
「データ」ランプ	39	ふ			
手差しで使用する単票用紙	125	封筒			
テスト印刷	48	手差しで使用する単票用紙	128		
テスト印字	172	封筒用紙（前・後トラクタ）	120		
手前排出	41	複写能力	199		
「手前排出」ランプ	39	プラテンロール	12		
電源コードの接続	21	プリンタ LAN カード			
電源コネクタ	12	ご使用方法	183		
電源仕様	200	プリンタ LAN カード (FMPR-LN1)	182		
電源スイッチ	12	プリンタがうまく動かないとき	157		
電源について	8	プリンタケーブルコネクタ	12		
「電源」ランプ	39	プリンタの概略仕様	198		
電源を入れる	22	プレプリント用紙を使用するとき	134		
電源を切る	23	フロントカットシートフィーダコネクタ			
点のりとじ	116	タ	12		
添付品	7	へ			
と					
登録	49	ヘビーデューティ検出	80		
特長	5	ほ			
とじ穴の開けかた	137	保守モード	49		
ドット径	199	補正機能	49		
ドットピッチ	199	ま			
トップカバー	12	前トラクタユニット	12		
トラクタユニット (FMPR-TU8)	182	前連続帳票用紙の置きかた	88		
トラクタユニット（後側）		め			
取り付けかた	32	「メッセージ」ランプ	39		
取り外しかた	31	メニュー印刷	48		
トラクタユニット（前側）		ゆ			
取り付けかた	30	輸送するとき	176		
取り外しかた	29	輸送用固定材の取り外し	15		
トラクタユニットの位置を決める	28	よ			
は					
はがき		用紙厚の調整	105		

用紙右端位置に関する注意	
単票セットフリーイン時	97
用紙送り	199
用紙ガイド	12
用紙吸込量の調整	76
用紙サイズ	
一般用紙（カットシートフィーダで使用する単票用紙）	131
一般用紙（手差しで使用する単票用紙）	125
一般用紙（前・後トラクタ）	118
タック用紙（前・後トラクタ）	122
はがき（カットシートフィーダで使用する単票用紙）	133
はがき（手差しで使用する単票用紙）	127
はがき用紙（前トラクタ）	119
封筒（手差しで使用する単票用紙）	128
封筒用紙（前・後トラクタ）	120
用紙左端位置に関する注意	
単票セットフリーイン時	96
用紙つまりのとき	145
カットシートフィーダ	154
手差しで吸込した単票用紙	150
リアスタッカ部	152
連続帳票用紙（後トラクタ）	147
連続帳票用紙（前トラクタ）	145
用紙無し検出	80
用紙に関するご注意	
単票セットフリーイン時	97
用紙のカット	41
用紙の吸込	43
用紙の形状	138
用紙のセット	82
単票用紙（カットシートフィーダを取り付けた場合）	101
単票用紙（単票セットフリーイン時）	98
単票用紙（単票セットフリーイン時）	94
連続帳票用紙（後トラクタ給紙の場合）	89
連続帳票用紙（前トラクタ給紙の場合）	
合）	82

合）	82
用紙のとじ方法	
カットシートフィーダで使用する単票用紙	133
手差しで使用する単票用紙	127
用紙の取り扱い上の注意	139
用紙の排出	43
用紙枚数	
手差しで使用する単票用紙	126
余白量設定	49
ら	
ラベルの貼付け強度	122
ランプ	39
り	
リアカットシートフィーダコネクタ	12
リアスタッカ	12
リアスタッカの取り付け	17
リアスタッカ部に用紙がつまつたとき	152
リセットする	47
リボン	200
リボンカセットの交換	142
リボンカセットを取り付ける	24
れ	
連続帳票用紙	114
ミシン目の入れ方	117
用紙の構成枚数	114
用紙の寸法	114
用紙のとじかた	116
連続帳票用紙がつまつたとき	145
連帳用紙吸込時の不具合	165
連続帳票用紙のセット（後トラクタ給紙の場合）	89
連続帳票用紙のセット（前トラクタ給紙の場合）	82
連続帳票用紙をカット位置に送る	78

索引～ソフトウェア編

C

CD-ROM の内容 254

E

ESC/P 固有の設定 396

F

FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表 400

FMPR ステータスモニタの機能 384

FMPR プリンタユーティリティ 251

FMPR リモートパネルのインストール 388

FMPR リモートパネルの起動 389

FMPR リモートパネルの機能 388

い

印刷可能領域 373

印刷の向き 377

印刷品質 379

印刷領域 375

印字圧 380

インストール

 FMPR ステータスモニタ 384

 Plug&Play で検出する場合 (Windows 2000) 270

 Plug&Play で検出する場合 (Windows 95) 328

 Plug&Play で検出する場合 (Windows 98) 308

 Plug&Play で検出する場合 (Windows Me) 295

 Plug&Play で検出する場合 (Windows Server 2003) 283

 Plug&Play で検出する場合 (Windows XP) 258

 Windows 2000 のとき 269

 Windows 95 のとき 327

 Windows 98 のとき 307

 Windows Me のとき 294

 Windows NT4.0 のとき 320

 Windows Server 2003 のとき 282

 Windows XP のとき 257

 プリンタフォルダからのインストール (Windows 2000) 275

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows 95) 333

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows 98) 316

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows Me) 303

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows NT4.0) 321

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows Server 2003) 286

 プリンタフォルダからのインストール

 (Windows XP) 261

き

起動

 FMPR ステータスモニタ 384

 給紙方法 378

く

 [グラフィックス] 351

し

 [詳細] 359, 369

す

 ステータス表示ウィンドウ 385

せ

接続方法

 パソコン 253

そ

 装置機能の設定 394

 その他の設定 398

 ソフトウェアのインストール 256

て

 [デバイスオプション] 352

 [デバイスの設定] 362, 372

 添付ソフトウェアの機能 250

と

動作環境

添付ソフトウェア	252
プリンタ	252
は	
排出方向	381
ふ	
プリンタ ドライバ	250
プリンタ ドライバのインストール	
Windows 2000 のとき	269
Windows 95 のとき	327
Windows 98 のとき	307
Windows Me のとき	294
Windows NT4.0 のとき	320
Windows Server 2003 のとき	282
Windows XP のとき	257
プリンタ ドライバの設定	
Windows 2000/XP/Server 2003 の設定	
画面	363
Windows 95/98 の設定画面	346
Windows NT4.0 の設定画面	353
プリンタの機能設定	391
プリンタユーティリティ	
FMPR プリンタユーティリティのメンテナンス	341
プリンタユーティリティのインストール	
FMPR プリンタユーティリティのインスト	
ール	337
へ	
[ページ設定]	357
ほ	
補正機能の設定	397
ボタンの説明	393
確定	393
終了	393
初期化	393
読み込み	393
め	
メディア	380
メニューの説明	391
設定	392
ファイル	391
ヘルプ	393
よ	
〔用紙〕	349
〔用紙/品質〕	368
用紙サイズ	373
用紙の種類	380
余白量の設定	395
れ	
〔レイアウト〕	367

水平漢字プリンタ-15 FMPR5610/FMPR5410/5310E

オンラインマニュアル

B5WY-0771-02 Z0-00

発行日 2005年5月

発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。